



CAT 4.17.4 マニュアル

最終更新日 2021/02/05

目次

1. CATとは？	3
1.1. CATの特徴	3
2. CATの構造について	4
3. 初期プロジェクト作成ウィザード	5
4. CATの画面操作	8
4.1. トップ画面(サービス・プロジェクト一覧)	8
4.2. 全画面で共通する機能	8
4.2.1. グリッド表示について	9
4.2.2. 文字列検索機能について	10
5. プロジェクト情報	11
5.1. プロジェクトサマリーの表示項目	11
6. テスト管理	13
6.1. テスト仕様書を管理する	13
6.1.1. テスト仕様書を作成する	13
6.1.2. テスト仕様書をExcel/CSVファイルから作成する	16
6.1.3. テスト仕様書を編集する	22
6.1.4. ExcelファイルやCSVファイルから上書きアップロードする	29
6.1.5. テスト仕様書の列を設定する	31
6.1.6. テスト仕様書の一覧を確認する	35
6.1.7. テスト仕様書をダウンロードする	38
6.1.8. テスト仕様書の変更履歴を表示する	39
6.1.9. テストケースを検索する	41
6.1.10. テスト仕様書のその他の操作	43
6.1.11. テスト仕様書に機能・テスト区分やカスタムフィールドを紐づける	45
6.2. テストを実行する	47
6.2.1. テスト実行画面の構成	47
6.2.2. 実行結果を入力する	51
6.2.3. 実行結果を一括で入力する	52
6.2.4. テストケースを編集する	53
6.2.5. テスト結果にファイルを添付する	54
6.2.6. テスト実行中に障害を登録する	55
6.2.7. 既存の障害をテストケースに紐づける	57
6.2.8. ケースを詳細表示する	57
6.2.9. ケースの変更履歴を表示する	58
6.2.10. 実行結果の更新日、更新者で検索する	59
6.3. テストの予定を管理する	59
6.3.1. テスト仕様書毎に予定を管理する	59
6.3.2. テストケース毎に予定を管理する	59
6.3.3. 工程毎に予定を管理する	63
7. 課題管理	64
7.1. 課題を登録する	64
7.2. 課題を参照する	64
7.2.1. 課題のシェア設定を行う	66
7.2.2. 課題の共有先追加	67

7.2.3. メッセージを送信する	68
7.2.4. 課題に関連課題を追加する	68
7.2.5. 関連テストケースを管理する	69
7.2.6. 課題にコメントを追加する	69
7.2.7. 作業後に作業時間およびコメントを残す	70
7.2.8. 課題の変更履歴を確認する	71
7.2.9. 課題一覧を確認する	71
7.2.10. 課題一覧をマイフィルターで管理する	74
7.2.11. 課題一覧のサマリーを表示する	78
7.3. 課題を操作する	79
7.3.1. 課題を編集する	79
7.3.2. 課題を削除する	83
7.3.3. 課題を移動する・種別を変更する	84
7.3.4. 課題をコピーする	87
7.3.5. 課題にサブタスクを追加する	88
8. サービス課題管理	93
8.1. サービス課題を登録する	93
8.2. サービス課題の詳細を参照する	94
8.2.1. サービス課題を参照する	97
8.2.2. サービス課題一覧を確認する	97
8.2.3. サービス課題一覧をマイフィルターで管理する	100
8.2.4. サマリーを確認する	103
8.2.5. 履歴を確認する	104
8.3. サービス課題を操作する	104
8.3.1. サービス課題を編集する	104
8.3.2. サービス課題の種別を変更する	108
8.3.3. サービス課題をコピーする	111
8.3.4. サービス課題を削除する	112
8.3.5. ステータス、担当者を更新する	112
8.3.6. プロジェクトのスコープに入れる	114
8.3.7. コメントを追加する	116
8.3.8. サービス課題に関連課題を追加する	117
8.3.9. ファイルを添付する	118
8.3.10. サービス課題にサブタスクを追加する	119
8.3.11. 作業実績を記録する	120
8.4. サービス課題の情報共有をする	121
8.4.1. メッセージを送信する	121
8.4.2. メールの自動通知を設定する	122
9. スコープ管理	125
9.1. プロジェクトの開発モードについて	125
9.2. スコープ一覧を確認する	126
9.3. スコープ一覧を並び替える	127
9.4. 新しいスコープを登録する	128
9.4.1. スコープ管理機能から新しいスコープを登録する	128
9.4.2. サービス課題管理から新しいスコープを登録する	129
9.5. スコープを削除する	130

9.6. スコープの詳細を確認する	131
9.6.1. スコープの詳細情報を確認する	131
9.6.2. スコープの詳細情報を編集する	132
9.6.3. スコープに関連付いたテスト、課題を確認する	133
9.6.4. スコープにコメントを追加する	134
9.6.5. スコープにサブタスクを追加する	134
9.6.6. スコープの変更履歴を確認する	136
9.6.7. スコープの作業後に作業時間およびコメントを残す	136
10. スケジュール管理	138
10.1. スケジュールを作成する	138
10.2. タスクを作成する・編集をする	139
10.2.1. タスクを追加する	139
10.2.2. タスクの編集を行う	140
10.2.3. タスクの依存関係(リンク)設定	142
10.2.4. タスクの階層設定	142
10.2.5. 色の指定	143
10.2.6. タスクの分割	143
10.2.7. タスクの保存および破棄	143
10.2.8. 保存モードの変更	144
10.3. 表示設定を変更する	144
10.3.1. イナズマ線の表示	145
10.3.2. クリティカルパスのハイライト表示	146
10.4. 稼働日設定を設定する	146
10.5. エクスポート・インポート機能	147
11. 進捗管理	148
11.1. 全体進捗	149
11.1.1. 全体の進捗をグラフで確認する	149
11.1.2. 全体の進捗をテーブルで確認する	150
11.1.3. 全体進捗の表示設定	154
11.1.4. 進捗グラフのテスト予定数を残件数で表示する	156
11.1.5. テスト計画値入力	157
11.1.6. 障害計画値入力	159
11.2. 詳細進捗	160
11.2.1. テスト仕様書毎の進捗を確認する	160
11.2.2. テスト環境毎の進捗を確認する	163
11.2.3. メンバー毎の進捗を確認する	164
11.2.4. テスト予定入力	165
11.3. テスト課題管理	171
11.3.1. テスト課題を登録する	171
11.3.2. テスト課題を確認する	173
12. 集計・分析	174
12.1. 分析・集計共通機能	174
12.1.1. テスト進捗・課題件数のサマリーの表示	175
12.1.2. ケース消化数と課題種別フィルター	175
12.1.3. グラフ画像のダウンロード	175
12.1.4. グラフの項目の表示・非表示	176

12.2. テスト集計	176
12.3. テスト集計・テスト環境別	177
12.4. 不具合集計	178
12.5. 不具合集計・開発担当者別	180
12.6. 機能分析	181
12.7. テスト実行者分析	182
12.8. 信頼度分析(信頼度成長曲線)	183
12.8.1. 表示設定	184
12.9. バーンダウンチャート	184
12.9.1. バーンダウンチャートグラフ	185
12.9.2. ユーザ別テスト詳細	186
12.9.3. 表示設定	186
12.9.4. バーンダウンチャート機能の集計値に影響する各種設定・入力項目	188
13. 監査(再鑑)モード	190
13.1. サービス設定・監査テスト設定	190
13.2. テスト仕様書・監査列の設定	190
13.3. テスト管理画面・表示モード切り替え	191
13.4. テスト実行画面・表示モード切り替え	192
13.5. 全体・詳細進捗画面・監査用の予定入力機能	192
13.6. 全体・詳細進捗画面・テストの進捗対象の切り替え	193
14. 再テストモード	195
14.1. 再テストの設定を有効にする	195
14.2. 再テストを計画・実施する	195
14.2.1. 再テストを計画・実施する	195
14.2.2. 再テストを取り消す	196
14.2.3. 再テスト時に編集セルを記録する	197
14.3. 再テストの状況を確認する	197
14.3.1. 過去の再テストの実行ログを確認する	197
14.3.2. 再テストの実行ログをダウンロードする	198
14.4. プロジェクト内の再テストの実行状況を確認する	199
15. アカウント設定	201
15.1. ユーザ画像、表示言語を設定する	201
15.2. パスワードを変更する	202
15.3. パスワードを再設定する	203
16. サービス管理	205
16.1. サービスを新規登録する	205
16.2. サービスの表示順序を並び替える	205
16.3. サービスの基本設定	206
16.3.1. 機能を設定する	207
16.4. チーム設定	208
16.4.1. メンバーを追加する	209
16.4.2. メンバーが参照できるプロジェクトを制限する	210
16.4.3. メンバーの権限を設定する	210
16.4.4. メンバーのワークフローのロールを設定する	212
16.4.5. メンバーのメールの設定をする	212
16.5. テストの基本設定	213

16.6. サービス課題の設定	216
16.6.1. サービス課題管理機能の課題種別の設定をする	216
16.6.2. 種別と表示フィールドの設定を行う	216
16.6.3. 種別にステータスの設定を行う	218
16.6.4. サービス課題管理に課題をインポートする	219
16.6.5. その他の設定(書式の設定)を行う	222
16.7. バージョンの設定	222
16.8. テスト環境の設定	223
16.9. ヘッダーテンプレートの設定	224
16.10. ビジネスチャット連携(Slack/Microsoft Teams)の設定	225
16.10.1. Webフックの取得	227
16.10.2. 通知オプション	229
16.11. Gitリポジトリ連携設定	230
16.11.1. Gitリポジトリ連携を設定する	230
16.11.2. Gitリポジトリ連携設定を変更する	233
16.11.3. Gitレポジトリ連携を無効化する	234
16.11.4. Gitリポジトリ連携を削除する	234
16.11.5. コミット情報を紐付けて参照する	234
16.12. 外部参照URLの設定	238
16.12.1. グラフの外部参照を登録できるユーザーを設定する	239
16.12.2. グラフを別システムに共有して使う	239
17. プロジェクト管理	242
17.1. プロジェクトを作成する	242
17.1.1. プロジェクトを新しく作成する	242
17.1.2. プロジェクトをコピーする	243
17.1.3. プロジェクトの表示順序を並び替える	245
17.2. プロジェクト基本情報の設定	246
17.2.1. メールフォーマットのカスタマイズ	249
17.2.2. プロジェクトメール設定	251
17.3. プロジェクト詳細情報の設定	252
17.4. 課題の設定をする	253
17.4.1. 課題をインポートする	254
17.5. ビルドバージョンの設定	256
17.5.1. ビルドバージョンを登録する	256
17.5.2. テスト実行画面でビルドバージョンを設定する	258
17.5.3. ビルドバージョンをテスト仕様書に設定する	258
17.5.4. ビルドバージョンを活用する	258
17.6. 外部BTSの設定	260
17.6.1. 外部BTS連携機能一覧	261
17.6.2. 外部BTS連携を利用するための準備と設定	263
17.7. Redmineと連携する	266
17.7.1. Redmineの連携設定	266
17.7.2. 課題登録	276
17.7.3. 連携の更新	277
17.8. JIRAと連携する	280
17.8.1. JIRAの連携設定	280

17.8.2. 課題登録	290
17.8.3. フィールド連携	291
17.8.4. 連携の更新	291
17.9. Backlogと連携する	293
17.9.1. Backlogの連携設定	293
17.9.2. 課題登録	301
17.9.3. 連携の更新	301
18. 課題管理設定	303
18.1. CATの課題管理の種類	303
18.2. 課題の管理	304
18.2.1. 課題の種類、ステータス、フィールド	304
18.3. 課題管理の設定の構造	306
18.4. 各機能で障害(不具合)として扱う課題種別について	306
18.5. 課題種別の管理	307
18.5.1. 新しい課題種別（課題・サブタスク）を登録する	307
18.6. カスタムフィールドの管理	309
18.6.1. カスタムフィールドの作成手順	309
18.6.2. カスタムフィールドタイプ一覧	310
18.7. ステータスの管理	311
18.7.1. 新しいステータスを登録する	311
18.8. ワークフローの管理	312
18.8.1. 新しい課題のワークフローを登録する	313
18.9. 共通フィールドの管理	316
18.9.1. 新しい優先度・重要度を登録する	316
18.9.2. 優先度の表示順を変更する・優先度を削除する	317
18.10. カスタムフィールドをプロジェクトの課題管理で利用する	317
19. ユーザー管理	321
19.1. ユーザーの属性情報を管理する	321
19.1.1. グループを定義する	321
19.1.2. ユーザーにグループ・勤務地を割り当てる	321
19.2. ロールを各プロジェクトにて利用する	321
19.3. ユーザーが所属しているプロジェクトを確認する	322
19.4. ユーザー一覧を開く	322
19.5. ユーザー一覧をCSV形式でダウンロードする	323
19.6. ユーザを追加する	324
19.7. ユーザーを一括登録する	325
19.8. パスワードを設定する	329
19.8.1. パスワード再設定メールを一括送信する	329
19.9. アカウントロックを解除する	329
19.9.1. 管理者がパスワードを再設定する	330
19.10. ユーザーのステータス(有効/無効)を切替える	331
19.11. ユーザー権限について	331
19.11.1. システムレベルの機能・設定	332
19.11.2. サービスレベルの機能・設定	332
19.11.3. プロジェクトレベルの機能・設定	333
20. システム管理	334

20.1. ログとカラー設定	334
20.2. ログイン管理	335
20.2.1. ログイン管理設定	335
20.2.2. ログイン一覧	336
20.2.3. ログイン分析	337
20.3. 認証方式管理	339
20.3.1. 認証サーバと連携する	339
20.3.2. 設定済み認証サーバを確認する	339
20.3.3. 認証サーバを新規登録する	340
20.3.4. SAML認証	343
20.4. アクセス制御管理	349
20.4.1. IPアドレスによるアクセス制限を設定する	350
20.5. API管理	350
20.5.1. APIを有効化する	351
20.5.2. APIのアクセストークンを管理する	351
20.5.3. REST APIを利用してCATにアクセスをする	352
20.6. ロール管理	352
20.7. その他の設定	353
21. 制限事項	355
21.1. サポート環境	355
21.2. 登録可能なファイル形式	356

商標・著作物について

商標について

下記の他社登録商標・商標をはじめ、本マニュアルに記載されているシステム名、製品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文および図表中では、「™」、「®」は明記しておりません。

- Microsoft, Windows, Internet Explorer, Excel, Windows Server, Active Directory Federation Service, Azure Active Directory は米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationおよび/またはその関連会社の登録商標または商標です。
- Google, Google Chromeは米国およびその他の国におけるGoogle Inc.および/またはその関連会社の登録商標または商標です。
- Atlassian, JIRAは豪州およびその他の国におけるAtlassianおよび/またはその関連会社の登録商標または商標です。
- GitHubは米国およびその他の国におけるGitHub登録商標または商標です。
- Backlogは、株式会社ヌーラボの商標または登録商標です。
- SlackはSlack Technologies, Inc. および/またはその関連会社の商標です。

著作物について

下記の第三者の著作物については、各著作物のライセンス等をご確認ください。

- RedmineはJean-Philippe Lang氏の著作物であり、GPLライセンスで配布されています。

1. CATとは？

CATとはソフトウェア・システム開発における、テスト工程の管理、チーム作業を効率的に行うためのツールです。

テスト仕様書・テストケースとその実行結果、不具合をCATに登録することで、リアルタイムな進捗管理や傾向分析を行えます。

1.1. CATの特徴

テスト管理を行うための情報を一元管理

テスト仕様書や実行結果、取得したエビデンス、障害チケットなどテストに関する情報をすべて管理でき、情報の一元管理が可能です。また、離れた拠点やオフショア等でテストを行う場合でも、ファイルやデータが散在することがなくなります。

テストケースの集計負荷を軽減

登録したテストの実行結果はリアルタイムにCATに反映されるため、都度の集計作業などを行わずともスピーディにテストの進捗状況を把握することができます。テスト仕様書やメンバー毎など細かい情報も瞬時に把握できます。

Excel/ライクなUIで直観的な操作が可能

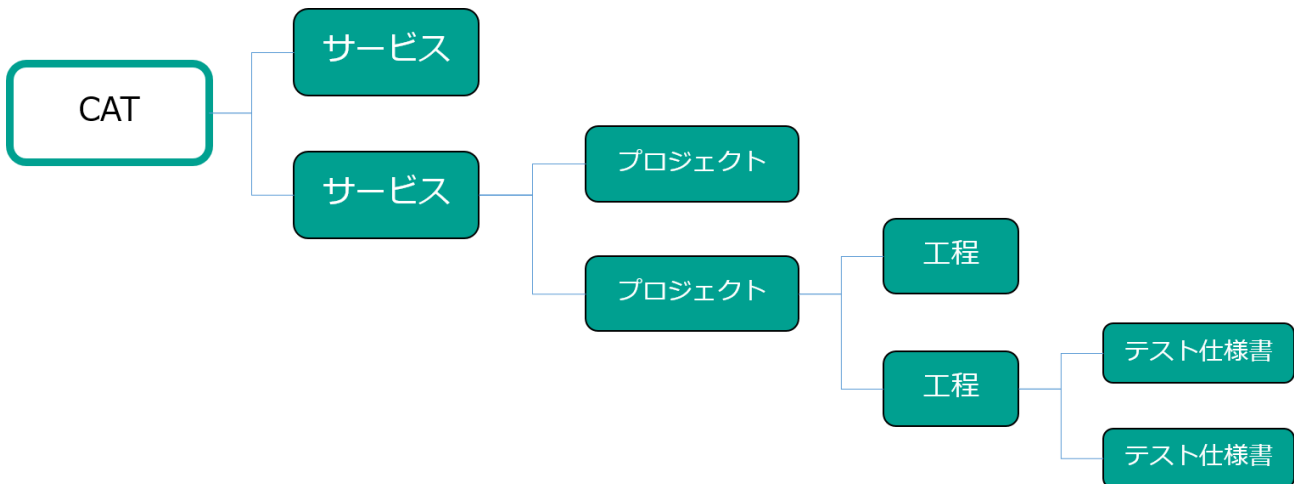
CATはテスト実行者が直観的、且つ、効率的に操作できるUIとなっています。Excelやスプレッドシートのような画面や操作により、従来のExcelファイルでの管理運用からの切り替えもストレスなく対応可能です。

外部ツールとのシームレスな連携を実現

CATはJIRAやRedmineなど、外部の課題管理ツールと連携できるため、使い慣れた課題管理ツールを利用しながら、テストと課題の情報を統合できます。

2. CATの構造について

CATは以下の構造でデータを管理します。



サービス、プロジェクト、工程の3つの階層はCATのデータ管理の重要な単位です。

サービスは、開発する製品やサービスを示しています。サービス毎にチームの設定を行い、サービスの課題を管理できます。

サービスの中には開発するプロジェクトを作成でき、テスト仕様書や課題等を管理できます。

プロジェクトの中の工程では、プロジェクトを任意の期間に区切り、テスト仕様書や課題等のデータを管理できます。

3. 初期プロジェクト作成ウィザード

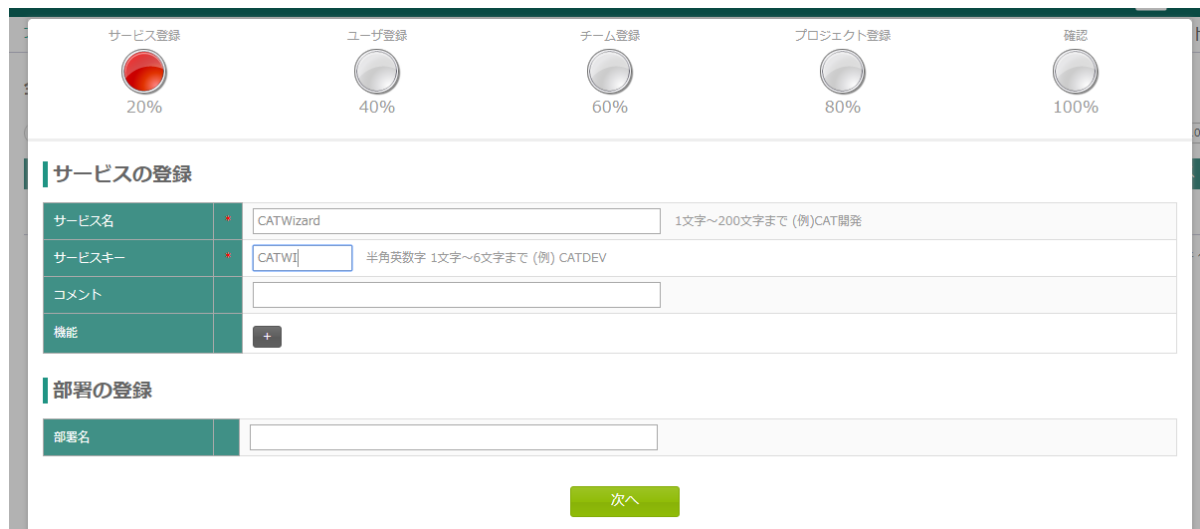
CATの導入後、はじめてCATにログインすると、初期プロジェクト作成ウィザードが起動します。



The screen shows a progress bar at the top with five steps: サービス登録 (20%), ユーザ登録 (40%), チーム登録 (60%), プロジェクト登録 (80%), and 確認 (100%). The 'プロジェクト作成ウィザード' (Project Creation Wizard) section is active, displaying a message: 'プロジェクトの作成ウィザードを開始します。' (Start the project creation wizard.) and a '開始' (Start) button.

1. サービス登録

まず初めにサービスを登録します。サービスは開発・テスト対象となるシステム全体指す単位です。必須項目を入力し、「次へ」を押してください。



The screen shows the 'サービスの登録' (Service Registration) section. The progress bar at the top indicates 'サービス登録' is 20% complete. The form includes fields for 'サービス名' (Service Name) with value 'CATWizard', 'サービスキー' (Service Key) with value 'CATWI', and a 'コメント' (Comment) field. A '機能' (Function) button with a '+' icon is also present. Below the form is a '部署の登録' (Department Registration) section with a '部署名' (Department Name) field. A '次へ' (Next) button is at the bottom.

各設定項目については、[サービスの基本設定](#)を参照してください。

2. ユーザ登録

CATを利用するユーザーを作成します。ユーザーは後からでも登録可能です。



The screen shows the 'ユーザー登録' (User Registration) section. The progress bar at the top indicates 'ユーザ登録' is 40% complete. The 'ユーザー一覧' (User List) section displays a table with one user: ID 1, ユーザ名 坂本佑太, 部署, and 認証方式 CAT. A '新規登録' (New Registration) button is at the top right. At the bottom are '次へ' (Next) and '戻る' (Back) buttons.

ID	ユーザ名	部署	認証方式	削除
1	坂本佑太		CAT	

3. チーム登録

チーム登録では、サービスに所属するユーザーを登録します。チームに登録したユーザーがサービスを参照できます。

ユーザ名	ユーザ権限
1 坂本佑太	管理者

4. プロジェクト登録

サービスの1つ目のプロジェクトを作成します。

必須項目を入力し、「次へ」を押してください。

サービス名	CATWizard
プロジェクト名	<input type="text"/> 1~200文字 (例) テスト支援ツール開発
識別子	<input type="text"/> プロジェクトの識別子を入力してください
プロジェクト期間	<input type="text"/> 開始日 <input type="text"/> 終了日
ワークタイム	09:00 開始時刻 18:00 終了時刻
プロジェクト状況	稼働中 - 順調
開発モード	<input checked="" type="radio"/> プロジェクトモード 複数の工程で共通したスコープを管理します。 <input type="radio"/> 工程モード 工程毎にスコープを管理します。
工程	現在の工程: --選択-- <input type="button" value="登録"/>

各設定項目については、[プロジェクト基本情報の設定](#)を参照してください。

5. 確認

これまでの設定内容が表示されます。

「完了」を押して、ウィザードを終了します。



サービス登録 ユーザ登録 チーム登録 プロジェクト登録 確認

20% 40% 60% 80% 100%

設定内容の確認

設定された内容を保存し、新しくプロジェクトを作成します。設定内容を確認の上、完了ボタンを押してください。

【サービス設定】
サービス名: CATWizard
サービスキー: CATWI
コメント:
機能:
部署:

【ユーザ設定】
以下のユーザを追加します。
SHIFT_TEST (test@test.shiftinc.jp) : -
坂本祐太 (yuta.sakamoto@shiftinc.jp) :

【プロジェクト設定】
プロジェクト名: SHIFTproject
プロジェクト識別子: SHPRO
期間: 2018/05/31 ~ 2018/07/20
ワークタイム: 09:00 ~ 18:00

完了 戻る

以上で、ウィザードは終了となります。

4. CATの画面操作

4.1. トップ画面(サービス・プロジェクト一覧)

CATにログイン後、プロジェクト一覧画面が表示されます。ログインユーザが参加しているプロジェクトが一覧で表示されます。異なるサービスのプロジェクトを参照する場合には、左カラム「サービス一覧」をクリックして、一覧メニューから選択します。

画面操作

項目	説明
検索	プロジェクト一覧からプロジェクトを検索できます。
終了したプロジェクトも表示	チェックを入れると、ステータスが終了状態のプロジェクトも表示されます。初期状態ではプロジェクト一覧には、終了したプロジェクトは表示されません。
同時表示件数	1ページに表示するプロジェクト数を選択できます。選択可能な表示件数は10, 30, 50, 100です。

プロジェクト一覧の表示項目

項目	説明
識別子	プロジェクトの識別子が表示されます。
プロジェクト名	登録されているプロジェクトの一覧を表示します。
現在の工程	現在の工程名が表示されます。
開始日	プロジェクトの開始日が表示されます。
連携ステータス	外部BTS連携の連携状況が表示されます。
ステータス	プロジェクトの状況が表示されます。
設定	クリックすると、「プロジェクト設定」画面に移動します。

4.2. 全画面で共通する機能

CATの表の表示や検索機能等、全画面間共通の機能を説明します。

4.2.1. グリッド表示について

下記の様な表形式の表示箇所は、一部を除き(※)ソート・カラムの非表示・グルーピング等ができます。次に様に操作し、表示をカスタマイズできます。

テスト仕様書一覧					
<div>登録</div> <div>最近のテスト</div> <div>ダウンロード</div> <div>ごみ箱</div> <div>検索キーワード</div>					
<input type="checkbox"/>	No ↑	シナリオ	テスト仕様書	工程	担当者
<input type="checkbox"/>	1		Smoke test in India	α版	
<input type="checkbox"/>	2		Bigbang testing specification	リリース版	企画 木下,開...
<input type="checkbox"/>	5		【Pattern1】 01.Testing specification(画面系...	リリース版	Shift Admin,...
<input type="checkbox"/>	6		【Pattern1】 02.Testing specification(機能系...	リリース版	開発 隅,開発 ...
<input type="checkbox"/>	7		【Pattern1】 03.Testing specification(機能系...	リリース版	Dev Uga,開発...
<input type="checkbox"/>	8		【Pattern1】 04.Testing specification(画面系...	リリース版	開発 隅,営業 ...
<input type="checkbox"/>	9		【Pattern1】 05.Testing specification(画面系...	リリース版	開発 中沢
<input type="checkbox"/>	10		【Pattern1】 07.Testing specification(テスト課...	リリース版	開発 隅,開発 ...

※項目によりグルーピングができない箇所、ソートができない箇所があります。

カラムのヘッダーにマウスオーバーするとカラム右端に下三角ボタンが現れ、押すとドロップダウン上に表示設定ができます。

優先度	▼	タイトル	担当者
P2 (中低)	↑ 昇順		
P2 (中低)	↓ 降順		
P3 (中)	☰ カラム		
P1 (低)	☰ このカラムでグルーピング		
P3 (中)	<input type="checkbox"/> グルーピング		
P2 (中低)	<input type="checkbox"/> フィルター		
P1 (低)			

各操作

項目	説明
カラムのヘッダー	項目名を表示します。ソート可能な項目はクリックするとソートを変更できます。カラムを左右にドラッグするとカラムの並び替えが可能です。
ソート	カラムを昇順/降順でソートします。
カラム	各カラムの表示/非表示を選択します。
グルーピング	カラムの要素によってグルーピングします。グルーピングは、チェックボックスを非チェックにすることで解除できます。
フィルター	カラムの要素によって表示/非表示を選択します。テキスト検索の場合、オーダー参照 -画面 の様に-(半角ハイフン)に続けて語句を入力すると検索結果からその語句が含む物を除外できます。

グルーピングの活用例: テストの集計値を機能毎にグルーピング

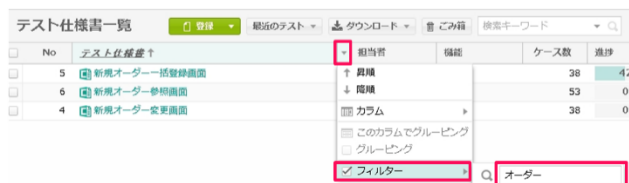
<input type="checkbox"/> ID ↑	テスト仕様書	担当者	ケース数	未予定数	残ケース数	進捗率	発見不具…
機能: Analytics							
<input type="checkbox"/> 49	BTS-956_Analysis		2	0	25	82%	5
<input type="checkbox"/> 116	BTS-956_Analysis		2	0	0	100%	1
<input type="checkbox"/> 119	BTS-956_Analysis		2	0	0	100%	0
<input type="checkbox"/> 136	BTS-956_Analysis	Kiku Shom…	142	0	0	100%	4
合計 (4 件)			568	0	25	95%	10
機能: Bug tracking system							
<input type="checkbox"/> 10	GUI-BTS	Masakazu …	286	0	284	0%	0
<input type="checkbox"/> 11	Feature-BTS	Masakazu …	86	0	73	15%	2
<input type="checkbox"/> 50	BTS-956_BTS_Etc_Update2	Takeshi Yo…	25	0	0	100%	4
<input type="checkbox"/> 113	GUI-BTS	Yosuke SA…	286	0	0	100%	12
<input type="checkbox"/> 114	Feature-BTS	Yosuke SA…	86	0	0	100%	2
<input type="checkbox"/> 117	BTS-956_BTS_Etc_Update2	Masakazu …	25	0	0	100%	1
合計 (50 件)			5,025	718	484	90%	115

4.2.2. 文字列検索機能について

各画面に存在する文字列検索機能では次の様な検索ができます。

検索フィールドの例

フィルタでの検索フィールド例



一覧での検索フィールド例



AND条件検索

キーワードを、全角・半角空白で区切るとAND検索になります。

たとえば、検索文字列が「注文 画面」の場合、「注文」と「画面」の両方が含まれる文字列が検索されます。

除外条件(NOT)検索

キーワードの前に-を付けると、除外条件(NOT)検索になります。

たとえば、検索文字列が「注文 画面 -確認」の場合、「注文」と「画像」のが含まれ、「確認」が含まれない文字列が検索されます。

なお、-を検索したい場合は、¥-を入力します。

5. プロジェクト情報

プロジェクト情報画面では、プロジェクトの概要、チームメンバー、進捗サマリー、テスト状況、課題状況を確認できます。

プロジェクト情報 スコープ管理 スケジュール管理 テスト管理 課題管理 進捗管理 分析 設定

ABC社 XXコンビニ POSシステム 3次 新規開発 SHIFT社内利用(拡張用デモ環境)

工程 IT1

プロジェクト情報

プロジェクト状況 稼働中・監視

識別子 POS3RD

開発モード プロジェクトモード

レポート メール送信

現在の工程

名称 IT1

バージョン -

開始日 2020/06/09

終了予定日 2020/06/30

経過日数 3

チーム

CAT デモユーザー

サマリー

テスト進捗

	全体		前日まで	当日
総ケース数	94	予定	0	0
消化済み	8	消化済み	8	0
未消化	86	予定差異	▲ 8	0
進捗率 (件数ベース)	8 %	予定進捗率 (件数ベース)	0 %	0 %
進捗率 (工数ベース)	0 %	予定進捗率 (工数ベース)	0 %	0 %

障害・テスト課題

	障害	テスト課題
全体	1	0
対応済み	0	0
残件数	1	0
障害発生率	12.5 %	-

テスト状況

テスト仕様書一覧

	担当	合計	消化済み	未消化	予定差異
【サンプル】オーダー登録画面	-	94	8	86	▲ 8

合計 1 件

課題状況

課題の種類

行項目 重軽度 列項目 ステータス

各セクションの説明

項目	説明
プロジェクト	プロジェクトの状況や概要を表示します。
現在の工程	現在の工程の状況や概要を表示します。
チーム	プロジェクトに参加しているメンバーを表示します。
サマリー	プロジェクトのテスト件数や障害数のサマリーを表示します。
テスト状況	テスト仕様書とメンバーの一覧を表示します。選択ボックスによって、テスト仕様書とメンバーの一覧の表示を切り替えることができます。
課題状況	課題状況を表示します。行項目と列項目の表示項目を選択ボタンで切り替えることで、優先度や重要度などの課題の分布を表示できます。

5.1. プロジェクトサマリーの表示項目

「サマリー」セクションに表示されている各項目について説明します。

11

テスト進捗 - 全体

項目	説明
総ケース数	選択工程に登録されているテスト仕様書の総ケース数
消化済み	実行ステータスがOK,NG,修正済み,対象外の数 ※1
未消化	実行ステータスが未実行、保留の数 ※1
進捗率 (件数ベース)	消化済み / 総ケース数
進捗率 (工数ベース)	(消化済み × 必要時間) / (総ケース数 × 必要時間) ※予定値の設定が「詳細」のときのみ表示されます。 ※2
未登録	計画値入力で設定した予定数 - 総ケース数 ※計画値入力で設定した予定数より全体-総ケース数の値が大きい場合は「0」と表示されます。 ※予定値の設定が「概要」のときのみ表示されます。 ※2

テスト進捗 - 前日まで・当日

項目	前日まで	当日
予定	前日までの予定数の累計値	当日の予定数
消化済み	前日までの実行ステータスがOK,NG,修正済み,対象外の集計値 ※1	当日に実行ステータスがOK,NG,修正済み,対象外にした数 ※1
予実差異	消化済み - 予定	
進捗率 (件数ベース)	消化済み / 予定	
進捗率 (工数ベース)	(消化済み × 必要時間) / (予定 × 必要時間)	

※1 NGが消化済にカウントされるかどうかは[テストの基本設定](#)の「NGを実行済のステータスとして利用する」の設定により変わります。

※2 予定値の設定については[プロジェクト基本情報の設定](#)の「予定の設定 > 予定値」を参照してください。

障害・テスト課題 - 障害

項目	障害	テスト課題
全体	登録された障害と定義された課題数	登録されたテスト課題数
対応済み	ステータスが終了の障害数	ステータスが終了のテスト課題数
残件数	ステータスが終了以外の障害数	ステータスが終了以外のテスト課題数
障害発生率	全体 / (消化済みのケース数 - 対象外のケース数)	-

6. テスト管理

テスト管理機能の説明をします。

テスト仕様書の登録や編集、テストの実行はテスト管理から行います。

テスト管理の画面に遷移するには、テストを管理したいプロジェクト、工程を選択し、上部メニューの「テスト管理」をクリックしてください。



6.1. テスト仕様書を管理する

テスト仕様書の登録、編集や、一覧の管理など、テスト仕様書を管理するための機能を説明します。

6.1.1. テスト仕様書を作成する

テスト仕様書を一から登録する方法を説明します。

ExcelやCSVをアップロードして登録する方法は[テスト仕様書をExcel/CSVファイルから作成する](#)を参照してください。

1. テスト管理画面に遷移します。
2. 「登録」ボタンをクリックし、「新規登録」メニューを選択します。



3. テスト仕様書の登録画面が表示されます。初期状態ではテスト仕様書に1つのシートが登録されています。

テスト仕様書登録

列設定プロパティ添付ファイル

<input type="checkbox"/>	テスト仕様書	機能	ケース数	列数	操作
<input type="checkbox"/>	▼ 新規テスト仕様書1 テスト仕様書	-- 選択 --	0	-	
<input type="checkbox"/>	Sheet1 シート	-	0	5 (1)	削除

登録キャンセル

4. 仕様書内にシートを追加するには+ボタンをクリックします。

テスト仕様書登録

列設定プロパティ添付ファイル

<input type="checkbox"/>	テスト仕様書	スコープ	機能	ケース数	列数	操作
<input type="checkbox"/>	▼ 新規テスト仕様書1	-- 選択 --	-- 選択 --	0	-	
<input type="checkbox"/>	Sheet1	-	-	0	5 (1)	削除
<input type="checkbox"/>	Sheet2	-	-	0	5 (1)	削除

1つの仕様書にシートを20個まで登録できます。シートを削除するには、シート右側にある「削除」ボタンをクリックします。

5. テスト仕様書名やシート名を変更する場合、テスト仕様書名をクリックします。

テスト仕様書登録

列設定プロパティ添付ファイル

<input type="checkbox"/>	テスト仕様書					
<input checked="" type="checkbox"/>	▼ 新規伝票登録画面					
<input type="checkbox"/>	Sheet1					
<input type="checkbox"/>	Sheet2					

6. シートの列の数や属性を変更する場合、シートを選択して「列設定」ボタンをクリックします。

テスト仕様書登録

シート	範囲	機能	ケース数	列数	操作
テスト仕様書					
▼ 新規伝票登録画面	-- 選択 --	-- 選択 --	0	-	
画面観点	-	-	0	5 (1)	削除
機能観点	-	-	0	5 (1)	削除

同一の列が設定されているシートであれば、複数のシートを同時に選択し一括して列設定を行えます。列設定画面の使い方は、[テスト仕様書の列を設定する](#)を参照してください。

7. 各項目を設定後、「更新」ボタンをクリックします。

テスト仕様書登録

シート	範囲	機能	ケース数	列数	操作
テスト仕様書					
▼ 新規伝票登録画面		新ナレッジ管理	0	-	
画面観点	-	-	0	6 (1)	削除
機能観点	-	-	0	6 (1)	削除

登録 キャンセル

この時、何らかの理由でエラーになった場合、行が赤くなります。

テスト仕様書登録

シート	範囲	機能	ケース数	列数	操作
テスト仕様書					
▼ 新規伝票登録画面		新ナレッジ管理	0	-	
画面観点	-	-	0	6 (1)	削除
機能観点	-	-	0	6 (1)	削除

×アイコンにカーソルを合わせると、エラーの理由が表示されます。

テスト仕様書登録

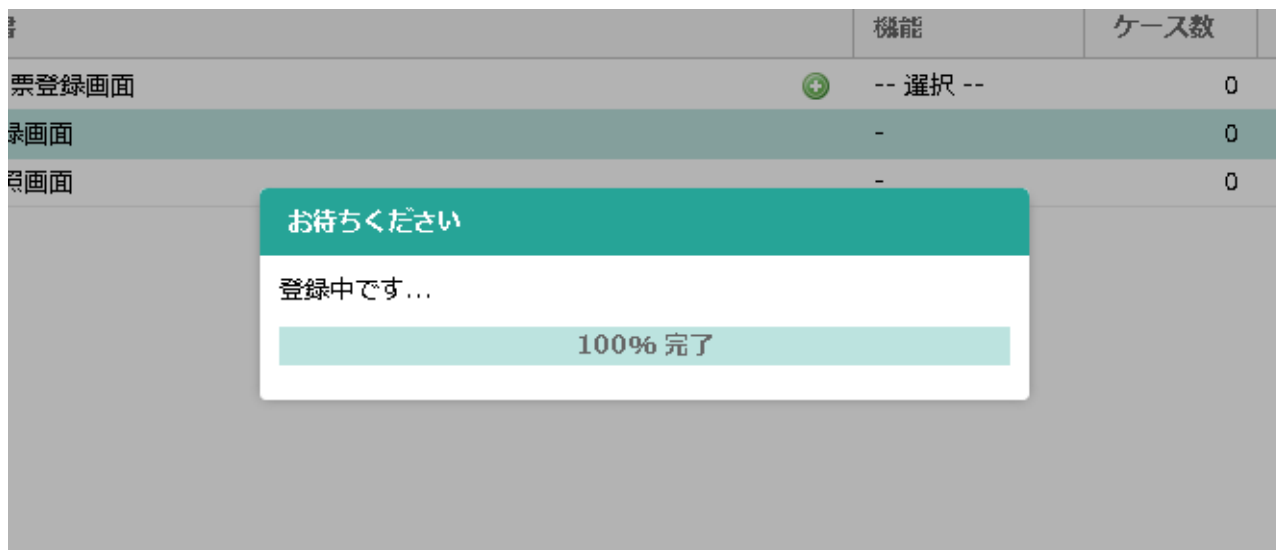
シート	範囲	機能	ケース数	列数	操作
テスト仕様書					
▼ 新規伝票登録画面					
画面観点	-	-	0	6 (1)	削除
画面観点	-	-	0	6 (1)	削除

シート名がテスト仕様書内で重複しています。

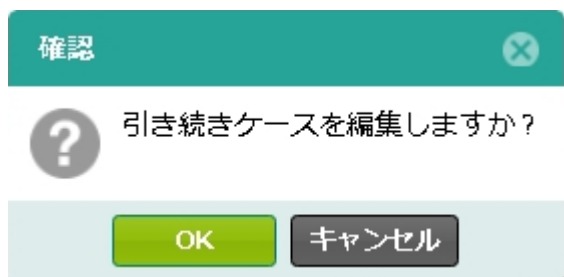
主なエラーメッセージ

エラーメッセージ	意味
シート名がテスト仕様書内で重複しています。	同一仕様書内でシート名が重複しています。重複しないよう修正してください。
ヘッダー列は最小2列必要です。1列以上の実行可能列と、1列以上の編集不可能列、または編集可能列を選択して下さい。	ヘッダー列が1列しか無い、もしくは実行可能列が設定されていません。ヘッダー列を2列以上設定し、実行可能列を1つ以上設定してください。
新しいテスト仕様書名が重複しています。	一度に登録する登録するテスト仕様書の名称が重複しています。いずれかの名前を変更してください。

エラーの原因を解消し、再度[登録]ボタンをクリックすると登録が完了します。



8. 引き続きケースを編集する場合は、表示された確認ダイアログで「OK」をクリックします。編集方法は[テスト仕様書を編集する](#)を参照してください。



「キャンセル」を押すとテスト管理画面のトップに戻ります。

6.1.2. テスト仕様書をExcel/CSVファイルから作成する

Excel/CSVファイルをアップロードしてテスト仕様書を登録できます。一括登録も可能です。

CATが読み込めるテスト仕様書のフォーマットと、テスト仕様書の登録方法を説明します。

登録できるテスト仕様書のフォーマット

CATは表形式で表現されたテストケースを読み込むことができます。

読み込み可能なファイルタイプ

Excel/CSV形式のファイルの読み込みに対応しています。

Excelテスト仕様書

Excel2007以降の「xlsx」形式に対応しています。旧フォーマットの「xls」は非対応です。

CSVテスト仕様書

CSVフォーマットのテキストファイルです。

テストケースの列定義

CAT独自の列定義を自動的に読み込むには、テスト仕様書のヘッダ名の末尾に特定の文字列を付与します。詳細は、[テスト仕様書の列を設定する](#)を参照してください。

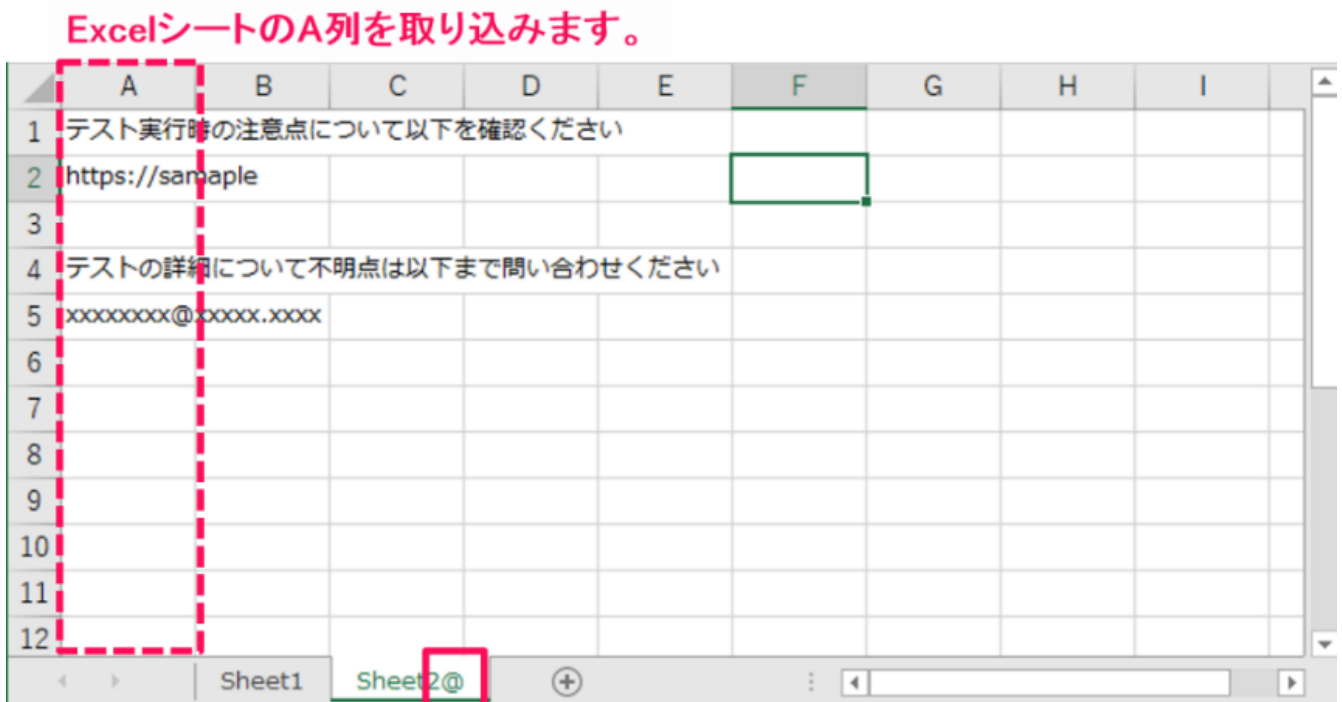
ヘッダーの開始位置

テストケースのヘッダーは何行目、何列目から開始されていても読み込み可能です。

1行目、1列目から開始されていない場合は、ヘッダーの開始位置をアップロード時に指定します。

概要の登録

テスト仕様書には概要テキストを設定できます。シート名に最後に@を付与することで、ExcelシートのA列目に記載の内容を概要として取込みます。



※Excel取込時に「シートを仕様書に展開」にチェック入れると、登録する各シートに同じ概要を登録できます。

Excelのセルの装飾について

Excelファイルの読み込み時、セルの文字色、文字スタイル、背景色が引き継がれます。

※条件付き書式により設定された装飾は取り込まれません。

文字のスタイルは、「太字」「斜体」「取り消し線」「下線」をサポートしています。

※日本語のフォントは斜体のスタイルに対応していません。

Excelのセルの書式設定が「文字列」と「日付」以外の場合、期待した通りの文字列で取り込めないことがあります。その場合、セルの書式設定を「文字列」に変更してください。

「日付」のExcelの書式設定画面

※「*2012/3/14」「*2012年3月14日水曜日」など、アスタリスク(*)で始まるExcelの日付形式は、ExcelではOSの地域の日付/時刻設定によって表示が変わりますが、CATで取り込む際には以下のようなフォーマットとして扱われます。

- ## Excel / CSV のファイル例

Excelのファイル例

※ 20シートまで追加できます。

CSVのファイル例

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	テスト区分	区分1	区分2	トリガー	パターン	テスト観点	確認項目	期待値	備考	結果
	シフトアドレス	宛先住所録	個人住所録	検索フォー	P1_1 検索結果 件数:全件 検索条件: 空検索	検索方法(検索方法カ	*データ定	-	未実行
2	シフトアドレス	宛先住所録	個人住所録	検索フォー	P1_2 検索結果 件数:単数 検索条件: 前方一致	検索方法(検索方法カ	*データ定	-	未実行
3	シフトアドレス	宛先住所録	個人住所録	検索フォー	P1_3 検索結果 件数:複数 検索条件: 前方一致	検索方法(検索方法カ	*データ定	-	未実行
4	シフトアドレス	宛先住所録	個人住所録	検索フォー	P1_4 検索結果 件数:単数 検索条件: 中間一致	検索方法(検索方法カ	*データ定	-	未実行
5	シフトアドレス	宛先住所録	個人住所録	検索フォー	P1_5 検索結果 件数:複数 検索条件: 中間一致	検索方法(検索方法カ	*データ定	-	未実行
6	シフトアドレス	宛先住所録	個人住所録	検索フォー	P1_5 検索結果 件数:複数 検索条件: 中間一致	検索方法(検索方法カ	*データ定	-	未実行

※ ,(カンマ)を含む文字列を入力する際は“(ダブルクォーテーション)で囲んでください。

登録手順

1. アップロードするファイル（複数選択可能）を、仕様書一覧ヘドラッグアンドドロップします。

The screenshot displays the CAT (Computer Aided Test) system interface. The main window shows a list of test specifications (テスト仕様書一覧) with columns for No., テスト仕様書, 担当者, 監査担当者, スコープ, 機能, ケース数, 進捗, ビルドバージョン, and 更新日時. A file upload dialog is open, showing the 'テスト仕様書' folder. Three Excel files are selected: 'サンプルテスト仕様書 1.xlsx' (16 KB), 'サンプルテスト仕様書 2.xlsx' (13 KB), and 'サンプルテスト仕様書 3.xlsx' (18 KB). A red arrow points from the '移動' (Move) button in the file list to the '移動' button in the upload dialog.

2. ファイルタイプと設定を確認し[アップロード]ボタンをクリックします。

CSVテスト仕様書の設定画面

テスト仕様書のアップロード

登録するテスト仕様書のファイルタイプ、登録オプションを選択してください。
※ "ID"、 "-" は列名として利用することはできません。

ファイルタイプ

CSVテスト仕様書

CSVエンコーディング

Windows-31J

読み取り位置

読み取り開始列

A

ヘッダー行

1

ここにドラッグ&ドロップ、または、ファイルを **選択** して下さい。
新規オーダー括登録画面_異常系.csv
新規オーダー括登録画面_正常系.csv
新規オーダー括登録画面_システム系.csv

アップロード

キャンセル

画面項目

項目	説明
ファイルタイプ	アップロードしたファイルから認識したファイルタイプを選択しています。
CSVエンコーディング	Windows-31J(Shift¥_JIS)、UTF-8、Unicodeから選択します。

Excel形式の設定画面

テスト仕様書のアップロード

登録するテスト仕様書のファイルタイプ、登録オプションを選択してください。
※ "ID"、 "-" は列名として利用することはできません。

ファイルタイプ

Excelテスト仕様書

☐ シートをテスト仕様書として登録する

☐ セル書式を取り込まない

読み取り位置

読み取り開始列

A

ヘッダー行

1

ここにドラッグ&ドロップ、または、ファイルを **選択** して下さい。
SampleTestSheet.xlsx

アップロード

キャンセル

画面項目

項目	説明
ファイルタイプ	アップロードしたファイルから認識したファイルタイプを選択しています。
シートをテスト仕様書として登録する	Excel内の全シートがテスト仕様書の単位に分割された状態で登録します。
セル書式を取り込まない	Excelのセルに設定されている書式を取り込まず登録します。

3. テスト仕様書登録画面が表示されます。新規で登録するテスト仕様書は、ステータス「新規」として表示されます。

※アップロード時にテスト仕様書の列設定の変更やプロパティ、添付ファイルの設定が可能です。

テスト仕様書登録

アップロード

列設定

プロパティ

添付ファイル

<input type="checkbox"/>	テスト仕様書	ステータス	スコープ	機能	ケース数	列数	操作
<input type="checkbox"/>	▼ アップロード...	新規	-- 選択 --	-- 選択 --	306	-	<div>削除</div>
<input type="checkbox"/>	Sheet1	新規	-	-	306	8 (2)	<div>削除</div>
<input type="checkbox"/>	▼ アップロード...	新規	-- 選択 --	-- 選択 --	306	-	<div>削除</div>
<input type="checkbox"/>	Sheet1	新規	-	-	306	8 (2)	<div>削除</div>
<input type="checkbox"/>	▼ アップロード...	新規	-- 選択 --	-- 選択 --	306	-	<div>削除</div>
<input type="checkbox"/>	Sheet1	新規	-	-	306	8 (2)	<div>削除</div>

ここにケースファイルをドロップしてください

登録

キャンセル

4. 各項目(列設定・プロパティ・添付ファイル)を設定後、登録ボタンを押します。
5. この時、何らかの理由でエラーになった場合、行が赤くなります。

テスト仕様書登録

アップロード

列設定

プロパティ

添付ファイル

エラーコピー

<input type="checkbox"/>	テスト仕様書	ステータス	スコープ	機能	ケース数	列数	操作
<input type="checkbox"/>	▼ 新規伝票登録...	新規	-- 選択 --	-- 選択 --	612	-	<div>削除</div>
<input checked="" type="checkbox"/>	画面観点	新規	-	-	306	8 (2)	<div>削除</div>
<input checked="" type="checkbox"/>	画面観点	新規	-	-	306	8 (2)	<div>削除</div>

ここにケースファイルをドロップしてください

登録

キャンセル

6. ×アイコンにカーソルを合わせると、エラーの理由が表示されます。



主なエラーメッセージ

エラーメッセージ	意味
シート名がテスト仕様書内で重複しています。	同一仕様書内でシート名が重複しています。重複しないよう修正してください。
ヘッダー列は最小2列必要です。1列以上の実行可能列と、1列以上の編集不可能列、または編集可能列を選択して下さい。	ヘッダー列が1列しか無い、もしくは実行可能列が設定されていません。ヘッダー列を2列以上設定し、実行可能列を1つ以上設定してください。
新しいテスト仕様書名が重複しています。	一度に登録する登録するテスト仕様書の名称が重複しています。いずれかの名前を変更してください。

エラーの理由を解除し再度登録ボタンを押すと登録が完了します。

6.1.3. テスト仕様書を編集する

ブラウザ上でテスト仕様書を編集する方法を説明します。

編集中は対象のテスト仕様書がロックされます。テスト仕様書がロックされている間は、そのテスト仕様書を編集・実行できません。テスト仕様書一覧画面で、対象のテスト仕様書を選択し、「その他」メニュー → 「編集解除」を選択するとロックを解除できます。

1. 編集したいテスト仕様書を選択し、「ケース編集」ボタンを押します。



2. 編集画面はブラウザの別タブで表示されます。この画面でExcelのようにケースの内容を編集できます。行/列の追加・削除・移動、セルのコピー&ペーストも可能です。



画面項目

項目	説明
メニュー（右上の≡アイコン）	編集の保存、キャンセル、実行画面・テスト仕様書一覧への移動ができます。
タブ	テスト仕様書内のシートを表します。編集したいシートを選んで下さい。
シート追加（+アイコン）	新規のシートを追加します。
上/下に追加	行を選択した状態で押すと、上もしくは下に空の行を追加します。
上/下へ移動	行を選択した状態で押すと、選択した行を上もしくは下へ移動します。
削除	選択した行を削除します。
置換	ポップアップ画面が開き、キーワードを指定して置換します。
書式設定	セルや行を選択した状態で押すと、セルの書式を設定します。 設定できる書式：太字、斜体、取り消し線、下線、文字色、背景色
クリア	◦ フィルターのクリア：列に設定したフィルターをクリアします。 ◦ リセット：フィルター及び列の幅設定を初期状態に戻ります。

3. 仕様書を保存、編集の破棄、テスト実行を行いたい場合は左上のメニューアイコンを選択後、メニューから選択します。



画面項目

メニュー	操作
変更を保存	保存して引続き編集できます。
変更をキャンセルして終了	編集状態(テスト実行と他ユーザの編集がロックされている状態)を解除し編集を終了します。
テスト実行モードに移動	編集状態を解除し実行画面に遷移します。
テスト管理に移動	編集状態にしたまま、テスト一覧に戻ります。 ロックを解除するには、仕様書一覧から編集解除を行って下さい。

セルを編集する・セルを移動する

セルの編集、セルの移動の操作方法を説明します。

- 編集可能セル上でダブルクリックか、フォーカスが当たっている状態でF2キーもしくは文字の入力をする
と、編集モードになります。

ID	画面名	大項目	中項目	小項目	期待される結果
1	予定入力	画面項目	工程		工程を選択するドロップダウンリストは非表示であること
2	予定入力	初期表示	初期表示	テスト仕様書一覧	詳細進捗画面にて選択されたテスト仕様書のみ表示されていること。 その数値が正しいこと。
3	予定入力	初期表示	初期表示	テスト仕様書一覧	ケース数が0件のテスト仕様書も表示されていること
4	予定入力	左ペイン	各カラム	カラム一覧	表の列タイトルは、ID、テスト仕様書名、担当、優先度、消化速度(△)、ケース数、作業工程、詳細

- テスト実行セルをダブルクリックか、フォーカスが当たっている状態でF2キーを押すと、テストの実行結果を編集することができます。

※無効セルについて

無効セルに設定すると対象ケースがケース数としてカウントしなくなります。テスト仕様書内に手順を書く際など、ケース数として扱いたくない行がある場合にご利用ください。

	Result1	Result2
移し 報が	無効 ▼	未実行
んを んの	- (無効)	未実行
移し れる	未実行	未実行
書プ ラウ	OK	未実行
んを 維持	NG	未実行
キー	修正済	
	保留	
	対象外	未実行

- 編集時、次のキーで他のセルに移動できます。

Tab / Shift + Tab

アクティブセルの水平方向への移動

Enter / Shift + Enter

アクティブセルの垂直方向への移動

進捗グラフ	グラフの表示期間 (初期値)	工程が工程S1または 工程S2の時
進捗グラフ	グラフの表示期間 (初期値)	工程が工程L1の時
進捗グラフ	グラフの表示期間 (初期値)	工程が工程L2の時
全体進捗レポート	レポート表示期間	工程が工程S1またはL1の時

Shift + Enter : 上へ移動
 Shift + Tab: 左へ移動
 Tab : 右へ移動
 Enter : 下へ移動

- Escを押すと編集モードを解除して、選択モードに戻ります。

- セルを選択した状態のままCtrl + IでInsertキーで空の行を挿入できます。

								シテM00003が表示される		
7	7	7				郵便番号支店機能のバリデーション(未存在データ時)	郵便番号が未存在のメッセージのエラーとなるか	・入力内容が残留し、赤色に変化する ・エラーメッセージM00004が表示される	未実行	
8	8	8				明細追加ボタン押下	明細追加時の挙動(通常追加)	正しく明細追加ができるか	・明細行が増える ・入力欄が空白とみなされる	未実行
文字入力のできない状態でxキーを押すと行が選択されます。										
								・エラーメッセージM00003が表示される		
7	0								未実行	
8	7	7				郵便番号支店機能のバリデーション(未存在データ時)	郵便番号が未存在のメッセージのエラーとなるか	・入力内容が残留し、赤色に変化する ・エラーメッセージM00004が表示される	未実行	
Ctrl + Iで空行を挿入できます。										
9	8	8				明細追加ボタン押下	明細追加時の挙動(通常追加)	正しく明細追加ができるか	・明細行が増える ・入力欄が空白とみなされる	未実行

- 複数セルをコピーする場合、ドラッグで複数セルを選択してCtrl + Cを押します。

ここでコピーしたセルはExcelに貼り付けることもできます。

セルを複数選択してCtrl + Cでコピーします。

Excelに張り付けることができます。
またExcelでコピーして、CATでCtrl + Vで貼り付けることもできます。

- 行単位のコピーアンドペーストがCtrl + C、Ctrl + Vで可能です
複数行のコピーアンドペーストも可能です。

2	2	各種設定	プロジェクト・チームの設定:	プロジェクト一覧画面	検索	【パターン無し】	検索結果が正しく表示されていること。	プロジェクト一覧で検索を行うとプロジェクト名で正しく検索されること。 ※1文字、2文字の半角英数字で検索できることも確認すること。	管理者・社員	OK
3	3	各種設定	プロジェクト・チームの設定:	プロジェクト一覧画面	削除	【パターン無し】	正しく削除されること。	プロジェクトの削除ボタンを押下する際、確認画面が表示され正しくプロジェクトが削除されること。		OK
4	4									未実行
5	5									未実行
6	6									未実行
7	7	各種設定	プロジェクト・チームの設定:	プロジェクト一覧画面	削除	【パターン無し】	正しく削除されること。	プロジェクトの削除ボタンを押下する際、確認画面が表示され正しくプロジェクトが削除されること。		OK
8	8									未実行
9	9									未実行

Ctrl + Cでコピー
Ctrl + Vでペーストが行単位で可能です。

列を追加・編集する

列を追加、編集する場合、ヘッダーの右に表示される▼を押します。

確認観点	確認項目	▼	期待値	結果	実行備考
自動採番の妥当性	伝票番号の自動採番されるか		OK	未実行	
日付入力時のバリデーション(正常時)	正常なフォーマットのときに正しく整形されるか		OK	未実行	
	正しくないフォーマットを入れた場合、エラーとなるか		OK	OK	
日付入力時のバリデーション(異常日付時)	フォーマットは正しいが不正な日付を入力した場合、エラーとなるか		未実行	OK	
郵便番号入力機能	郵便番号に紐づく		入力値: 164-0003	未実行	

画面項目

メニュー	操作
コラム	各列の表示非表示を設定します。
左(右)に追加	選択した列の左か右に列を追加します。
編集	列名・属性を編集します。
削除	列を削除します。
折り返す	セルの右端まで文字が到達した際、文字を折り返して表示します。
フィルター	列にフィルターを設定します。

シートの操作

シートの操作方法を説明します。

- 別シートに切替える時は、切替えたいシートのタブを押します。

132. 【Pattern3】 02.新規テスト_全体進捗_機能系_ver2					
オーダー登録画面 オーダー確認画面 (486)					
テスト概要 列同期OFF ハイライトOFF B I S U T Y					
ID	画面名	大項目	中項目	小項目	期待され
1	進捗管理 全体進捗	テスト仕様書未設定時	全体進捗テーブル	ケースベース、工数ベース、障害発生率	各コラム
2	進捗管理 全体進捗	進捗グラフ	グラフの表示期間 (初期値)	工程が工程S1または工程S2の時	表示期間 こと 開始日: 終了日:
3	進捗管理 全体進捗	進捗グラフ	グラフの表示期間 (初期値)	工程が工程L1の時	表示期間 こと 開始日:

- シートを追加する時は、+ボタンを押します。



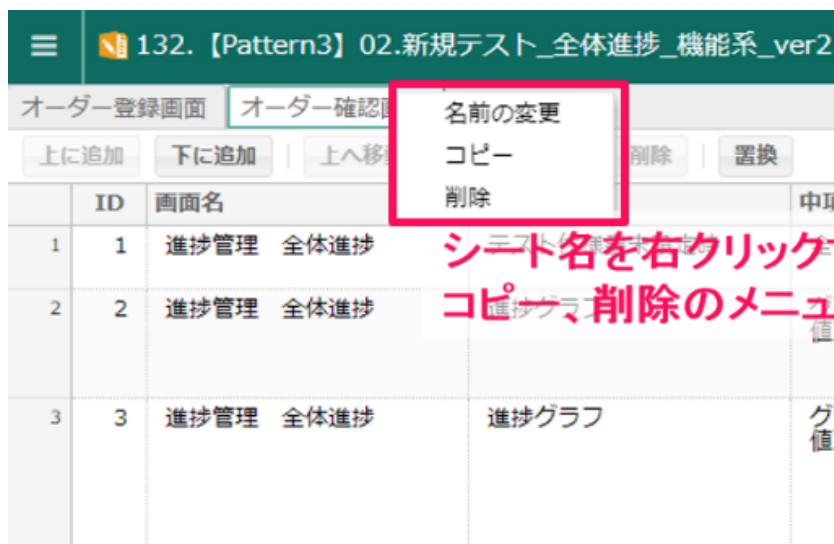
追加 [X]

シート名:

OK キャンセル

+ボタンを押すとシートの名前入力ウィンドウが表示されます。

- シートのコピー・削除、シート名の変更はシートのタブを右クリックして表示されるメニューから選択します。



**シート名を右クリックすると、シート名の変更
コピー、削除のメニューが表示されます。**

ショートカットキー一覧

テスト実行画面で利用できるショートカットキーの一覧です。

キー	操作
Enter	セルの垂直移動(SHIFTで逆順)
Tab	セルの水平移動(SHIFTで逆順)
F2 / 文字の入力	選択セルの編集
Esc	編集モードの解除
Alt + Enter	改行(編集中)
Delete	セルのクリア
d	行の選択時、行の削除
Ctrl + ←もしくは→	タブの移動
Ctrl + I、Insert	選択行の上に、新規行を追加
Shift + Alt + C	選択列の左に、新規列を追加
Ctrl + S	保存
Ctrl + C	選択しているセルのコピー
Ctrl + V	選択しているセルへの貼付け
Ctrl + ;	※Englishキーボードのみ アカウント名と日時を自動挿入します (フォーマット : yyyy/dd/mm HH:MM Name)
Ctrl + :	※JISキーボードのみ アカウント名と日時を自動挿入します (フォーマット : yyyy/dd/mm HH:MM Name)
Ctrl + Z	元に戻る
Ctrl + Y	やり直し
Ctrl + D	選択範囲に対して上のセルの値をコピーする
Ctrl+Shift+R	キーワードを指定して置換
Ctrl + Shift + F	実行モードへ切り替え

※ウィンドウ右上にあるi(ヘルプ)マークを押すとショートカットキーの一覧を確認できます。

6.1.4. ExcelファイルやCSVファイルから上書きアップロードする

CATからダウンロードしたテスト仕様書(CSV、Excel形式)を使用して上書きアップロードできます。

1. アップロードするテスト仕様書は、テスト仕様書のダウンロード機能で「ケースを再度インポートして利用する際のフォーマットで出力する」を選択してダウンロードして、編集してください。



CATからダウンロードすると各テストケースにIDを付加した状態でダウンロードできます。

CATからダウンロードした仕様書と、アップロードした仕様書の違い

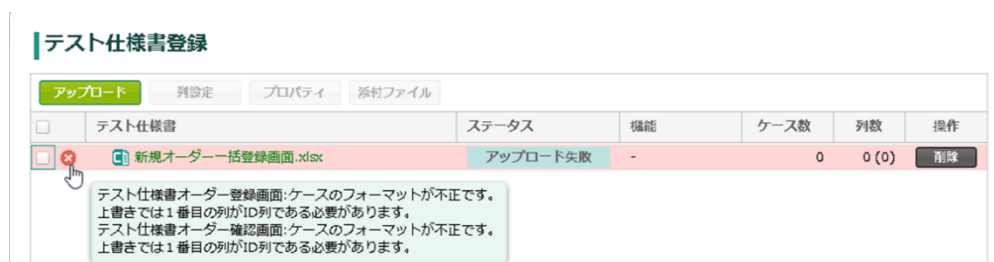
CATからダウンロードした仕様書						アップロードした仕様書					
	ID	大機能	トリガー	確認観点	確認		ID	大機能	トリガー	確認観点	確認
1	1.0	新規オーダー登録画面	画面展開時	自動採番の妥当性	伝票される	1		新規オーダー登録画面	画面展開時	自動採番の妥当性	伝票される
2	2.0		日付入力後、フォーカス移動時	日付入力時のバリデーション(正常時)	正常に正し	2			日付入力後、フォーカス移動時	日付入力時のバリデーション(正常時)	正常な結果
3	3.0			日付入力時のバリデーション(不正フォーマット時)	正しくれた	3				日付入力時のバリデーション(不正フォーマット時)	正しい場合
4	4.0			日付入力時のバリデーション(異常日付時)	フォーマットエラー	4				日付入力時のバリデーション(異常日付時)	フォーマットエラー
5	5.0			郵便番号支援機能のバリデーション	郵便番号が入	5				郵便番号支援機能のバリデーション	郵便番号のエラー

アップロード時は付加したIDを元に次の通り上書きします。

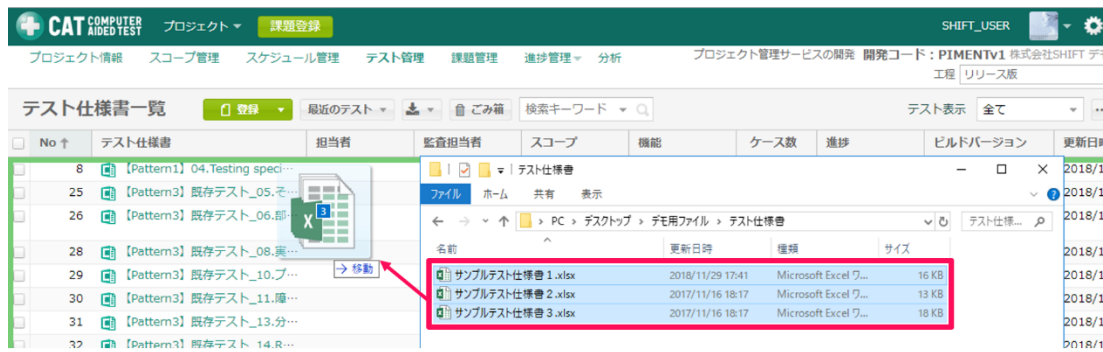
付番されたIDに対する変更と上書き時の動作

付番されたIDに対する変更	動作
元あるIDの行の内容を変更	IDの行が更新されます。
元あるIDの行を削除	IDの行が削除されます。
IDが空の行を追加	新しく行が登録されます。
元がないIDの行を追加	エラーになります。行を追加する場合、IDを空にして追加してください。

CATからダウンロードしていないテスト仕様書を使って上書きアップロードをするとID列が付加されておらずフォーマットエラーとなります。

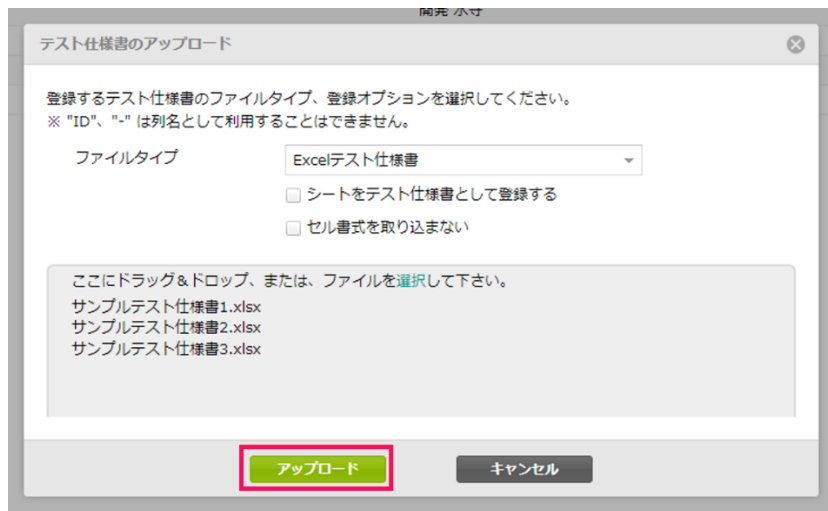


2. アップロードしたい仕様書(Excel、CSV)を選択し、テスト仕様書一覧へドラッグアンドドロップします。



ファイルをテスト一覧にドラッグアンドドロップします。

3. 表示されたアップロードウィンドウでアップロードボタンを押します。



4. 同一の名称で登録のあるテスト仕様書は、ステータス「更新」として表示されます。

更新後のテストケース数が表示されるので、確認します。

複数ファイルをアップロードした際、新規分と上書き分が混在している場合も、同時に登録できます。



確認後、登録ボタンを押してテスト仕様書一覧に戻ります。

6.1.5. テスト仕様書の列を設定する

CATはテスト仕様書のシート毎にテストケースの列の定義を持ちます。CATのいくつかの機能を活用するためには、適切に列定義を設定する必要があります。

以下で、列設定の各項目の用途と、設定手順を説明します。

列設定の各項目の説明と用途

列設定画面

列設定

シート

の列設定を行い、更新ボタンを押して下さい。

最低 1 つの実行結果列が必要です。

追加

削除

No	列名	タイプ	テスト環境	ケース編集	フィールド連携
	ID				
1	大項目	編集不可能ラベル	-	自由入力	-- 選択 --
2	中項目	編集不可能ラベル	-	自由入力	-- 選択 --
3	小項目	編集不可能ラベル	-	自由入力	-- 選択 --
4	実行結果	実行結果	Windows10_IE	-	-
5	備考	編集可能ラベル	-	テスト項目	-- 選択 --
6	担当チーム	編集不可能ラベル	-	自由入力	担当チーム

更新

キャンセル

列タイプ

「列タイプ」では、列の基本的な動作を設定します。列タイプは以下の3つがあります。

編集不可能ラベル

テスト実行画面で読み取り専用となる列です。テストケース内容を記述する列です。

編集可能ラベル

テスト実行画面でセル値を編集できる列です。

実行結果

テスト実行画面でテストの実行結果ステータス(OK、NG等)を入力するセルです。複数の列を追加すると、同じテストケースの異なる条件(端末・環境など)のテスト結果を入力できます。

テスト仕様書のシートの列定義には、すくなくとも1つ以上の編集可・不可ラベルの列と、1つ以上の実行結果列が必要です。

活用例

- テスト実行時に入力する備考欄のみを「編集可能ラベル」とし、テストの実行中に誤ってほかのケース情報が編集されることを防げます。

対象実行結果列

「対象実行結果列」は、監査モード、または再テストモードが有効な場合に利用します。

監査モードでは、実行結果列と監査結果列の関連付けのために、「対象実行結果列」を設定します。設定すると、テストが実行されいないのにも関わらず、監査結果が入力されてしまうことを防げます。

再テストモードでは、実行結果列と実行結果の備考を入力する列の関連付けのために、「対象実行結果列」を設定します。設定すると、テストの再実行のたびに備考を新しく入力できるようになります。

テスト環境

「テスト環境」には、テスト対象のテスト環境を設定できます。列タイプが「実行結果」の場合にテスト環境を設定できます。

テスト環境を設定すると、進捗管理・集計機能で、テスト環境毎のテスト実行・不具合検出状況が確認できるようになります。

主に、複数端末、複数ブラウザでのテスト実施の際に利用します。

テスト環境は、「サービス設定 > テスト環境の設定」で事前に登録が必要です。

ケース編集

「ケース編集」には、「編集不可能ラベル」「編集可能ラベル」列の入力形式を設定します。自由入力と、ドロップダウンリストから選択する形式があります。

ドロップダウンリストは、「サービス設定 > テストの基本設定 > ケース編集フィールド設定」で事前に登録が必要です。

活用例

- 保留となったケースの保留理由をドロップダウンリストから選択できるようにする

フィールド連携

フィールド連携は、テスト実行中の課題登録時に、課題のフィールドを自動入力するための設定です。テスト仕様書のセル値が、設定した課題のフィールドに入力されます。

フィールド連携に対応している、課題管理のフィールドは以下の通りです。

カスタムフィールド

単一選択リスト、テキストボックス（一行、複数行）、セレクトボックス

システムフィールド

担当者、開発担当者、操作手順

列の設定方法

テスト仕様書の列の設定方法は3つあります。

- 列設定ダイアログで設定する
- Excel/CSVファイルの読み込み時に自動的に設定する
- オンラインケース編集画面で列を設定する

それぞれの方法を説明します。

列設定ダイアログで設定する

シートの列設定を画面上から行う方法です。複数のテスト仕様書の列設定を一括で変更することも可能です。

列設定ダイアログの操作

列設定

シートの列設定を行い、更新ボタンを押して下さい。
最低 1 つの実行結果列が必要です。

追加

削除

<input type="checkbox"/>	No	列名	タイプ	テスト環境	ケース編集	フィールド連携
<input type="checkbox"/>	-	ID				
<input type="checkbox"/>	1	大項目	編集不可能ラベル	-	自由入力	-- 選択 --
<input type="checkbox"/>	2	中項目	編集不可能ラベル	-	自由入力	-- 選択 --
<input type="checkbox"/>	3	小項目	編集不可能ラベル	-	自由入力	-- 選択 --
<input type="checkbox"/>	4	実行結果	実行結果	Windows10_IE	-	-
<input type="checkbox"/>	5	備考	編集可能ラベル	-	テスト項目	-- 選択 --
<input type="checkbox"/>	6	担当チーム	編集不可能ラベル	-	自由入力	担当チーム

更新

キャンセル

列の追加

「追加」ボタンをクリック

列の削除

列のチェックボックスを選択し「削除」ボタンをクリック

列の名前変更

列名をダブルクリック

列の移動

列をドラッグ&ドロップ

テスト仕様書の一覧から列設定ダイアログを開く

1. テスト仕様書一覧画面で、テスト仕様書を選択し、右クリックする
2. コンテキストメニューが開く
3. 「シート設定」を選択する
4. 対象のシートのチェックボックスにチェックを入れる
5. 「列設定」ボタンを押す
6. 列設定ダイアログが開く

Excel/CSV形式のテスト仕様書の登録時に自動的に設定する

Excel/CSV形式のテスト仕様書のテストケースの列名(ヘッダー名)の末尾に特定の文字を設定すると、テスト仕様書の登録時に自動的に列設定が行われます。

末尾に設定できる文字は以下の通りです。

文字列	自動設定される値
*	列タイプ：実行結果列
&	列タイプ：編集可能ラベル列
*2	列タイプ：監査結果列 ※1
*2[監査対象列名]	対象実行結果列：指定した監査対象の実行結果列 ※1
{実行列名} (担当者)*3	実行結果列の予定情報の担当者列として扱われる ※2
{実行列名} (予定日)*4	実行結果列の予定情報の予定日列として扱われる ※2
{実行列名} (必要時間[分])*5	実行結果列の予定情報の必要時間[分]列として扱われる ※2
{実行列名} (テスト環境)*6	実行結果列の予定情報のテスト環境列として扱われる ※2

※1 監査テストモード利用時のみ設定可、※2 テストケース毎の予定入力モード利用時のみ設定可

ケース編集画面で列を設定する

ケース編集画面で列の設定をする方法は、[テスト仕様書を編集する](#)を参照してください。

6.1.6. テスト仕様書の一覧を確認する

以下の手順で、テスト仕様書の一覧を確認できます。

1. プロジェクト一覧から目的のプロジェクトを選択します。

プロジェクト名	工程名	Version	ステータス	開始日	終了日	メンバー数
CAT CTS	Call Tracking	-	稼働中 - 既読	2014/02/01	2015/04/01	6
CAT Hotfix Development	4.10.101	-	稼働中 - 既読	2014/06/16	2014/09/30	12
CAT 4.11 Development	PT	-	稼働中 - 既読	2015/01/20	2015/04/30	18
マニュアル作成用テストプロジェクト	工程	4.9.000	稼働中 - 既読	2015/06/01	2015/06/12	1
test_shomura	testA	4.10.001	稼働中 - 既読	2015/06/10	2015/06/30	1
CAT4.10 Development	ST	-	稼働中 - 既読	2014/10/01	2014/12/22	20

- ※「全て」を選択すると、プロジェクトに含まれる全てのテスト仕様書が表示されます。



3. カラム機能を使いテスト仕様書一覧の表示を変更します。

カラムが持つ機能は下の表の通りです。



画面項目

項目	説明																																
ソート	課題を昇順/降順でソートします。																																
カラム	<div> 各カラムの表示/非表示を選択します。 <table> <tr> <th>項目</th><th>説明</th></tr> <tr> <td>No</td><td>テスト仕様書のIDを表示します。</td></tr> <tr> <td>工程</td><td>テスト仕様書が登録されている工程を表示します。</td></tr> <tr> <td>担当者</td><td>詳細進捗で設定した担当者を表示します。</td></tr> <tr> <td>機能</td><td>プロパティで設定した機能を表示します。</td></tr> <tr> <td>テスト区分</td><td>プロパティで設定したテスト区分を表示します。</td></tr> <tr> <td>ケース数</td><td>仕様書の有効なテストケース数を表示します。</td></tr> <tr> <td>進捗</td><td>現在の進捗率を表示します。</td></tr> <tr> <td>ビルドバージョン</td><td>プロパティで設定したビルドバージョンを表示します。</td></tr> <tr> <td>未実行～対象外</td><td>仕様書内の各ステータスの数を表示します。</td></tr> <tr> <td>作成日時</td><td>作成した日時を表示します。</td></tr> <tr> <td>更新日時</td><td>最後に更新した日時を表示します。</td></tr> <tr> <td>更新者</td><td>最後に更新したユーザ名を表示します。</td></tr> <tr> <td>添付ファイル</td><td>仕様書に添付した添付ファイルへのリンクを表示します。</td></tr> <tr> <td>状態</td><td> テスト仕様書の状態を表示します。 編集中（ユーザ名） ユーザが編集中の状態です。編集ユーザ以外の編集実行はできません。 実行制御中 テスト課題管理で実行制御中です。実行できません。 </td></tr> <tr> <td>(その他のカスタムフィールド)</td><td>プロパティで設定したカスタムフィールドを一覧に表示できます。レビュー状況等を設定し一覧に表示・フィルタリング等に活用できます。</td></tr> </table> </div>	項目	説明	No	テスト仕様書のIDを表示します。	工程	テスト仕様書が登録されている工程を表示します。	担当者	詳細進捗で設定した担当者を表示します。	機能	プロパティで設定した機能を表示します。	テスト区分	プロパティで設定したテスト区分を表示します。	ケース数	仕様書の有効なテストケース数を表示します。	進捗	現在の進捗率を表示します。	ビルドバージョン	プロパティで設定したビルドバージョンを表示します。	未実行～対象外	仕様書内の各ステータスの数を表示します。	作成日時	作成した日時を表示します。	更新日時	最後に更新した日時を表示します。	更新者	最後に更新したユーザ名を表示します。	添付ファイル	仕様書に添付した添付ファイルへのリンクを表示します。	状態	テスト仕様書の状態を表示します。 編集中（ユーザ名） ユーザが編集中の状態です。編集ユーザ以外の編集実行はできません。 実行制御中 テスト課題管理で実行制御中です。実行できません。	(その他のカスタムフィールド)	プロパティで設定したカスタムフィールドを一覧に表示できます。レビュー状況等を設定し一覧に表示・フィルタリング等に活用できます。
項目	説明																																
No	テスト仕様書のIDを表示します。																																
工程	テスト仕様書が登録されている工程を表示します。																																
担当者	詳細進捗で設定した担当者を表示します。																																
機能	プロパティで設定した機能を表示します。																																
テスト区分	プロパティで設定したテスト区分を表示します。																																
ケース数	仕様書の有効なテストケース数を表示します。																																
進捗	現在の進捗率を表示します。																																
ビルドバージョン	プロパティで設定したビルドバージョンを表示します。																																
未実行～対象外	仕様書内の各ステータスの数を表示します。																																
作成日時	作成した日時を表示します。																																
更新日時	最後に更新した日時を表示します。																																
更新者	最後に更新したユーザ名を表示します。																																
添付ファイル	仕様書に添付した添付ファイルへのリンクを表示します。																																
状態	テスト仕様書の状態を表示します。 編集中（ユーザ名） ユーザが編集中の状態です。編集ユーザ以外の編集実行はできません。 実行制御中 テスト課題管理で実行制御中です。実行できません。																																
(その他のカスタムフィールド)	プロパティで設定したカスタムフィールドを一覧に表示できます。レビュー状況等を設定し一覧に表示・フィルタリング等に活用できます。																																
グルーピング	課題を要素によってグルーピングします。グルーピングは、チェックボックスを非チェックにすることで解除できます。																																
フィルター	課題の要素によって表示/非表示を選択します。																																

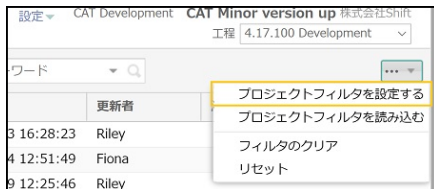
テスト仕様書一覧の表示内容をプロジェクト内で共有する

「プロジェクトフィルタ」を使うと、テスト仕様書一覧の表示設定をプロジェクトメンバー間で共有できます。

デフォルトでは非表示のカラムを表示させたい場合や、プロジェクトで利用する分類でテスト仕様書をグルーピングしたい場合に有効です。

プロジェクトフィルタの設定方法

共有したいカラム・フィルター・グルーピングを設定後、画面右「・・・」メニューから「プロジェクトフィルタを設定する」をクリックします。

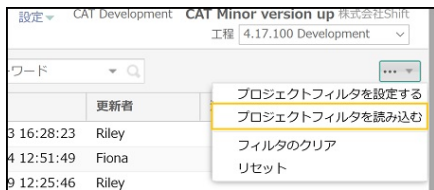


「管理者」「社員」権限のユーザーのみプロジェクトフィルタを設定できます。

プロジェクトフィルタを読み込む

各プロジェクトメンバーが、テスト仕様書一覧画面に初めてアクセスした際は、自動的にプロジェクトフィルタが読み込まれます。

ほかのフィルター条件が設定されている状態から、プロジェクトフィルタを読み込むには、画面右「・・・」メニューから「プロジェクトフィルタを読み込む」をクリックします。



6.1.7. テスト仕様書をダウンロードする

テスト仕様書をダウンロードする手順を説明します。

テスト仕様書はExcel形式(xlsx)、CSV形式でダウンロードできます。

1. テスト仕様書一覧よりダウンロードしたいテスト仕様書を選択後、「ダウンロード」ボタンを押して、メニューからテスト仕様書ダウンロードを選択します。



登録されている仕様書を全てダウンロードしたい場合は、テスト仕様書一括ダウンロードを選択します。

※プロジェクト内にあるテスト仕様書を全てダウンロードしたい場合は事前に工程に「全て」を選択し、「テスト仕様書一括ダウンロード」を選択します。全ての工程のテスト仕様書ダウンロード時にフォルダ階層は以下ようになります。

ダウンロードしたファイル
└─ 工程名
 └─ テスト仕様書名

2. テスト仕様書のダウンロードダイアログが表示されます。ダウンロードしたいファイルの形式を選択します。



ファイルタイプ

ファイルタイプ	説明
Excel	Excelフォーマット(拡張子がxlsx)のファイルをダウンロードできます。
CSV	CSV形式のファイルをダウンロードできます。

ファイルフォーマット

フォーマット	説明
ケースを再度インポートして利用する際のフォーマットで出力する	実行結果に履歴(更新者、更新日、障害ID)を持たないフォーマットです。 <u>上書きアップロードで利用する際は必ずこのフォーマットを使用します。本フォーマットの場合、ドラッグアンドドロップ時に上書き更新となります。</u>
結果、実行者、日付を1つの列に出力する	実行結果に履歴を持つフォーマットです。
結果、実行者、日付を別々の列に出力する	実行結果の履歴を結果・登録日時・登録ユーザ毎にセルを分割したフォーマットです。

オプション

オプション	説明
日付フォーマットのデータを日付書式セルとして設定する	Excelフォーマットでの出力時、「yyyy/m/d」または「yyyy年m月d日」の文字列の場合セルを日付書式に変更します
ファイル名の末尾に日付を付ける	ファイル末尾に日付(yyyy-mm-dd)を追記します。
セルの書式を出力しない	セルの装飾を外してファイルを出力します。

3. 「ダウンロードボタン」をクリックすると選択したファイルがZIPファイルでダウンロードできます。

7Zip等、解凍ツールで展開してください。

6.1.8. テスト仕様書の変更履歴を表示する

CATはテスト仕様書の変更をバージョン管理します。バージョン毎に行・列・セルの編集(追加・変更・削除)の差分を保持しており、編集した後からでも「どのセルを編集したか」「何に値を変更したか」等を確認できます。

以下のタイミングで、新しいバージョンを記録します。

- テスト編集画面で、保存をした時
- 上書きアップロードを行った時

他のプロジェクトからコピーした後に編集した際の差分や、編集後のレビュー等に活用できます。

テスト実行画面でのテスト実行結果の入力や、ケースの編集は、テスト仕様書の変更履歴では、バージョン管理されません。

テスト実行画面の操作の履歴を確認したい場合は、[ケースの変更履歴を表示する](#)を利用してください。

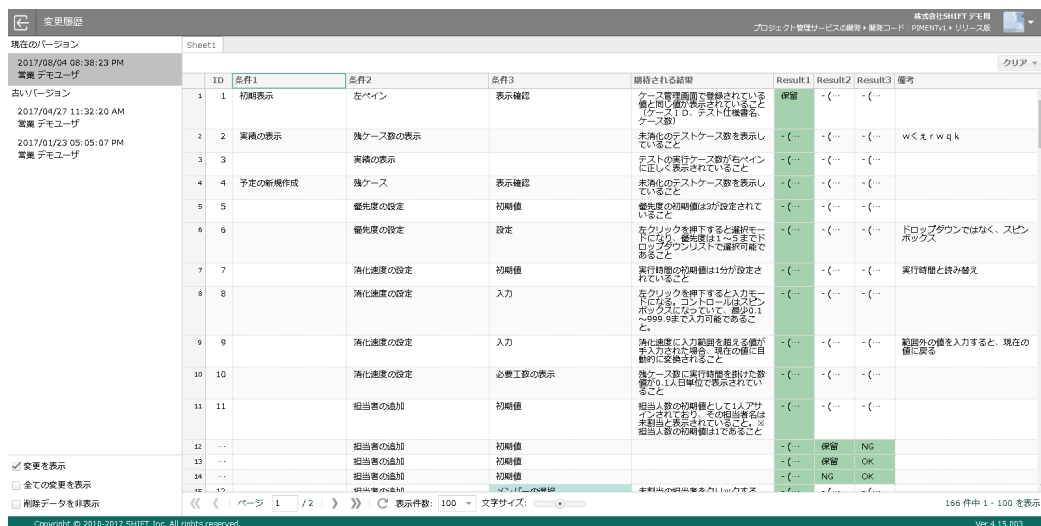
テスト仕様書の変更履歴の確認手順

1. テスト仕様書一覧で、差分を確認したい仕様書を右クリックし、コンテキストメニューから「変更履歴」を選択します。



2. 変更履歴画面が開かれます。左ペインは各バージョン情報の一覧・選択、変更履歴の表示の設定ができます。

右ペインは選択されたバージョンの内容と変更履歴を表示します。



画面項目

メニュー	操作																									
仕様書の内容・ 変更箇所(右ペイン)	<p>右ペインで選択したバージョンのテスト仕様書を表示します。</p> <p>デフォルトでは、一つ前のバージョンとの差分を次の色で表示します。</p> <table><tr><th>ID</th><th>大機能</th><th>トリガー</th><th>確認観点</th><th>確認</th></tr><tr><td>1</td><td>新規オーダー一括登録画面</td><td>画面展開時</td><td>自動採番の妥当性</td><td>イ</td></tr><tr><td>2</td><td>白: 変更の無いセル</td><td>日付入力後、フォーカス移動時</td><td>日付入力時のバリデーション(正常時)</td><td>イ</td></tr><tr><td>3</td><td>灰色: 削除した行・列</td><td>登録ボタン押下時</td><td>日付入力時のバリデーション(不正フォーマット時)</td><td>イ</td></tr><tr><td>4</td><td>緑: 変更したセル</td><td></td><td>日付入力時のバリデーション</td><td>イ</td></tr></table>	ID	大機能	トリガー	確認観点	確認	1	新規オーダー一括登録画面	画面展開時	自動採番の妥当性	イ	2	白: 変更の無いセル	日付入力後、フォーカス移動時	日付入力時のバリデーション(正常時)	イ	3	灰色: 削除した行・列	登録ボタン押下時	日付入力時のバリデーション(不正フォーマット時)	イ	4	緑: 変更したセル		日付入力時のバリデーション	イ
ID	大機能	トリガー	確認観点	確認																						
1	新規オーダー一括登録画面	画面展開時	自動採番の妥当性	イ																						
2	白: 変更の無いセル	日付入力後、フォーカス移動時	日付入力時のバリデーション(正常時)	イ																						
3	灰色: 削除した行・列	登録ボタン押下時	日付入力時のバリデーション(不正フォーマット時)	イ																						
4	緑: 変更したセル		日付入力時のバリデーション	イ																						
現在のバージョン	最新のバージョン情報(日付・変更ユーザー)を表示します。選択すると、右ペインに内容を表示します。																									
古いバージョン ・ダウンロード	<p>過去、保存したタイミングで登録されたバージョン情報を表示します。選択すると、右ペインにそのバージョンの内容を表示します。</p> <p>ダウンロードのリンクを押すとExcel・CSVでダウンロードできます。</p> <div><p>古いバージョン</p><div><div>2017/04/27 11:32:20 AM</div><div>営業 デモユーザ</div><div>ダウンロード</div><div>2017/01/23 05:05:07 PM</div><div>営業 デモユーザ</div></div></div>																									
変更を表示	チェックを入れると、過去のバージョンとの差分を右ペインに表示します。(デフォルト)																									
全ての変更を表示	その仕様書を新規登録した時点からの差分を全て表示します。																									
削除データを非表示	チェックを入れると、差分の中で削除された行・列を非表示にします。																									

6.1.9. テストケースを検索する

テスト仕様書を横断してテストケースを検索する方法を説明します。

- テキストボックスに検索したいキーワードを入力します。Enterキーを押すと検索が開始されます。検索したいキーワードを半角スペースで区切って入力すると、AND検索も可能です。



- キーワードボックスの下三角ボタンを押すと詳細な検索条件を指定できます。テストケース内のキーワード及び、実行結果(実行ステータス・実行日・関連課題の有無・添付ファイルの有無)の条件を組み合わせ、該当するテストケースの検索ができます。
※検索条件を複数指定した場合はAND条件となります。

タイトル	担当者	進捗	レビュー
開発 中沢, 菅...		87%	

検索キーワード

詳細検索 ビルドバージョン検索

キーワード条件

検索キーワード 1:

画面名

実行結果条件

検索実行結果 1:

全ての項目

検索実行結果 2:

全ての項目

表示カラム

画面名

詳細検索：キーワード条件

項目	説明
項目	キーワードを検索する対象のテスト仕様の列を選択します。
検索キーワード	<p>指定した項目内で検索するキーワードを入力します。スペースで区切ることでAND検索を行えます。</p> <p>オーダー参照 -画面 の様に-(半角ハイフン)に続けて語句を入力すると検索結果からその語句が含む物を除外できます。</p> <p>空白（スペースキー）を入力すると空白検索ができ、</p> <p>-(半角ハイフン) 空白（スペースキー）を入力すると空白以外が検索できます。</p>

詳細検索：実行結果条件

項目	説明	
項目	条件を検索する対象の実行結果列を選択します。	
実行結果	実行結果	検索するステータスを入力します。複数選択するとOR検索となります。
	実行日	実行結果列の実行日の範囲指定ができます。
	課題	ファイル添付の有無で検索できます。
	添付ファイル	障害紐付の有無で検索できます。

詳細検索：表示カラム

項目	説明
項目	検索結果に表示するテスト仕様書のカラムを選択します。

ビルドバージョン検索

項目	説明
ビルドバージョン	ビルドバージョンを指定して実行結果を検索します。ビルドバージョンを複数選択するとOR検索ができます。 ※プロジェクトの基本設定でビルドバージョンの管理が有効である場合に使用できます。詳しい設定方法は ビルドバージョンの設定 を参照してください。

3. 検索を行うと検索結果画面に移動します。表示できる検索結果は最大300件までです。



テスト仕様書	シート	ケースID	画面名	大項目	中項目	小項目	Result1
サンプルテスト仕様書 1_128	Sheet1	1	進捗管理 全体進捗	工程選択プルダウン	設定情報の保持編集	画面遷移時の設定保持	OK SHIFT_USER 2019/10/30 05
サンプルテスト仕様書 1_128	Sheet1	2	進捗管理 全体進捗	工程選択プルダウン	設定情報の保持	画面更新時の設定保持	OK SHIFT_USER 2019/10/30 05

「テスト仕様書一覧に戻る」ボタンを押すとテスト仕様書一覧画面に戻ります。



テスト仕様書	シート	ケースID	画面名	大項目	中項目	小項目	Result1
サンプルテスト仕様書 1_128	Sheet1	1	進捗管理 全体進捗	工程選択プルダウン	設定情報の保持編集	画面遷移時の設定保持	OK SHIFT_USER 2019/10/30 05
サンプルテスト仕様書 1_128	Sheet1	2	進捗管理 全体進捗	工程選択プルダウン	設定情報の保持	画面更新時の設定保持	OK SHIFT_USER 2019/10/30 05

6.1.10. テスト仕様書のその他の操作

仕様書の名称変更、コピー、削除、編集解除等、仕様書の設定操作は一覧のその他ボタンから行います。

各操作を行いたい仕様書のチェックボックスを選択しその他ボタンからケースの属性を編集、シートの列設定を行うことができます。



No	テスト仕様書	担当者	監督担当者	スコープ
8	【Pattern1】 04.Testing speci...			
25	【Pattern2】 既存テスト_05.そ...			
26	【Pattern3】 既存テスト_06.部...			
28	【Pattern3】 既存テスト_08.実...			
29	【Pattern3】 既存テスト_10.ブ...			
30	【Pattern3】 既存テスト_11.障...			
31	【Pattern3】 既存テスト_13.分...			

※その他ボタンで表示されるメニューは右クリックでも表示できます。

各行で右クリックすると、
コンテキストメニューが開きます。

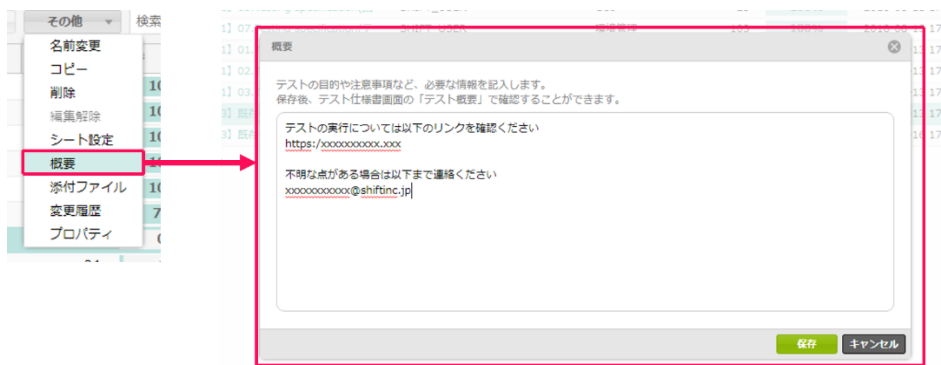
<input type="checkbox"/>	130	【Pattern2】 08. Testing specification(テ	
<input checked="" type="checkbox"/>	131	【Pattern3】 01. 新規テスト_全体進捗	
<input type="checkbox"/>	132	【Pattern3】 ケース編集	進捗
<input type="checkbox"/>	133	【Pattern3】 ダウンロード	進捗
<input type="checkbox"/>	134	【Pattern3】 名前変更	進捗
<input type="checkbox"/>	135	【Pattern2】 コピー	進捗
<input type="checkbox"/>	136	【Pattern2】 削除	進捗
<input type="checkbox"/>	137	【Pattern2】 編集解除	進捗
<input type="checkbox"/>	138	【Pattern2】 シート設定	進捗
<input type="checkbox"/>	139	【Pattern3】 概要	進捗
<input type="checkbox"/>	140	【Pattern3】 添付ファイル	進捗
<input type="checkbox"/>	141	【Pattern3】 変更履歴	進捗
<input type="checkbox"/>	142	【Pattern3】 プロパティ	進捗

画面項目

メニュー	操作
名前変更	仕様書の名称を変更します。
コピー	テスト仕様書を同一・別のプロジェクト・工程にコピーします。
削除	テスト仕様書を削除します。
編集解除	<p>編集状態でロックされた仕様書を解除します。(一括して解除することもできます。)</p> <p>なお、テスト仕様書の編集集中に別ユーザが編集解除ボタンを押すと、編集していたユーザの編集内容が失われます。編集解除ボタンを押す前に、編集集中のユーザに確認をしてください。</p>
シート設定	シート名の変更や仕様書間のシートの移動(シートのドラッグ)、シート内の列設定ができます。
概要 *1	テスト仕様書に概要を登録します。
添付ファイル	テスト仕様書に添付ファイルを添付できます。
プロパティ	<p>テスト仕様書のスコープ、機能、テスト区分、カスタムフィールドが登録できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 値の設定箇所 <p>スコープ：スコープ管理</p> <p>機能：サービス設定>(各サービス)>基本設定</p> <p>テスト区分、カスタムフィールド：</p> <p>サービス設定>(各サービス)>テストの基本設定</p>

*1 概要について

テキストやテキストリンクを入力することができます。URLの場合は自動的にリンクに変更します。



補足：プロパティや添付ファイルは仕様書登録時、テスト仕様書登録画面でも設定できます。

テスト仕様書登録画面の設定箇所

機能の設定	プロパティ・添付ファイルの設定
	<p>プロパティや添付ファイルを設定するには、仕様書を選択して各ボタンを押します。</p>

6.1.11. テスト仕様書に機能・テスト区分やカスタムフィールドを紐づける

テスト仕様書には、機能・テスト区分など、そのテスト仕様書の属性・カテゴリを表すプロパティを設定できます。

たとえば、テスト仕様書に機能を紐づけることで、集計・分析機能で、機能単位の集計・分析が可能となります。

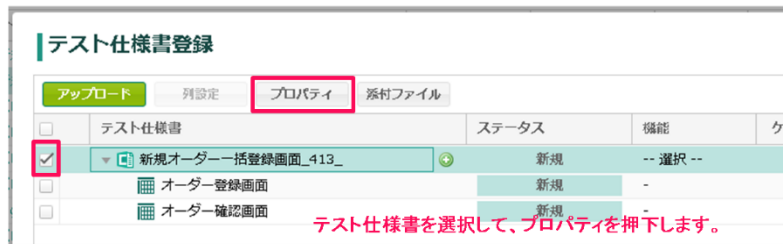
また、プロパティはテスト仕様書一覧画面に表示できるため、テスト仕様書の管理(フィルターやグルーピング)に利用できます。

プロジェクトフィルタ機能を使うと、テスト仕様書一覧画面の表示カラム・フィルター・グルーピングをチームで共有できます。

設定手順

1. テスト仕様書登録画面、もしくはテスト仕様書一覧画面で、テスト仕様書を選択し、「プロパティ」ボタンを押します。

テスト仕様書登録画面



テスト仕様書一覧画面



2. プロパティ画面が開くので、各項目を設定し「更新ボタン」を押すと登録できます。

各プロパティの説明

スコープ

スコープには「スコープ管理」機能で登録したスコープを設定します。

スコープを設定することで、「スコープ管理」機能から、テスト仕様書を確認できるようになります。

機能

機能には「サービス設定 > サービスの基本設定 > 機能」で事前に登録した項目を設定します。

機能を設定すると、テスト実行画面からの課題の起票時に、課題に機能を自動設定できます。また、「集計・分析」機能の「機能分析」で、機能ごとのテスト結果を集計・分析できます。

テスト区分

テスト区分は「サービス設定 > テストの基本設定 > テスト区分」で事前に登録した項目を設定します。

主に、テスト仕様書の一覧で、表示・グルーピングする目的で利用します。

カスタムフィールド

カスタムフィールドには、「サービス設定 > テストの基本設定 > カスタムフィールド設定」で事前に登録した項目を設定します。

主に、テスト仕様書の一覧で、表示・グルーピングする目的で利用します。

ビルドバージョン

ビルドバージョンには、「プロジェクト設定 > ビルドバージョンの設定」で登録した項目を設定します。

ビルドバージョンの設定、活用方法については[ビルドバージョンの設定](#)を参照ください。

6.2. テストを実行する

実行管理画面ではテストの実行、エビデンスファイルのアップロード、障害報告などができます。実行管理画面を開くには、プロジェクト選択後、上部メニューの「テスト管理」を選択、表示されたテスト仕様書一覧から実行する仕様書を選択します。

No	テスト仕様書	担当者	スコープ	機能	ケース数	進捗	更新日時	添付ファイル
4	【Pattern1】 04. Testing specification(画面系_詳細進捗)	SHIFT_USER			33	21%	2019/01/07 15:53:22	
5	【Pattern1】 05. Testing specification(画面系_予定入力)	SHIFT_USER			25	32%	2018/11/20 13:45:35	
6	【Pattern1】 07. Testing specification(テスト課題_画面系)				103	0%	2019/01/07 15:53:22	
7	【Pattern1】 08. Testing specification(テスト課題_画面系)				73	16%	2019/01/07 15:53:22	

6.2.1. テスト実行画面の構成

テスト実行画面を構成する各要素を説明します。

ID	画面名	大項目	中項目	小項目	期待される結果	Result1	Result2	Result3	備考
1	進捗管理 全体進捗	工程選択プルダウン	設定情報の保持編集	画面遷移時の設定保持	他の画面（実行管理等）に遷移しても工程選択プルダウンの情報が維持されること	OK	OK	OK	
2	進捗管理 全体進捗	工程選択プルダウン	設定情報の保持	画面更新時の設定保持	F5キーやブラウザの更新ボタンを押した際に工程選択プルダウンの情報が維持されること	OK	OK	OK	

1. ヘッダー

メニューボタン

ケース編集モードやテスト管理画面へ移動、最近の表示したテスト仕様書の一覧の表示、移動ができます。



アイコンボタン

問い合わせ、サポートサイトへの遷移やログアウトができます。



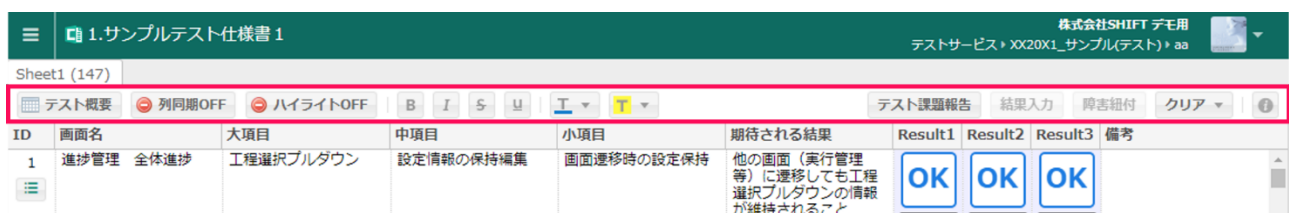
2. タブ（残ケース）

タブはテスト仕様書内のシートを表し、シート名と残ケース(カッコ内の数字)を表示しています。テスト実行したいシートのタブをクリックすると、シートを開けます。



3. メニューバー

現在開いているテスト仕様書に関して様々な操作ができます。



テスト概要

現在のテスト仕様書の進捗状況や概要、添付ファイルを確認できます。

※概要、添付ファイルの設定方法は前述の1.3.2を参照ください。

進捗

テスト概要

進捗 概要 添付ファイル

テスト状況

	実行状況	未実行	OK	修正済	NG	保留	対象外
合計	0/160 0.0%	160 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
Sheet1	0/160 0.0%	160 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

シート状況

Sheet1

	実行状況	未実行	OK	修正済	NG	保留	対象外
Result1	0/80 0.0%	80 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
Result2	0/80 0.0%	80 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

閉じる

概要

テスト概要

進捗 概要 添付ファイル

テスト実行については以下のリンクを確認ください

<https://xxxxxxxxx.xxx> URLへ遷移が可能です。

不明な点がある場合は以下まで連絡ください

xxxxxxxxxxx@shiftinc.jp

閉じる

添付ファイル

テスト概要

進捗 概要 添付ファイル

sample.xlsx

閉じる

列同期ON/OFF

現在のテスト仕様書で調整した列幅・表示/非表示を、他の同一カラム名のテスト仕様書の表示時に適用できます。

画面上部の「列同期ON」を有効にした状態で新しいテスト仕様書を表示すると、直前に表示していた列設定を新しいテスト仕様書に適用します。

テスト仕様書の列幅や表示を統一するときに利用します。

ハイライト

列内で直前（上）のセルの値が同じ場合にセルの文字色を灰色に変更します。

書式設定

選択したセルの書式を変更します。※編集可能セルのみ設定可能です。

（設定できる書式：太字、斜体、取り消し線、下線、文字色、背景色）

テスト課題報告

テスト環境の不備等、障害ではないテスト課題を報告できます。詳しくは[テスト課題を登録する](#)を参照ください。

結果入力

テスト結果を入力できます。結果入力欄を選択すると活性化します。詳しくは[実行結果を一括で入力する](#)を参照ください。

障害紐付

テスト結果に障害を紐付けできます。詳細は[既存の障害をテストケースに紐づける](#)を参照ください。

クリア

設定したフィルターや列の幅をリセットできます。

「フィルターのクリア」はフィルターをクリアします。

「リセット」は初期状態に表示を戻します。

ヘルプ

ヘルプを表示します。

4. テストケースエリア

シート内のテストケースを表示、実行結果を入力します。

各行のメニューボタンにカーソルを合わせると次の操作が可能です。

ID	No	テスト区分	区分1	区分2
1	1	シフトアドレス検索	宛先住所録検索	個人住所録検索
<div>☰</div> <div>詳細表示 履歴表示 URLコピー</div>				
		シフトアドレス検索	宛先住所録検索	個人住所録検索

画面項目

項目	説明
詳細表示	ケース毎に表示し実行できます。詳しくは ケースを詳細表示する を参照ください。
履歴表示	各ケースの変更履歴を確認できます。詳しくは ケースの変更履歴を表示する を参照ください。
URLコピー	テストケースに遷移可能なURLを取得できます

テストケース内のセルは編集不可能セルでも、ダブルクリックすることでセル内の選択およびコピーができます。



実行結果セルは次の操作ができます。



画面項目

項目	説明
ファイル	テストケースにファイルを添付できます。詳しくは テスト結果にファイルを添付する を参照ください。
障害報告	テストケースに紐づく障害を報告できます。詳しくは テスト実行中に不具合を登録する を参照ください。

5. フッター

フッターでは下表の操作ができます。

画面項目

項目	説明
ページング	ページを変更します。
表示件数	表示件数を変更します。10, 20, 50, 100, 200, 300の中から選べます。
文字サイズ	文字サイズを変更します。5段階から選べます。

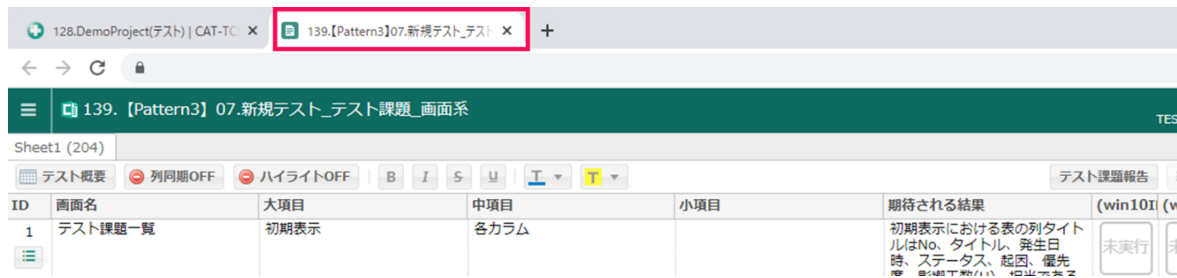
6.2.2. 実行結果を入力する

テスト実行結果を入力する手順を説明します。

1. テスト管理画面で実行するテスト仕様書のタイトルを一覧から選択します。



2. テスト実行画面が別タブで表示されます。



3. 実行結果のボタンをクリックするか、実行結果セルにフォーカスを当てた状態でSpaceキーを押すと実行結果が変化します。

※OK→NG→修正済→保留→対象外→未実行の順番で変化します。

※Shiftキーを押しながら実行結果を変えると、逆順で変化します。



6.2.3. 実行結果を一括で入力する

以下の手順で、実行結果をまとめて入力できます。

1. 実行結果セルを選択します。ShiftキーまたはCtrlキーを使い複数の実行結果セルを選択してください。選択されたセル背景は青色に変わります。



2. Spaceキーを押すと結果を変更できます。複数回押すとOK以外にも変更できます。

株式会社SHIFT デ
テストサービス・XX20X1_サンプル(テスト)

テスト課題報告 結果入力 障害紐付

される結果	Result1	Result2	Result3	備考
画面（実行管理等）に遷移し 工程選択プルダウンの情報が されること	OK ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	
ーやブラウザの更新ボタンを た際に工程選択プルダウンの が維持されること	未実行 ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	
画面（実行管理等）に遷移し 以下の選択状態が維持される	OK ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	
ラフの種類、テスト仕様書プ ワン、ユーザ選択プルダウン	未実行 ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	
ーやブラウザの更新ボタンを た際に以下の選択状態が維持 ること	OK ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	
可能なグラフの種類が「ライ 「横上げ棒グラフ」の2種類 る。2（「積み上げ」）が存在	未実行 ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	

※ウィンドウ右上の「結果入力」ボタンからの入力も可能です。

6.2.4. テストケースを編集する

テスト実行中に、テストケースを編集する手順を説明します。

テスト実行画面では、編集可能列のセルのみ編集可能です。

- セル上でダブルクリックか、フォーカスが当たっている状態でEnterもしくはF2キーを押すと編集可能状態になります。

小項目	期待される結果	Result1	Result2	Result3	備考
工程が工程S1または工程S2の時	※このテストは無効になりまし た。。	未実行 ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	
工程が工程L1の時	※このテストは無効になりまし た。。	未実行 ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	[記載の誤り] 誤:全体進捗テーブル 正:詳細進捗画面
工程が工程L2の時	※このテストは無効になりまし た。。	未実行 ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	

- 編集中にEnterキーを押すと編集内容を確定します。改行を入力する場合はAlt + Enterを押してください。
- 編集不可能セルか編集可能セル上でCtrl + Cを押すとセルの内容をコピーできます。Ctrl + Vを押すとコピ
ーした内容をペーストできます。また、Ctrl, Shiftキーでの複数セルのコピー、ペーストが可能です。

※このテストは無効になりまし た。。	未実行 ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	※実行結果の画面キャプチャを添 付ファイルに登録
表示期間が以下ようになってい ること 開始日: 終了日の2ヶ月前or終了 日に対して2か月前 終了日: 最終(最新)データが存在 する日	未実行 ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	※実行結果の画面キャプチャを添 付ファイルに登録
表示期間が以下ようになってい ること 開始日: 終了日の2ヶ月前 終了日: 工程の終了日	未実行 ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	※実行結果の画面キャプチャを添 付ファイルに登録

セルのテキストの入力形式

設定により編集可能セルをドロップダウンリストに変更できます。設定方法は[テストの基本設定](#)の「ケース編集フィールド」を参照してください。

テスト仕様書の準備	テスト仕様書として以下を用意する。 ・【仕様書0】全結果に "-" が入力されている ・【仕様書1】結果欄が1列 ・【仕様書2】結果欄が複数列	未実行 ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	<div>仕様漏れ 外部ネットワーク要因 設計もれ 手順もれ</div>
テスト実行・障害報告・進捗課題の入力	以下のようにスナップショットを更新しながらテストを実行する。 1. システム時刻を2日前に設定する。 2. テスト実行画面でケースのステータスを各種ステータスに変更	未実行 ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	未実行 ファイル 障害報告	

※ドロップダウンリストで、設定した値を削除する際はBackspaceキーを押してください。

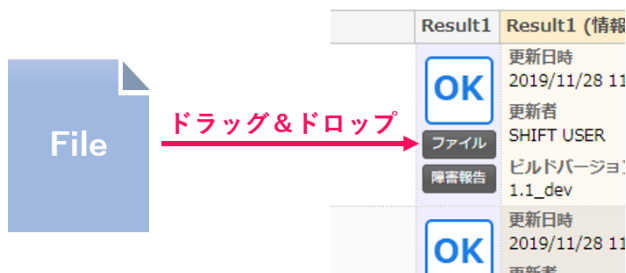
6.2.5. テスト結果にファイルを添付する

テスト実行画面にて、各テストケースにファイルをアップロードできます。ケース毎にエビデンスを添付する場合や、参考資料等を添付し、ケースからすぐに参照できます。

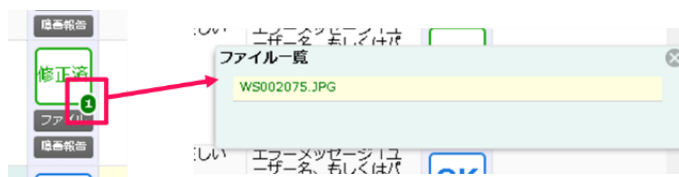
テストケースにファイルを添付する手順を説明します。

1. テスト実行画面の各結果セルの領域にファイルをドラッグ&ドロップすると、ファイルがアップロードされます。

※1つの実行結果にアップロードできるファイルの最大サイズは10MB、最大数は10個です。



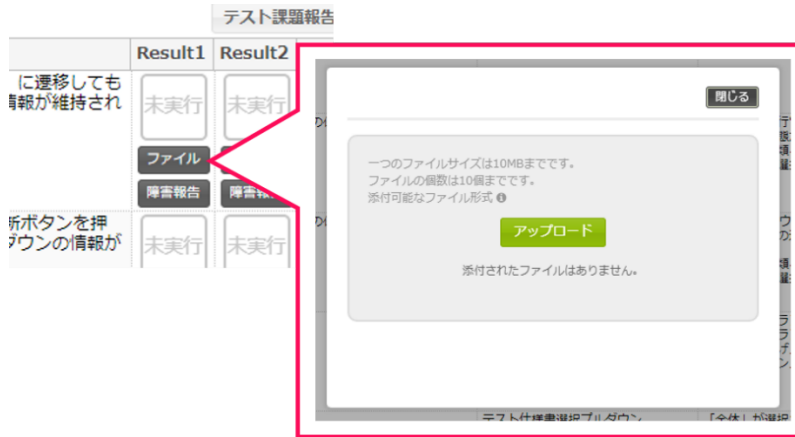
2. ファイルを添付後、件数がバッジで表示されます。



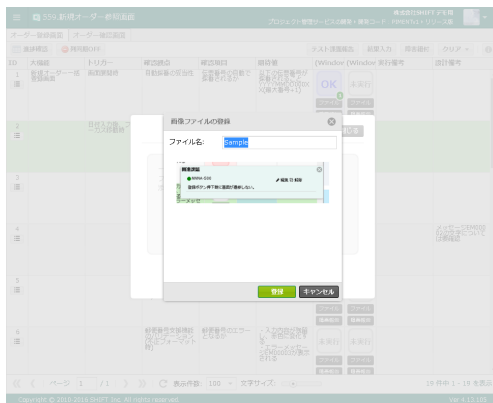
添付した場合ファイル数がバッジで表示されます。
バッジにホバーすると、ファイル一覧が表示されます。

※クリップボードの画像をアップロードする手順

3. テスト実行画面の結果セルの下にあるファイルボタンを押してアップロード用のウィンドウがポップアップで表示されます。



4. この画面上でCtrl + Vを押して、次の画面が表示し、クリップボードの画像を直接貼り付けます。ファイル名を設定して、登録ボタンを押すと、jpeg形式で保存されます。画像の最大サイズは3840 x 2160ピクセルです。



他のキャプチャソフトで取得・注釈の追記など加工をしたあとクリップボード経由ですぐにエビデンスとして保存できます。この機能は課題管理等の添付ファイル部分でも有効です。

6.2.6. テスト実行中に障害を登録する

テスト実行中に障害を発見した場合、テスト実行画面から障害を報告できます。

1. 障害を登録したい実行結果の「障害報告」ボタンを押します。



2. 障害の登録画面が表示されます。

課題起票時の自動入力

以下の設定がある場合は課題起票時にフィールド値が自動で入力されます。

- 仕様書に設定した「スコープ」「機能」
- 実行列に設定した「テスト環境」
- 「フィールド連携」設定をした列のセルの値 ※1

※1 「フィールド連携」設定した列は以下の場合に自動入力されます。 - 起票する課題に連携したカスタムフィールドが設定されている - 単一選択リストのカスタムフィールドの場合、テスト仕様書のセルの値と - カスタムフィールドの選択肢の値が合致している ※1 テキストボックス（一行）のカスタムフィールドの場合、改行コードがあるとそれ以降は入力されません。

3. 登録内容を入力してください。入力を終わたら「登録する」ボタンを押します。

4. 障害報告ボタンの右上にバッジが表示されます。このバッジの数は紐づいている障害の数を表しています。このバッジにマウスオーバーすると、紐づいている障害を確認できます。



バッジの色について

赤

1件でも未完了扱いのステータスの障害がある場合

緑

全ての障害が完了扱いのステータスの場合

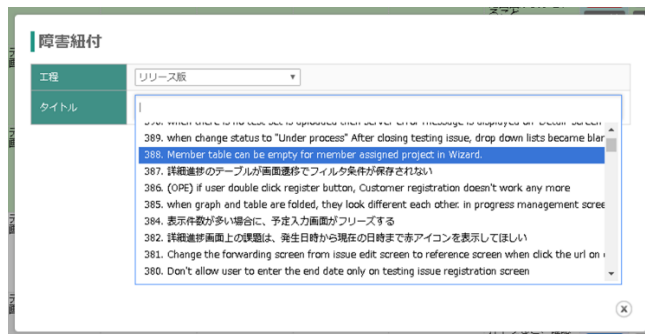
6.2.7. 既存の障害をテストケースに紐づける

テスト実行管理画面で、すでに登録済みの障害をテストケースに紐づけることができます。

1. 障害を紐づけたい実行結果をクリックします。Ctrlキーを押しながらクリックすると複数の実行結果を選択できます。選択後、「障害紐付」ボタンを押します。



2. 表示されるポップアップにて、紐づけたい障害を選択します。はじめに工程を選択し、それから紐づけたい障害を選択します。複数の障害を選択可能です。選択後、登録ボタンを押します



障害を新規に報告した場合と同様に、障害報告ボタンの右上にバッジが表示されます。

6.2.8. ケースを詳細表示する

テストケースを詳細なビューで確認できます。

1. テストケースのID列にある「詳細表示」を押します。



2. ケースの詳細がポップアップで表示されます。



項目	説明
前へ/次へ	前のテストケース/次のテストケースに変更できます。
実行結果	テストケースの実行結果を表します。
詳細	テストケースの内容を表します。

6.2.9. ケースの変更履歴を表示する

テストケースの変更履歴を確認できます。

1. テストケースのID列にある「履歴表示」を押します。

8	各プロジェクト	仕様書詳細画面	テスト仕様書登録	ロック解除	一覧画面	編集中のテスト仕様書は、状態の欄に「編集中」と表示されること。 ※編集以外の状態の場合は、空白で表示されること	OK ファイル 編集報告	未実行 ファイル 編集報告	編集中の仕様書をする
9	各プロジェクト	仕様書詳細画面	テスト仕様書登録	ロック解除	ロック解除	編集中のテスト仕様書を選択した場合、ロック解除ボタンが有効になること。 ※編集中でない場合、ロック解除ボタンは有効にならないこと	NG ファイル 編集報告	未実行 ファイル 編集報告	編集中の仕様書をする
10	各プロジェクト	仕様書詳細画面	テスト仕様書登録	ロック解除	ロック解除	単体、複数の編集中のテスト仕様書			編集中の仕様書をする

2. 変更履歴のポップアップが表示されます。黄色い背景のセルが、変更箇所を表しています。

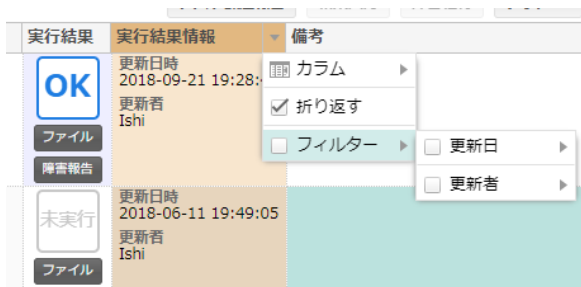
パターン	確認項目	期待値	設計番号	(Windows 8 Pro - Google Chrome) テスト結果 (社員)	(Windows 7 Ultimate - Internet Explorer 9) テスト結果 2
	ロック解除	編集中のテスト仕様書を選択した場合、ロック解除ボタンが有効になること。 ※編集中でない場合、ロック解除ボタンは有効にならないこと		未実行	存在せず
	ロック解除	編集中のテスト仕様書を選択した場合、ロック解除ボタンが有効になること。 ※編集中でない場合、ロック解除ボタンは有効にならないこと		OK	存在せず
	ロック解除	編集中のテスト仕様書を選択した場合、ロック解除ボタンが有効になること。 ※編集中でない場合、ロック解除ボタンは有効にならないこと		未実行	存在せず

6.2.10. 実行結果の更新日、更新者で検索する

実行結果列の最新の更新日、更新者の情報を表示できます。また、この更新日、更新者でフィルタリングすることができます。

※この情報を表示するには、テスト実行画面でカラムの表示設定から実行結果情報列を選択してください。

実行結果情報・フィルターの表示例



6.3. テストの予定を管理する

CATはテスト実施の予定数と、課題の予定数を設定し、テストプロジェクトの予実管理を行えます。

テストの予定はテスト仕様書単位、テストケースもしくは工程単位で立てることができ、予定を立てる粒度に合わせてプロジェクト内で利用する予定数を決定できます。

6.3.1. テスト仕様書毎に予定を管理する

テスト仕様書毎に、誰が・いつ・何ケース実行するのか、という予定を管理できます。

テスト予定の入力、管理の仕方については、[テスト予定入力](#)を参照ください。

6.3.2. テストケース毎に予定を管理する

テストケース毎に、テスト実行予定を管理する方法を説明します。

シナリオテストや受入れテスト等、ケース毎の規模が大きい場合に適した予定の管理方法です。

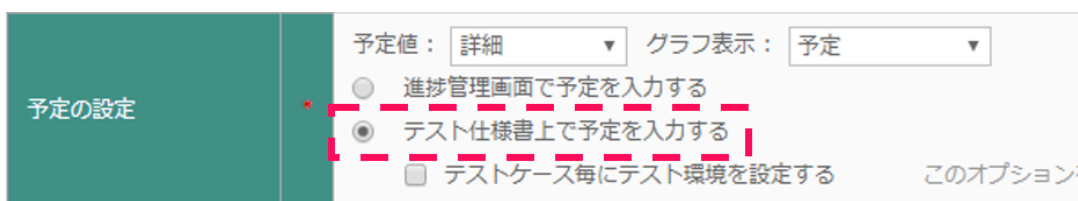
テストケース毎に予定を入力する機能を有効化する

プロジェクト内でケース毎に予定入力する設定に切り替えます。

※設定を「テスト仕様書上で予定を管理する」に切り替える際にテスト仕様書毎に予定を設定している場合、データが削除されるのでご注意ください。

設定は次の画面から行えます。

画面：プロジェクトトップ>プロジェクト設定>プロジェクトの基本設定



有効化した場合、以下の箇所の表示が変更されます。

[テスト実行画面 / 編集画面](#)

テスト実行画面 / 編集画面に「担当者列」「予定列」「必要時間」が追加されます。

■テスト実行画面

期待される結果	Result1	Result1	Result1	Result2	Result2 (R
テスト仕様書一覧が表示されない	未実行 ファイル 障害報告	SHIFT US ER	2019/06/ 14	15	未実行 ファイル 障害報告
工程として以下を用意する。 ・【工程S1】期間が2か月以内で 本日が工程の期間内である工程 ・【工程S2】期間が2か月以内で 本日が終了日を過ぎている工程 ・【工程L1】期間が2か月より長 く、本日が工程の期間内である工 程 ・【工程L2】期間が2か月より長 く、本日が終了日を過ぎている工 程	未実行 ファイル 障害報告	SHIFT US ER	2019/06/ 14	15	--未割当-- ファイル 障害報告
テスト仕様書として以下を用意す る。 ・【仕様書0】全結果に "-" が入 力されている ・【仕様書1】結果欄が1列	未実行	SHIFT US ER	2019/06/ 14	15	--未割当--

■ケース編集画面

期待される結果	Result1	Result1	Result1	Result1	Result2
テスト仕様書一覧が表示されない	未実行	SHIFT USER	2019/ 06/14	15	未実行
工程として以下を用意する。 ・【工程S1】期間が2か月以内 で本日が工程の期間内である工 程 ・【工程S2】期間が2か月以内 で本日が終了日を過ぎている工 程 ・【工程L1】期間が2か月より 長く、本日が工程の期間内であ る工程 ・【工程L2】期間が2か月より 長く、本日が終了日を過ぎている工程	未実行	SHIFT USER	2019/ 06/14	15	未実行
テスト仕様書として以下を用意 する。 ・【仕様書0】全結果に "-" が 入力されている ・【仕様書1】結果欄が1列	未実行	SHIFT USER	2019/ 06/14	15	未実行

列毎に「担当者」「予定日」「必要時間」を入力すると進捗管理画面、分析画面の以下表示が変更されます。

プロジェクト情報

以下の値がケース毎に入力した予定を参照して表示されます。

サマリー

- 前日までの完了予定数
- 予定進捗率件数)
- 予定進捗率(工数)
- 本日の進捗

テスト状況

- 予実差異

全体進捗画面

以下の値がケース毎に入力した予定を参照して表示されます。

進捗グラフ

- 予定線

進捗テーブル

- ケースベース
 - 累計 予定
 - 累計 予実差異
 - 累計 残予定
 - 当日 予定
 - 当日 予実差異
 - 当日 進捗率
- 工数ベース
 - 累計 残り必要工数 (H)
 - 累計 進捗率
 - 当日 進捗率

詳細進捗画面

- 「テスト予定入力」のボタンがグレーアウトになり、仕様書毎の予定が入力不可になります。
 - 進捗テーブルの以下の値がケース毎に入力した値を参照します。
 - 担当者・監査担当者
 - 未予定数
 - 予定進捗率
 - 当日進捗率
 - 右ペインの日ごとの予定値
 - メンバー 実績／予定 タブの「予定工数（人数）」に切り替えた際の右ペインの日ごとの予定値
- ※詳細進捗テーブルカラムの必要時間が非表示になります。

分析：バーンダウンチャート

以下の値がケース毎に入力した値を参照し表示されます。

バーンダウンチャート

- テスト - 予定
- テスト - 実績

ユーザ別テスト詳細

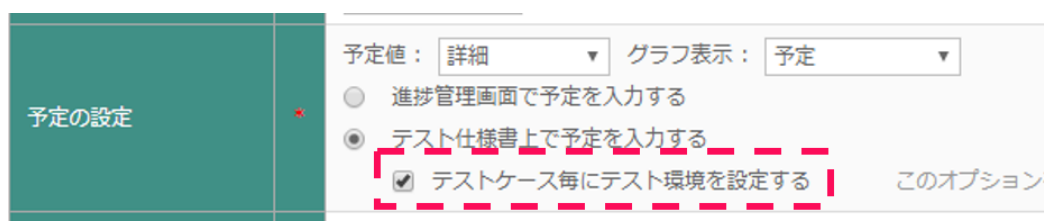
- 総見積工数
- 残見積工数
- 実作業工数
- 残実行日
- 進捗率

テストケース毎にテスト環境を設定する

テストケース毎に利用するテスト環境を登録することができ、どのテスト環境で、どのテストが実行されるか一目で把握できます。

プロジェクト内でテストケース毎にテスト環境を登録する設定に切り替えると利用できます。

画面：プロジェクトトップ>プロジェクト設定>プロジェクトの基本設定



有効化した場合、以下の箇所の表示が変更されます。

テスト実行画面 / 編集画面

テスト実行画面 / 編集画面に「テスト環境」が追加されます。

■テスト実行画面

期待される結果	Result1	Result1	Result1	Result1	Result1	Result2	Result2
テスト仕様書一覧が表示されない	未実行	SHIFT USER	2019/06/14	15	テストサーバ1	未実行	--未割当--
ファイル					ファイル		
報告報告					報告報告		
工程として以下を用意する。 ・【工程S1】期間が2か月以内で本日が工程の期間内である工程 ・【工程S2】期間が2か月以内で本日が終了日を過ぎている工程 ・【工程L1】期間が2か月より長く、本日が工程の期間内である工程 ・【工程L2】期間が2か月より長く、本日が終了日を過ぎている工程	未実行	SHIFT USER	2019/06/14	15	テストサーバ1	未実行	--未割当--
ファイル					ファイル		
報告報告					報告報告		
テスト仕様書として以下を用意する。 ・【仕様書0】全結果に“-”が入力されている	未実行	SHIFT USER	2019/06/14	15	テストサーバ1	未実行	--未割当--
ファイル					ファイル		
報告報告					報告報告		

■ケース編集画面

期待される結果	Result1	Result1	Result1	Result1	Result1	Result2	Result2
テスト仕様書一覧が表示されない	未実行	SHIFT USER	2019/06/14	15	テストサーバ1	未実行	--未割当--
ファイル					ファイル		
報告報告					報告報告		
工程として以下を用意する。 ・【工程S1】期間が2か月以内で本日が工程の期間内である工程 ・【工程S2】期間が2か月以内で本日が終了日を過ぎている工程 ・【工程L1】期間が2か月より長く、本日が工程の期間内である工程 ・【工程L2】期間が2か月より長く、本日が終了日を過ぎている工程	未実行	SHIFT USER	2019/06/14	15	テストサーバ1	未実行	--未割当--
ファイル					ファイル		
報告報告					報告報告		
テスト仕様書として以下を用意する。 ・【仕様書0】全結果に“-”が入力されている ・【仕様書1】結果欄が1列	未実行	SHIFT USER	2019/06/14	15	テストサーバ1	未実行	--未割当--
ファイル					ファイル		
報告報告					報告報告		

テストケース毎に「予定日」と「テスト環境」を登録すると進捗管理画面 > 詳細進捗画面 > テスト環境 実績／予定 タブでテスト環境の利用状況を把握することができます。

カレンダー上で予定・実績ケース数にマウスオーバーすると該当のテスト仕様書名が表示されます。

詳細進捗 テスト環境 実績／予定 画面

表示設定		CSVダウンロード	非稼働日入力	テスト予定
テスト仕様書 実績／予定	テスト環境 実績／予定	メンバー 実績／予定		
ID ↑	テスト環境	ケース数	残ケース数	進捗率
10...	テストサーバ1	146	146	0%
10...	テストサーバ2	125	125	0%
10...	テストサーバ3	153	153	0%

テストケース毎に予定日・担当者・必要工数・テスト環境を入力する

テストケースの予定日・担当者・必要工数・テスト環境はテスト管理画面から入力、Excel・アップロードをサポートしています。

テスト予定・担当者はテスト実行画面またはケース編集画面から入力が可能です。

■テスト実行画面

期待される結果	Result1	Result1 (担当者)	Result1 (予定日)
他の画面（実行管理）に遷移しても工程選択プルダウンの情報が維持されること	未実行	sh_坂本	2018/12/03
F5キーやブラウザの更新ボタンを押した際に工程選択プルダウンの情報が維持されること	未実行	sh_中沢	
他の画面（実行管理）に遷移しても工程選択プルダウンの情報が維持されること	未実行	shy_customer	

■テスト編集画面

期待される結果	Result1	Result1 (担当者)	Result1 (予定日)
他の画面（実行管理）に遷移しても工程選択プルダウンの情報が維持されること	未実行	sh_坂本	2018/12/03
F5キーやブラウザの更新ボタンを押した際に工程選択プルダウンの情報が維持されること	未実行	shy_customer	
他の画面（実行管理）に遷移しても工程選択プルダウンの情報が維持されること	未実行	sh_坂本	

テスト仕様書をアップロード時にヘッダーに指定する文字列について

Excel・csvのテスト仕様書を取り込む際、ヘッダーに以下のように記載するとそれぞれの列タイプとして設定し、取り込むことが可能です。

設定する文字	アップロード時に設定されるタイプ
{実行列名} (担当者)*3	担当者
{実行列名} (予定日)*4	予定日
{実行列名} (必要時間[分])*5	必要時間[分]
{実行列名} (テスト環境)*6	テスト環境

例) 実行列のヘッダー名が「Result1」の場合の担当者列のショートカット

Result1 (担当者)*3

Excelのテスト仕様書と取り込み後のイメージ

G	H	I	J	K	L
Result1*	Result1 (担当者)*3	Result1 (予定日)*4	Result1 (必要時間[分])*5	Result1 (テスト環境)*6	Result2*
未実行	SHIFT USER	2019/06/ 14	15	テスト サーバ1	未実行



Result1	Result1	Result1	Result1	Result1	Result2	Result2
未実行 [未実行ボタン] [ファイル] [障害報告]	SHIFT USER	2019/0 6/14	15	テスト サーバ1	未実行 [未実行ボタン] [ファイル] [障害報告]	--未割 当--
未実行	SHIFT USER	2019/0 6/14	15	テスト サーバ1	未実行	--未割 当--

6.3.3. 工程毎に予定を管理する

工程単位で、いつ・何ケース実行するのか、という予定を管理できます。

テストケースを登録する前から予定を立てられるため、テスト設計の進捗管理としても利用できます。

ケース数の規模が見積もられており、テストケースが徐々に登録されていく状況に適した予定の管理方法です。

テスト予定の入力、管理の仕方については、[テスト計画値入力](#)を参照ください。

7. 課題管理

課題管理では、ソフトウェア開発中に発生した課題(障害・問合せ・要望等)を一元管理し、チーム内で共有して課題の解決に取り組みます。

プロジェクトを選択後、上部メニューの「課題管理」のリンクを選択して、課題管理のトップ画面を表示してください。

課題管理トップ画面



フィルター	サマリー	ID ↓	ケースID	種別	タイトル	担当者	ステータス	重要度	更新時間
フィルター保存		<input type="checkbox"/> PIM171-633	1 件	要望	登録ボタン押下時		新規	Normal	2018/12/21 13:38
システムフィルター		<input type="checkbox"/> PIM171-632	1 件	不具合	ログインできない	開発 中沢	切り分け完了	Normal	2018/12/27 19:54
オープン中の課題 52		<input type="checkbox"/> PIM171-631		不具合	サーバーエラーのメッセージが表示されました。	開発 中沢	切り分け完了	Normal	2018/12/05 20:05
すべての課題 372		<input type="checkbox"/> PIM171-624	1 件	不具合	部署の一覧に、部署名ではなくIDが直接表示さ...	開発 水守	切り分け完了	Normal	2018/12/14 19:45
マイフィルター		<input type="checkbox"/> PIM171-389		不具合	when change status to "Under process" Aft...		差し戻し	Normal	2018/01/19 10:51
重要度が高い不具合一覧		<input type="checkbox"/> PIM171-388		不具合	Member table can be empty for member as...		再確認中	Normal	2014/06/13 22:29
		<input type="checkbox"/> PIM171-382		要望	詳細進捗画面上の課題は、発生日時から現在の...	開発 中沢	切り分け完了	Normal	2018/03/09 10:52
		<input type="checkbox"/> PIM171-376		要望	テスト課題の参照ページから一覧に戻る方法が...	開発 後藤	再確認中	Minor	2018/08/01 13:30

この画面より課題の新規登録や参照、編集、削除等の操作を行えます。また、フィルター機能を利用し、登録された課題を絞り込んで一覧できます。

障害を外部BTSで管理し、CATと連動させることも可能です。詳しくは、[外部BTSの設定](#)を参照ください。

7.1. 課題を登録する

課題を登録する手順を説明します。

1. ヘッダー上にある「課題報告」ボタンを押します。



2. 課題情報を入力し、登録ボタンを押します。

課題とテストケースの紐付けについて

テスト実行画面以外から登録された課題は、テストケースとは自動的に紐付きません。

テストケースと結び付けたい場合は、テスト実行画面から課題を登録するか、手動でテストケースと課題の関連付けを設定します。

詳しくは以下の手順を参照してください。

- [テスト実行中に障害を登録する](#)
- [既存の障害をテストケースに紐づける](#)

7.2. 課題を参照する

登録した課題の内容を、参照する手順を説明します。

1. 課題管理画面で参照したい課題のタイトルをクリックします。

CAT

COMPUTER AIDED TEST

プロジェクト▼

課題登録

SHIFT_USER

プロジェクト情報

スコープ管理

スケジュール管理

テスト管理

課題管理

進捗管理▼

分析

プロジェクト管理サービスの開発

開発コード：PIMENTv1

株式会社SHIFT

デモ用

課題一覧

ダウンロード▼

概要・コメント検索

フィルター

サマリー

フィルター保存

システムフィルター

オープン中の課題

すべての課題

ID ↓

PIM171-631

PIM171-624

1 件

PIM171-389

PIM171-388

PIM171-382

ケースID

1 件

種別

不具合

不具合

不具合

不具合

要望

タイトル

サーバーエラーのメッセージが表示されました。

部署の一覧に、部署名ではなくIDが直接表示さ...

when change status to "Under process" Aft...

Member table can be empty for member as...

詳細進捗画面上の課題は、発生日時から現在の...

担当者

開発 中沢

開発 水守

開発 中沢

ステータス

切り分け完了

切り分け完了

差し戻し

再確認中

切り分け完了

重要度

Normal

Normal

Normal

Normal

Normal

更新時間

2018/12/05 20:05

2018/12/14 19:45

2018/01/19 10:51

2014/06/13 22:29

2018/03/09 10:52

※Ctrl+クリック(ブラウザのショートカットキー)でタイトルを選択すると別タブで課題を開きます。

2. 詳細な課題の情報を確認できます。

TESTP-16：テスト課題の参照ページから一覧に戻る方法が分かりづらい

戻る

コメント

編集

共有▼

その他▼

関係者

担当者 : sh_岡

更新者 : sh_坂本

2019/06/07 11:31

報告者 : sh_坂本

2019/04/15 17:29

タイムトラッキング

作業ログ

開始予定日 : 2019/04/15

見積工数 :

施工工数 : 0.00h

作業工数 : 0.00h

☒ サブタスクを含める

シェア

設定

sh_坂本

sh_岡

工程 : UT

種別 : 要望

ステータス : 新規

優先度 : P2

重要度 : Trivial

スコープ : YS4166-4:進捗管理画面の実装

関連課題 : ● TESTP-42:テスト課題の新規登録時、初期状態から変更があったときにブラウザの戻るボタンを押しても確認ダイアログが出ない

追加

関連テストケース : 白テスト項目数 3

白課題管理機能_機能テスト 3

白Sheet1 3

添付ファイル :

ファイルを選択

サブタスク

サブタスク追加

ID	種別	タイトル	担当者	ステータス	操作
1	TESTP-66	サブタスク	参照ページのUI改善案作成	新規	⋮

活動

コメント

履歴

作業ログ

コメント

画面項目

項目	説明
課題の編集	課題の編集に加え、課題へコメントできます。 詳しくは 課題を編集する を参照してください。
共有>URLコピー	課題のURLを共有する際はこのメニューでクリップボードにコピーします。(ブラウザに表示されたURLは移動後、無効になります。)
共有>メール送信	本課題をメールで通知する際、ここから共有します。
その他> 移動・複製	その他ボタンのドロップダウンリストから、参照中の課題の移動(別工程・別プロジェクト)・複製ができます。
前へ・次へ	課題一覧から表示した場合に表示されます。 ショートカットキーCtrl + Shift + ← もしくは →でも移動できます。
シェア	課題が更新された際、シェアのメンバーに通知できます。 課題のシェア設定を行う にて詳しく説明します。
関連課題の追加	課題に関連する課題を追加できます。 課題に関連課題を追加する にて詳しく説明します。
関連テストケース	テスト実行画面から課題を起票もしくは課題の紐付けをすると、紐付いているテストケースが表示されます。
ファイルの添付	ファイルを選択ボタン押すと課題にファイルを添付できます。 クリップボードに画像のコピーがある場合、Ctrl+vで直接添付ができます。
サブタスク追加	課題に関連するサブタスクを追加できます。 課題にサブタスクを追加する にて詳しく説明します。
コメント	コメントボタンを押すと課題にコメントをできます。 課題にコメントを追加する にて詳しく説明します。
履歴	課題の変更履歴を確認できます。 課題の変更履歴を確認する にて詳しく説明します。

7.2.1. 課題のシェア設定を行う

課題の登録、編集、削除時、メールを利用してその変更を通知できます。当項では変更の通知設定について説明します。

はじめにメール通知の設定・通知先・タイミングを記載します。

メールが送信される設定

プロジェクト設定の「メール設定」項目の「障害メールを利用する」がオンになっている。

設定は[プロジェクト詳細情報の設定](#)を参照してください。

メールの通知先

担当者・報告者となっている編集した本人以外のメンバー、シェアに登録されているメンバー

メールが送信されるタイミング

- 課題編集画面・一括変更機能で課題を変更した際
- 課題参照画面でコメントを記載した際

プロジェクト設定の設定箇所

メール設定

☒ 障害メールを利用する ☒ テスト課題メールを利用する

送信タイミング: ☒ 手動で送信する ☒ 自動で送信する

詳細設定

言語:

集計対象: ☒ 保留 ☒ 対象外

表示する実行日数: 1~365の半角数字

※レポートメールは全てHTML形式で送信されます。

メールフォーマット

チーム情報設定

☒ 終了日にメンバーのステータスを自動で無効化する

検索...

メンバーの選択

No.	ユーザ名	部署	役割	ステータス	終了日	レポート	メール設定	テスト課題	編集	削除
1	Riku Shomura	Software Dev. Dep. in Tokyo		無効	-	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	編集	削除
2	Shomura(顧客)			無効	-	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	編集	削除

通常、メールの通知は報告者・担当者のみですが、次の方法でシェアに登録すると、今後の変更通知が必要な課題について、都度メールを受信できます。

7.2.2. 課題の共有先追加

参照画面から共有先を追加する方法について説明します。

- シェアの設定ボタンを押します。 ※プロジェクトの設定内の「障害メール利用する」がオフの場合、設定ボタンは無効となり、

操作することができません。

SAK15-5: カスタムBTS削除時に全体進捗テーブルの障害数で合計が不一致になる

関係者

担当者: SHIFT USER

更新者: SHIFT USER
2017/08/31 16:04

報告者: SHIFT USER
2017/07/28 10:51

タイムトラッキング

開始予定日: 2017/07/28

見積工数: 8.00h

残工数: 0.00h

実績: 8.00h

シェア

工程: sakte

種別: バグ

ステータス:

優先度: P3

重要度: Normal

機能: 進捗管理

操作手順: 1. 課題登録を押下
2. 必須項目を入力

関連課題:

関連テストケース: 白テスト項目数 16

【Pattern1】 04.Testing specification(画面系_詳細進捗) 14

Sheet1 14

【Pattern1】 06.Testing specification(機能系_予定入力) 2

添付ファイル:

- 共有先を設定し保存ボタンを押して下さい。共有先はプロジェクトメンバーから選択できます。課題が登録されたり編集された際に、登録者あるいは編集者を除く共有先へメールが送信されます。

また、プロジェクト設定のチーム設定でメンバーごとに障害メールを設定すると、全ての課題の起票時にシェアに入ることができます。

プロジェクト設定のチーム情報>メール設定の箇所

メール設定

☒ 共通メールを利用する☒ テスト課題メールを利用する

送信タイミング: ☒ 手動で送信する ☐ 自動で送信する

詳細設定

言語:

集計対象: ☒ 保留 ☐ 対象外

表示する実行日数: 1~365の半角数字

※レポートメールは全てHTML形式で送信されます。

メールフォーマット

チーム情報設定

☐ 終了日にメンバーのステータスを自動で無効化する

検索...

メンバーの選択

No.	ユーザ名	部署	役割	ステータス	終了日	メール設定		編集	削除
						レポート	障害		
1	Riku Shomura	Software Dev. Dep. in Tokyo		無効	-	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>
2	Shomura(顧客)			無効	-	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>

7.2.3. メッセージを送信する

課題管理機能では、メンバーと課題の解決に取り組む場合、「共有」機能を利用してメッセージを送信できます。本項では参照画面上でメンバーにメッセージを送信する方法について説明します。

1. 参照画面から共有ボタン>メール送信を押します。

プロジェクト情報 テスト管理 課題管理 進捗管理 分析

Sakamoto_test SampleAddNewFunction 株式会社Shift

BD415-5: 初期表示不備

戻る コメント 編集 共有 ▼ その他 ▼ < 前へ 次へ > 2 / 5

関係者

担当者: SHIFT USER

更新者: SHIFT USER

2017/11/08 18:11

報告者: SHIFT USER

ID+タイトルコピー

URLコピー

メール送信

新規

重要度: Normal

種別: 問い合わせ

優先度: P3

開発担当者: SHIFT USER

2. 共有先とメッセージを入力し、送信するボタンを押して下さい。

優先度: P3 (中) 重要度: Normal

メッセージの送信

共有先

メッセージ

7.2.4. 課題に関連課題を追加する

1. 関連課題の追加ボタンを押します。

SAK15-5: カスタムBTS削除時に全体進捗テーブルの障害数で合計が不一致になる

戻る コメント 編集 共有 ▼ その他 ▼

関係者

担当者: SHIFT USER

更新者: SHIFT USER

2017/08/31 16:04

報告者: SHIFT USER

2017/07/28 10:51

タイムトラッキング

作業ログ

開始予定日: 2017/07/28

見積工数: 8.00h

残工数: 0.00h

実績: 8.00h

シェア

設定

工程: sakte

種別: バグ

ステータス: 新規

優先度: P3

重要度: Normal

機能: 進捗管理

操作手順: 1. 課題登録を押下
2. 必須項目を入力

関連課題:

関連テストケース: 16

【Pattern1】 04.Testing specification(画面系_詳細進捗)

14

【Pattern1】 06.Testing specification(機能系_予定入力)

2

添付ファイル:

2. プロジェクトと工程を入力し、関連課題を選択してください。最大20個の課題を関連付けることができます。選択が終わったら登録ボタンを押して下さい。



7.2.5. 関連テストケースを管理する

1. 関連テストケースについて テスト仕様書 - シート名 - ケースIDで表示されています。

各項目の + を押すことで下層の項目を展開できます。

各項目は以下の通りです。

関連テストケース	テストケースのカウント方法	取り消し線が引かれる条件
テスト仕様書	仕様書配下のケース数をカウントします。	ケース配下のシートに全て取り消し線が引かれた場合
シート	シート配下のケース数をカウントします。	シート配下のケースIDに全て取り消し線が引かれた場合
ケースID	ケースにある実行列数をカウントします。	ケースにある実行列が全て「OK」「修正済」「対象外」のいずれかになった場合

関連テストケース : 白テスト項目数		16
白【Pattern1】 04.Testing specification(画面系_詳細進捗)		14
+ Sheet1		14
白【Pattern1】 06.Testing specification(機能系_予定入力)		2
白 Sheet1		2
No. 1		1/1
No. 2		1/1

2. 関連テストケースの削除方法

各項目をマウスホバーすると項目右側にxが表示され、押すと削除ができます。

関連テストケース : 白テスト項目数		16
白【Pattern1】 04.Testing specification(画面系_詳細進捗)	✕	14
+ Sheet1		14
白【Pattern1】 06.Testing specification(機能系_予定入力)		2

7.2.6. 課題にコメントを追加する

課題に対してコメントを追加する方法は以下の2通りがあります。

- 編集画面からコメントを行う
- 参照画面からコメントを行う

参照画面からコメントする場合、コメントにファイル添付もできます。

編集画面からコメントを行う

編集画面からのコメントは他の項目の入力と同様に行うことができますので[編集ポップアップから編集する](#)を参照して下さい。

参照画面からコメントを行う

1. コメントボタンを押します。

2. コメントを入力し登録するボタンを押します。

ショートカットキーCtrl + Enterでもコメントを登録できます。

ファイル選択ボタンを押すとコメントに対してファイルを添付できます。

登録後もファイルを添付できます。また、コメントの編集・削除も可能です。

7.2.7. 作業後に作業時間およびコメントを残す

作業ログ機能を利用すると、作業時の実績(作業開始日・作業時間)及びコメントを残すことができます。この情報を入力すると、分析画面の障害実績工数が表示されます。

1. 作業ログを入力する。

参照画面にて作業ログボタンを押してください

作業開始日、作業時間、コメントを入力ください

※残工数を入力する場合はチェックを入れて、数値を入力ください。

※サブタスクがある課題の場合は「サブタスクを含める」にチェックを外して入力ください、

2. 作業ログを確認する

参照画面下部の活動にある「作業ログ」タブから確認できます。

※「サブタスクを含める」にチェックがある場合、サブタスクの作業ログも表示されます。

7.2.8. 課題の変更履歴を確認する

履歴タブを押すと、課題の変更履歴を確認できます。

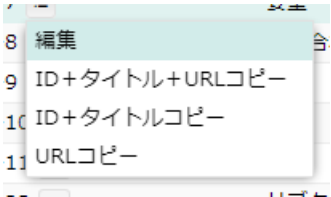
7.2.9. 課題一覧を確認する

課題一覧画面には登録されている課題の一覧が表示されます。各列上でフィルター機能を利用することで、必要な情報を絞り込んで表示できます。また、画面上部のボタンより、課題に対する各種操作を行えます。

本節では、課題一覧上の表示項目と各種操作ボタンについて説明します。

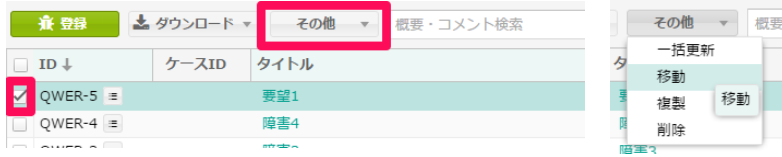
課題一覧

課題一覧		登録	ダウンロード	概要・コメント検索				
フィルター	サマリー	ID ↓	ケースID	タイトル	担当者	ステータス	重要度	更新時間
フィルター保存		<input type="checkbox"/> QWER-5		要望1		新規	Trivial	2015/08/17 1...
システムフィルター		<input type="checkbox"/> QWER-4		障害4		修正完了	Critical	2015/11/30 1...
オープン中の課題 4		<input type="checkbox"/> QWER-3		障害3		新規	Normal	2015/08/17 1...
すべての課題 4		<input type="checkbox"/> QWER-1		障害1		新規	Normal	2015/08/17 1...

項目	説明
ID	課題のIDを表示します。IDナンバーの右横の編集ボタンをクリックすると「課題の編集」ボタン、「ID+タイトルコピー」ボタン、「URLコピー」ボタンが表示されます。 
ケースID	課題と関連しているテストケースの数を表示します。 テストケースが紐付いている場合、マウスホバーで連携しているケースのIDが表示されます。クリックすると実行画面に遷移します。
タイトル	課題のタイトルです。クリックすると課題の参照画面に遷移します。
担当者	課題の担当者です。
ステータス	課題のステータスです。
重要度	課題の重要度です。
更新時間	課題の更新時間です。

ボタンの説明

項目	説明
概要・コメント検索	存在する課題のタイトル・概要・コメントを入力された文字列で検索します。 <ul style="list-style-type: none">課題IDで課題の検索が可能です。キーワードを空白で区切ると、AND検索になります。例「オーダー参照 -画面」の様にキーワードの直前に-(半角ハイフン)を入力すると、キーワードを含む課題を検索結果から除外できます。

項目	説明										
ダウンロード	<p>ダウンロードするファイルとフォーマット</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題 課題一覧をCSV形式でダウンロードします。 ダウンロード可能なフォーマットは以下の2種類です。 <p>全フィールド 工程内の課題種別に紐づく全てのカスタムフィールドを取得します。列の順序は不定です。 ※1</p> <p>現在の表示内容 一覧で表示されているカラム・フィルター範囲を取得します。 Excelでの集計用等、出力列と順序を指定する際に利用します。 オプションで「コメントを最終列に出力する」を選択するとコメントが出力されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題 + テストケース 課題一覧と課題に紐付けられたテストケースをCSV形式でダウンロードします。 ※1 添付ファイル 課題に添付されたファイルをZip形式でダウンロードします。 ※1 <p>※1 「現在の表示行だけダウンロードする」を選択すると、表示行だけダウンロードされます。</p>										
その他	 <p>課題を選択時に表示されます。選択した課題に対して一括更新、移動、複製、削除ができます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一括更新</td><td>複数の課題を一括で更新します。詳しくは「障害を編集する」の「一括編集する」を参照してください。</td></tr> <tr> <td>移動</td><td>課題を他の工程やプロジェクトに移動できます。詳しくは、表下の項目「課題の移動」を参照してください。</td></tr> <tr> <td>複製</td><td>課題をプロジェクト内で複製できます。関連テストケース、関連課題、添付ファイル、コメント、履歴はコピーされません。</td></tr> <tr> <td>削除</td><td>課題をプロジェクト内で削除できます。</td></tr> </tbody> </table>	項目	説明	一括更新	複数の課題を一括で更新します。詳しくは「障害を編集する」の「一括編集する」を参照してください。	移動	課題を他の工程やプロジェクトに移動できます。詳しくは、表下の項目「課題の移動」を参照してください。	複製	課題をプロジェクト内で複製できます。関連テストケース、関連課題、添付ファイル、コメント、履歴はコピーされません。	削除	課題をプロジェクト内で削除できます。
項目	説明										
一括更新	複数の課題を一括で更新します。詳しくは「障害を編集する」の「一括編集する」を参照してください。										
移動	課題を他の工程やプロジェクトに移動できます。詳しくは、表下の項目「課題の移動」を参照してください。										
複製	課題をプロジェクト内で複製できます。関連テストケース、関連課題、添付ファイル、コメント、履歴はコピーされません。										
削除	課題をプロジェクト内で削除できます。										

ボタンの説明

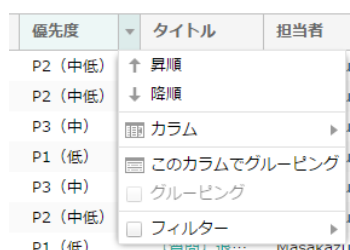
項目	説明
カラム	ソート、グルーピング、カラムの表示/非表示、フィルターの機能があります。詳しくは、表下の項目、カラムを参照してください。

カラムの表示設定

課題一覧は、各カラムの表示設定によって様々な条件で表示できます。また、これらの表示設定は、フィルター保存ボタンにより保存し、マイフィルターとして自由に呼び出すことができます。

※フィルターの保存については、[課題一覧をマイフィルターで管理する](#)を参照してください。

カラムによる課題一覧の表示設定の変更方法を説明します。カラムは、幅を調整できます。また、カラムにマウスオーバーするとカラム右端に下三角ボタンが現れ、押すとドロップダウン上に表示設定ができます。



各操作

項目	説明
ソート	課題を昇順/降順でソートします。
カラム	各カラムの表示/非表示を選択します。
グルーピング	課題を要素によってグルーピングします。グルーピングは、チェックボックスを非チェックにすることで解除できます。
フィルター	課題の要素によって表示/非表示を選択します。 テキスト検索の場合、オーダー参照 -画面 の様に-(半角ハイフン)に続けて語句を入力すると検索結果からその語句が含む物を除外できます。 空白（スペースキー）を入力すると空白検索ができ、 -(半角ハイフン) 空白（スペースキー）を入力すると空白以外が検索できます。

7.2.10. 課題一覧をマイフィルターで管理する

本節では、課題一覧ペインの表示設定を保存し、自由に呼び出すことができるマイフィルター機能を説明します。

障害トップ画面のフィルターペインには、システムフィルターとマイフィルターが表示されます。



システムフィルター

以下の2つのフィルターが用意されています。メニューをクリックすると、課題一覧にフィルターを適用できます。

オープン中の課題

ステータスがオープン中の課題のみが課題一覧に表示されます。

すべての課題

課題管理に登録されているすべての課題が表示されます。

マイフィルター

マイフィルター機能では、自分自身やメンバーが作成したオリジナルのフィルターを表示し、利用できます。以下にマイフィルターの作成および編集方法を説明します。

フィルターの作成方法

1. フィルターの保存ボタンを押してください

保存したい表示設定を課題一覧で行い、画面左上部の「フィルター保存」ボタンを押してください。現在の表示設定の状態を保存します。

※現在の表示設定とは、カラム表示/表示時、各カラムのフィルタ・ソート、カラム幅、カラム表示順序、グループ化の状態を指します。



2. フィルター設定の入力

ポップアップ画面が現れるので、保存するフィルター名、共有設定、フィルター概要を入力し、保存ボタンを押してください。共有設定によりフィルターの共有範囲を限定できます。

フィルターの保存
現在のフィルターを保存します。フィルター名を入力し、共有範囲を選択してください。

名前

共有範囲

ユーザー

- ☒ 自分のみ
- ☐ 次の権限
- ☐ 全ユーザー

管理者 (ユーザー側) 協力会社 顧客 社員メンバー

プロジェクト

- ☒ 現在のプロジェクトのみ
- ☐ 次のプロジェクト
- ☐ 全てのプロジェクト

Slack

概要

保存 キャンセル

フィルターの共有設定

設定	説明
名前	任意のフィルター名を入力してください。
共有範囲(ユーザ)	フィルターを利用できるユーザを選択してください。 ※この機能の利用には管理者ユーザ権限が必要です。他の権限ユーザは共有フィルターを作成することはできません。
共有範囲(プロジェクト)	指定した範囲内でフィルターを利用できます。
概要	任意でフィルターの概要を記入してください。

3. 入力内容に問題なければ保存ボタンを押してください。作成されたフィルターがマイフィルター項目に表示されます。

フィルターの管理と編集方法

マイフィルターのリストにある歯車マークを押すと、マイフィルターの管理画面が開き、ここから各フィルター名を選択するとマイフィルターの編集ができます。



マイフィルターの編集では、以下の3つの操作ができます。

- フィルター一覧に表示するフィルターの選択
- 個人で作成したフィルターの削除（社員（管理者）の場合は、全てのフィルター）

- フィルターの共有先の変更

※設定変更した場合、「保存」ボタンをクリックすると設定が反映されます。

マイフィルターの表示設定

マイフィルターの表示設定を行います。利用するフィルターを選択し、「保存」ボタンを押してください。

🔍 検索... ✕

ID	タイプ	フィルター名	概要	状態	削除
165	個人フィルター	自分が担当している課題一覧		有効 <input type="checkbox"/>	削除
197	個人フィルター	優先度が高い課題一覧		有効 <input type="checkbox"/>	削除
198	個人フィルター	ステータスが新規の課題一覧		有効 <input type="checkbox"/>	削除

保存

キャンセル

フィルターの編集項目

項目	説明
並び替えアイコン	<p>4本線のアイコンをドラッグ&ドロップさせると、マイフィルターの表示順序を変更できます。</p> 
タイプ	<p>個人フィルター：非共有のフィルターです。</p> <p>共有フィルター：他のメンバーと共有しているフィルターです。</p>
フィルター名	フィルター名を選択するとそのフィルターの編集ページに遷移します。
概要	フィルターの概要が表示されます。
状態	フィルターの表示/非表示を選択できます。共有されたフィルターを利用したい場合は、状態を「有効」にし、保存ボタンを押してください。
削除	フィルターを削除します。共有フィルターの場合、他のメンバーもそのフィルターを利用できなくなります。

マイフィルターのURL

マイフィルター毎に専用のURLが表示されます。アドレスバーにマイフィルターのURLを入力すると、マイフィルターを選択した状態の課題一覧ページに移動できます。

2090.4.16.6テストプロジェクト(課題) × +

← → ↺ ① 保護されていない通信 | development.softwaretest2.jp/2090/3409/btsManagement/btsTop/view#list/454

CAT COMPUTER AIDED TEST プロジェクト ▾ 課題登録

プロジェクト情報 スコープ管理 スケジュール管理 テスト管理 課題管理 進捗管理 ▾ 分析

課題一覧

ダウンロード ▾ 概要・コメント検索 🔍

フィルター	サマリー	ID ↓	ケースID	種別	親課題	タイトル	担当者	ステータス
フィルター保存		<input type="checkbox"/> TESTP-90		バグ		チケット参照ページの表示…	sh_宇賀治	新規
システムフィルター		<input type="checkbox"/> TESTP-89		バグ		[トップページ]リンクをク…	sh_宇賀治	新規
オープン中の課題 22		<input type="checkbox"/> TESTP-88		バグ		進捗管理_全体進捗_テスト…	sh_宇賀治	新規
すべての課題 22		<input type="checkbox"/> TESTP-87		バグ		[IE環境で実施] テスト実行…	sh_宇賀治	新規
マイフィルター ⚙		<input type="checkbox"/> TESTP-86		バグ		[Change type] サブタスク…	sh_宇賀治	新規
不具合確認用		<input type="checkbox"/> TESTP-85		バグ		[表示不具合]種別と表示フ…	sh_坂本	新規
不具合修正完了フィルタ		<input type="checkbox"/> TESTP-84		バグ		課題の書式設定の表示が不正	sh_坂本	新規
		<input type="checkbox"/> TESTP-83		バグ		バーンダウンチャートの残…	sh_坂本	新規
		<input type="checkbox"/> TESTP-82		バグ		種別と表示フィールドの設…	sh_坂本	新規

マイフィルターの書き込み保存について

マイフィルターのリスト上にカーソルをホバーすると、タイトル横に書き込み保存ボタンが表示されます。このボタンを押すと、確認画面が表示され「OK」をクリックすると現在適用しているフィルターの内容で書き込みが保存されます。

7.2.11. 課題一覧のサマリーを表示する

本節では、課題のサマリーの表示方法について説明します。

課題トップ画面の左ペインより、サマリータブをクリックしてください。

CAT COMPUTER AIDED TEST プロジェクト ▾ 課題登録

プロジェクト情報 スコープ管理 スケジュール管理

課題一覧

ダウンロード ▾

フィルター	サマリー	ID ↓
フィルター保存		<input type="checkbox"/> PIM171-60
システムフィルター		<input type="checkbox"/> PIM171-60
オープン中の課題 52		<input type="checkbox"/> PIM171-30
すべての課題 372		<input type="checkbox"/> PIM171-30
		<input type="checkbox"/> PIM171-30
		<input type="checkbox"/> PIM171-30

サマリータブでは、担当者、重要度、優先度、開発担当者の4つの条件を選択し、それぞれのオープン、クローズの課題数を表示できます。また、オープン、クローズの各数字をクリックすることで、該当する課題を課題一覧画面に表示できます。

サマリー		
担当者 ▼		
担当者	オープン	クローズ
未割当	4 100.0%	0 0.0%
Riku Shomura	0 0.0%	0 0.0%
Shomura(顧客)	0 0.0%	0 0.0%
合計	4 100.0%	0 0.0%

※選択中のプロジェクトの課題の設定にて選択していない項目はメニューに表示されません。

7.3. 課題を操作する

課題の各種操作方法を説明します。

7.3.1. 課題を編集する

本節では登録した課題の編集方法を説明します。課題の編集は以下の3通りの方法があります。

編集ポップアップ画面での編集

最も基本的な編集方法です。編集専用のポップアップ画面で編集するため、複数ステータスの編集や概要等に長文を書き込む編集に適しています。

参照画面での編集

編集画面を開くことなく直接参照画面で編集を行えるため、軽微な編集に適しています。

一括編集

複数の障害の項目を同時に同じ変更を行いたい場合に利用します。概要の編集は各障害固有の項目であるため一括編集で編集することはできません。

以下、各節にてそれぞれの編集方法の手順を説明します。

編集ポップアップから編集する

1. 課題編集ポップアップ画面を開きます。

編集ポップアップ画面は以下の方法で開くことができます。

- 参照画面上部の「編集」ボタンをクリック + 参照画面上部の「編集」ボタンをクリックして、編集画面を呼び出してください。

QWER-3 : 障害3

戻る コメント **編集** 共有 その他 ▼ < 前へ 次へ > 3 / 4

関係者

担当者 : -

更新者 : Riku Shomura
2016/09/01 18:15

報告者 : Riku Shomura
2015/08/17 13:51

シェア 設定

Riku Shomura

種別 : 不具合

再現性の有無 : 未確認

環境依存性 : 未確認

優先度 : P3 (中)

機能 : Future2

発生バージョン : VER1.1

関連課題 : ● QWER-1.障害1

追加

添付ファイル : ファイルを選択 0

- 参照画面でeキーを押下
- 障害トップ画面のID列上の機能アイコンから“編集”をクリック + ID列の機能アイコンより、「編集」メニューを選択してください。障害トップ画面より直接編集画面を呼び出すことが可能です。

CAT COMPUTER AIDED TEST プロジェクト ▼ 課題登録 SHIFT_USER

プロジェクト情報 スコープ管理 スケジュール管理 テスト管理 課題管理 進捗管理 ▼ 分析 プロジェクト管理サービスの開発 開発コード : PIMENTV1 株式会社SHIFT デモ用 工程 リリース版

課題一覧

ダウンロード ▼ その他 ▼ 概要・コメント検索

フィルター	サマリー	ID ↓	ケースID	種別	タイトル	担当者	ステータス	重要度	更新時間
フィルター保存		<input checked="" type="checkbox"/> PIM171-631		不具合	サーバーエラーのメッセージが表示されました。	開発 中沢	切り分け完了	Normal	2018/12/05 20:05
		<input type="checkbox"/> PIM171-62		不具合	部署の一覧に、部署名ではなくIDが直接表示さ...	開発 水寺	切り分け完了	Normal	2018/12/14 19:45
システムフィルター		<input type="checkbox"/> PIM171-389	ID + タイトルコピー	不具合	when change status to "Under process" Aft...		差し戻し	Normal	2018/01/19 10:51
オープン中の課題	52	<input type="checkbox"/> PIM171-388	URLコピー	不具合	Member table can be empty for member as...		再確認中	Normal	2014/06/13 22:29
すべての課題	372	<input type="checkbox"/> PIM171-382		要望	詳細進捗画面上の課題は、発生日時から現在の...	開発 中沢	切り分け完了	Normal	2018/03/09 10:52
		<input type="checkbox"/> PIM171-376		要望	テスト課題の参照ページから一覧に戻る方法が...	開発 後藤	再確認中	Minor	2018/08/01 13:30

2. 編集画面が表示されます。更新したい内容を編集し、登録するボタンを押して下さい。

※編集画面ではコメントを入力できます。

課題参照から編集する

1. 編集したい項目をダブルクリックします。編集可能項目はマウスホバーにて背景が黄色になります。非表示になっている項目を編集するには編集画面を開く必要があります。

種別変更時は「課題を移動する」を利用ください。

参照画面からコメント以外の項目を変更してもシェアにメールによる通知は行われません。

コメントを更新すると通知されますので、通知の必要がある場合はコメント機能をご利用ください。

2. 編集を行い、チェックボタンを押下して編集を完了します。

プロジェクト情報 スコープ管理 スケジュール管理 テスト管理 課題管理 進捗管理 分析

プロジェクト管理サービスの開発 開発コード: PIMENTV1 株式会社SHIFT デモ用

PIM171-624: 部署の一覧に、部署名ではなくIDが直接表示されている

戻る コメント 編集 共有 その他 < 前へ 次へ > 4 / 52

関係者
担当者: 開発 水守
更新者: 営業 デモユーザ
2018/12/14 19:45
報告者: 営業 デモユーザ
2018/11/08 14:34

タイムトラッキング
作業ログ
開始予定日: 2018/11/08
見積工数: -

工程: リリース版
再現性の有無: 未確認
ステータス: 切り分け完了
重要度: Normal
環境依存性: 未確認
発生バージョン: 1.2
輸出すべき工程: 外部設計

種類: 不具合
発生環境: iPad Air(7.1.2/non)[OSOS]
優先度: P3 (中)
開発担当者: Dev Mari
機能: 共通
原因分類: コーディングミス

課題参照からステータス、担当者を編集する

参照画面ステータスまたは担当者を変更する際は専用ポップアップが表示され必須フィールドやコメントを同時に入力します。

※必須項目がない場合は必須フィールドの入力欄が表示されません。

プロジェクト情報 スコープ管理 スケジュール管理 テスト管理 課題管理 進捗管理 分析

プロジェクト管理サービスの開発 開発コード: PIMENTV1 株式会社SHIFT デモ用

PIM171-624: 部署の一覧に、部署名ではなくIDが直接表示されている

戻る コメント 編集 共有 その他 < 前へ 次へ > 4 / 52

関係者
担当者: 開発 水守
更新者: 営業 デモユーザ
2018/12/14 19:45
報告者: 営業 デモユーザ
2018/11/08 14:34

タイムトラッキング
作業ログ
開始予定日: 2018/11/08

工程: リリース版
再現性の有無: 未確認
ステータス: 切り分け完了
重要度: Normal
環境依存性: 未確認
発生バージョン: 1.2

種類: 不具合
発生環境: iPad Air(7.1.2/non)[OSOS]
優先度: P3 (中)
開発担当者: Dev Mari
機能: 共通
原因分類: コーディングミス

担当者変更
課題の次の担当者を設定して、更新を押下してください。
担当者: 開発 中沢
コメント
ファイルを選択
更新 キャンセル

ステータス変更
課題の次の担当者及びステータスを設定して、更新を押下してください。
ステータス: 切り分け完了 担当者: 開発 中沢
コメント
ファイルを選択
更新 キャンセル

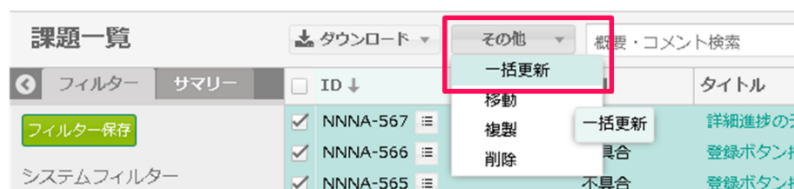
メールの通知機能を設定している場合、各ポップアップから更新した際、担当者・報告者・シェアメンバーにメールが送信されます。(自分以外のメンバーに送信されます。)

一括編集する

1. 編集したい課題のチェックボックスにチェックを入れます。チェックを入れるとその他ボタンが現れます。

フィルター	サマリー	ID ↓	ケースID	種別	タイトル	担当者	ステータス	重要度	更新時間
フィルター保存		<input checked="" type="checkbox"/>	PIM171-631	不具合	サーバーエラーのメッセージが表示されました。	開発 中沢	切り分け完了	Normal	2018/12/05 20:05
		<input checked="" type="checkbox"/>	PIM171-624	1件 不具合	部署の一覧に、部署名ではなくIDが直接表示さ...	開発 水守	切り分け完了	Normal	2018/12/14 19:45
		<input checked="" type="checkbox"/>	PIM171-389	不具合	when change status to "Under process" Aft...		差し戻し	Normal	2018/01/19 10:51
システムフィルター		<input type="checkbox"/>	PIM171-388	不具合	Member table can be empty for member as...		再確認中	Normal	2014/06/13 22:29
オープン中の課題	52	<input type="checkbox"/>	PIM171-382	要望	詳細進捗画面上の課題は、発生日時から現在の...	開発 中沢	切り分け完了	Normal	2018/03/09 10:52
すべての課題	372	<input type="checkbox"/>							

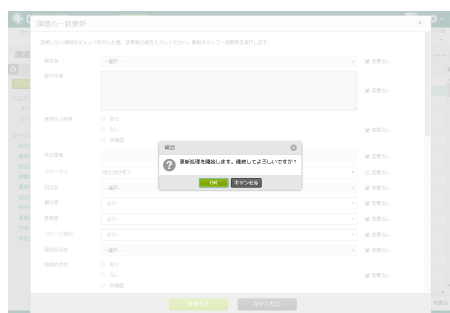
2. その他ボタンのドロップダウンから一括更新ボタンを選択します。



3. 課題の一括更新のポップアップが表示されます。変更したい項目の変更無しのチェックを外し、変更後の値を入力します。

4. 変更したい項目を全て変更し終えたら「更新する」ボタンを押します。

5. 確認ポップアップ画面が現れます。「OK」ボタンを押すと一括更新が完了します。一度OKボタンを押すとこの処理は取り消すことができません。



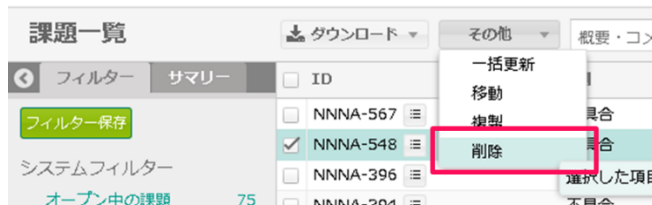
7.3.2. 課題を削除する

課題を削除する手順を説明します。

1. 課題一覧で削除したい課題のチェックボックスをオンにします。ひとつ以上の課題のチェックボックスをオンにすると、「その他」ボタンが表示されます。



2. その他のドロップダウンにある「削除」を押します。



3. 確認画面が表示されます。削除対象の課題に問題なければ「OK」ボタンをクリックしてください。



※サブタスクを持つ課題を削除した場合は課題配下のサブタスクも削除されます。

※一度削除した課題を元に戻すことはできません。

7.3.3. 課題を移動する・種別を変更する

課題は、任意のプロジェクトや工程に移動できます。また、種別(不具合・問い合わせ・要望)の変更や課題の分類(課題・サブタスク)も変更できます。

異なるサービスのプロジェクトには移動できません。

この節では、課題の移動方法、種別の変更方法を説明します。

1. 課題一覧画面で移動したい課題のチェックボックスをオンにします。「その他」ボタンが表示されるので、「その他ボタン」のドロップダウンにある「移動」ボタンを押してください。



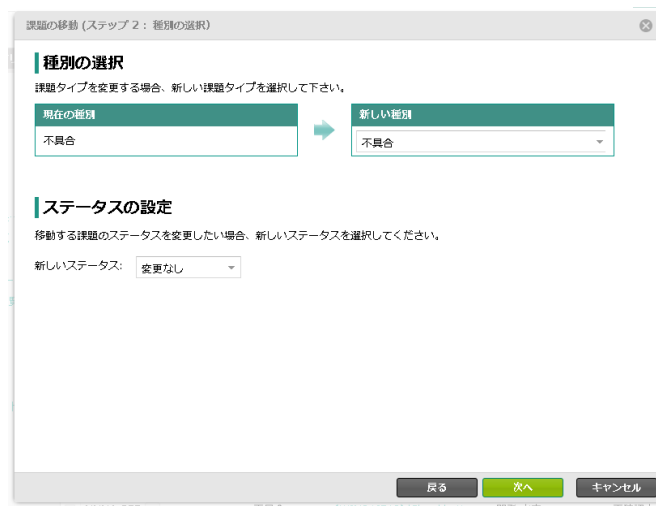
※課題の移動機能では、種別の異なる課題を同時に移動することができません。複数の課題を移動する場合は、複数回に分けて課題を移動してください。

※サブタスクを持つ課題を移動させたときはサブタスクも移動されます。

2. 移動のウィザード画面が表示されます。移動先のプロジェクトおよび工程を選択し、「次へ」ボタンを押してください。



3. 移動先で利用する種別とステータスを選択します。移動後、課題の種別もしくはステータスを変更する場合は、新しい値を選択し、次へボタンを押してください。



4. 必須項目の入力

移動先の種別に必須フィールドが存在し、元の種別にフィールドが存在しないか、必須項目で値が存在しない場合は、新しい値を設定する必要があります。条件に合致する場合は、以下の画面が表示されますので、必須項目を入力してください。

また、更新は未入力の項目のみとなります。

必須入力項目	新しい値
問い合わせ企業	<input type="text"/>
優先度	P3 (中)
重要度	Normal

5. 確認画面が表示されます。内容が正しいことを確認し、「完了」ボタンを押してください。

現在の種別: 要望 ▶ 要望

課題をサブタスクに変更する方法について

移動のウィザードを利用して、課題をサブタスクに変更できます。

変更したい場合は上記手順 (3) の新しい種別でサブタスクの課題を選択ください。

なお、次の場合は課題をサブタスクに変更できません。

- 課題にテストケースが関連付けされている場合
- 課題にサブタスクがある場合

ノタスクです。

種別の変更 (ステップ 2: 種別の選択)

種別の選択

新しい種別を選択してください。

現在の種別

不具合

→

新しい種別

サブタスク

ステータスの設定

課題のステータスを変更したい場合、新しいステータスを選択してください。

新しいステータス:

変更なし

戻る

次へ

キャンセル

7.3.4. 課題をコピーする

課題のコピー方法を説明します。

1. 課題一覧画面でコピーしたい課題のチェックボックスをオンにします。「その他」ボタンが表示されるので、「その他ボタン」のドロップダウンにある「コピー」ボタンを押してください。

CAT COMPUTER AIDED TEST

プロジェクト

課題登録

SHIFT_USER

プロジェクト管理サービスの開発 開発コード: PIMENTV1 株式会社SHIFT デモ用

工程 リリース版

プロジェクト情報 スコープ管理 スケジュール管理 テスト管理 課題管理 進捗管理 分析

課題一覧

ダウンロード

その他

概要・コメント検索

フィルター

サマリー

ID ↓

フィルター保存

システムフィルター

オープン中の課題 52

すべての課題 372

一括更新

移動

削除

コピー

コピー

種別	タイトル	担当者	ステータス	重要度	更新時間
不具合	サーバーエラーのメッセージが表示されました。	開発 中沢	切り分け完了	Normal	2018/12/05 20:05
不具合	部署の一覧に、部署名ではなくIDが直接表示さ...	開発 水寺	切り分け完了	Normal	2018/12/14 19:45
不具合	when change status to "Under process" Aft...		差し戻し	Normal	2018/01/19 10:51
不具合	Member table can be empty for member as...		再確認中	Normal	2014/06/13 22:29
要望	詳細進捗画面上の課題は、発生日時から現在の...	開発 中沢	切り分け完了	Normal	2018/03/09 10:52

2. 「コピー」ボタンを押すと、課題のコピー画面が表示されます。各課題に新しいタイトル名を入力し、「コピー」ボタンを押してください。課題がコピーされます。



課題のコピー

課題のコピーを行います。新しいタイトル名を入力し、「コピー」ボタンを押してください。
* 関連プロジェクト、関連課題、添付ファイル、コメントはコピーされません。

☒ サブタスクも併せてコピーする

課題ID	選択された課題	新しいタイトル名
YS4166-3	ケース毎に工数を登録できるようにする	Copy-ケース毎に工数を登録できるようにする
YS4166-1	サブタスクの実装	Copy-サブタスクの実装

コピー キャンセル

※「サブタスクも併せてコピーする」のチェックをオンにすると課題にあるサブタスクもコピーされます。

- 別のプロジェクト・別の工程には、課題をコピーできません。
- 関連プロジェクト、関連課題、添付ファイル、コメント、履歴はコピーされません。

7.3.5. 課題にサブタスクを追加する

サブタスクは作業を細分化し別々の担当者の割り当てをしたり工数管理をしたりするときに利用します。重要度や影響度に応じて、サブタスクを親課題に変更することや、課題を他の課題のサブタスクに変更することも可能です。

課題参照画面からサブタスクを追加する

当項では課題にサブタスクを登録する方法を説明します。

1. 課題参照画面にある「サブタスク追加」ボタンをクリックし、新規登録ポップアップ画面を開きます。

課題管理 登録イメージ



TESTP-45：特定の条件で課題登録ボタンが非活性になる

戻る コメント 編集 共有 ▼ その他 ▼ < 前へ 次へ > 4 / 9

関係者

担当者 : sh_坂本

更新者 : sh_坂本
2019/04/23 10:49

報告者 : sh_坂本
2019/04/15 16:28

タイムトラッキング 作業ログ

開始予定日 : 2019/04/15

見積工数 :
残工数 : 0.00h
作業工数 : 0.00h
☒ サブタスクを含める

工程 : UAT

ステータス : 新規

優先度 : P3

重要度 : medium

スコープ : -

関連課題 :

添付ファイル :

サブタスク追加

ファイルを選択

サブタスク追加

ID	種類	タイトル	担当者	ステータス	操作
TESTP-46	管サブタスク	進捗管理_全体進捗_テスト仕様書を校り込む...	sh_坂本	着手中	⋮

2. 課題情報を入力し、登録ボタンを押します。

3. 登録したサブタスクは参照画面で確認ができ、編集や削除が可能です。

▼ サブタスク							サブタスク追加
	ID	種別	タイトル	担当者	ステータス	操作	
1	TESTP-77	サブタスク	検証用環境で再現条件の調査		新規		編集 担当者 ステータス コピー 削除
▼ 活動							
コメント 履歴 作業ログ							
● コメント							

項目	説明
編集	サブタスクを編集します。
担当者	サブタスクの担当者を変更します。
ステータス	サブタスクのステータスを変更します。
コピー	サブタスクをコピーします。
削除	サブタスクを削除します。

サブタスクの親課題を変更する

当項では作成されたサブタスクの親課題を変更する方法を説明します。

1. 課題参照画面から「編集」ボタンをクリックします

2. 編集ポップアップから「親課題」の項目を編集します。

編集

工程 * UT

親課題 * TESTP-42: テスト課題の新規登録時、初期状態から変更があったときにブラウザの戻るボタンを押しても確認ダイアログが出ない

タイトル * 課題一覧・テキストボックス複数行が表示カラムに表示されないのはなぜか？

ステータス 新規

3. 「登録」ボタンをクリックします。

報告者 sh_坂本

登録する キャンセル

サブタスクを課題に変更する

当項ではサブタスクの種別を変更する方法を説明します。種別選択時に課題を選ぶとサブタスクから課題に変更することができます。

1. 課題参照画面から「その他」ボタンをクリックし、「種別変更」をクリックします。

TESTP-75 : 課題一覧・テキストボックス複数行が表示カラムに表示されない

戻る コメント 編集 共有 その他 < 前へ 次へ > 1 / 38

関係者

担当者 : -

更新者 : sh_坂本

種別変更

コピー

ステータス : 新規

2. 「種別の変更」のウィザード画面が表示されます。変更する課題を確認し、次へボタンを押してください。

種別の変更 (ステップ 1: 選択した課題の確認)

選択した課題の確認

以下の課題を別の種別に変更します。
よろしければ次の画面へ進んでください。

選択された課題(1 項目)

- 75 - 課題一覧・テキストボックス複数行が表示カラムに表示されないのはなぜか？

戻る 次へ キャンセル

3. 「種別の選択」で利用する種別とステータスを選択します。ステータスを変更する場合は、新しいステータスを変更し、次へボタンを押してください。

種別の変更 (ステップ 2: 種別の選択)

種別の選択
新しい種別を選択してください。

現在の種別	新しい種別
サブタスク	問い合わせ

ステータスの設定
課題のステータスを変更したい場合、新しいステータスを選択してください。

新しいステータス: 新規

戻る 次へ キャンセル

4. 変更先の種別に必須フィールドが存在し、元の種別にフィールドが存在しないか、必須項目で値が存在しない場合は、新しい値を設定する必要があります。条件に合致する場合は、以下の画面が表示されますので、必須項目を設定ください。また、更新は未入力の項目のみとなります。

種別の変更 (ステップ 3: 必須項目の入力)

必須項目の入力
選択した種別は、以下の必須項目を含んでいます。値を入力し、「次へ」ボタンを押してください。
(既に値が存在する場合は、その値を引き継ぎます。未入力の場合のみ設定値で更新します。)
現在の種別: サブタスク ▶ 問い合わせ

必須入力項目	新しい値
優先度	P2

戻る 次へ キャンセル

5. 確認画面が表示されます。内容が正しいことを確認し、完了ボタンを押してください。

種別の変更 (ステップ 3: 入力内容の確認)

変更内容の確認

変更内容を確認し、完了ボタンを押してください。

現在の種別： サブタスク ▶ 問い合わせ

▶ 更新される項目 (未入力の場合のみ更新)

対象はありません。

▶ 削除される項目

報譯器

注意：ビルドバージョンの値はコピーされません。

戻る

完了

キャンセル

8. サービス課題管理

サービス課題管理では、製品・サービスの要件（未解決の課題・要望を含む、以降「サービス課題」）を一元管理し、チーム内で共有して、その製品・サービスの開発・改善に活用できます。

トップ画面でサービスを選択後、上部メニューの「サービス課題管理」のリンクを選択して、サービス課題一覧画面を表示してください。

この画面よりサービス課題の新規登録や参照、編集、削除等の操作を行います。

サービス課題一覧画面

The screenshot shows the 'サービス課題一覧' (Service Issue List) page. It includes a header with 'CAT COMPUTER AIDED TEST' and navigation tabs for 'プロジェクト' and '課題登録'. A sidebar on the left contains filters like 'システムフィルター' and 'マイフィルター'. The main area is a table with columns: ID, 種別 (Type), タイトル (Title), 担当者 (Assignee), 報告者 (Reporter), 重要度 (Priority), ステータス (Status), and 更新時間 (Last Updated). The table lists 9 issues, with the first one being 'MANU-9' with status '対応中' (In Progress).

ID	種別	タイトル	担当者	報告者	重要度	ステータス	更新時間
MANU-9	不具合	海洋研究開発機構 (JAMSTEC) の調査船「かいわれ...」	開発 中沢	開発 水寺	Normal	対応中	2018/06/07 12:20
MANU-8	要望	これまでに最も深い場所から採集された深海魚はアシ...	開発 中沢	開発 水寺	Normal	新規	2018/06/07 12:18
MANU-7	要望	パチスカーフの後継機の一つであるアメリカのトリエ...	開発 中沢	開発 村沢	Normal	新規	2018/06/07 12:17
MANU-6	不具合	有人の潜水球 (パチスフェア) が開発され、ようやく...	開発 水寺	開発 村沢	Blocker	切り分け完了	2018/06/07 12:16
MANU-5	不具合	生身の人間が直接大深度に潜行することはできない...	開発 六周	開発 六周	Trivial	新規	2018/06/07 12:24
MANU-4	不具合	深海はその過酷な環境と広大な範囲のため、浅海と比...	開発 六周	開発 六周	Major	終了	2018/06/07 12:18
MANU-3	問い合わせ	深海は極度に高い水圧と低水温に阻まれた暗黒の海域...	開発 磯	開発 中沢	Normal	対応中	2018/06/07 12:11
MANU-2	要望	太陽光の届かない深海には光合成を行う植物 (海草・...	開発 六周	開発 中沢	Minor	切り分け完了	2018/06/07 12:09
MANU-1	不具合	深海魚 (しんかいぎょ、英: Deep sea fish) は、深...	開発 中沢	開発 村沢	Critical	対応中	2018/06/07 12:07

サービス課題の種別について

サービス課題は種別毎に管理することができます。種別毎に様々なステータスおよび入力フィールドを持たせることができるため、用途に合わせた利用が可能になります。

種別毎の入力フィールド設定方法については[サービス課題の設定](#)を参照ください。

8.1. サービス課題を登録する

サービス課題を登録する手順は以下の通りです。

1. ヘッダー左上にある課題登録ボタンを押し、新規登録ポップアップ画面を開きます。



2. 項目「プロジェクト」で「サービス課題管理」を選択します。

※サービス課題一覧またはサービス課題参照画面から開いた場合は最初から選択されています

The screenshot shows the '新規登録' (New Registration) form. The 'サービス' (Service) dropdown is set to 'マニュアル用サービス'. The 'プロジェクト' (Project) dropdown is open, showing 'サービス課題管理' selected. Other dropdowns include '種別' (Type) set to 'サービス課題管理', 'タイトル' (Title) set to 'プロジェクトモードプロジェクト', 'ステータス' (Status) set to '対応中', and '概要' (Summary) is empty.

3. 表示された各項目に登録内容を入力します。

4. 続けて別のサービス課題に登録する場合は、「連続して作成する」ボタンを押すと新しい入力画面が表示されるので、次の課題についても画面に従って登録内容を入力します。

5. 「登録する」ボタンを押して、登録内容を確定します。

8.2. サービス課題の詳細を参照する

登録したサービス課題の内容を参照する手順と参照画面について説明します。

参照手順

1. サービス課題一覧画面において参照したいサービス課題のタイトルを選択します。

サービス課題一覧									
フィルター		サマリー	ID ↓	種別	タイトル	担当者	報告者	重要度	ステータス
フィルター保存			<input type="checkbox"/> MANU-9	不具合	海洋研究開発機構 (JAMSTEC) の調査船「かいけい...	開発 中沢	開発 水守	Normal	対応中
システムフィルター			<input type="checkbox"/> MANU-8	要望	これまでに最も深い場所から採集された深海魚はア...	開発 中沢	開発 水守	Normal	新規
			<input type="checkbox"/> MANU-7	要望	パチスカーフの後継機の一つであるアメリカのトリエ...	開発 中沢	開発 村沢	Normal	新規

※Ctrl+クリック(Chrome等のショートカットキー)でタイトルを選択すると別タブでサービス課題が開きます。

2. 詳細なサービス課題の情報が表示されます。

サービス課題参照画面

CATCOMPUTERAIDED TESTプロジェクト▼課題登録sh_坂本Y54.16.6サービス株式会社Shift

プロジェクト一覧サービス課題管理

Y54166-3：ケース毎に工数を登録できるようにする

戻るコメント編集共有▼その他▼< 前へ次へ >32 / 34

関係者

担当者：sh_坂本

更新者：sh_坂本2019/06/10 11:48

報告者：sh_坂本2019/04/15 17:41

タイムトラッキング

開始予定日：2019/04/15

見積工数：48.00h

残工数：32.00h

作業工数：16.00h

☒ サブタスクを含める

シェア

設定

種別：要望ステータス：新規

優先度：P2重要度：Normal

開発担当者：sh_隅納期：2019/06/14

機能：進捗管理機能

概要：現状の課題点として、シナリオテストのように1ケースに実行時間が異なる場合、CAT上でそれを登録することができます。大まかな工数計算しかできない。機能改修を行い、ケース毎に工数を計算できるようにして、より正確に工数計算ができるように改修する。

関連プロジェクト：4.16.6テストプロジェクト

関連課題：

添付ファイル：ファイルを選択

サブタスク

サブタスク追加

ID	種別	タイトル	担当者	ステータス	操作	
1	YS4166-4	サブタスク	進捗管理画面の実装	sh_隅	新規	⋮
2	YS4166-5	サブタスク	分析画面の実装	sh_宇賀治	新規	⋮

活動

コメント履歴作業ログ

上部ボタンエリア

項目	説明
戻るボタン	サービス課題一覧画面に戻ります。
コメントボタン	コメントボタンを押すと参照中のサービス課題にコメントができます。 画面下部の活動> コメントタブからもコメントの追加・編集ができます。
編集ボタン	サービス課題の編集に加え、コメントも追加できます。 詳細は 編集ポップアップ画面から編集する を参照ください。
共有> URLコピー	サービス課題のURLを共有する際はこのメニューでクリップボードにコピーします。 (ブラウザに表示されたURLは移動後、無効になります。)
共有> メール送信	参照中のサービス課題をメールで通知する際、ここから共有します。 詳細は メッセージを送信する を参照ください。
その他> 種別変更	参照中のサービス課題の種別変更ができます。 詳細は サービス課題の種別を変更する を参照ください。
その他> コピー	参照中のサービス課題の複製ができます。 詳細は サービス課題をコピーする を参照ください。
前へ/次へボタン	課題一覧から参照画面に遷移した場合に表示されます。 課題一覧の表示順に従って、前/次の課題のページに移動します。 ショートカットキーCtrl + Shift + ← もしくは →でも移動できます。

左カラム

項目	説明
関係者	担当者：現在のステータスにおける担当者を表示します。 更新者：サービス課題を更新すると自動的に変更されます。手動では変更できません。 報告者：サービス課題登録時にデフォルトでは登録したユーザが設定されます。変更することも可能です。
タイムトラッキング	参照中のサービス課題に関する作業予定および実績を登録できます。 登録内容は、画面下部の活動＞作業ログタブで確認できます。 詳細 作業実績を記録する を参照ください。
シェア	シェアに追加されたメンバーに、サービス課題の更新をメールで自動通知します。 詳細は メールの自動通知を設定する を参照ください。

課題詳細エリア

項目	説明
種別	参照中のサービス課題の種別を表示します。
ステータス	参照中のサービス課題の現在のステータスを表示します。
関連プロジェクト	参照中のサービス課題をスコープとして持つプロジェクト・工程を表示します。編集することでサービス課題を選択したプロジェクトのスコープに含めることができます。 詳細は プロジェクトのスコープに入れる を参照ください。
関連課題	関連する課題との相互リンクを設定できます。 詳細は サービス課題に関連課題を追加する を参照ください。
添付ファイル	参照中のサービス課題にファイルを添付できます。 クリップボードに画像のコピーがある場合、Ctrl + vで直接添付できます。 詳細は サービス課題にファイルを添付する を参照ください。
サブタスク追加	参照中のサービス課題にサブタスクを追加します。 詳細は サービス課題にサブタスクを追加する を参照ください。

項目	説明
コメントタブ	コメントを通じて参照中のサービス課題に関するコメントができます。 詳細は サービス課題にコメントを追加する を参照ください。
履歴タブ	サービス課題の変更履歴を確認できます。 詳細は サービス課題の変更履歴を確認する を参照ください。
作業ログタブ	参照中のサービス課題について、作業実績の確認と編集ができます。

8.2.1. サービス課題を参照する

登録したサービス課題は、サービス課題一覧画面およびサービス課題参照画面から登録内容を確認できます。

本節では、上記2つの画面からのサービス課題の参照方法を説明します。

8.2.2. サービス課題一覧を確認する


サービス課題一覧画面には登録されているサービス課題の一覧が表示されており、各列上でフィルター機能を利用することで、必要な情報を絞り込んで表示できます。また、画面上部のボタンより、サービス課題に対する各種操作を行うことができます。

本項ではサービス課題一覧上の初期表示項目と各種操作ボタンについて説明します。

サービス課題一覧

CAT COMPUTER AIDED TEST プロジェクト ▼ 課題登録 富室 デモユーザ									
プロジェクト一覧 サービス課題管理 マニュアル用サービス 株式会社SHIFT デモ用									
サービス課題一覧									
フィルター	サマリー	ID ↓	種別	タイトル	担当者	報告者	重要度	ステータス	更新時間
フィルター保存		<input type="checkbox"/> MANU-9	不具合	海洋研究開発機構 (JAMSTEC) の調査船「かいけい…	開発 中沢	開発 水寺	Normal	対応中	2018/06/07 12:20
システムフィルター		<input type="checkbox"/> MANU-8	要望	これまでに最も深い場所から採集された深海魚はアシ…	開発 水寺	開発 水寺	Normal	新規	2018/06/07 12:18
オープン中の課題 8		<input type="checkbox"/> MANU-7	要望	パチスカーフの後継機の一つであるアメリカのトリエ…	開発 中沢	開発 村沢	Normal	新規	2018/06/07 12:17
すべての課題 9		<input type="checkbox"/> MANU-6	不具合	有人の潜水球 (パチスフェア) が開発され、ようやく…	開発 水寺	開発 村沢	Blocker	切り分け完了	2018/06/07 12:16
マイフィルター		<input type="checkbox"/> MANU-5	不具合	生身の人間が直接大深度に潜行することはできない…	開発 六周	開発 六周	Trivial	新規	2018/06/07 12:24
		<input type="checkbox"/> MANU-4	不具合	深海はその過酷な環境と広大な範囲のため、浅海と比…	開発 六周	開発 六周	Major	終了	2018/06/07 12:18
		<input type="checkbox"/> MANU-3	問い合わせ	深海は極度に高い水圧と低水温に阻まれた暗黒の海域…	開発 陳	開発 中沢	Normal	対応中	2018/06/07 12:11
		<input type="checkbox"/> MANU-2	要望	太陽光の届かない深海には光合成を行う植物 (海草・…	開発 中沢	開発 中沢	Minor	切り分け完了	2018/06/07 12:09
		<input type="checkbox"/> MANU-1	不具合	深海魚 (しんがいぎょ、英: Deep sea fish) は、深…	開発 中沢	開発 村沢	Critical	対応中	2018/06/07 12:07

初期表示項目


項目	説明
ID	<p>サービス課題のIDを表示します。IDナンバーの右横の編集ボタンをクリックするとサービス課題の編集ボタン、ID+タイトルコピーボタン、URLコピーボタンが表示されます。</p> 
種別	サービス課題の種別が表示されます。
タイトル	サービス課題のタイトルです。リンク形式でクリックするとサービス課題の参照画面に遷移します。
担当者	サービス課題の担当者が表示されます。
報告者	サービス課題の報告者が表示されます。
重要度	サービス課題の重要度が表示されます。
ステータス	サービス課題の現在のステータスが表示されます。
更新時間	サービス課題の更新時間が表示されます。

ボタンの説明

項目	説明
概要・コメント検索	<p>存在するサービス課題のタイトル・概要・コメントを入力された文字列で検索します。</p> <p>※空白でキーワードを区切ることで、AND検索を行うことが可能です。</p> <p>※オーダー参照 -画面 の様に-(半角ハイフン)に続けて語句を入力すると検索結果からその語句が含む物を除外できます。</p> <p>空白（スペースキー）を入力すると空白検索ができ、-(半角ハイフン) 空白（スペースキー）を入力すると空白以外が検索できます。</p>

項目	説明										
ダウンロード	 <p>ダウンロード対象</p> <p>課題</p> <p>サービス課題一覧をCSV形式でダウンロードします。 ダウンロード可能なフォーマットは以下の2種類です。</p> <p>全フィールド</p> <p>工程内の課題種別に紐づく全てのカスタムフィールドを取得します。列の順序は不定です。 ※1</p> <p>現在の表示内容</p> <p>一覧で表示されているカラム・フィルター範囲を取得します。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin: 10px 0;">Excelでの集計用等、出力列と順序を指定する際に利用します。</div> <p>オプションで「コメントを最終列に出力する」を選択するとコメントが出力されます。</p> <p>添付ファイル</p> <p>添付された全てのファイルをダウンロードします。 ※1</p> <p>※1 選択後のポップアップで「現在の表示行だけダウンロードする」を選択すると、表示行のみダウンロードできます。</p>										
その他	 <p>サービス課題選択時に表示されます。選択したサービス課題に対して一括更新、種別変更、複製、削除ができます。</p> <p>各操作の詳細はサービス課題を操作するの各項を参照ください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一括更新</td><td>複数のサービス課題を一括で更新します。</td></tr> <tr> <td>種別変更</td><td>サービス課題の種別を変更します。</td></tr> <tr> <td>複製</td><td>サービス課題を複製します。関連プロジェクト、関連課題、添付ファイル、コメント、履歴はコピーされません。</td></tr> <tr> <td>削除</td><td>サービス課題を削除します。</td></tr> </tbody> </table>	操作	説明	一括更新	複数のサービス課題を一括で更新します。	種別変更	サービス課題の種別を変更します。	複製	サービス課題を複製します。関連プロジェクト、関連課題、添付ファイル、コメント、履歴はコピーされません。	削除	サービス課題を削除します。
操作	説明										
一括更新	複数のサービス課題を一括で更新します。										
種別変更	サービス課題の種別を変更します。										
複製	サービス課題を複製します。関連プロジェクト、関連課題、添付ファイル、コメント、履歴はコピーされません。										
削除	サービス課題を削除します。										

ボタンの説明

項目	説明						
メニュー	 <p>サービス課題一覧の右端にあるメニューボタンから、フィルタのクリアとリセットができます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フィルタのクリア</td><td>現在のサービス課題一覧に設定されているフィルタをクリアします。</td></tr> <tr> <td>リセット</td><td>カラムの表示を初期値に戻します。</td></tr> </tbody> </table>	操作	説明	フィルタのクリア	現在のサービス課題一覧に設定されているフィルタをクリアします。	リセット	カラムの表示を初期値に戻します。
操作	説明						
フィルタのクリア	現在のサービス課題一覧に設定されているフィルタをクリアします。						
リセット	カラムの表示を初期値に戻します。						
カラム	ソート、グルーピング、カラムの表示/非表示、フィルタの機能があります。詳しくは、表下の項目「カラムの表示設定」を参照してください。						

カラムの表示設定

サービス課題一覧は、各カラムの表示設定によって様々な条件で表示できます。また、これらの表示設定は、フィルター保存ボタンにより保存し、マイフィルターとして自由に呼び出すことができます。 ※フィルターの保存については、[サービス課題一覧をマイフィルターで管理する](#)を参照ください。 カラムによるサービス課題一覧の表示設定の変更方法を説明します。カラムは、幅を調整できます。また、カラムにマウスオーバーするとカラム右端に下三角ボタンが現れ、押すとドロップダウン上に表示設定ができます。



操作	説明
ソート	サービス課題を昇順/降順でソートします。
カラム	各カラムの表示/非表示を選択します。
グルーピング	サービス課題を要素によってグルーピングします。 グルーピングは、チェックボックスを非チェックにすることで解除できます。
フィルター	サービス課題の要素によって表示/非表示を選択します。 テキスト検索の場合、オーダー参照 -画面 の様に-(半角ハイフン)に続けて語句を入力すると検索結果からその語句が含む物を除外できます。空白（スペースキー）を入力すると空白検索ができ、-(半角ハイフン) 空白（スペースキー）を入力すると空白以外が検索できます。

す。

本項では、フィルターの種類およびマイフィルターの登録・管理・更新方法について説明します。



フィルターの種類

- システムフィルター

CATにデフォルトで用意されているフィルターで、編集・削除することができません。

以下の2つが用意されています。

フィルター名	説明
オープン中の課題	ステータスがオープン中の課題のみ表示されます。表示カラムは初期設定に戻ります。
すべての課題	サービス課題管理に登録されているすべてのサービス課題が表示されます。表示カラムは初期設定に戻ります。

- マイフィルター

自分自身や他のメンバーが作成したオリジナルのフィルターを表示し、利用できます。

追加されたマイフィルターはサービス課題一覧画面の左ペイン「マイフィルター」以下に一覧表示されます。

マイフィルターの登録

1. 保存したい表示設定をサービス課題一覧上に適用します

2. フィルター保存ボタンを押します

画面左上部の「フィルター保存」ボタンを押すと、フィルター情報入力用のポップアップ画面が表示されます。

3. フィルター情報を入力します

ポップアップ画面上で保存するフィルター名、シェア設定、フィルター概要を入力します。
シェア設定は、「自分のみ」または「チームで共有」を選択します。

フィルターの保存

現在のフィルターを保存します。フィルター名を入力し、共有範囲を選択してください。

名前

シェア

概要

自分のみ

チームで共有

保存

キャンセル

設定項目

項目	説明
名前	任意のフィルター名を入力してください。
シェア	登録したフィルターを個人で利用するか、全てのチームメンバーと共有するか選択してください。 ※この機能の利用にはチーム管理者権限が必要です。
概要	任意でフィルターの概要を記入してください。

4. 保存ボタンを押します。

現在の表示設定の状態が保存され、作成されたフィルターがマイフィルター項目の最後に追加されます。

マイフィルターの管理

マイフィルター一覧にある歯車マークを押すと、マイフィルターの表示設定画面が開き、ここで各フィルター名を選択すると一覧に表示するマイフィルターの変更ができます。



マイフィルターの表示設定

マイフィルターの表示設定を行います。利用するフィルターを選択し、「表示を変更」ボタンを押してください。

検索...

表示を変更

キャンセル

選択	フィルター名	タイプ	概要	削除
<input checked="" type="checkbox"/> 101	自分用フィルター	個人フィルター		削除
<input checked="" type="checkbox"/> 102	サービス共通フィルター	共有フィルター		削除
<input type="checkbox"/> 103	深海魚研究の課題	個人フィルター	深海の生物学的環境は表層における海流や季節性変化、陸地からの物質供給に大きく依存しており、深海魚の生態を海洋環境と結び付けて理解するためには広範囲かつ経時的な調査が求められる。また、底引き網による乱獲がタラ類など大陸棚周辺に生息する一部の食用種を激減させていることが報告されており[30]、漁業上重要な深海魚の資源調査の必要性が指摘されている[31]。	削除

マイフィルターの表示設定画面では、以下の3つの操作ができます。

- マイフィルター一覧に表示するフィルターの選択

- 個人で作成したフィルターの削除（チーム管理者権限を持つ場合は、全てのフィルター）
- フィルターの共有設定の変更（「自分のみ」または「チームで共有」）

フィルターの編集項目

項目	説明
選択	フィルターの表示/非表示を選択できます。共有されたフィルターを利用したい場合は、そのチェックボックスをオンにし、保存ボタンを押してください。
フィルター名	フィルター名を選択するとそのフィルターの編集ページに遷移します。
タイプ	個人フィルター 非共有のフィルターです。 共有フィルター 他のメンバーと共有しているフィルターです。
概要	フィルターの概要が表示されます。
削除	フィルターを削除します。共有フィルターの場合、他のメンバーもそのフィルターを利用できなくなります。

マイフィルターの更新

マイフィルターを更新するには、リスト上にカーソルをホバーし表示される上書き保存ボタンを押してください。確認画面で「OK」をクリックすると現在適用しているフィルターの内容で上書きします。



8.2.4. サマリーを確認する

本項では、サービス課題のサマリーの表示方法について説明します。

サービス課題一覧画面の左ペインより、サマリータブをクリックしてください。

サマリータブでは、担当者、重要度、優先度、開発担当者の4つの条件を選択し、それぞれのオープン、クローズの課題数を表示できます。また、オープン、クローズの各数字をクリックすることで、該当するサービス課題のみを課題一覧画面に表示できます。

サービス課題一覧			
フィルター	サマリー	ID ↓	
担当者		MANU-9	
担当者	オープン	MANU-8	
未割当	11.1%	MANU-7	
開発 中沢	33.3%	MANU-6	
開発 六周	22.2%	MANU-5	
開発 陽	11.1%	MANU-4	
開発 水守	11.1%	MANU-3	
営業 デモユーザ	0.0%	MANU-2	
開発 村沢	0.0%	MANU-1	
合計	88.9%		

※選択中のサービス課題の設定にて選択していない項目はメニューに表示されません。

8.2.5. 履歴を確認する

サービス課題参照画面で活動の履歴タブを押すと、サービス課題の変更履歴を確認できます。

▼ 活動		
コメント	履歴	作業ログ
営業 デモユーザ さんが更新しました。 2018/06/11 12:13		
フィールド名	古い値	新しい値
関連課題		MANU-3:深海は極度に高い水圧と低水温に阻まれた暗黒の海域である
営業 デモユーザ さんが登録しました。 2018/06/07 12:17		

8.3. サービス課題を操作する

サービス課題の各種操作方法を説明します。

8.3.1. サービス課題を編集する

登録したサービス課題を編集する方法を説明します。

サービス課題の編集には以下があります。

編集ポップアップ画面での編集

最も基本的な編集方法です。編集専用のポップアップ画面で編集するため、複数ステータスの編集や概要等に長文を書き込む編集に適しています。

参照画面での直接編集

編集画面を開くことなく直接参照画面で編集を行えるため、軽微な編集に適しています。

一覧画面からの一括編集

複数のサービス課題に対して同時に同じ項目変更を行いたい場合に利用します。

関連プロジェクトのスコープ管理画面でのプロパティ表示の直接編集

スコープ管理画面からスコープに設定されたサービス課題を編集できます。 詳細は[スコープ管理](#)を参照ください。

以下、各項にてそれぞれの操作の詳細について説明します。

編集ポップアップ画面から編集する

編集専用のポップアップ画面からサービス課題を編集する方法です。種別を除く全ての編集可能項目の編集を実行できます。参照画面上で非表示になっている未入力項目については、編集ポップアップ画面からのみ編集できます。

1. サービス課題編集ポップアップ画面を開きます。

編集ポップアップ画面は以下の方法のうちのいずれかで開くことができます。

- サービス課題参照画面上部の「編集」ボタンをクリック

参照画面上部の編集ボタンをクリックして、編集画面を呼び出してください。

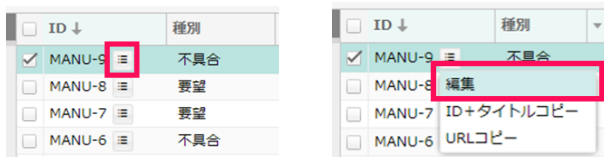


- サービス課題参照画面でeキーを押下

eキーが編集ポップアップ画面呼び出しのショートカットキーとなっています。

- サービス課題一覧画面のID列上の機能アイコンから「編集」をクリック

ID列の機能アイコンより、「編集」メニューを選択してください。サービス課題一覧画面より直接編集画面を呼び出すことが可能です。



2. 編集画面が表示されるので、更新したい内容を編集し、登録するボタンを押して下さい。

※編集画面ではコメントを入力できます。

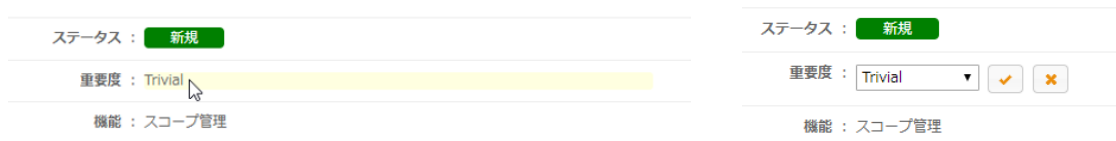
The screenshot shows the '編集' (Edit) form for a service task. The form has several sections: 'タイトル' (Title) with a text input field, 'ステータス' (Status) with a dropdown menu, '概要' (Overview) with a text area, '操作手順' (Operation Procedure) with a text area, '再現性の有無' (Whether it is reproducible) with radio buttons, '環境依存性' (Environment dependency) with radio buttons, '添付ファイル' (Attachments) with a file upload button, and '優先度' (Priority) with a dropdown menu. At the bottom, there are '登録する' (Register) and 'キャンセル' (Cancel) buttons. On the right side, there's a sidebar with a '更新時間' (Update Time) list and a '9件中1-9を表示' (Show 1-9 of 9 items) button.

参照画面で直接編集する

参照画面上に表示されている編集可能項目については、編集画面に移動することなくその場で編集できます。

1. 編集したい項目をダブルクリックします。

※編集可能項目はマウスホバーにて背景が黄色になります。



2. 項目の種類に応じた編集フィールドが表示されます。

The screenshot shows a form with the following fields and values:

- ステータス: 新規
- 重要度: Trivial (dropdown menu is open showing options: Trivial, Blocker, Critical, Major, Normal, Minor, Trivial, Enhancement)
- 機能: Blocker
- 発生バージョン: Major
- 画面名: Minor

※「種別」「ステータス」「担当者」の場合は専用のポップアップ画面が開きます。

3. 編集を行い、チェックボタンを押下して編集を完了します。

※“×”ボタンで編集内容を取り消すことができます。

注意点

参照画面からコメント以外の項目を変更してもシェアメンバーにメールによる通知は行われません。通知の必要がある場合は「共有＞メール送信」をご利用ください。

複数のサービス課題を一括編集する

複数のサービス課題の特定の項目を一括して同じ値に更新したい場合は、サービス課題一覧画面の一括更新機能を利用することで実行できます。

実行手順

1. 編集したいサービス課題のチェックボックスにチェックを入れます。

チェックを入れると「ダウンロードボタン」に右に「その他」ボタンが現れます。

2. 「その他」ボタンのドロップダウンから「一括更新」ボタンを選択します。

The screenshot shows a table of service issues with columns: ID, 種別 (Type), and 概要・コメント (Summary/Comment). The 'その他' (More) button is open, showing options: 一括更新 (Batch Update), 種別変更 (Change Type), コピー (Copy), 削除 (Delete), and 要置 (Required). The '一括更新' option is highlighted.

ID	種別	概要・コメント
MANU-9		
MANU-8		
MANU-7		
MANU-6	不具合	有人の潜水球 (バ)
MANU-5	不具合	生身の人間が直接オ
MANU-4	不具合	深海はその過酷な環
MANU-3	不具合	深海は過度に真い

3. 「課題の一括更新」ポップアップ画面が表示されます。

4. 編集したい項目の「変更なし」のチェックを外すと編集用フィールドが有効になります。

5. 項目値を編集します。

- 右側の「未入力のみ」にチェックを入れると該当の項目が未入力のサービス課題のみ値が更新されます。
- コメントについては一括で同じコメントが選択した全てのサービス課題に追加されます。

6. 編集したい項目を全て編集し終わったら、「更新する」ボタンを押します。

1項目以上編集するまで「更新する」ボタンは有効になりません。

7. 確認画面が表示されますので、「OK」ボタンを押して一括編集を完了します。

一度OKボタンを押すとこの処理は取り消すことができません。

制約事項

- タイトル・概要のような個別のサービス課題に固有の値が設定される項目と、種別については一括編集の対象外となります。
- サービス課題管理で利用されている種別のうち、どれか一つでもワークフローが適用されている場合、異なる種別のサービス課題を同時に編集することはできません。

8.3.2. サービス課題の種別を変更する

サービス課題の種別変更は、「種別変更」ボタンまたは参照画面の種別表示を直接クリックして種別変更ウィザードを起動し、変更します。

本項では、種別変更ウィザードの実行方法について説明します。

1. 種別変更ウィザードを起動します。

種別変更ウィザードは以下のいずれかの方法で起動できます。

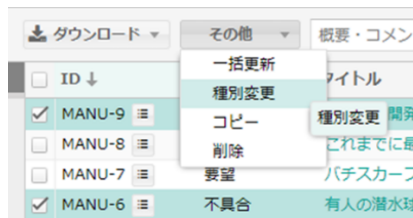
- サービス課題参照画面で「その他 > 種別変更」をクリックする。



- サービス課題参照画面で種別フィールドを直接クリックする。



2. サービス課題一覧画面で対象のサービス課題を選択し、「その他> 種別変更」をクリックする



この場合、複数のサービス課題を同時に種別変更できます。

3. 選択した課題を確認し、「次へ」ボタンを押します。

種別の変更 (ステップ 1: 選択した課題の確認)

選択した課題の確認

以下の課題を別の種別に変更します。
よろしければ次の画面へ進んでください。

選択された課題(1 項目)

- 5 - 生身の人間が直接大深度に潜行することはできないため、深海探査には常に困難が付きまとう

戻る 次へ キャンセル

4. 新しい種別と種別変更後のステータスを選択し、「次へ」ボタンを押します。

種別の変更 (ステップ 2: 種別の選択)

種別の選択

新しい課題種別を選択してください。

現在の種別: 不具合 → 新しい種別: 不具合

ステータスの設定

課題のステータスを変更したい場合、新しいステータスを選択してください。

新しいステータス: 変更なし

戻る 次へ キャンセル

5. 新しい種別の必須項目に設定する値を入力し、「次へ」ボタンを押します。

種別の変更 (ステップ 3: 必須項目の入力)

必須項目の入力 - 不具合

選択した種別は、以下の必須項目を含んでいます。値を入力し、「次へ」ボタンを押してください。
(既に値が存在する場合は、その値を引き継ぎます。未入力の場合のみ設定値で更新します。)

必須入力項目	新しい値
優先度	P3 (中)
重要度	Normal
担当者	開発 水守

開発 デモユーザ
開発 隅
開発 中沢
開発 水守
開発 六周
開発 村沢

戻る 次へ キャンセル

変更後の種別の必須項目が、元の種別では必須でない、もしくは存在しない場合に表示されます。

そのような必須項目が存在しない場合、この画面はスキップされます。

対象のサービス課題の該当項目が未入力の場合のみ、本画面で入力した値が設定されます。

6. 確認画面が表示されますので、変更内容を確認し、問題なければ「完了」ボタンを押してください。

種別の変更 (ステップ 4: 入力内容の確認)

変更内容の確認

変更内容を確認し、完了ボタンを押してください。

現在の種別: 要望 ▶ 不具合

▶ 更新される項目 (未入力の場合のみ更新)

必須入力項目	新しい値
優先度	P3 (中)
重要度	Normal
担当者	開発 水守

▶ 削除される項目
対象はありません。

戻る 完了 キャンセル

制約事項

- サービス課題一覧画面で、異なる種別のサービス課題を同時に選択してウィザードを起動することはできません。
- サービス課題管理で利用されている種別のうち、どれか一つでもワークフローが適用されている場合、サービス課題一覧画面で複数のサービス課題の種別を同時に変更する際には、同一の種別・ステータスを持つサービス課題のみが選択されている必要があります。

サービス課題をサブタスクに変更する方法について

移動のウィザードを利用して、課題をサブタスクに変更できます。

変更したい場合は上記手順 (3)の新しい種別でサブタスクの課題を選択ください。

種別の変更 (ステップ 2: 種別の選択)

種別の選択

新しい種別を選択してください。

現在の種別: 不具合 → 新しい種別: サブタスク

ステータスの設定

課題のステータスを変更したい場合、新しいステータスを選択してください。

新しいステータス: 変更なし

戻る 次へ キャンセル

また、課題にサブタスクが追加されている場合、課題をサブタスクに変更できません。

8.3.3. サービス課題をコピーする

本項ではサービス課題の複製方法について説明します。

- サービス課題のコピー画面を表示する。
コピー画面は以下のいずれかの方法で表示できます。
- サービス課題参照画面で「その他 > コピー」をクリックする。

プロジェクト一覧 サービス課題管理

MANU-5：生身の人間が直接大深度に潜行することはできないため、深海探査(

戻る コメント 編集 共有 その他 次へ 5 / 9

関係者

担当者 : 開発 六周

更新者 : 営業 デモユーザ

種別変更
コピー

権限依存性 : 未確認

- サービス課題一覧画面で対象のサービス課題を選択し、「その他>コピー」をクリックする。

ID	親課題	タイトル	担当者
<input checked="" type="checkbox"/> YS4166-1		サブタスクの実装	sh_陽
<input type="checkbox"/> YS4166-2		外部BTS連携設定	sh_陽
<input checked="" type="checkbox"/> YS4166-3		ケース毎に工数を登録でき...	sh_坂本
<input type="checkbox"/> YS4166-4	サブタスク YS4166-6	進捗管理画面の実装	sh_陽
<input type="checkbox"/> YS4166-5	サブタスク YS4166-6	分析画面の実装	sh_宇賀治

この場合、複数のサービス課題を同時に複製できます。

4. 「課題のコピー」画面上で新しいタイトルを入力し、「コピー」ボタンを押してください。
- ※「サブタスクも併せてコピーする」のチェックをオンにすると課題にあるサブタスクもコピーされます。

課題のコピー

課題のコピーを行います。新しいタイトル名を入力し、“コピー”ボタンを押してください。
* 関連プロジェクト、関連課題、添付ファイル、コメントはコピーされません。

☒ サブタスクも併せてコピーする

課題ID	選択された課題	新しいタイトル名
YS4166-3	ケース毎に工数を登録できるようにする	Copy-ケース毎に工数を登録できるようにする
YS4166-1	サブタスクの実装	Copy-サブタスクの実装

コピー キャンセル

- 別のプロジェクト・別の工程には、課題をコピーできません。
- 関連プロジェクト、関連課題、添付ファイル、コメント、履歴はコピーされません。

8.3.4. サービス課題を削除する

本項では登録されている課題を削除する手順を説明します。

1. 削除対象のサービス課題を選択し、「その他>削除」をクリックします。+

サービス課題一覧

ダウンロード その他 概要・コメント検索

フィルター サマリー ID 操作

フィルター保存

システムフィルター

オープン中の課題 8

MANU-9 MANU-8 MANU-7 MANU-6

一括更新 種別変更 コピー 削除 要望 不具合

タイトル

海洋研究開発機構 (JAMSTEC)

これまでに最も深い場所から探

選択した項目を削除します。つ

有人の潜水球 (バチスフェア)

2. 確認画面が表示されますので、問題がなければ「OK」ボタンをクリックしてください。

削除

次の項目を削除します。
一度削除したデータは元に戻せません。よろしいですか？

- 有人の潜水球 (バチスフェア) が開発され、ようやく深海魚の観察が可能になった
- バチスカーフの後継機の一つであるアメリカのトリエステ号が、当時既に世界最深地点として知られていたマリアナ海溝のチャレンジャー海淵を目指して有人潜航を行った
- 海洋研究開発機構 (JAMSTEC) の調査船「かいれい」の機器が2017年5月、マリアナ海溝の水深8178mにおいてシンカイウサヲの探検行動の撮影に成功した

OK キャンセル

制約事項

- 一度削除したサービス課題は元に戻すことができません。
- サブタスクを持つ課題を削除した場合は課題配下のサブタスクも削除されます。

8.3.5. ステータス、担当者を更新する

参照画面からステータスまたは担当者を変更する際は専用ポップアップが表示されます。

本項では、参照画面からのステータスと担当者の変更について説明します。

担当者の変更

担当者フィールドを直接クリックすると担当者変更ポップアップ画面が開きます。

次の担当者を選択し、必要ならばコメントを追加して、「更新」ボタンを押してください。



ステータスの変更

- ワークフロー未適用の種別の場合

ステータスフィールドを直接クリックするとステータス変更ポップアップ画面が開きます。

ステータスを変更し、必要ならば担当者の変更とコメントの追加を行い、「更新」ボタンを押してください。



- ワークフローが適用されている種別の場合

1. ステータスフィールドを直接クリックし、ステータス変更ポップアップ画面を開きます。
2. ステータスを変更します。

※ワークフローで定義された遷移可能なステータスのみが選択可能です。

3. ステータス固有の必須フィールドがある場合は、必須に対する入力フィールドが表示されます。

※必須項目がない場合は必須フィールドの入力欄が表示されません。

4. 必須フィールドを更新し、必要ならば担当者の変更とコメントの追加を行います。
5. 「更新」ボタンを押して変更を確定します。

メール通知

メールの通知機能を設定している場合、各ポップアップから更新した際、担当者・報告者・シェアメンバーにメールが送信されます。(自分以外のメンバーに送信されます。)

8.3.6. プロジェクトのスコープに入れる

参照画面または編集画面で、項目「関連プロジェクト」を設定することで、参照中のサービス課題を指定したプロジェクトのスコープに設定できます。スコープに設定されたサービス課題は、プロジェクトのスコープ管理画面からも参照できるようになるとともに、プロジェクトに登録されたテスト仕様書および障害と関連付けられるようになります。詳細は[スコープ管理](#)を参照ください。

本項では、サービス課題編集画面からの関連プロジェクトの設定方法と、関連プロジェクトが設定されたサービス課題における制約事項について説明します。

関連プロジェクトの設定

1. サービス課題編集画面を開きます。
2. 「関連プロジェクト」フィールドで参照中のサービス課題をスコープに含めたいプロジェクト・工程を選択し、「登録する」ボタンを押します。

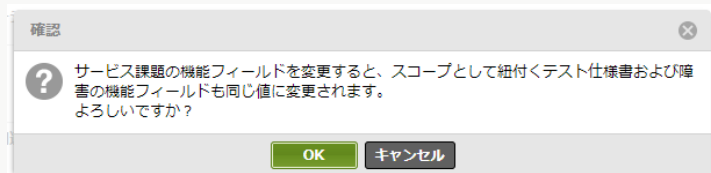
The screenshot shows the 'Edit' (編集) screen for a service task. The 'Related Project' (関連プロジェクト) field is highlighted with a red box, showing a dropdown menu with options: '--選択--', '工程モードプロジェクト', '結合テスト', '単体テスト', 'システムテスト', and 'プロジェクトモードプロジェクト'. The 'Test Engineering' (テスト工程) field is set to '業務フロー網羅テスト'. The 'Register' (登録する) button is green, and the 'Cancel' (キャンセル) button is grey.

工程モードのプロジェクトの場合は各工程を、プロジェクトモードのプロジェクトの場合はプロジェクトそのものを選択できます。

制約事項

- 「機能」フィールドの変更 サービス課題がスコープ管理機能を通じて関連プロジェクトのテスト仕様書もしくは障害と紐付いている場合、このサービス課題の「機能」の値が紐付くテスト仕様書および障害の「機能」にコピーされます。

そのため、「関連プロジェクト」が設定され、かつテスト仕様書または障害と紐付いているサービス課題の「機能」を、編集画面、一括更新画面または参照画面上で変更する際には、以下の確認メッセージが表示されます。



「OK」ボタンを押すと、参照中のサービス課題が更新されるとともに、紐付く関連プロジェクトのテスト仕様書および障害の「機能」が上書きされます。

- サブタスクの関連プロジェクトの設定について

サブタスクは直接関連プロジェクトに設定ができず、親課題のスコープが自動的に設定されます。

8.3.7. コメントを追加する

サービス課題の編集画面および参照画面の両方から、サービス課題に対してコメントを追加できます。

参照画面からコメントする場合、コメントごとにファイル添付することもできます。

編集画面からコメントを行う

編集画面からのコメントは他の項目の入力と同様に行うことができます。[サービス課題を編集する](#)を参照して下さい。

参照画面からコメントを行う

- 画面上部のコメントボタン、または活動>コメントタブのコメントボタンを押します。



2. コメントの入力およびファイルの添付を行います。

※ファイルは、ファイル選択ボタンを押してポップアップ画面を開き、添付したいファイルを選択するか、コメントエリア（グレー部分）に添付ファイルを直接ドラッグ＆ドロップすることで添付できます。

3. 登録するボタンを押して、コメントを確定します。

ショートカットキーCtrl + Enterでもコメントの登録が可能です。

4. コメントの編集・削除

登録したコメントは、コメント右上の編集ボタンを押すか、コメント欄を直接クリックすることで編集可能になります。

また登録済みのコメントに対してもコメント追加時と同様にファイルの添付が可能です。

コメントを削除する場合は、コメント右上の×ボタンを押下してください。

参照画面からのメール通知機能

参照画面から直接フィールドの値を変更した場合、メール通知がされません。

ただしコメントの更新時にはメール通知がされますので、シェアメンバーに対して通知が必要な場合はコメントをご利用ください。

8.3.8. サービス課題に関連課題を追加する

表示中のサービス課題に、関連する別のサービス課題あるいはプロジェクトに登録された障害との相互リンクを設定できます。関連課題を設定すると、その課題へのリンクが項目「関連課題」に表示され、クリックすると該当課題の参照画面に遷移します。

本項では参照画面上で関連課題を設定する方法について説明します。

関連課題の追加

1. 関連課題の追加ボタンを押します。

2. 紐付けたい課題が登録されているプロジェクト・工程またはサービス課題管理を選択し、関連課題を選択してください。

※最大20個の課題を関連付けることができます

3. 選択が終わったら登録ボタンを押して下さい。

関連課題の参照と関連の解除

- 登録した関連課題は、参照画面の関連課題フィールドにリスト形式で表示されます。
- 各関連課題タイトルは、それぞれの参照画面へのリンクになっており、クリックすることで遷移可能です。
- タイトル左側に表示される○の色は関連課題の現在のステータスを表しており、緑は新規、オレンジは着手中、グレーは終了のステータスとなっています。また終了している課題は取り消し線が引かれます。
- 関連を解除する際は、解除したい課題のタイトル上をホバーするとタイトル右側に×ボタンが現れますので、×ボタンをクリックして関連を解除してください。

8.3.9. ファイルを添付する

サービス課題参照画面から、参照中のサービス課題にファイルを添付することができます。

本項では、ファイルの添付・削除について説明します。

ファイルの添付方法

ファイルの添付方法には次の3種類があります。

- 「ファイルの選択」ボタンからファイル選択ポップアップを開いて添付する
- 添付ファイルフィールドに直接ファイルをドラッグ&ドロップする
- 添付ファイルフィールドにフォーカスを当て、クリップボードにコピーした画像をCtrl + vで貼り付ける (jpeg形式で保存されます)

ファイルの削除

1. 削除したい添付ファイルにカーソルを当てます。

2. 右側に「x」ボタンが表示されるので、押してください。

制約事項

1つのサービス課題にアップロード可能なファイル容量は最大100MB、同時にアップロード可能なファイル数は最大100個までとなります。

また、添付可能なファイル形式は以下の通りです。

種別	拡張子
画像	png, jpeg, jpg, gif, bmp, tif
テキスト	txt, csv, tsv, log, json, sql
Office	doc, docx, xls, xlsx, ppt, pptx, odt, ods, odp, odg, rtf
HTML	html, htm, xml
PDF	pdf, xps, oxps
圧縮	zip, lzh, lha, tar, tgz
動画	mp4, webm, mov
音声	wav, mp3
その他	crash, ips

8.3.10. サービス課題にサブタスクを追加する

当項では課題にサブタスクを登録する方法を説明します。

1. 課題参照画面にある「サブタスク追加」ボタンをクリックし、新規登録ポップアップ画面を開きます。

YS4166-3 : ケース毎に工数を登録できるようにする

戻る コメント 編集 共有 その他 4 件へ 32 / 34

関係者
担当者 : sh_坂本
更新者 : sh_坂本
2019/06/10 11:48
報告者 : sh_坂本
2019/04/15 17:41

タイムトラッキング 作業ログ
開始予定日 : 2019/04/15
見積工数 : 10.00h
施工数 : 4.00h
作業工数 : 6.00h

シェア 設定

種別 : 要望
優先度 : P2
開発担当者 : sh_渡
編成 : 進捗管理機能
概要 : 現状の課題点として、シナリオテストのように1ケースに実行時間が異なる場合、CAT上でそれを登録することができず、大まかな工数計算しかできない。機能改修を行い、ケース毎に工数を計算できるようにして、より正確に工数計算ができるように改善。
関連プロジェクト : 4.16.6テストプロジェクト
関連課題 :
添付ファイル :

ステータス : 新規
重要度 : Normal
納期 : 2019/06/14

サブタスク追加

ファイルを選択

追加

サブタスク追加

▼ サブタスク
▼ 活動
コメント 履歴 作業ログ
コメント

2. 課題情報を入力し、「登録」ボタンを押します。

3. 登録したサブタスクは参照画面で確認ができ、以下の操作が可能です。

項目	説明
編集	サブタスクを編集します。
担当者	サブタスクの担当者を変更します。
ステータス	サブタスクのステータスを変更します。
コピー	サブタスクをコピーします。
削除	サブタスクを削除します。

8.3.11. 作業実績を記録する

作業ログ機能を利用すると、作業時の実績（作業開始日・作業時間）及びコメントを残すことができます。

1. 作業ログを入力する。

参照画面にて作業ログボタンを押し、作業開始日・作業時間・コメントを入力ください。

※残工数を修正する場合は「残工数を入力する」にチェックを入れて、数値を入力ください。

※サブタスクがある課題の場合は「サブタスクを含める」のチェックを外してください。

関係者
担当者 : 開発 六周
更新者 : 営業 デモユーザ
2018/06/08 16:57
報告者 : 開発 六周
2018/06/07 12:14

タイムトラッキング
開始予定日 : 2018/06/07
見積工数 : 8.00h
残工数 : 4.50h
作業工数 : 3.50h

シェア
開発 隅

作業ログ

作業ログの登録

新しい作業ログを登録します。
入力された作業時間をもとに自動的に残作業時間を調整します。
※0以下にはなりません。

作業日 : 2018/06/11

作業時間(時間) : 1.5 (例 1.5h, 1h 30m)

コメント : 水深 200 m までは海水が自由に混合するが、温度躍層をはさんで上下の海水は混合することはない。

☐ 残工数を入力する

残工数(時間) : (例 1.5h, 1h 30m)

登録 キャンセル

2. 作業ログを確認する。

参照画面下部の活動にある「作業ログ」タブから確認できます。

※「サブタスクを含める」にチェックがある場合、サブタスクの作業ログも表示されます。

▼ 活動			
コメント 履歴 作業ログ			
作業日	2018/06/11	作業工数	1.50h
作業者	営業 デモユーザ	作業時間	1.50h
コメント : 水深 200 m までは海水が自由に混合するが、温度躍層をはさんで上下の海水は混合することはない。			
作業日	2018/06/07	作業工数	2.00h
作業者	営業 デモユーザ	作業時間	2.00h
コメント : 深海の生物学的環境は表層における海流や季節性変化、陸地からの物質供給に大きく依存しており、深海魚の生態を海洋環境と結び付けて理解するためには広範囲かつ経時的な調査が求められる。			

8.4. サービス課題の情報共有をする

8.4.1. メッセージを送信する

サービス課題管理機能では、メンバーと課題の解決に取り組む際に、「共有」機能を利用してメッセージを送信できます。

本項では参照画面上でメンバーにメッセージを送信する方法について説明します。

1. サービス課題参照画面から共有ボタン>メール送信を押します。

プロジェクト一覧 サービス課題管理

MANU-9: 海洋研究開発機構 (JAMSTEC) の調査船「かいわれい」の機器が

共有 ▼ その他 ▼

ID + タイトルコピー
URLコピー
メール送信

関係者
担当者 : 開発 中沢
更新者 : 営業 デモユーザ
2018/06/07 12:20

優先度 : P3 (中)

2. 共有先とメッセージを入力し、「送信する」ボタンを押して下さい。



8.4.2. メールの自動通知を設定する

サービス課題の登録・編集・削除時に、メールを利用してその変更を自動でチームメンバーに通知し、共有できます。

本項ではサービス課題変更の通知機能について説明します。

通知機能の概要

項目	説明
メールの通知先	<ul style="list-style-type: none">・ 担当者・報告者となっている編集した本人以外のメンバー・ 参照画面上でシェアに登録されているメンバー
メール送信タイミング	<ul style="list-style-type: none">・ サービス課題編集画面または一括変更機能で課題を変更した際・ サービス課題参照画面でコメントを記載した際

通知機能の有効化

サービス課題変更の通知機能はデフォルトでは無効化されています。サービス管理>サービスの基本設定に移動し、「メール設定」項目の「サービス課題管理でメールを利用する」をチェックして、通知機能を有効化してください。



シェアメンバー登録

サービス課題参照画面から課題ごとにメール通知対象のメンバーを登録することができます。

1. サービス課題参照画面で、シェアの「設定」ボタンを押します。



※ サービスの基本設定の「サービス課題管理でメールを利用する」がオフの場合、設定ボタンは無効となり、操作することができません。

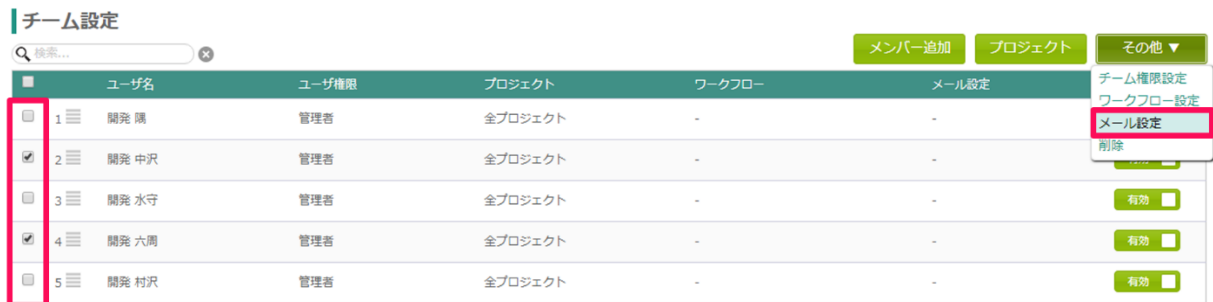
2. 情報共有したいメンバーを「共有先」に追加します。



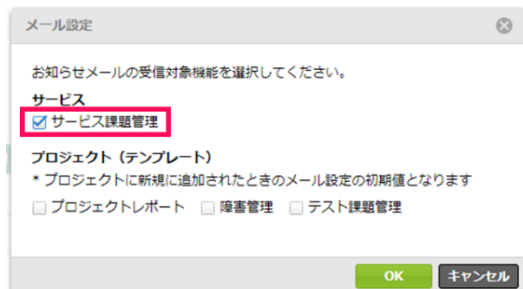
シェアメンバーの自動追加設定

サービスの基本設定のチーム設定でメンバーごとにサービス課題メールを設定すると、該当メンバーが全てのサービス課題の起票時に自動的に共有先に追加されるようになります。

1. サービスの基本設定画面に移動します。
2. チーム設定で、サービス課題を常に共有したいメンバーを選択し、「その他> メール設定」をクリックします。



3. メール設定ポップアップ画面が表示されますので、「サービス課題管理」にチェックを入れ、「OK」ボタンを押してください。



4. メンバーごとのメール設定を確認し、問題なければ「登録する」ボタンを押して設定変更を確定してください。

チーム設定

検索...

メンバー追加プロジェクトその他 ▼

	ユーザ名	ユーザ権限	プロジェクト	ワークフロー	メール設定	ステータス
<input type="checkbox"/>	1 開発 隔	管理者	全プロジェクト	-	-	有効 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	2 開発 中沢	管理者	全プロジェクト	-	サービス課題	有効 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	3 開発 水守	管理者	全プロジェクト	-	-	有効 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	4 開発 六周	管理者	全プロジェクト	-	サービス課題	有効 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	5 開発 村沢	管理者	全プロジェクト	-	-	有効 <input type="checkbox"/>

登録するキャンセル

9. スコープ管理

スコープ管理機能は、プロジェクトで解決する要望・障害・タスク等をサービス課題管理機能から選択し、プロジェクトスコープとして管理できます。選択されたスコープ事にテスト仕様書や課題・障害と関連付けすることによって、スコープ毎にそれぞれの状況を一元管理することができます。

CAT COMPUTER AIDED TEST

プロジェクト▼課題登録

SHIFT_USER

プロジェクト情報スコープ管理スケジュール管理テスト管理課題管理進捗管理▼分析

サンプルサイトAサンプルプロジェクト株式会社SHIFT デモ用

スコープ一覧

スコープ追加

削除

ダウンロード

リフレッシュ

ID	スコープ	ステータス	開始日	期間	担当者	機能
<input checked="" type="checkbox"/> SAMP-A-1	テスト仕様書をドラッグアンドドロップで登録できるようにする	新規	2018/10/23	5 日	SHIFT_USER	登録画面
<input type="checkbox"/> SAMP-A-2	LDAPでユーザ情報を管理できるようにする	新規	2018/10/23	10 日	開発 隅	登録画面
<input type="checkbox"/> SAMP-A-3	CATのテーマカラー変更できるようにする	新規	2018/10/23	5 日	SHIFT_USER	参照画面
<input type="checkbox"/> SAMP-A-4	ユーザ名が長い場合にレイアウトが崩れる	終了	2018/10/23	0.5 日	開発 中沢	参照画面

プロパティ

情報テスト・課題コメント履歴作業ログ

テスト仕様書

ID	テスト仕様書	担当者	ケース数	進捗
1	テスト管理 (正常系)	SHIFT_USER	90	0%
2	テスト管理 (異常系)	SHIFT_USER	12	0%

課題

ID	タイトル	ステータス	編集
SAP- 10	登録時のシート順序が正しくない	新規	✎
SAP- 9	古いフォーマットのExcelファイルでテスト仕様書が登録できない	改修完了	✎

※注意

バージョン4.15.x以前に作成したサービスをご利用の場合、「サービスの移行」を行うことでスコープ管理メニューが表示されます。

9.1. プロジェクトの開発モードについて

スコープ管理は、以下の2つの開発モードがあります。

開発モード	意味
プロジェクトモード	<p>プロジェクトの複数工程（開発工程、結合テスト工程、シナリオテスト工程など）を通して、作業範囲（スコープ）を管理するモードです。</p> <p>工程に関係なくプロジェクト全体でスコープとスケジュールを管理します。</p>
工程モード	<p>工程（スプリント1、スプリント2など）毎に、作業範囲（スコープ）を管理するモードです。</p> <p>プロジェクトの工程毎に独立したスコープとスケジュールを管理します。</p>

この開発モードはプロジェクト管理の「プロジェクト基本情報設定」より行うことができます。

プロジェクト基本情報設定

サービス名	CAT開発プロジェクト
プロジェクト名	416バージョンアップ 1～200文字（例）テスト支援ツール開発
識別子	VUP416 プロジェクトの識別子を入力してください
プロジェクト期間	2018/06/13 開始日 2018/06/29 終了日
ワークタイム	09:00 開始時刻 18:00 終了時刻
プロジェクト状況	稼動中 - 順調
開発モード	<input checked="" type="radio"/> プロジェクトモード 複数の工程で共通したスコープを管理します。 <input type="radio"/> 工程モード 工程毎にスコープを管理します。
工程	現在の工程: サンプル工程 編集

▶ オプション項目

プロジェクトメール設定

開発モードの確認

プロジェクトの現在の開発モードは、以下の画面でも確認できます。

CAT COMPUTER AIDED TEST

プロジェクト ▼ 課題登録

プロジェクト情報 スコープ管理 スケジュール管理 テスト管理 課題管理 進捗管理 ▼

プロジェクト情報

プロジェクト

プロジェクト状況 稼動中 - 順調

識別子 PIM171

現在の工程 リリース版

バージョン 1.2

開始日 2014/05/26

終了予定日 2014/06/13

経過日数 1687

開発モード プロジェクトモード

レポート メール送信

添付ファイル Confluence_ダッシュボード.txt

サマリー

テスト件数	4402	前日までの完了予定
実施件数	3139	予定進捗率(%)
未実施件数	1263	予定進捗率(%)
全体進捗率	71 %	本日の進捗率

テスト状況

テスト仕様書一覧	担当
【IT1】FC00103002_新規オーダー参照…	-
【Pattern2】04.Testing specification(…	-
サンプルテスト仕様書 1	開
【Pattern3】既存テスト_14.Redmine運…	-

9.2. スコープ一覧を確認する

スコープ一覧画面には登録されているスコープの一覧が表示されています。

本節ではスコープ一覧上の表示項目と各種操作ボタンについて説明します。

スコープ一覧画面

スコープ一覧							
スコープ追加 削除 ダウンロード 検索							
ID	スコープ	ステータス	開始日	期間	担当者	機能	
SAMPA-1	テスト仕様書をドラッグアンドドロップで…	新規	2018/10/23	0 日	SHIFT_USER	登録画面	
SAMPA-2	LDAPでユーザ情報を管理できるようにする	新規	2018/10/23	0 日	開発 隅	登録画面	
SAMPA-3	CATのテーマカラー変更できるようにする	新規	2018/10/23	0 日	SHIFT_USER	参照画面	
SAMPA-4	ユーザ名が長い場合にレイアウトが崩れる	終了	2018/10/23	0 日	開発 中沢	参照画面	

画面項目

項目	説明
ID	スコープのIDを表示します。このIDはサービス課題のIDと同じ値が表示されます。
スコープ	スコープのタイトルです。
ステータス	課題のステータスです。
開始日	スコープの作業開始日です。
期間	スコープの作業期間（作業日数）です。
担当者	スコープの作業担当者です。
機能	スコープの機能です。テスト仕様書にスコープを設定すると自動的にテスト仕様書にも設定されます。

ボタンの説明

項目	説明
スコープ追加	サービス課題からプロジェクトのスコープに追加する課題を選択します。
削除	選択されているスコープを削除します。
ダウンロード	スコープ一覧の内容をCSVファイルでダウンロードします。
再読み込み	スコープ一覧を再読み込みします。
メニュー	 <p>スコープ一覧の右端にあるメニューボタンから、フィルターのクリアとリセットができます。</p>

各操作

項目	説明
フィルターのクリア	現在スコープ一覧に設定されているフィルターをクリアします。
リセット	カラムの表示を初期値に戻します。

9.3. スコープ一覧を並び替える

スコープ一覧は、優先度の高い順序など任意の順序に、ドラッグ&ドロップで並び替えることができます。この順序は全ユーザで共有され、チームで共通な順序で参照できます。

1. スコープ一覧で順番を移動したいスコープを選択し、マウスで移動したい先にドラッグ&ドロップします。



2. ドロップすると、スコープの順序が変更されます。



9.4. 新しいスコープを登録する

スコープ管理にスコープを追加する方法を説明します。

追加する方法

- スコープ管理機能から新しいスコープを登録する
- サービス課題管理から新しいスコープを登録する

以降で、その手順を説明します。

9.4.1. スコープ管理機能から新しいスコープを登録する

スコープ管理機能からプロジェクトスコープを登録する方法を説明します。

1. スコープ一覧の上部メニューの「スコープ追加」ボタンを押下します。



- 表示されたサービス課題の一覧からプロジェクトのスコープに追加する課題を選択して、下部の「追加」ボタンを押下します。

サービス課題一覧からスコープに追加する課題を選択して下さい。

ID	種別	タイトル	担当者	報告者	重要度	ステータス	更新時間
SAMPa-4	不具合	ユーザ名が長い場合にレイアウトが崩れる	開発 中沢	SHIFT_USER	Normal	新規	2018/12/25 15:50
✓ SAMPa-3	要望	CATのデモマカラー変更できるようにする	SHIFT_USER	SHIFT_USER	Normal	新規	2018/12/25 15:49
✓ SAMPa-2	要望	LDAPでユーザ情報を管理できるようにする	開発 藤	SHIFT_USER	Normal	新規	2018/12/25 15:49
✓ SAMPa-1	要望	テスト仕様書をドラッグアンドドロップで登録できるようにする	SHIFT_USER	SHIFT_USER	Normal	新規	2018/12/25 15:49

4件中1~4を表示

追加 キャンセル

この一覧には既に選択済みの課題、他のプロジェクトのスコープに選択済みの課題、サブタスクは表示されません。

- 選択した課題がスコープ一覧に追加されます。

ID	スコープ	ステータス	開始日	期間	担当者	機能
SAMPa-1	☺ テスト仕様書をドラッグアンドドロップで登録できるようにする	新規	2018/10/23	5 日	SHIFT_USER	登録画面
SAMPa-3	☺ CATのデモマカラー変更できるようにする	新規	2018/10/23	5 日	SHIFT_USER	参照画面

9.4.2. サービス課題管理から新しいスコープを登録する

サービス課題管理機能からプロジェクトのスコープを登録する方法を説明します。

- 登録したいプロジェクトのサービス課題管理を表示します。

トップページからサービスを選択し、「サービス課題管理」を押下します。

プロジェクト一覧 サービス課題管理

CAT開発プロジェクト

検索...

終了したプロジェクトも表示

識別子	プロジェクト名	現在の工程	開始日	連携ステータス	ステータス
VUP416	416バージョンアップ	サンプル工程	2018/06/13	-	稼働中-順調

1件中1件~1件 100

2. サービス課題一覧からスコープに追加したい課題を選択し、「編集」メニューを押下します。

サービス課題一覧

ID	種別	タイトル	担当者	報告者	重要度
CAT-3	要望	CATのテーマカラーを変更...	SHIFT USER	SHIFT USER	Normal
CAT-2	要望	LDAPでユーザ情報を管理でき...	Naoaki MIZUGUCH...	SHIFT USER	Minor
CAT-1	編集	テスト仕様書をドラッグ&...	SHIFT USER	SHIFT USER	Normal

3. 「関連プロジェクト」で、スコープとして登録したいプロジェクト、もしくは工程を選択し、「登録する」ボタンを押下します。

関連プロジェクト

416バージョンアップ

4. 以上で設定は完了です。スコープ管理画面より確認してください。

9.5. スコープを削除する

プロジェクトのスコープを削除する方法を説明します。

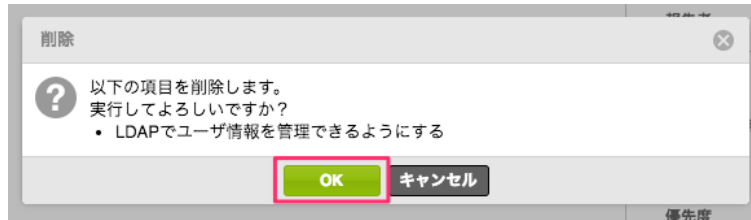
※プロジェクトからスコープを外す操作です。サービス課題管理機能から実際に課題は削除されません。

1. スコープ一覧から削除したいスコープを選択し、「削除」ボタンを押下します。このとき、複数のスコープを一度に選択することもできます。

スコープ一覧

ID	スコープ	ステータス	開始日	期間	担当者
CAT-1	テスト仕様書をドラッグ&ドロ...	新規	2018/06/13	5 日	SHIFT USER
CAT-2	LDAPでユーザ情報を管理でき...	新規	2018/06/13	10 日	Naoaki MIZUGUCH...
CAT-3	CATのテーマカラーを変更でき...	新規	2018/06/13	5 日	SHIFT USER

2. 確認ダイアログが表示されるので、削除対象が正しいかを確認して、「OK」を押下します。



3. 以上で削除が完了です。

9.6. スコープの詳細を確認する

スコープ一覧上でスコープを選択すると、そのスコープに関する様々な情報を右ペインのプロパティに表示できます。

スコープ一覧

スコープ追加 削除 タウンロード

ID	スコープ	ステータス	開始日	期間	担当者
<input type="checkbox"/> YS4166-1	サブタスクの実装	新規	2019/04/12	0.8 日	sh_坂本
<input type="checkbox"/> YS4166-2	外部BTS連携設定	新規	2019/04/12	0.4 日	sh_岡
<input type="checkbox"/> YS4166-9	種別管理機能のDBにスキーマ追加	新規	2019/04/19	0 日	
<input checked="" type="checkbox"/> YS4166-3	ケース毎に工数を登録できるようにする	新規	2019/04/15	7.2 日	sh_坂本
<input type="checkbox"/> YS4166-4	進捗管理画面の実装	新規	2019/04/15	3.8 日	sh_岡
<input type="checkbox"/> YS4166-5	分析画面の実装	新規	2019/04/16	1 日	sh_宇賀治

プロパティ

情報 テスト・課題 コメント 履歴 作業ログ

ID : YS4166-3

タイトル : ケース毎に工数を登録できるようにする

ステータス : 新規

開始予定日 : 2019/04/15

期間 : 7.2 日

担当者 : sh_坂本

報告者 : sh_坂本

種別 : 要望

優先度 : P2

重要度 : test

機能 : -

関連プロジェクト : 4.16.6テストプロジェクト

サブタスク :

- YS4166-4.進捗管理画面の実装
- YS4166-5.分析画面の実装

サブタスク追加

関連課題 : 追加

添付ファイル : ファイルを選択

9.6.1. スコープの詳細情報を確認する

スコープのプロパティの「情報」タブで、選択されているスコープの詳細情報を参照できます。この情報は、サービス課題管理の課題種別で設定されているカスタムフィールド設定に基づいて表示されます。

「ID」のリンクをクリックすると、サービス課題管理上で、このスコープを確認できます。

プロパティ

情報 テスト・課題 コメント 履歴 作業ログ

ID : YS4166-3

タイトル : ケース毎に工数を登録できるようにする

ステータス : 新規

開始予定日 : 2019/04/15

期間 : 7.2 日

担当者 : sh_坂本

報告者 : sh_坂本

種別 : 要望

優先度 : P2

重要度 : test

機能 : -

関連プロジェクト : 4.16.6テストプロジェクト

サブタスク :

- YS4166-4.進捗管理画面の実装
- YS4166-5.分析画面の実装

サブタスク追加

関連課題 :

追加

添付ファイル :

ファイルを選択

9.6.2. スコープの詳細情報を編集する

以下の手順で、スコープの各情報を編集できます。

1. 編集したい項目をクリックします。編集可能項目はマウスホバーにて背景が黄色になります。なお、非表示になっている項目を編集するにはサービス課題管理画面を開いて編集する必要があります。

プロパティ

情報 テスト・課題 コメント 履歴 作業ログ

FT_USE ID : SAMPA-1

FT_USE タイトル : テスト仕様書をドラッグアンドドロップで登録できるようにする

ステータス : 新規

開始予定日 : 2018/10/23

期間 : 5 日

担当者 : SHIFT_USER

報告者 : SHIFT_USER

種別 : 要望

再現性の有無 : 未確認

環境依存性 : 未確認

2. 編集を行い、チェックボタンを押下して編集を完了します。

プロパティ

情報 テスト・課題 コメント 履歴 作業ログ

ID : SAMPA-1

タイトル : テスト仕様書をドラッグアンドドロップで登録できるようにする

ステータス : 新規

開始予定日 : 2018/10/23

期間 : 10月 - 2018 -

担当者 :

報告者 :

種別 :

再現性の有無 :

9.6.3. スコープに関連付いたテスト、課題を確認する

「テスト・課題」タブではスコープと関連したテスト仕様書と課題を一覧で確認できます。

また、テスト仕様書名、課題のタイトルのリンクから、各機能で詳細を表示できます。

プロパティ

情報 テスト・課題 コメント 履歴 作業ログ

テスト仕様書

登録

ID	テスト仕様書	担当者	ケース数	進捗
1	テスト管理（正常系）	-	90	1%
2	テスト管理（異常系）	-	12	0%

課題

ID	タイトル	ステータス	編集
SAP- 10	登録時のシート順序が正しくない	新規	/
SAP- 9	古いフォーマットのExcelファイルでテスト仕様書が登録できない	対応完了	/

※「登録」ボタンからテスト仕様書を登録するとスコープとテスト仕様書を自動的に関連付けできます。

テスト仕様書の詳しい登録方法は[テスト仕様書を作成する](#)をご参照ください

登録

新規登録

アップロード登録（新規/更新）

9.6.4. スコープにコメントを追加する

プロパティの「コメント」タブでは、スコープに関してコメントを追加できます。

1. コメントボタンを押下します。



2. コメントを入力し登録するボタンを押します。

ファイル選択ボタンを押すとコメントに対してファイルを添付できます。



登録後もファイルの添付が可能です。また、コメントの編集・削除も可能です。コメントを編集するには、コメント本文をクリックします。



9.6.5. スコープにサブタスクを追加する

以下の手順でスコープにサブタスクを追加できます。

1. プロパティ から情報タブを表示し、「サブタスク追加」をクリックします。

The screenshot shows the CAT JUDGE TEST interface. On the left, there is a table of tasks. On the right, the 'プロパティ' (Properties) tab is active, showing details for a task. A red box highlights the 'サブタスク追加' (Add Subtask) button, and a callout points to it from the right.

ID	スコープ	ステータス	開始日	期限	担当者
SAPRA-1	集計表に出力、達成率を表示してほしい	切り分け完了	2018/06/06	2日	開発 六海
SAPRA-11	テスト仕様書を登録した後、第3者の実行...	新規	2018/06/13	0日	開発 水守
SAPRA-10	BTSの検索条件を個人ごとに見えさせて欲しい	新規	2018/06/13	0日	開発 清
SAPRA-9	一括ダウンロード時、対象が空ならば警告...	新規	2018/06/06	0日	開発 清
SAPRA-7	"表示範囲"に対して、"デフォルト範囲"ボ...	新規	2018/06/08	4日	開発 水守
SAPRA-5	日時ヘッダーを固定し、縦スクロールして...	新規	2018/06/06	4日	開発 水守
SAPRA-4	選択画面に横スクロールバーを常時使える...	新規	2018/06/06	2日	開発 水守
SAPRA-3	テスト仕様書一括ダウンロードされる各SC...	新規	2018/06/06	4日	開発 六海
SAPRA-13	メンバーのメール設定を一括で出来るように...	新規	2018/06/06	0日	開発 水守
SAPRA-21	テストカスタムフィールド	新規	2019/03/20	0日	

2. 登録内容を入力してください。入力を終えたら登録するボタンを押します。

The screenshot shows the '新規登録' (New Registration) form. The form contains the following fields and options:

- サービス: テストサービス
- プロジェクト: サービス課題管理
- 種別: サブタスク
- タイトル: システム改修による影響度調査
- ステータス: 新規
- 概要: (Text area)
- 操作手順: (Text area)
- 再現性の有無: ☐ あり ☐ なし ☒ 未確認
- 環境依存性: ☐ あり ☐ なし ☒ 未確認
- 発生環境: (Text area)
- 添付ファイル: (File upload button: ファイルを選択)
- 優先度: P3 (中)

Buttons at the bottom: 登録する, 連続して作成する, キャンセル.

3. 作成したサブタスクは情報から確認ができます。

関連プロジェクト : サンプルプロジェクト

サブタスク :

● SAPRA-22.システム改修による影響度調査

サブタスク追加

関連課題 :

※サブタスクのタイトルをマウスオーバーした際に表示される「×」をクリックするとサブタスクを削除します。

サブタスク :

● SAPRA-22.システム改修による影響度調査 ×

サブタスク追加

9.6.6. スコープの変更履歴を確認する

プロパティの「履歴」タブでは、スコープの変更履歴を確認できます。

プロパティ

情報 テスト・課題 コメント 履歴 作業ログ

SHIFT_USER さんが更新しました。 2018/12/25 16:24

フィールド名	古い値	新しい値
添付ファイル		UI設計書.xlsx

SHIFT_USER さんが更新しました。 2018/12/25 16:05

フィールド名	古い値	新しい値
概要	確認お願い致します。	

SHIFT_USER さんが更新しました。 2018/12/25 15:53

フィールド名	古い値	新しい値
--------	-----	------

9.6.7. スコープの作業後に作業時間およびコメントを残す

プロパティの「作業ログ」タブでは、スコープ作業時の実績(作業開始日・作業時間)及びコメントを残すことができます。

1. 作業ログを入力する。

「作業ログ」タブにて作業ログボタンを押してください

作業日、作業時間、コメントを入力ください

- 残工数を入力する場合はチェックを入れて、数値を入力ください。
- サブタスクがある課題の作業時間を追加する場合は「サブタスクを含める」のチェックを外してください

作業ログの登録

新しい作業ログを登録します。
入力された作業時間をもとに自動的に残作業時間を調整します。
※ 0 以下にはなりません。

作業日 * 2018/12/25

作業時間(時間) * (例 1.5h, 1h 30m)

コメント

☐ 残工数を入力する

残工数(時間) (例 1.5h, 1h 30m)

登録 キャンセル

2. 作業ログを確認する。

下部の「作業ログ」から一覧を確認できます。

※「サブタスクを含める」にチェックがある場合、サブタスクの作業ログも表示されます。

プロパティ

情報 テスト・課題 コメント 履歴 作業ログ

タイムトラッキング

作業ログ

開始予定日 : 2019/04/12

見積工数 : 6.20h

残工数 : 5.20h

作業工数 : 1.00h

☒ サブタスクを含める

作業ログ

作業日 2019/04/15 作業工数 1.00h

作業時間 1.00h

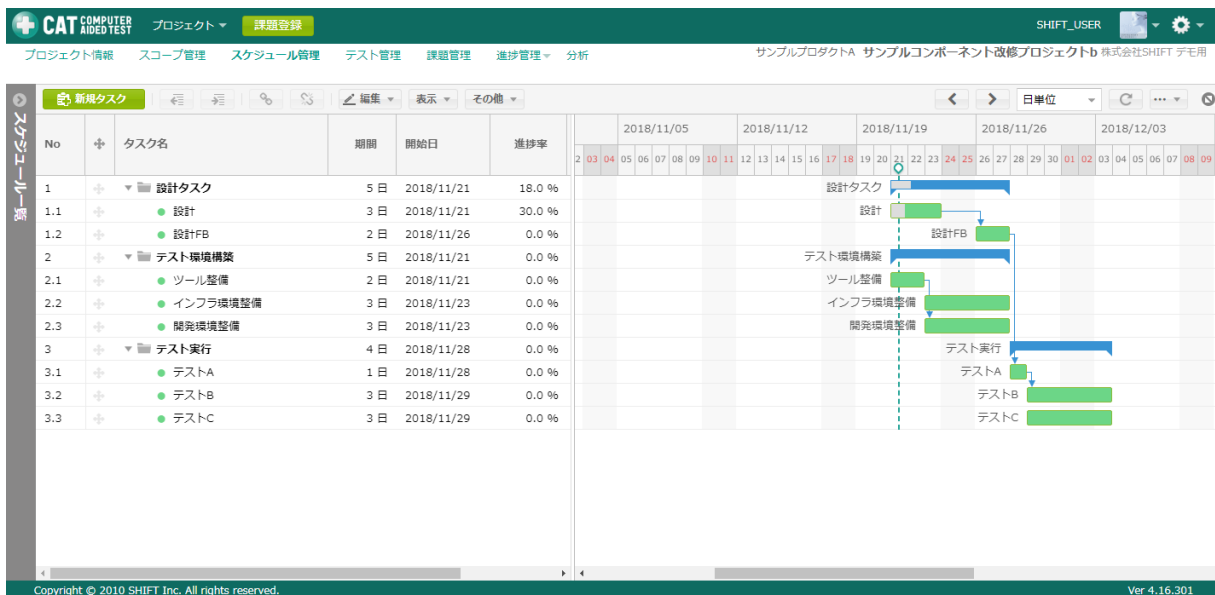
コメント テスト作業

sh_坂本

10. スケジュール管理

スケジュール管理ではチーム毎にスケジュールを定義し、各タスクの開始・終了日、進捗状況を俯瞰して見ることが出来ます。ドラッグ操作で、タスクの順序や期限の変更、タスク間の依存関係の作成ができ、直感的に素早く操作できます。

ガントチャートの例



10.1. スケジュールを作成する

一つのプロジェクト内に複数のスケジュールを作成できます。スケジュール毎に参照可能なメンバーを設定することで、サブチーム単位等でスケジュールを立てることが可能です。

スケジュールの追加・編集・削除は管理者・社員・協力会社権限のメンバーのみ可能です。

スケジュール一覧の各機能について説明します。

スケジュール一覧(左ペイン)



1. スケジュールの作成

「新規」ボタンからスケジュール(WBS・ガントチャート)を作成します。画面上からダウンロードしたCSVをアップロードしての登録も可能です。

2. スケジュールのコピー

コピーアイコンから、該当するスケジュール内のタスク及びメンバーの情報をコピーします。

3. スケジュール名、共有範囲の設定

歯車アイコンからスケジュールの以下の設定が可能です。

- スケジュール名
- 参照可能ユーザ

スケジュールを共有するユーザを作成者のみ、ユーザ指定、全メンバーから設定します。各スケジュールはここに設定したユーザのみに表示されます。

※ 参照可能ユーザーのうち、社員・協力会社権限のユーザーはそのスケジュールの更新・削除・設定ができません。

※管理者権限のユーザーは共有されていないスケジュールはタイトルの表示・および削除が可能です。

4. スケジュールの削除 ゴミ箱ボタンからスケジュールを削除します。

5. スケジュール編集ロックの解除 スケジュールの編集ロックモードを解除します。

※マニュアル保存モードでスケジュールを編集するときのみ表示されます。

※編集ロックモードを解除すると編集中のデータは破棄されるのでご注意ください。

10.2. タスクを作成する・編集をする

各スケジュールのタスク情報及びカレンダーを左ペインに表示します。

タスク一覧及びカレンダーで可能な操作を説明します。

※タスクの追加・編集は「保存」ボタンを押した際に保存されます。また、タスクの編集している際は他のユーザが同じスケジュールを編集することができません。

10.2.1. タスクを追加する

1. 新規タスクの追加

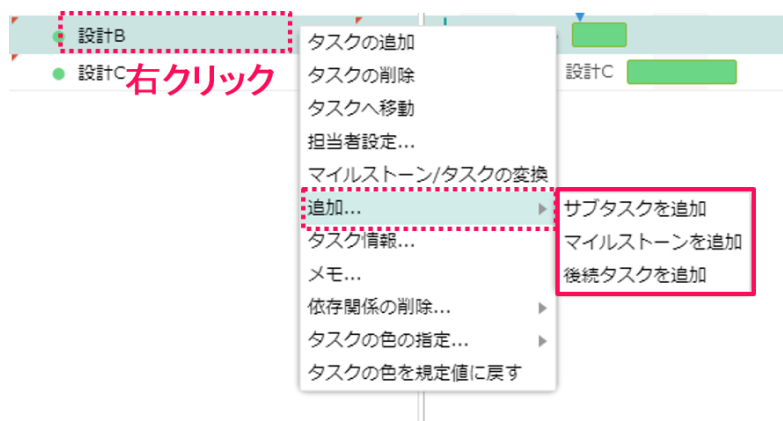
「新規タスク」ボタン(もしくはInsertキー)、タスク上で右クリックして「タスクの追加」からタスクを追加します。

No	タスク名	期間	開始日	進捗率
1	新規タスク	1 日	2018/11/21	0.0 %
2	設計タスク	5 日	2018/11/21	18.0 %
2.1	設計	3 日	2018/11/21	30.0 %
2.2	設計FB	2 日	2018/11/26	0.0 %
3	テスト環境構築	5 日	2018/11/21	0.0 %

2. タスクの種類を選択して追加

「新規タスク」のほかに後続タスクや、サブタスク、マイルストーンの追加が可能です。

タスクを右クリックして、「追加」を選択することで追加が可能です。

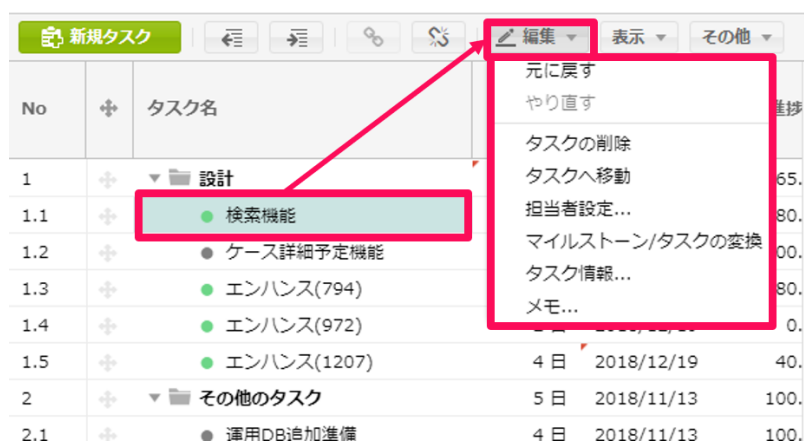


メニュー	操作
サブタスクを追加	選択したタスクの配下にサブタスクを作成します。
マイルストーンを追加	選択したタスクの後ろにマイルストーンを作成します。
後続タスクを追加	選択したタスクの後ろにタスクを作成し、依存関係を作成します。

10.2.2. タスクの編集を行う

タスクの編集や担当者の設定、メモの編集等、タスクの設定操作は「編集」ボタンから行います。

各操作・設定を行いたいタスクをクリックし、「編集」ボタンからタスク情報の編集、担当者の設定などができます。



メニュー	操作
元に戻す	直前の操作を取り消して元に戻します。
やり直す	直前に取り消した操作をもう一度繰り返して実行します。
タスクの削除	タスクの削除をします。
タスクへの移動	選択したタスクのガントチャートをハイライトします。
担当者設定	タスクの担当者設定のポップアップが表示されます。
マイルストーン/タスクの変換	タスクをマイルストーンに、マイルストーンをタスクに変換します。
タスク情報	タスク情報のポップアップが表示されます。
メモ	<p>メモのポップアップが表示されます。</p> <p>※メモはWBS上でも編集が可能です</p> 

※タスクをダブルクリックするとタスクを編集でき、F2キーを押下するとタスク名の編集ができます。



※タスクは「+」マークをドラッグアンドドロップすることで移動します。



10.2.3. タスクの依存関係(リンク)設定

1. 依存関係の作成（ドラッグアンドドロップ）

タスクの依存関係はタスクの後部の丸印をドラッグアンドドロップして作成します。



2. 先行タスクの登録

タスク情報画面から「先行タスク」し、タスクを登録して設定します。



3. 依存関係の削除

ガントチャート上で右クリック後、「依存関係の削除」をクリックし、削除するタスクを選択し依存関係を削除します。



10.2.4. タスクの階層設定

レベル下げ・レベル上げボタンで、タスクの親子関係を設定し管理できます。

新規タスク				
No	+	タスク名	期間	開始日
1	+	設計タスク	5 日	2018/10/26
2	+	テスト環境構築		
3	+	テスト実行		
3.1	+	テストA	1 日	2018/11/02
3.2	+	テストB	4 日	2018/11/05
3.3	+	テストC	3 日	2018/11/05
3.4	+	テストD	1 日	2018/11/09
4	+	新規タスク	3 日	2018/11/09

タスクを選択後、アイコンをクリックするとタスクを階層化できます。

10.2.5. 色の指定

タスクを右クリックして「タスクの色を指定」メニューから表示色を変更できます。解除するには「タスクの色を規定値に戻す」を選択します。



10.2.6. タスクの分割

一つのタスクのガントチャートを分割して管理できます。

ガントチャート上で右クリックをして、「タスクの分割」を選択すると分割が可能です。

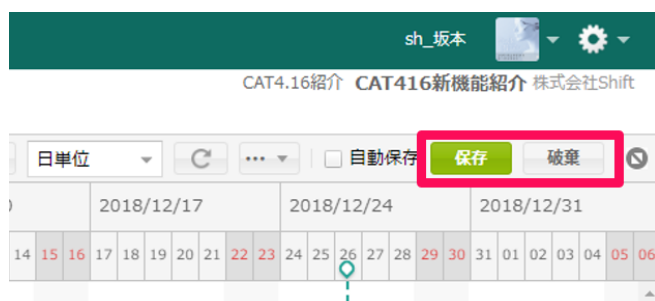
割り込みタスクなど、現状のタスクを中断して他のタスクを優先して実施する場合に利用します。



10.2.7. タスクの保存および破棄

追加・編集したタスクは「保存」ボタン（またはCtrl + s）を押すと保存されます。また破棄ボタンを押すと編集内容が破棄されます。

「保存」ボタンもしくは「破棄」ボタンを押した時点で他のユーザが該当のスケジュールを編集できるようになります。

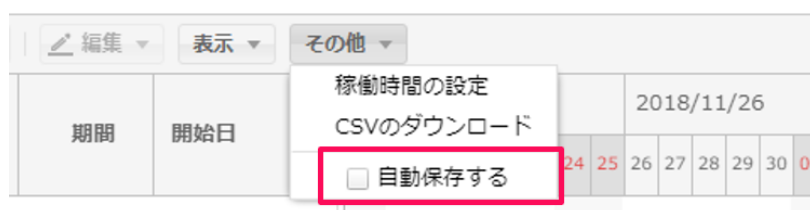


10.2.8. 保存モードの変更

「自動保存」のチェックを有効化すると、タスクを編集した際に編集した都度「保存ボタン」をおさなくても保存されるようになります。

軽微な修正の際、変更を即時で反映したい場合に活用できます。

マニュアル保存と自動保存の違いは以下表を確認ください。



	マニュアル保存(デフォルト)	自動保存
保存のタイミング	「保存ボタン」またはCtrl+Sを押下後に保存	項目編集後に自動的に保存
スケジュールをロックするタイミング	タスクを追加・編集したタイミング	
スケジュールロック解除するタイミング	<ul style="list-style-type: none"> 保存ボタンを押し、保存が完了後 「編集ロック解除」ボタン押下後 	自動保存が完了した後
モードの説明	スケジュールの編集後にロックを行い、保存操作後に保存とロック解除を行います。スケジュールの編集量の多い場合等、明示的にスケジュール全体をロックしたい場合に利用します。	スケジュールの編集後にロックを行い、項目編集後に自動で保存とロック解除を行います。軽微な修正などの際に利用します。複数ユーザが同時にスケジュールを変更した場合、競合が発生します。

10.3. 表示設定を変更する

表示ボタンから各種表示設定が可能です。



表示メニューの項目一覧

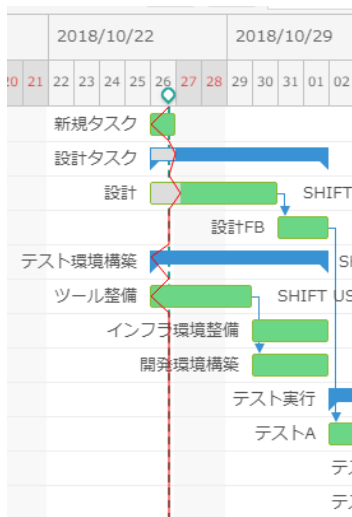
項目名	説明
ズームイン	表示単位を大きくします。
ズームアウト	表示単位を小さくします。
プロジェクト全体	ガントチャート全体を表示させます。
全サブタスクの表示	非表示状態のサブタスクを表示させます。
全サブタスクの非表示	表示状態のサブタスクを非表示にさせます。
イナズマ線の表示	イナズマ線を表示します。
クリティカルパスの表示	クリティカルパスを強調表示します。
タスク名表示	タスク名を表示させます。
担当者表示	担当者名を表示させます。

10.3.1. イナズマ線の表示

イナズマ線は本日を起点に、遅延タスク・進んでいるタスクを結んだ赤い線です。遅延・進捗を視覚的に把握しやすくなります。

当日線よりも左にある場合は、予定よりも遅れていることを示します。右にある場合は、予定よりも進んでいることを示します。

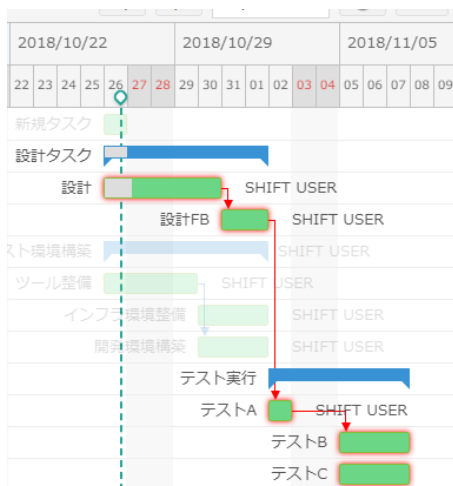
イナズマ線の表示例



10.3.2. クリティカルパスのハイライト表示

クリティカルパスになっているタスクをハイライトで表示できます。プロジェクト全体に影響を与える一連のタスクを強調表示します。

クリティカルパスの表示例



10.4. 稼働日設定を設定する

メンバーの稼働日・非稼働日を設定できます。事前に入力しておくことでスケジュールを設定する際に、非稼働日を外してスケジュール登録することや、土日でも稼働日としてスケジュールに入れることができるようになります。

稼働日の設定は「その他 > 稼働日」から設定が可能です。

稼働日設定イメージ図

非稼働日設定

No	メンバー	種別	開始日	終了日
1	全メンバー	全日稼働	2018/12/08	2018/12/08
2	sh_隣	休日	2018/12/07	2018/12/07

保存 キャンセル

項目	説明								
メンバー	非稼働日を設定したいメンバーを選択します。全メンバーまたは各メンバーから選択できます。								
種別	<p>非稼働日の種別を選択します。</p> <p>種別は以下になります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th><th>説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>休日</td><td>指定された期間を休日にします。</td></tr> <tr> <td>半日稼働</td><td>指定された期間は全て半日稼働にします。</td></tr> <tr> <td>全日稼働</td><td> 指定された期間を全て稼働時間にします。 (土日に対して設定します。)</td></tr> </tbody> </table>	項目	説明	休日	指定された期間を休日にします。	半日稼働	指定された期間は全て半日稼働にします。	全日稼働	指定された期間を全て稼働時間にします。 (土日に対して設定します。)
項目	説明								
休日	指定された期間を休日にします。								
半日稼働	指定された期間は全て半日稼働にします。								
全日稼働	指定された期間を全て稼働時間にします。 (土日に対して設定します。)								
開始日	非稼働日の開始日を選択します。								
終了日	非稼働日の終了日を選択します。								

10.5. エクスポート・インポート機能

WBSのデータをExcelファイル、csvファイルで出力することができます。

出力したファイルは新しいスケジュールとして再度CATにアップロードすることができます。

一時的にスケジュールを保存しておきたい場合や、ローカル上でデータを一括して編集したいときなどに有用です。

11. 進捗管理

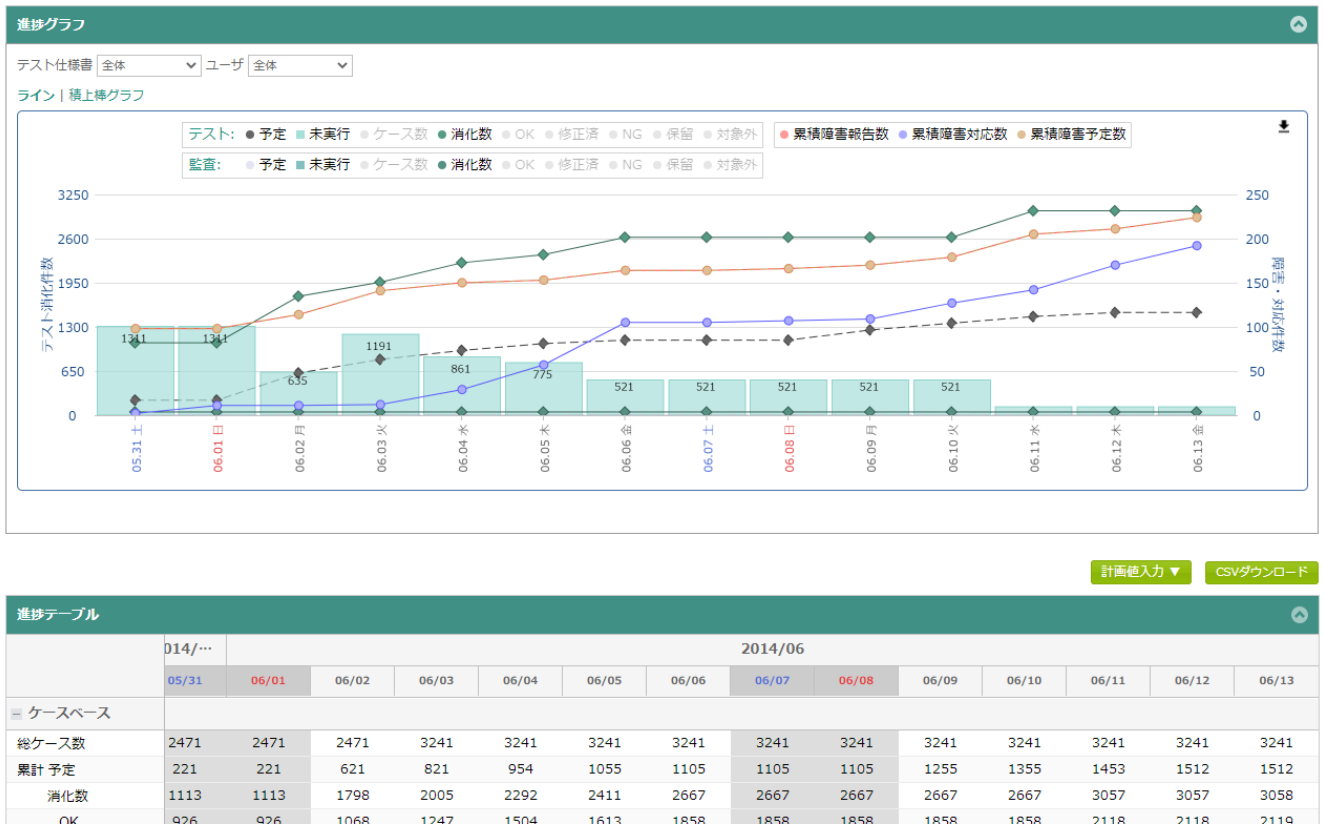
進捗管理では、テストの進捗と課題の発生状況を時系列で確認できます。

進捗管理機能は、「全体進捗」「詳細進捗」の2種類があります。

全体進捗では、プロジェクト全体の進捗をグラフで直感的に把握できます。詳細な情報はデータテーブルで確認できます。

詳細進捗では、「テスト仕様書毎」「テスト環境毎」「メンバー毎」のそれぞれの観点で、進捗の詳細な情報を確認できます。

全体進捗



3. グラフは2種類から選択できます。



ライン

テストの推移をテスト結果毎のライングラフで表現します。

積み上げグラフ

テストの推移をテスト結果の積み上げ棒グラフで表現します。

さらに、テスト仕様書毎に表示、ユーザ毎に表示と表示方法を切り替えられるため、利用用途にあったグラフで分析が可能です。

11.1.2. 全体の進捗をテーブルで確認する

テストの全体進捗をテーブルで確認する手順は以下の通りです。

1. 上部メニューから「全体進捗」を選択します。



2. 現在の工程のテストの進捗状況がグラフの下にテーブル形式で表示されます。

進捗テーブル														
	2014/...	2014/06												
	05/31	06/01	06/02	06/03	06/04	06/05	06/06	06/07	06/08	06/09	06/10	06/11	06/12	06/13
ケースベース														
総ケース数	2471	2471	2471	3241	3241	3241	3241	3241	3241	3241	3241	3241	3241	3241
累計 予定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
消化数	1113	1113	1798	2005	2292	2411	2667	2667	2667	2667	2667	3057	3057	3058
OK	926	926	1068	1247	1504	1613	1858	1858	1858	1858	1858	2118	2118	2119
修正済	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NG	54	54	70	81	103	112	121	121	121	121	121	127	127	127
保留	47	47	38	45	88	55	53	53	53	53	53	61	61	61
対象外	133	133	660	677	685	686	688	688	688	688	688	812	812	812
残ケース数	1358	1358	673	1236	949	830	574	574	574	574	574	184	184	183
予実差異	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
進捗率	45.0%	45.0%	72.8%	61.9%	70.7%	74.4%	82.3%	82.3%	82.3%	82.3%	82.3%	94.3%	94.3%	94.4%
未実行	1311	1311	635	1191	861	775	521	521	521	521	521	123	123	122
残予定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当日 予定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
消化数	0	0	685	207	287	119	256	0	0	0	0	390	0	1
予実差異	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
進捗率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小計 消化数	0	0	685	207	287	119	256	0	0	0	0	390	0	1
工数ベース														
累計 残り必要工数(H)	22.6	22.6	11.2	20.6	15.8	13.8	9.6	9.6	9.6	9.6	9.6	3.1	3.1	3.1
進捗率	36.5%	36.5%	59.0%	48.6%	55.6%	58.5%	64.7%	64.7%	64.7%	64.7%	64.7%	74.1%	74.1%	74.2%
当日 進捗率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
障害発生率														
累計 障害発生数	98	98	114	141	150	153	164	164	166	170	179	205	211	224
障害発生率	8.8%	8.8%	6.3%	7.0%	6.5%	6.3%	6.1%	6.1%	6.2%	6.4%	6.7%	6.7%	6.9%	7.3%
課題ステータス														
新規	96	87	103	129	121	96	59	59	59	61	52	63	41	32
切り分け完了	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
対応中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
解析中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
改修完了	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
確認完了	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
差し戻し	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
再確認中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保留	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
終了	2	11	11	12	29	57	105	105	107	109	127	142	170	192
空白	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	98	98	114	141	150	153	164	164	166	170	179	205	211	224

全体進捗のテーブルは以下の4つの項目に分かれます。それぞれの項目について説明します。

- ケースベース
- 工数ベース
- 項目ベース
- 障害発生率

ケースベースと項目ベースの違いについて

上記、ケースベース・項目ベース共に、テストの進捗状況を表すテーブルですが、それぞれカウント方法が異なります。

ケースベース

実行結果1セル毎のカウント

項目ベース

実行結果1行毎のカウント

カウント方法の例

ケースベースのカウント:8ケース

設計備考	(Window	(Window	(iPad Ait	(Window	実施
シ	ファイル	ファイル	ファイル	ファイル	
	結果報告	結果報告	結果報告	結果報告	
【期待値備考】 トップページ=ログイン後のページ	OK	対象外	対象外	対象外	
	ファイル	ファイル	ファイル	ファイル	
	結果報告	結果報告	結果報告	結果報告	
【期待値備考】 トップページ=ログイン後のページ	OK	OK	NG	未実行	
	ファイル	ファイル	ファイル	ファイル	
	結果報告	結果報告	結果報告	結果報告	

項目ベースのカウント:2項目

設計備考	(Window	(Window	(iPad Ait	(Window	実施
シ	ファイル	ファイル	ファイル	ファイル	
	結果報告	結果報告	結果報告	結果報告	
【期待値備考】 トップページ=ログイン後のページ	OK	対象外	対象外	対象外	
	ファイル	ファイル	ファイル	ファイル	
	結果報告	結果報告	結果報告	結果報告	
【期待値備考】 トップページ=ログイン後のページ	OK	OK	NG	未実行	
	ファイル	ファイル	ファイル	ファイル	
	結果報告	結果報告	結果報告	結果報告	

ケースベースの各項目の意味

項目	説明
総ケース数	選択した工程に登録されているテスト仕様書の総ケース数を表示します。
累計予定※2	入力された予定ケース数の累計を表示します。
消化数※1	累計消化数を表示します。総ケース数から残ケース数を引算した数。
OK※1	累計OK数を表示します。
修正済※1	累計修正済数を表示します。
NG※1	累計NG数を表示します。
保留※1	累計保留数を表示します。
対象外※1	累計対象外数を表示します。
残ケース数	未消化のケース数を表示します。
進捗率※2	(消化数 / 総ケース数)%を表示します。
予実差異※1	表示時間単位の(消化数 - 予定数)の累計を表示します。 値がマイナスの場合は赤字で表示されます。
未実行	テストケースが未実行の数を表示します。
残予定	(総予定数-消化数)を表示します。
当日 予定	当日の予定数を表示します。
消化数	当日の消化数を表示します。
予実差異	(当日の消化数－当日の予定数)を表示します。
進捗率	(当日の消化数 / 当日の予定数)%を表示します。 値が100%未満の場合は赤字で表示されます。ただし、表示時間を時間としている場合、赤字となるのは各日の最終時間のみです。
小計 消化数	表示単位時間でのテスト消化数を表示します。

※1表示設定の累積オプションがチェックされている場合は表示期間開始日からの累計表示、チェックされていない場合は対象工程開始日からの累計表示となります。

※2対象工程開始日からの数値を表示します。表示設定の累積オプションの影響を受けません。

工数ベースの各項目の意味

※顧客権限のユーザは工数ベースの項目を閲覧できません。

項目	説明
残り必要工数(H)	予定入力情報を元に計算した、すべてのテスト仕様書のテストケースを消化するのに必要な工数を表示します。
進捗率(累計)	<p>1ケースを実行するために必要な時間を、消化したケース数と予定ケース数に掛け合わせた数値で、進捗率を表示します。これにより工数の重み付けをした進捗率が参照できます。</p> <p>例：1ケースあたり5分必要なケースが10件あり未実行、</p> <p>1ケースあたり1分必要なケースが50件あり実行済み</p> <p>予定：5分×10件 + 1分×50件 = 100分</p> <p>実績：1分×50件 = 50分</p> <p>進捗率：50分 / 100分 = 50.0%</p>
進捗率(当日)、 進捗率(表示単位)	<p>上記の進捗率の計算を当日、または、表示単位の期間で行った値を表示します。</p> <p>値が100%未満の場合は赤字で表示されます。ただし、表示時間を時間としている場合、赤字となるのは各日の最終時間のみです。</p>

項目ベースの各項目の意味

項目	説明
総項目数	テスト項目の総数（1行単位）
消化項目数	<p>項目ベースの消化数</p> <p>総項目数から残項目数を引いた数</p>
実施中項目数	<p>ケースが実施されているがすべて消化されていない項目</p> <p>例)</p> <p>項目に2つ実行セルがあり、片方が実施、もう一方が未実施の場合</p>
未実施項目数	全く消化されていない項目数
残項目数	「実施中項目数」「未実施項目数」の合計値
進捗率	<p>項目ベースの進捗率</p> <p>計算方法</p> <p>※ 総項目100項目で消化項目数が70項目の場合、進捗率は70%になります。</p> <p>工数は考慮されません。</p>

テスト一覧、全体進捗で、テスト項目単位での進捗が確認可能になります。

テスト項目の実施状況を把握できます。

※この機能については4.14.x以前から作成されたプロジェクトには反映されません。

障害発生率の各項目の意味

項目	説明
累計 障害発生数	累計の課題数
障害発生率	以下のように定義される障害発生率を表示します。 $\text{障害発生率} = (\text{課題数}) / (\text{消化数(累計)})$

障害関連の各項目の意味

プロジェクトのステータス設定で、使用するステータスを変更している場合、表示される項目は異なります。

ステータス	説明
新規	課題が新規登録された際に利用します。
着手中	担当者が対応中の際に利用します。
修正完了	対応が完了した際に利用します。
修正確認完了	対応完了が確認された際に利用します。
差し戻し	修正が正しく行われていなかった際に利用します。
再現待ち	課題の再現ができない際に利用します。
見送り	課題の対応を見送る際に利用します。
保留	課題の対応を保留する際に利用します。
終了	課題が終了した際に設定します。

11.1.3. 全体進捗の表示設定

表示設定で、表示期間や表示単位などを設定し、グラフとテーブルの表示内容を変更できます。

表示設定

表示期間:

2020/06/06 - 2020/06/19 ▼

表示単位:

4週間

2週間

1週間

日

3時間

1時間

表示時間:

開始:

09:00 ▼

終了:

18:00 ▼

ケース消化数:



保留を含める



対象外を含める

非稼働日:



グラフに非稼働日を表示する

グラフ表示項目:



予定・ケース数・消化数のみ



全て

障害数:



障害種別のみ

累積オプション:



表示範囲の累積を表示する



登録ケース数を工程の開始日から表示する

適用

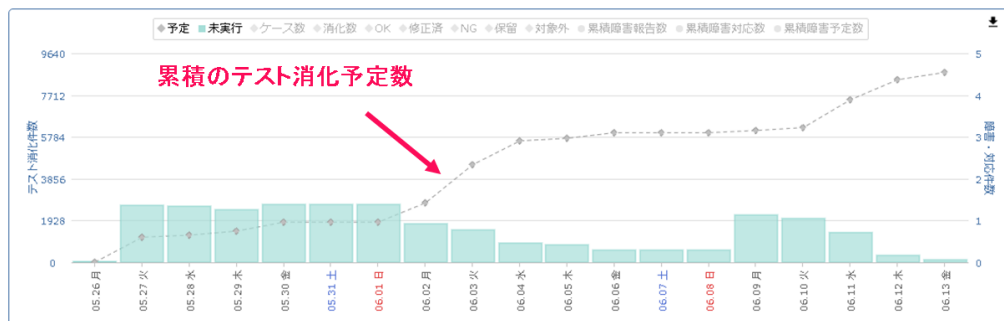
各設定項目

項目	説明
表示期間	グラフに表示する期間を「工程全体」、「今日」、「直近5日」、「直近1週間」、「直近9日」、「直近2週間」、「直近1ヶ月」、「カスタム」から選択できます。 「カスタム」での設定はカレンダーからの日付選択で行います。 初期値は工程全体です。
表示単位	4週間毎、2週間毎、日毎、3時間毎、1時間毎の表示に切り替えます。
表示時間	表示対象の時間範囲を指定します。初期値はプロジェクトのワークタイムの設定と同じです。
ケース消化数	ケース消化数に保留、対象外を含めるかどうかを設定します。
非稼働日	グラフに非稼働日のデータを表示するかどうかを設定します。
グラフ表示項目	グラフに表示項目を設定します。また、棒グラフに表示される項目も変わります。 すべて 未実行が棒グラフで表示されます 予定・ケース数・消化数のみ 予定が棒グラフで表示されます
障害数	障害数をプロジェクト基本情報設定の障害定義で設定した種別で計算するかどうかを設定します。
累計オプション	表示範囲の累積を表示する 累積数を表示期間の範囲で計算するかどうかを設定します。 オプションにチェックがある場合、表示開始日前日の数値からの差分を確認できます。特定日以降の進捗推移を確認したい場合にチェックください。 登録ケース数を工程の開始日から表示する 登録ケースをグラフに計上する日を設定します。 オプションを有効にすると、プロジェクトの途中で追加したケースも表示設定の開始日に追加したとみなして計上し、進捗グラフや進捗テーブルに反映します。

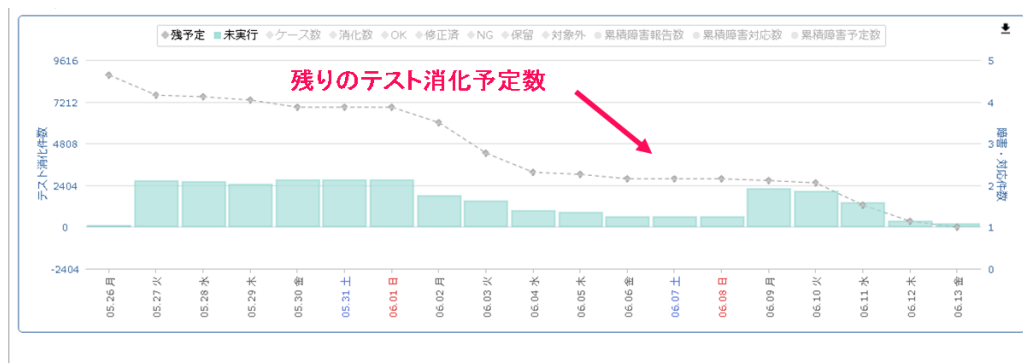
11.1.4. 進捗グラフのテスト予定数を残件数で表示する

全体進捗グラフに表示するテストの予定数を残ケース件数での設定に切り替えできます。残ケース件数を表示すると、テストの予定線が右肩下がりの線になります。

累積のテスト消化予定数(初期設定)



累積のテスト消化予定数



設定は次の画面から行います。

画面：プロジェクトトップ>プロジェクト設定>プロジェクトの基本設定

エンコーディング	Windows-31J ▼
予定の設定	予定値: 詳細 ▼ グラフ表示: 予定 ▼
メール設定	<input checked="" type="checkbox"/> 障害メールを利用する <input checked="" type="checkbox"/> 残予定メールを利用する

グラフ表示を「残予定」に設定し「登録する」ボタンで確定すると、全体進捗のグラフ予定数に残予定数が反映されます。

11.1.5. テスト計画値入力

全体進捗画面から、工程毎のテスト計画値を入力できます。工程毎のテスト計画値はテスト仕様書未登録でも登録可能ですので、プロジェクト初期に見積もったテストケース数等を元に、大まかな予定を立てる事ができます。

プロジェクトの工程全体でテスト予定を立てたいときや、テストケースが未設計・未登録でも大まかにテストの消化予定を登録してグラフ等で予定を確認したい場合に利用できます。

1. 「全体進捗画面 > 計画値入力 > テスト」を選択します。

計画値入力

テスト

2. 右パインのカレンダーの各日付をクリックし、その日の工程毎のテスト予定数を入力します。

テスト予定

保存 保存して戻る 戻る

予定

過去の予定を修正 リセット

ID	工程	ケース数	消化数	計画数	04/05	04/06	04/07	04/08	04/09	04/10	04/11	04/12	04/13	04/14	04/15	04/16	04/17	04/18	04/19	04/20	04/21
191	リリース後条件対応	38	0	1005	500	500															

入力状態でTabキーを押すと右のセルに移動できます。

「過去の予定を修正」を押すと、過去の予定値を実績に合わせて設定できます。

3. 保存して戻るボタンで全体進捗画面に戻り完了します。

引き続き編集する場合は保存ボタン、保存しないで戻る場合は戻るボタンを押します。

工程毎のテスト計画値をプロジェクトで利用する予定数にする

初期設定では、工程毎のテスト計画値は、進捗画面等に表示される予定値として利用されません。利用されるようにするには、プロジェクトの設定画面で設定を変更します。

設定は、「プロジェクトトップ>プロジェクト設定>プロジェクトの基本設定」画面で行います。

エンコーディング Windows-31J

予定の設定 予定値: 概要 グラフ表示: 予定

メール設定 ☒ 障害 ☒ テスト課題メールを利用する

「予定値」を「概要」に設定し「登録する」ボタンで確定すると、以下の項目で工程毎のテスト計画値が利用されるようになります。

- プロジェクトトップのサマリーの予定値の値
- プロジェクトレポートメールの予定値の値
- 全体進捗のグラフ、およびテーブルの予定値
- 集計・分析画面の信頼度成長曲線の進捗率の値

全体進捗のテーブルにある工数ベースの数値は非表示になります。

「予定値」を「概要」に変更した場合、[テスト予定入力](#)で入力した予定数は、詳細進捗画面でのみ確認できます。

プロジェクトトップの予定数の表示箇所

プロジェクト情報

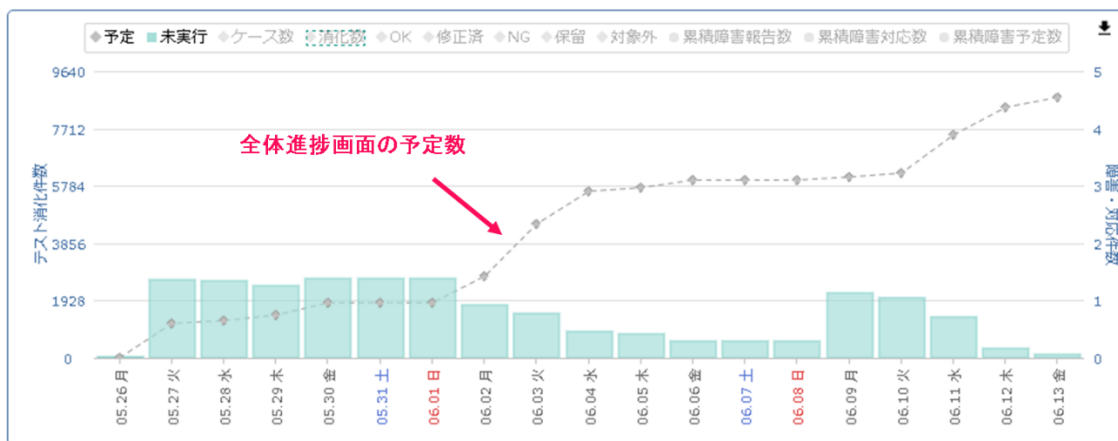
プロジェクト設定

プロジェクト情報のサマリーの予定数

テスト	全体	予定	前日まで	当日
総ケース数	684	400	120	
消化済み	515	消化済み	395	120
未消化	129	予定差異	↓ -5	0
進捗率 (件数ベース)	75 %	予定進捗率 (件数ベース)	98 %	100 %
未登録	0			

障害・テスト課題	障害	テスト課題
全体	3	0
対応済み	0	0
残件数	3	0
障害発生率	60.0 %	-

全体進捗画面の予定数の表示箇所



11.1.6. 障害計画値入力

障害の発生見込み数を予測し事前に登録しておくことにより、全体進捗のグラフに障害予定数が表示されます。

実際の発生数と比較することで、当初の予定と障害の発生状況の差異を確認できます。

1. 全体進捗画面にて「計画値入力 > 障害ボタン」を選択します。

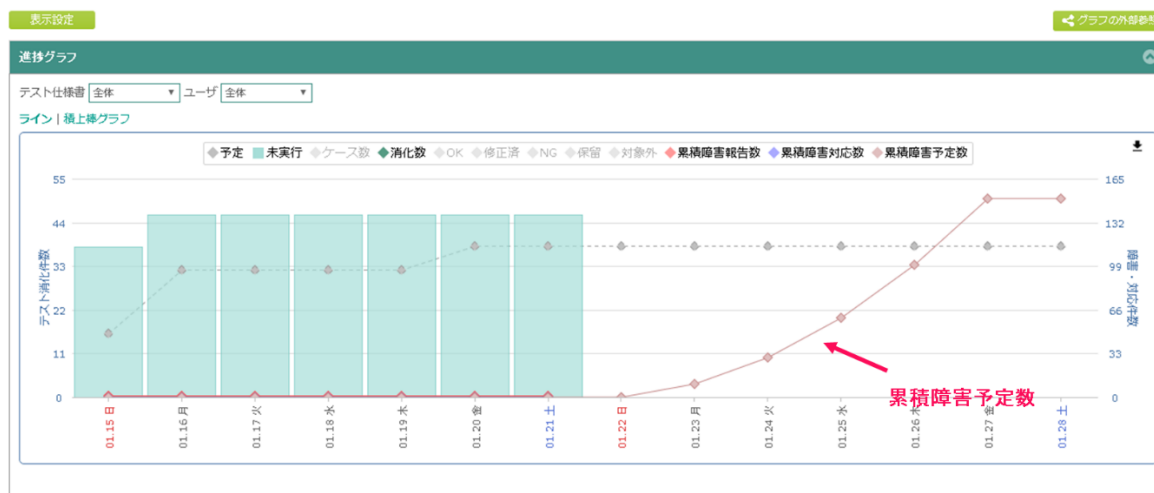
2. 毎日の障害発生予定見込みを入力し、「保存ボタン」が保存して「戻る」ボタンを押します。

障害予定入力

[保存](#) [保存して戻る](#) [戻る](#)

予定				2015/08													
過去の予定を修正				リセット													
ID	工程	発生障害	予定障害	08/04	08/05	08/06	08/07	08/08	08/09	08/10	08/11	08/12	08/13	08/14	08/15	08/16	08/17
313	process	3	0	-	2	-	-	-	-	-	-	1	0	-	-	-	-
合計 (1件)		3	0	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-

3. 入力した数値はグラフに累積障害予定数として表示されます。



11.2. 詳細進捗

「詳細進捗」では、テスト仕様書毎、テスト環境毎、メンバー毎のテスト進捗を確認できます。



「テスト仕様書 実績/予定」、「テスト環境 実績」、「メンバー 実績/予定」の3つのビューをタブで切り替えることができます。

本節では、それぞれのビューについての詳しい説明をします。

ビュー	備考
テスト仕様書 実績/予定	各テスト仕様書の進捗を表示します。
テスト環境 実績	各テスト環境の進捗を表示します。
メンバー 実績/予定	各メンバーの進捗を表示します。

11.2.1. テスト仕様書毎の進捗を確認する

テスト仕様書毎の進捗を確認する手順は以下の通りです。

1. 上部メニューから「詳細進捗」を選択します。



2. 上部タブから「テスト仕様書 実績/予定」を選択します。



3. テスト仕様書毎の進捗状況が表示されます。

表示設定

CSVダウンロード▼

非稼働日入力

テスト予定▼

テスト仕様書 実績/予定

テスト環境 実績

メンバー 実績/予定

2017/11

フィルタのクリア

リセット

<input type="checkbox"/>	ID	機能	テスト仕様書	担当者	ケース数	残ケース数	11/07	11/08	11/09	11/10	11/11	11/12	11/13	11/14
<input type="checkbox"/>	20	進捗管理	【Pattern1】 03...	SHIFT ST...	153	153	-	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/>	19	進捗管理	【Pattern1】 02...	SHIFT USER	243	243	-	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/>	18	進捗管理	【Pattern1】 01...	yt_admin2	165	165	-	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/>	17	システム管理	【Pattern3】 既...	yt_admin2	90	90	-	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/>	16	ログイン機能	【Pattern3】 既...	yt_admin2	24	24	-	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/>	15	テスト課題	【Pattern1】 08...	yt_admin2	72	72	-	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/>	14	テスト課題	【Pattern1】 07...	SHIFT ST...	103	103	-	-	-	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/>	13	システム管理	【Pattern1】 06...	SHIFT ST...	241	241	-	-	-	-	-	-	-	-

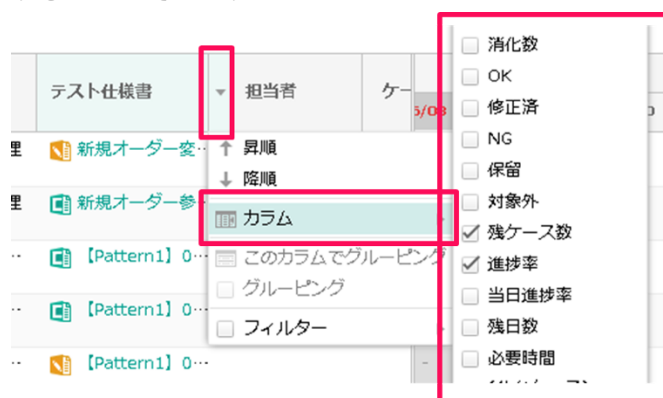
4. 発見不具合数、未解決不具合数の1以上の数字にマウスオーバーすると、障害のIDとタイトル、ステータスを確認できます。また、テスト環境実績、メンバー実績/予定タブでも同様に障害の詳細を確認できます。

表示設定

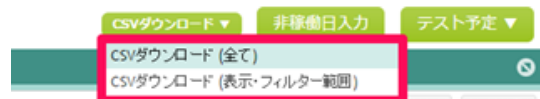
CSVダウンロード▼非稼働日入力テスト予定▼

テスト仕様書 実績/予定		テスト環境 実績		メンバー 実績/予定									
ID ↑	機能	テスト仕様書	担当者	ケース数	残ケース数	進捗率	発見障害数	11/07	11/08	11/09	11/10	11/11	11/12
1	進捗管理	 【Pattern1】04...	SHIFT USER	33	0	100%	1	33					
2	システム管理	 【Pattern1】05...	SHIFT USER	25	0	100%	5 問い合わせ 初期表示不備 新規					-	
3	システム管理	 【Pattern1】06...	SHIFT USER	241	60	75%		0	61	120	-	-	-
								61	120	60			
4	テスト課題	 【Pattern1】07...	SHIFT USER	103	103	0%	0	-	-	-	-	-	-

5. ヘッダーにカーソルをホバーし表示される▼を押下、コンテキストメニューからカラムを選択すると以下の項目が表示できます。表示した項目はフィルター、グルーピングにて項目の整理し、項目ごとの進捗を確認することができます。



6. 進捗状況をダウンロードするにはCSVダウンロードのドロップダウンリストのCSVダウンロード(全て)、またはCSVダウンロード(表示・フィルター範囲)をクリックしてください。



項目一覧

項目	説明
ID	テスト仕様書のIDです。
工程	テスト仕様書が登録されている工程です。(全ての工程を表示した際に分かれて表示されます。)
機能	テスト仕様書に登録されている機能(※)です。
テスト区分	テスト仕様書に登録されているテスト区分(※)です。
テスト仕様書	テスト仕様書名です。
担当者	テスト予定入力で割り当てられたユーザです。
ケース数	テスト仕様書のケース数です。
未予定数	予定が割当たっていないテストケース数です。(総ケース数 - 既に消化の予定を立てているケース数)
本日までの予定数	工程開始日から当日までに実行する予定のケース数です。
消化数	実績があるケース数です。表示設定で集計するステータスを変更できます。

項目	説明
未実行・OK・修正済・NG・保留・対象外	各ステータスの集計値です。
残ケース数	消化されていないケース数です。(総ケース数 - 消化数)
進捗率	仕様書のケース数に対する消化ケースの割合です。(消化数 ÷ ケース数)
当日進捗率	当日の予定に対する進捗率です。(消化数 ÷ 当日の予定数)
残日数	予定が割り当てられている残りの日数です。
必要時間 (分/1ケース)	予定入力で登録した1ケースあたりの所要時間です。
開始日	予定入力で登録したテスト着手開始日です。
終了日	予定入力で登録したテストの終了予定日です。
発見不具合数	仕様書内で発見(紐付きのある)障害定義された種別の課題数です。
未解決不具合数	仕様書内で発見(紐付きのある)障害定義された種別の中の、ステータスが終了になっていない課題数です。
予定進捗率	当日までに予定される進捗率です。
その他のカスタムフィールド(※)	仕様書に登録したカスタムフィールド(※)を表示します。

※サービス設定で設定し、テスト管理画面で登録します。

11.2.2. テスト環境毎の進捗を確認する

テスト環境毎の進捗は、テスト仕様書の実行結果列に対し、テスト環境を設定すると利用できます。

テスト環境毎の進捗を確認する手順は以下の通りです。

1. 上部メニューから「詳細進捗」を選択します。



2. 上部タブから「テスト環境 実績」を選択します。



3. テスト環境毎の進捗状況が表示されます。テスト環境が設定されていない実行結果は、最終行に空白として集計されます。

テスト仕様書 実績/予定

テスト環境 実績

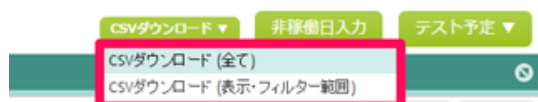
メンバー 実績/予定

フィルタのクリア

リセット

ID ↑	テスト環境	ケース数	残ケース数	進捗率	発見障害数	2017/11								
						11/07	11/08	11/09	11/10	11/11	11/12	11/13	11/14	11/15
10...	Windows1...	301	33	89%		58	210	-	-	-	-	-	-	-
10...	Windows1...	265	60	77%		61	144	-	-	-	-	-	-	-
-		1843	1831	0%		-	12	-	-	-	-	-	-	-

4. 進捗状況をダウンロードするにはCSVダウンロードのドロップダウンリストのCSVダウンロード(全て)、またはCSVダウンロード(表示・フィルター範囲)をクリックしてください。



11.2.3. メンバー毎の進捗を確認する

メンバー毎の進捗を確認する手順は以下の通りです。

顧客権限のユーザはメンバー毎の進捗を閲覧することができません。

1. 上部メニューから「詳細進捗」を選択します。



2. 上部タブから「メンバー 実績/予定」を選択します。



3. メンバー毎の進捗状況が表示されます。

テスト仕様書 実績/予定

テスト環境 実績

メンバー 実績/予定

表示モード:

ケース

予定工数(人日)

フィルタのクリア

リセット

ID ↑	メンバー	進捗率	予定	消化数	残ケース数	開始日	発見障害数	11/07	11/08	11/09	11/10	11/11	11/12
-	未割当		0	0	0		0	-	-	-	-	-	-
10	Naoaki Mizuguchi		0	0	0		0	-	-	-	-	-	-
167	Takeshi Yonezawa		0	0	0		0	-	-	-	-	-	-
15...	SHIFT USER	17%	717	127	590	2017-11...	5	- 119	127 120	- 120	- 119	-	-
15...	SHIFT STAFF2		0	0	0		0	-	-	-	-	-	-
15...	SHIFT STAFF	16%	708	120	588	2017-11...	1	-	120 120	- 118	- 120	-	-
15...	yt_admin2	27%	873	238	635	2017-11...	0	119	119 120	- 120	- 119	-	-
15...	ugaji test		0	0	0		0	-	-	-	-	-	-
合計 (8 人)								21%	2,298	485	1,813	6	-
								119 119	366 360	- 358	- 358	-	-

《

《

ページ

1

/ 1

》

《

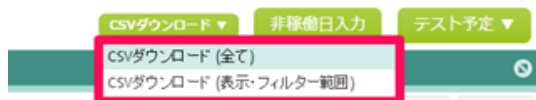
《

《

表示件数: 50

8 件中 1 - 8 を表示

4. 進捗状況をダウンロードするにはCSVダウンロードのドロップダウンリストのCSVダウンロード(全て)、またはCSVダウンロード(表示・フィルター範囲)をクリックしてください。



11.2.4. テスト予定入力

進捗管理画面ではテスト仕様書毎の予定入力・予実管理ができます。

顧客権限のユーザーは予定入力を行うことができません。

実行制御が有効であり影響範囲及び発生日時が入力されているテスト課題が登録されている場合、実行制御対象セルの左上に下図のような赤いマークがされます。実行制御対象セルをクリックするとテスト課題を確認することができます。

テスト予定入力を行う際は、テスト課題にご注意ください。

2015/12						
4	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19	12/20
	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-

発生テスト課題
4 SampleTestIssue
0[H]

メンバーの非稼働日を入力する

メンバーの非稼働日を入力できます。事前に入力しておくことで、予定の自動入力でメンバーの非稼働日を外して予定を入力できます。手順は以下の通りです。

1. 詳細進捗画面にて非稼働日入力ボタンを押します。



2. 新規追加ボタンを押し、非稼働日入力行を新規に作成します。作成した行に非稼働日を入力します。最後に、登録ボタンを押します。

非稼働日の設定

非稼働日一覧					
新規追加			削除	フィルタのクリア	リセット
<input type="checkbox"/>	No	メンバー	種別	開始日	終了日
<input type="checkbox"/>	1	全メンバー	休日	2017-08-24	2017-08-24
<input type="checkbox"/>	2	SHIFT USER	全日稼働	2017-08-31	2017-08-31
<input checked="" type="checkbox"/>	3	SHIFT USER	半日稼働	2017-08-25	2017-08-25

項目	説明								
メンバー	非稼働日を設定したいメンバーを選択します。全メンバーまたは各メンバーから選択できます。								
種別	非稼働日の種別を選択します。 種別は以下になります。 <table><tr><th>項目</th><th>説明</th></tr><tr><td>休日</td><td>指定された期間を休日にします。</td></tr><tr><td>半日稼働</td><td>指定された期間は全て半日稼働にします。</td></tr><tr><td>全日稼働</td><td>指定された期間を全て稼働時間にします。 (土日に対して設定します。)</td></tr></table>	項目	説明	休日	指定された期間を休日にします。	半日稼働	指定された期間は全て半日稼働にします。	全日稼働	指定された期間を全て稼働時間にします。 (土日に対して設定します。)
項目	説明								
休日	指定された期間を休日にします。								
半日稼働	指定された期間は全て半日稼働にします。								
全日稼働	指定された期間を全て稼働時間にします。 (土日に対して設定します。)								
開始日	非稼働日の開始日を選択します。								
終了日	非稼働日の終了日を選択します。								

非稼働日は、「詳細進捗」の「メンバー実績/予定」ページに反映されます。休日のセルの背景は灰色、半日稼働のセルの背景は褐色として表示されます。

ID ↑	メンバー	進捗率	予定	消化数	残ケース数	開始日	発見障害数	未解決障害…	2015/06								
									5/15	06/16	06/17	06/18	06/19	06/20	06/21	06/22	06/23
381	Riku Shomura			4	0		0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計 (1人)			0	4	0		0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

テスト予定をダウンロード・インポートする

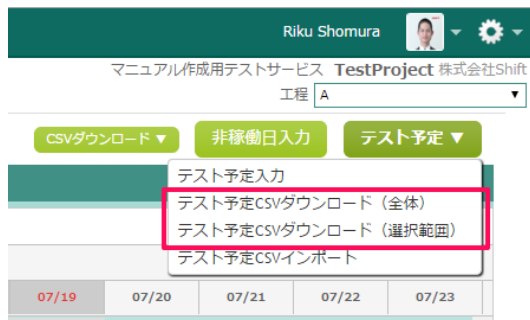
本節ではテスト予定のCSVダウンロードとインポートの方法を説明します。なお、テスト予定はCSVファイルのインポートのほかに自動または手動で入力することができます。詳しくは[予定を自動で入力する・予定を手動で入力する](#)を参照してください。

テスト予定のCSVダウンロード

1. 詳細進捗画面のテスト仕様書タブにて、ダウンロードしたい仕様書を選択します。

テスト仕様書 実績/予定			テスト環境 実績		メンバー 実績/予定		
<input type="checkbox"/>	ID	機能	テスト仕様…	担当者	ケース数	残ケース数	進捗率
<input checked="" type="checkbox"/>	1	B Feature	ロングケース		9	5	44
<input type="checkbox"/>	3	D Feature	ミドルケース		9	4	55
<input type="checkbox"/>	2		ショートケ…	Riku Sho…	9	4	55

2. テスト予定ボタンのドロップダウンリストを開き、テスト予定CSVダウンロードボタンを押します。
なお、テスト予定CSVダウンロード(全体)では指定した仕様書全体のテスト予定がダウンロードされ、テスト予定CSVダウンロード(選択範囲)では指定した仕様書の表示されている範囲のテスト予定がダウンロードされます。



テスト予定のCSVインポート

1. 詳細進捗画面のテスト仕様書タブにて、テスト予定ボタンのドロップダウンリストを開き、テスト予定CSVインポートボタンを押します。



2. ケースファイルを選択ボタンまたはドラッグ&ドロップでアップロードしたいCSVファイルをアップロードします。CSVファイルは下表のテスト予定CSVファイルフォーマットにしたがっている必要があります。

テスト予定CSVインポート

テスト予定のアップロードを行います。テスト予定CSVファイルを選択もしくはドラッグ&ドロップを行ってください。※インポート対象のテスト仕様書の既存テスト予定はクリアされます。ご注意ください。

CSVファイル

Windows-31J ▼

ケースファイルを選択

ファイルを選択ボタンより選択してください。
(ここにドラッグ&ドロップすることでもファイルを登録できます)

1つのファイルサイズは10MBまでです。

テスト予定CSVファイルフォーマット

列名	型	説明
testset_id	数値	テスト仕様書のIDです。テスト仕様書のIDは「ケース管理」の一覧のNo列から確認することができます。
testset_name	文字列	テスト仕様書の名前です。インポート時はtestset_idをもとに自動入力されるため不要です。
cases	数値	テスト仕様書のケース数です。インポート時はtestset_idをもとに自動入力されるため不要です。
priority	数値	テスト仕様書の優先度です。1-50までの数値です。
speed	数値	1ケースにかかる必要時間(単位分)です。
*user	文字列	テスト仕様書の担当者です。CATに登録されているユーザー名で記載ください。未決定の場合はTBAを記載して、予定を入力できます。
start_date	日付 yyyy/mm/dd	テスト開始日です。空欄の場合は工程開始日が設定されます。
end_date	日付 yyyy/mm/dd	テスト終了日です。空欄の場合は工程終了日が設定されます。
*予定日	数値	日毎の予定数です。

ダウンロードしたCSVを編集しアップロードする場合は、ダウンロードしたCSVファイルをExcelで開き、下記の項目(表内*がついた項目)を更新しアップロードしてください。

※同一テスト仕様書に複数の人を割当実施したい場合は、行コピーで対応ください。

予定を自動で入力する

自動で予定を入力する手順は以下の通りです。

1. 詳細進捗画面のテスト仕様書タブにて、テスト仕様書を1つ以上選択し、テスト予定入力ボタンを押します。

The screenshot shows the 'Test Specification' tab in the 'Detailed Progress' screen. The interface includes a top navigation bar with buttons for '表示設定', 'CSVダウンロード', '非稼働日入力', and 'テスト予定入力' (highlighted with a red box). Below the navigation bar, there are tabs for 'テスト仕様書 実績/予定', 'テスト環境 実績', and 'メンバー 実績/予定'. The main table displays test specifications with columns for ID, Name, Assignee, Cases, Remaining Cases, Progress Rate, and Discovery/Non-compliance. A table on the right shows the schedule for dates 08/08 through 08/12. The first row is selected, and the 'テスト予定入力' button is highlighted.

ID	機能	テスト仕様書	担当者	ケース数	残ケース数	進捗率	発見不具合...	08/08	08/09	08/10	08/11	08/12
1		テスト		9	9	0%	0	-	-	-	-	-
合計		(1 件)		9	9	0%	0	-	-	-	-	-

2. 選択されたテスト仕様書の予定入力画面が表示されますので、以下の必要項目を入力してください。

予定

自動入力 過去の予定を修正 一括入力 ツリーを表示 ツリーを閉じる リセット

I...	テスト仕様書	担当者	優先度	必要... (分/...	ケース...	残ケ...	開始日	終了日	計画...	消化...	08/04	08/05	08/06	08/07	08/08	08/09
1	▼ テスト	1 人	15	1.0	9	9	2015-08-04	2015-08-24	0	0	-	-	-	-	-	-
		Riku ...					2015-08-04	2015-08-24	0	0	-	-	-	-	-	-

項目	説明
担当者	テスト仕様書に担当者をアサインします。テスト仕様書には必ず1人以上の担当者をアサインする必要があります。
優先度	各テスト仕様書の優先度を30(優先度高)から1(優先度低)の30段階で設定します。
必要時間	各テスト仕様書の1ケースを実行するために必要な時間を入力します。
開始日・終了日	各テスト仕様書の開始日、終了日を設定します。

メッセージ「工程期間「(開始日) – (終了日)」に対して、期間外の実績・予定が存在します。プロジェクト設定から工程の期間を修正して下さい。」について

このメッセージはプロジェクトの実施期間(稼働期間)と実績・予定が一致していない事に対する警告です。次の画面で実績・予定が工程の期間に収まるよう、工程の期間を修正してください。

画面：プロジェクトステータス>プロジェクト設定> 基本情報の設定

3. 自動入力を行うテスト仕様書を選択し、自動入力ボタンを押します。決められた日程で自動的に予定数が入力されます。最後に保存ボタンか保存して戻るボタンを押して終了です。

※自動入力で設定できる予定は、今日以降かつ工程の期間内のみです。

予定

自動入力 過去の予定を修正 一括入力 ツリーを表示 ツリーを閉じる リセット

I...	テスト仕様書	担当者	優先度	必要... (分/...	ケース...	残ケ...	開始日	終了日	計画...	消化...	08/04	08/05	08/06	08/07	08/08	08/09
1	▼ <input checked="" type="checkbox"/> テスト	1 人	15	1.0	9	9	2015-08-04	2015-08-24	0	0	-	-	-	-	-	-
	<input checked="" type="checkbox"/>	Riku ...					2015-08-04	2015-08-24	0	0	-	-	-	-	-	-

自動入力では以下の確認項目が表示されます。

確認

選択しているアサインメンバーの予定数を更新します。
よろしいですか？

☐ 今日を含めない。
明日以降のスケジュールを更新します。

☐ 均等に割り付ける。
残りケース数を活動日で均等に振り分けます。

OK キャンセル

各項目の内容は以下の通りです。

項目	説明
今日を含めない	予定入力対象として今日を含めず、明日(土日を除く)から予定を入力します。
均等に割り付ける	残りケース数を活動日で均等に振り分けます。このオプションは、残りの必要工数と残り活動日を照らし合わせ、活動日が不足している場合に有効になります。

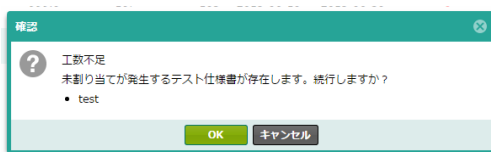
※予定を細かく調整したい場合は、[予定を手動で入力する](#)を参照し、予定を手動で調整してください。

※1 1日の稼働時間の初期値はプロジェクト設定の稼働時間で設定したものにになります。

※2 次のような場合、実行するための工数が不足しており以下の確認画面が表示されます。

ケースの消化予定時間(1ケースあたりの分数×未予定ケース数)が、設定した終了日もしくは工程の終了日までのワークタイムを超過する場合

※3 継続ボタンを押すと未割当のケースを残した状態で予定入力を終了しますので、その後継続して編集を行ってください。



予定を手動で入力する

手動で予定を入力する手順は以下の通りです。

1. 詳細進捗画面のテスト仕様書タブにて、テスト仕様書を1つ以上選択し、テスト予定入力ボタンを押します。
2. 予定入力画面の右側のカレンダーから、予定を入力したい日にち・担当者に該当するセルをクリックすることで、予定を入力できます。最後に保存ボタンか保存して戻るボタンを押して終了です。

テスト予定入力

テスト予定入力

保存

保存して戻る

キャンセル

予定

自動入力

過去の予定を修正

一括入力

ツリーを表示

ツリーを隠す

リセット

ID	<input type="checkbox"/> テスト仕様書	担当者	優先度	必要時間 (分/1ケース)	ケース数	残ケース数	開始日	終了日	計画数	消化数								
											06/10	06/11	06/12	06/13	06/14	06/15	06/16	06/17
1	<input checked="" type="checkbox"/> test	<div>+</div> 1 人	15	1.0	107	103	2015-06-10	2015-06-30	0	4	-	-	4	-	-	-	-	-
	<input checked="" type="checkbox"/>	<div>+</div> Riku Sho...					2015-06-10	2015-06-30	0	4	-	-	4	-	-	-	<div>d</div>	-

予定と実績を確認する

全体進捗画面、詳細進捗画面にて予定と実績を確認できます。

進捗テーブル											
	2015/07										
	07/21	07/22	07/23	07/24	07/25	07/26	07/27	07/28	07/29	07/30	07/31
ケースベース											
総ケース数	3092	3505	5251	5251	5478	5478	5109	5260	5453	5453	5453
消化数(累計)	1208	1927	2636	3614	3841	3841	3890	4317	4546	4600	4600
OK	1169	1815	2489	3437	3633	3633	3655	4080	4308	4363	4363
修正済	0	0	3	3	5	5	17	25	27	27	27
NG	8	35	59	85	91	91	81	73	72	71	71
保留	18	65	124	158	159	159	156	133	99	98	98
対象外	31	77	85	89	112	112	137	139	139	139	139
消化数(小計)	424	719	709	709	709	709	709	709	709	709	709
残ケース数	1884	1578	2615	2615	2615	2615	2615	2615	2615	2615	2615
進捗率	39.1%	55.0%	50.2%	68.8%	70.1%	70.1%	76.1%	82.1%	83.4%	84.4%	84.4%
予定	231	620	1791	2403	2403	2403	2403	2403	2403	2403	2403
予実差異	977	1307	845	1211	1438	1438	1487	1914	2143	2197	2197
消化数(当日)	424	719	709	978	227	0	49	427	229	54	0
進捗率(当日)	183.5%	184.8%	60.5%	159.8%	-	-	-	-	-	-	-

予定と実績の差異が確認できます

11.3. テスト課題管理

テスト課題管理ではテスト中に発生した、テスト実行を妨げる課題を影響工数などを踏まえて管理できます。

テスト課題の設定により、テスト仕様書をロックし、テストの実行を止めることもできます。

11.3.1. テスト課題を登録する

テスト課題を登録する手順を説明します。

1. テスト実行画面にて、「テスト課題報告」ボタンを押します。

2. サンプルテスト仕様書											
Sheet1 (755)											
テスト概要 列同期OFF ハイライトOFF											
ID	画面名	大項目	中項目	小項目	期待される結果	Result1	Result2	Result3	備考		
1	進捗管理 全体進捗	テスト仕様書未設定時	全体進捗テーブル	小項目 ケースベース、工数ベース、障害発生率	各カラムには“/”が表示される	OK	未実行	未実行			
2	進捗管理 全体進捗	進捗グラフ	グラフの表示期間(初期値)	工程が工程S1または工程S2の時	※このテストは無効になりました。	未実行	未実行	未実行			

2. テスト課題の項目を入力し、「登録」ボタンを押します。

テスト課題の登録

工程

testA

タイトル

300文字以内

種別

テスト環境の不備

優先度

P3(中)

ステータス

新規

実行制御

無効

テストを実行できます

発生日時

2015/06/12 16:10

終了日時

担当者

--選択--

報告者

Riku Shomura

概要

影響範囲

xx test

添付ファイル

ファイルを選択

ファイルを添付する場合は、ファイルを選択ボタンより選択してください。
 (ここにドラッグ&ドロップすることでもファイルを登録できます)

1つのファイルサイズは10MBまでです。
ファイルの個数は10個までです。
添付可能なファイル形式

入力項目は以下の通りです。

項目	説明
工程	対象となる工程を選択します。
タイトル	テスト課題のタイトルを入力します。
種別	テスト課題の種別を選択します。種別は以下の4つから選択可能です。 テスト環境の不備/開発の遅延/仕様の変更/品質の不良/メンバーの不足/スキルの不足 ※顧客権限のユーザにはメンバーの不足とスキルの不足のテスト課題は閲覧できません。
優先度	優先度を選択します。
ステータス	現在のステータスを選択します。
実行制御	実行制御をONにすると、影響範囲に指定されたテスト仕様書の実行をストップできます。テスト環境の不備等でテストが実行できない場合に、実行制御することで不要な実行を防止できます。
発生日時	課題が発生した日時を選択します。
終了日時	課題が終了した日時を選択します。
担当者	担当者をチームメンバーから選択します。
報告者	報告者をチームメンバーから選択します。
概要	課題の概要を入力します。
影響範囲	影響のあるテスト仕様書を選択します。 ※工程に紐づく複数のテスト仕様書を選択可能です。
添付ファイル	参考資料を添付します。
影響工数(人時)	影響の出た工数を入力します。
ラベル	任意のラベルを課題に設定します。
コメント	任意のコメントを入力します。

上部メニュー > 進捗管理 > テスト課題管理からもテスト課題を登録できます。

1. 上部メニューからテスト課題管理画面を開きます。



2. テスト課題管理画面にて「新規登録」ボタンを押します。



11.3.2. テスト課題を確認する

テスト課題を確認する手順を説明します。

1. 上部メニューから「テスト課題管理」を選択します。



2. 確認したいテスト課題タイトルを選択します。



3. テスト課題の詳細画面が表示されます。



テスト課題の詳細画面では他にも以下の操作が可能です。

- テスト課題の編集
- コメントの表示、登録、削除
- 履歴の表示

12. 集計・分析

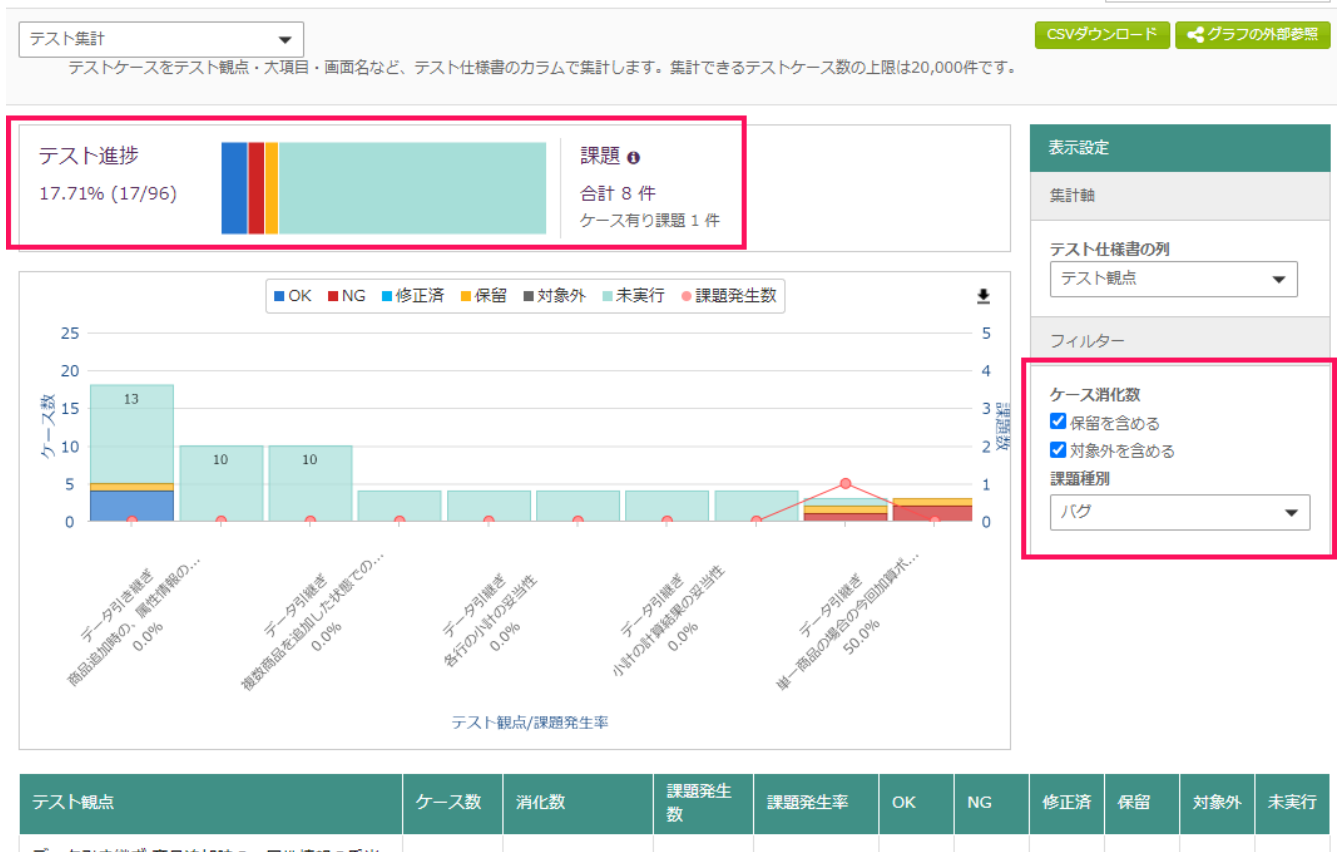
集計・分析画面では、テスト・不具合の集計結果や、プロジェクト・メンバーの分析結果を閲覧できます。集計・分析画面を見るには上部メニューの「集計・分析」を選択してください。

集計・分析種別一覧

集計・分析種別	概要
テスト集計	テストケースをテスト観点・大項目・画面名など、テスト仕様書のコラムで集計します。
テスト集計・テスト環境別	テストケースを、テスト環境毎に集計します。
不具合集計	不具合を、ステータス、クローズ理由など、不具合のフィールドで集計します。
不具合集計・開発担当者別	不具合を、開発担当者別に集計します。差し戻し数が確認できます。
機能分析	機能ごとに、不具合・テストケース・Kstep数を集計します。
テスト実行者分析	テスト実行者毎のケース消化数・不具合起票数を表示します。
信頼度分析	テストの進捗率と障害の発生数から品質を推測できる信頼度成長曲線を表示します。
バーンダウンチャート	バーンダウンチャートでテストの残工数の予定・実績・予測を表示します。

12.1. 分析・集計共通機能

各集計・分析種別で共通の機能について説明します。



12.1.1. テスト進捗・課題件数のサマリーの表示

集計・分析機能の各機能の上部に表示される、テスト進捗・課題のサマリーについて説明します。

テスト進捗には工程内のテスト仕様書のテスト進捗(%)、ケース消化件数、ケース数が表示されます。その隣にはテストステータス毎の件数・割合を表す横棒グラフが表示されます。

課題には合計課題数と、ケース有り課題数が表示されます。合計課題数は、工程内の課題の件数です。ケース有り課題数は、テストケースと関連付けられている課題の件数です。

12.1.2. ケース消化数と課題種別フィルター

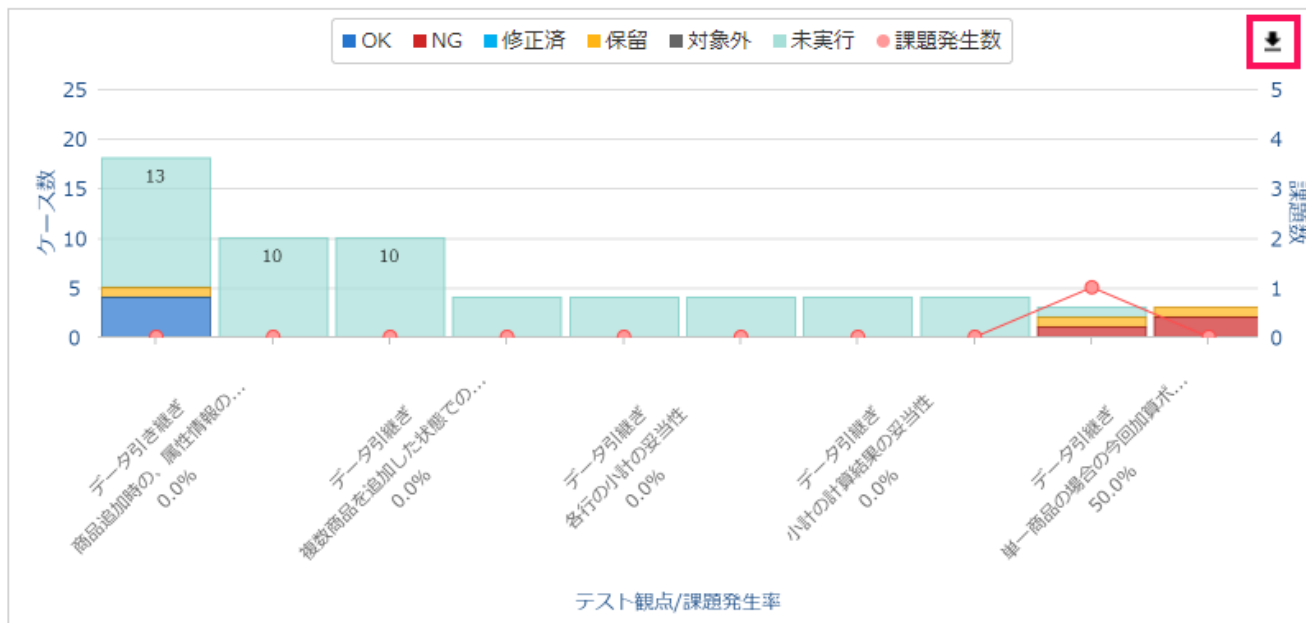
集計・分析の各機能にある「ケース消化数」と「課題種別」のフィルターについて説明します。

「ケース消化数」フィルターでは、テスト消化済として扱うテストステータスの設定ができます。「保留を含める」「対象外を含める」の2つの設定があります。この設定は、テスト消化数、テスト進捗、課題発生率の計算に影響します。

「課題種別」フィルターでは、集計対象の課題種別を選択できます。デフォルトでは、プロジェクト設定で不具合として扱うように設定されている課題種別が選択されます。この設定は、課題件数、課題発生率の計算に影響します。

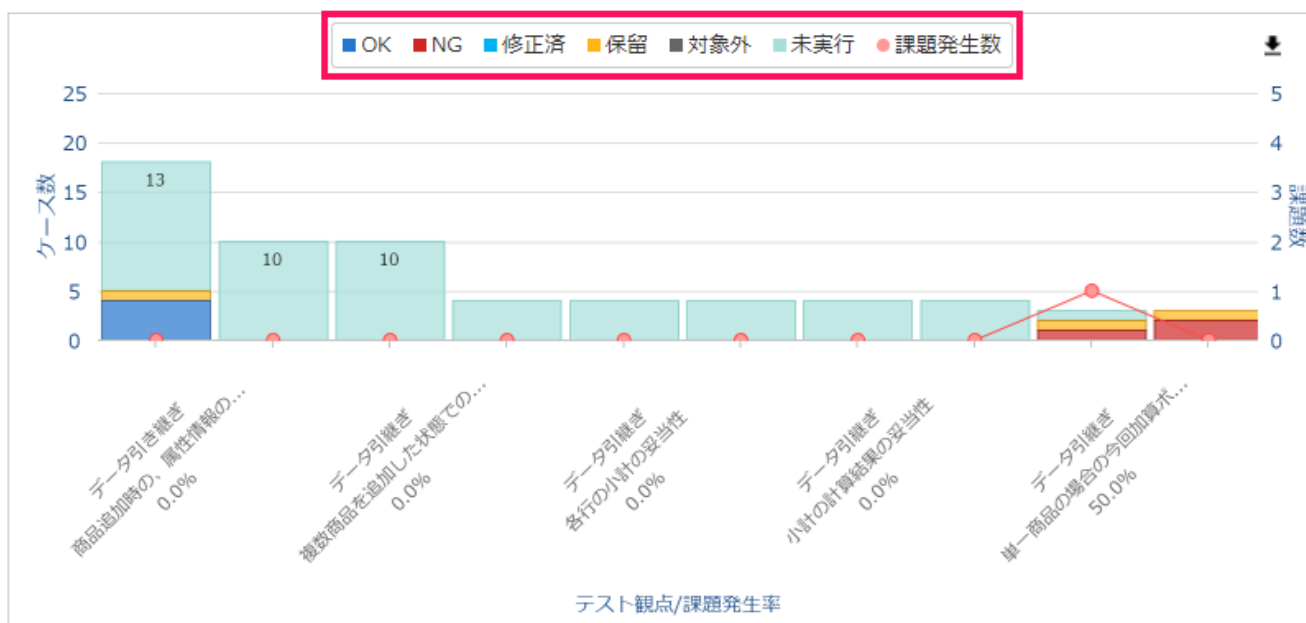
12.1.3. グラフ画像のダウンロード

グラフ右上のボタンをクリックすると、グラフを画像ファイルとしてダウンロードできます。



12.1.4. グラフの項目の表示・非表示

グラフの凡例のクリックすると、グラフ上の各項目の表示・非表示を切り替えることができます。



12.2. テスト集計

テスト集計では、テスト仕様書内の任意のカラム(列)を集計軸として、テストケースをグルーピングして集計できます。

テスト集計

CSVダウンロード

グラフの外部参照

テストケースをテスト観点・大項目・画面名など、テスト仕様書のカラムで集計します。集計できるテストケース数の上限は20,000件です。

テスト進捗

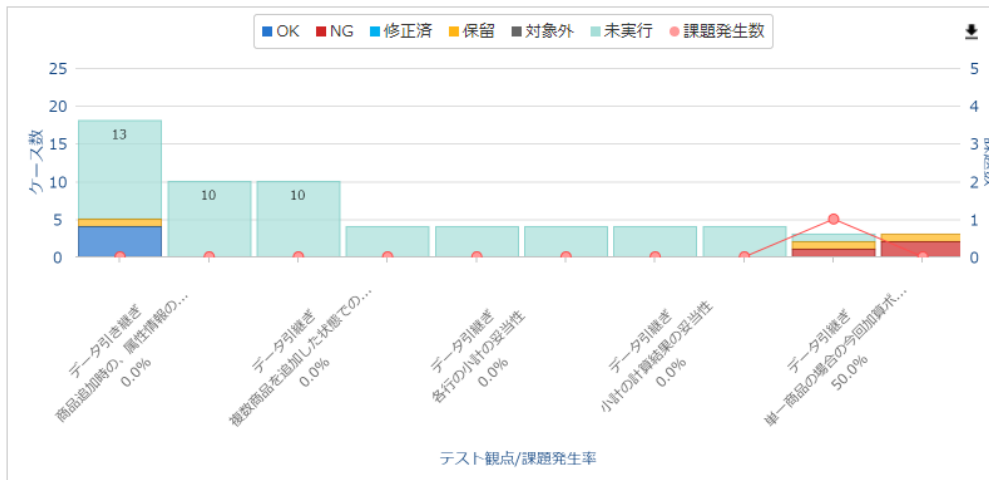
17.71% (17/96)



課題 1

合計 8 件

ケース有り課題 1 件



表示設定

集計軸

テスト仕様書の列

テスト観点

フィルター

ケース消化数

☒ 保留を含める

☒ 対象外を含める

課題種別

バグ

テスト観点	ケース数	消化数	課題発生数	課題発生率	OK	NG	修正済	保留	対象外	未実行
データ引き継ぎ 商品追加時の... 0.0%										

利用方法

表示設定の「集計軸 > テスト仕様書の列」で、テストケースをグルーピングしたい集計軸を指定すると、集計結果が表示されます。

グラフには棒グラフと、折れ線グラフが表示されます。棒グラフは、テストケース毎のケース数、折れ線グラフは課題数です。

グラフの各項目は、ケース数が多い順に表示されます。

テスト仕様書に「集計軸 > テスト仕様書列」で指定された列が存在しない場合、そのテスト仕様書のテストケースは集計対象から除外されます。

テスト集計で集計可能なテストケース数の上限は50,000ケースです。

12.3. テスト集計・テスト環境別

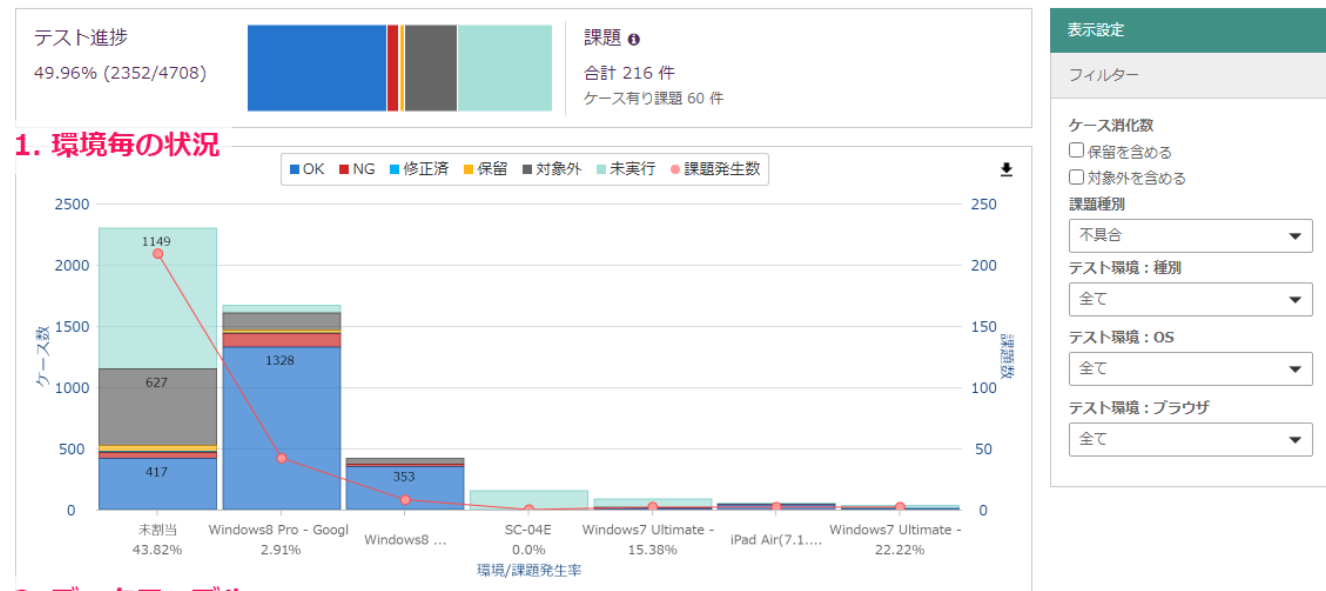
「テスト集計・テスト環境別」では、テスト進捗、課題の発生状況をテスト環境毎に集計できます。

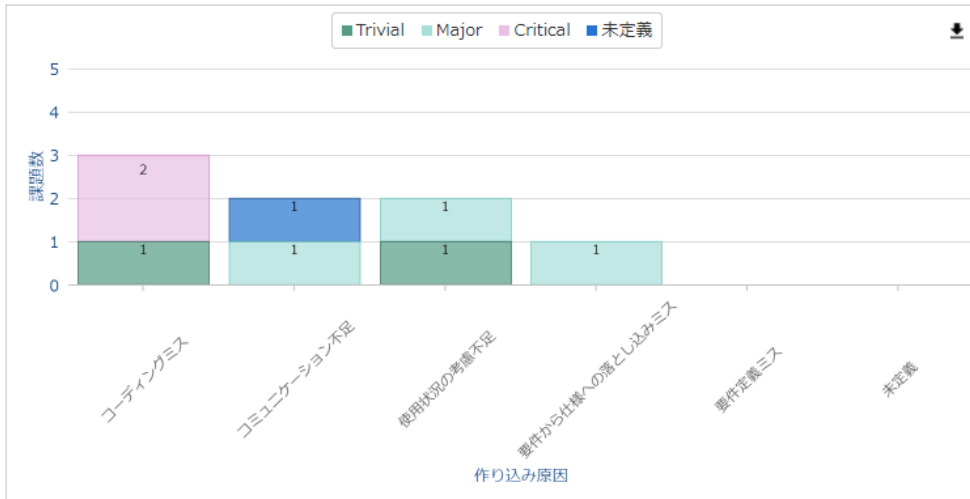
テスト環境の種類が多いプロジェクトで、テスト環境毎の状況をグラフで一目で把握できます。

テスト環境毎に分析するためには、実行結果列にテスト環境を紐づける必要があります。紐づけがない場合は未割当てで集計されます。

「テスト集計・テスト環境別」を利用するには、「集計・分析 > カテゴリ選択メニュー > テスト集計・テスト環境別」を選択します。

選択すると、以下のような画面が表示されます。





表示設定

集計軸

課題のフィールド

作り込み原因

重要度

フィルター

課題種別

バグ

課題のフィールド

クローズ理由

クローズ理由

対応完了, 見送り, 再現し…

作り込み原因	Trivial	Major	Critical	未定義	合計
コーディングミス	1	0	2	0	3
コミュニケーション不足	0	1	0	1	2
使用状況の考慮不足	1	1	0	0	2

利用方法

表示設定の「集計軸 > 課題のフィールド」で不具合件数を集計する軸を指定します。集計軸は2軸指定でき、1軸目は横軸の集計軸で、2軸目は縦軸の集計軸です。

表示設定の「フィルター > 課題のフィールド」では、フィールドごとに条件を指定して、集計対象の課題を絞り込みできます。課題のフィールドのフィルターは複数指定でき、複数指定した場合はAND条件の絞り込みとなります。

集計軸・フィルターとして設定できるフィールド、できないフィールドの種類は以下の通りです。

カスタムフィールド

フィールド	集計軸に設定可能	フィルターに設定可能
単一選択リスト	✓	✓
複数選択リスト	✓	✓
テキストボックス(1行)	-	-
テキストボックス(複数行)	-	-
チェックボックス	-	-
ラジオボックス	✓	✓
セレクトボックス	✓	✓
URL	-	-
メンバー	✓	-
日付	-	-
日付 (時刻)	-	-

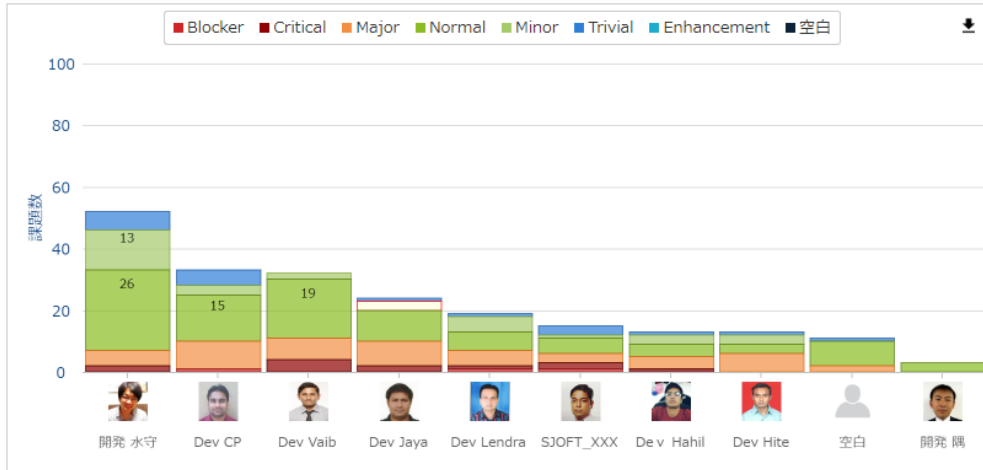
システムフィールド

フィールド	集計軸に設定可能	フィルターに設定可能
ステータス	✓	✓
優先度	✓	✓
重要度	✓	✓
担当者	✓	-
報告者	✓	-
発生バージョン	✓	✓
修正バージョン	✓	✓
機能	✓	-
納期	-	-
発生環境	-	-

12.5. 不具合集計・開発担当者別

不具合集計・開発担当者別では、開発者毎の課題数とその重要度を閲覧できます。

開発者ごとの課題数は、課題の「開発担当者」フィールドを元に算出されます。「開発担当者」を設定していない課題は「空白」として集計されます。



表示設定

















フィルター

課題種別

不具合

ユーザ	課題重要度									差し戻し回数
	Blocker	Critical	Major	Normal	Minor	Trivial	Enhancement	空白	合計	
開発 水守	0 0 %	2 0.9 %	5 2.3 %	26 12 %	13 6 %	6 2.8 %	0 0 %	0 0 %	52 24.1 %	3
Dev CP	1 0.5 %	0 0 %	9 4.2 %	15 6.9 %	3 1.4 %	5 2.3 %	0 0 %	0 0 %	33 15.3 %	1
Dev Vaib	0 0 %	4 1.9 %	7 3.2 %	19 8.8 %	2 0.9 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %	32 14.8 %	10

ページ下部にあるテーブルでは、メンバー毎の課題数と重要度に加えて、差し戻し回数も確認できます。差し戻し回数とは、障害のチケットステータスで「差し戻しフラグ」を持つステータスになった回数を指します。

ユーザー			課題重要度									差し戻し回数
			Blocker	Critical	Major	Normal	Minor	Trivial	Enhancement	空白	合計	
 ugaji	2 0.5 %	6 1.4 %	12 2.9 %	15 3.6 %	24 5.8 %	18 4.3 %	0 0 %	0 0 %	77 18.6 %	0		
 Naoki Mizuguchi	2 0.5 %	6 1.4 %	10 2.4 %	26 6.3 %	13 3.1 %	9 2.2 %	0 0 %	0 0 %	66 15.9 %	2		
 shallendra	2 0.5 %	7 1.7 %	15 3.6 %	13 3.1 %	9 2.2 %	8 1.9 %	0 0 %	0 0 %	54 13 %	3		
 空白	0 0 %	1 0.2 %	4 1 %	19 4.6 %	12 2.9 %	14 3.4 %	0 0 %	0 0 %	50 12.1 %	0		
 jayadip	0 0 %	1 0.2 %	3 0.7 %	17 4.1 %	5 1.2 %	10 2.4 %	0 0 %	0 0 %	36 8.7 %	0		
 Chanderaprakash	1 0.2 %	0 0 %	9 2.2 %	6 1.4 %	7 1.7 %	5 1.2 %	0 0 %	0 0 %	28 6.8 %	0		
 Masakazu Suga	2 0.5 %	3 0.7 %	0 0 %	12 2.9 %	2 0.5 %	2 0.5 %	0 0 %	0 0 %	21 5.1 %	0		
 Hitesh	0 0 %	1 0.2 %	3 0.7 %	9 2.2 %	6 1.4 %	1 0.2 %	0 0 %	0 0 %	20 4.8 %	0		
 Yosuke SAITO	0 0 %	2 0.5 %	1 0.2 %	2 0.5 %	6 1.4 %	4 1 %	0 0 %	0 0 %	15 3.6 %	1		
 Takehiro nakamura	0 0 %	2 0.5 %	0 0 %	8 1.9 %	1 0.2 %	2 0.5 %	0 0 %	0 0 %	13 3.1 %	0		
 Daisuke Takaoka	0 0 %	0 0 %	6 1.4 %	5 1.2 %	2 0.5 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %	13 3.1 %	0		
 Sahil Patil	0 0 %	0 0 %	2 0.5 %	1 0.2 %	6 1.4 %	2 0.5 %	0 0 %	0 0 %	11 2.7 %	0		
 Vaibhav	0 0 %	1 0.2 %	1 0.2 %	4 1 %	1 0.2 %	1 0.2 %	0 0 %	0 0 %	8 1.9 %	0		
 Daisuke Goshu	0 0 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %	1 0.2 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %	1 0.2 %	0		
 Suraj Kulkarni	0 0 %	1 0.2 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %	1 0.2 %	0		
 Takeshi Yonezawa	0 0 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %	0		
Total	9 2.2 %	31 7.5 %	66 15.9 %	137 33.1 %	95 22.9 %	76 18.4 %	0 0 %	0 0 %	414 100 %	6		

12.6. 機能分析

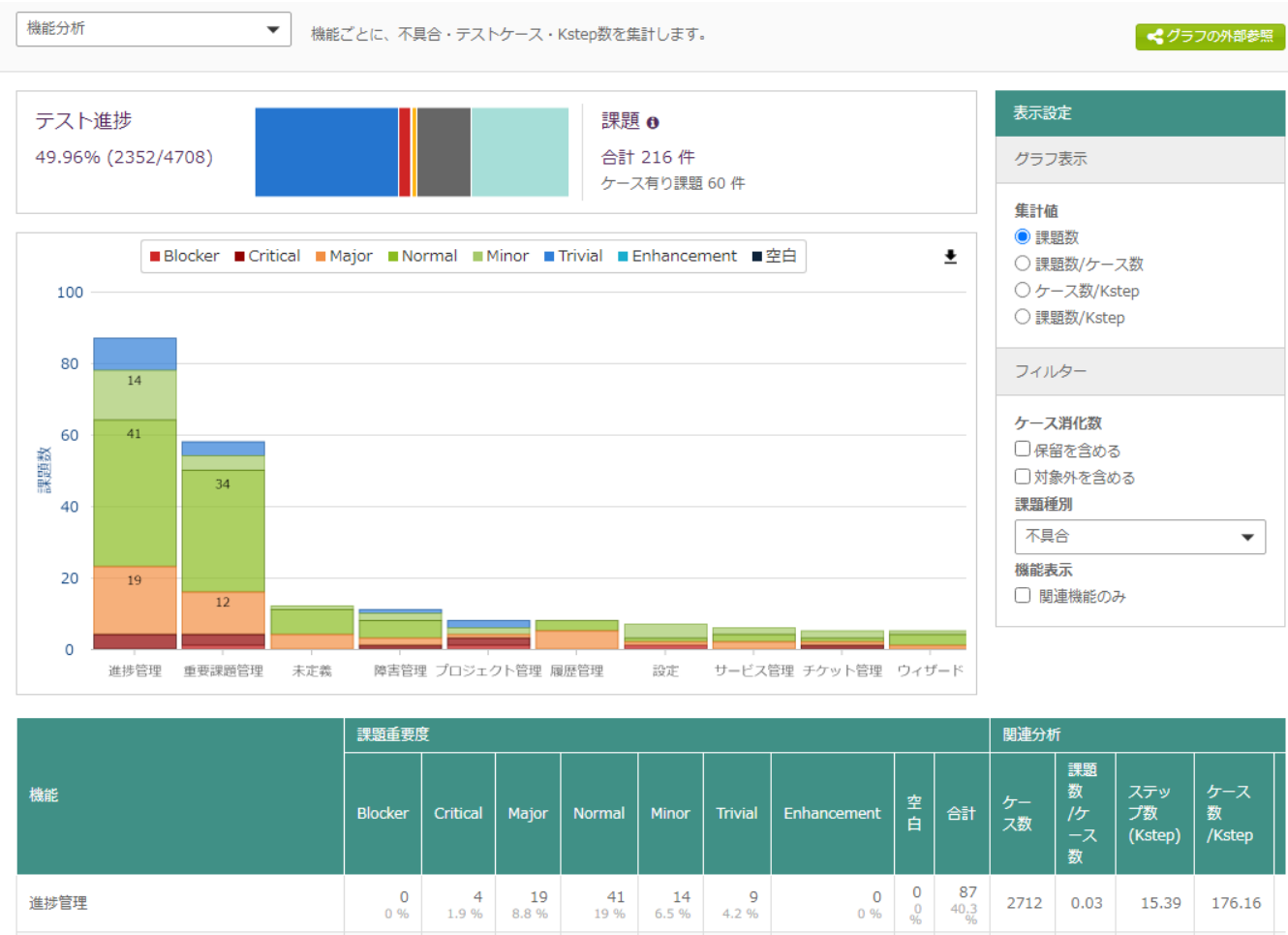
機能分析では、プロジェクトの品質状況を以下の4つの項目で分析できます。

なお、機能を設定していない課題は「空白」として集計されます。

- 課題数
- 課題数/テストケース数
- テストケース数/Kstep
- 課題数/Kstep

機能分析を利用するには、「集計・分析 > カテゴリ選択メニュー > 機能分析」を選択します。

選択すると、以下のような画面が表示されます。

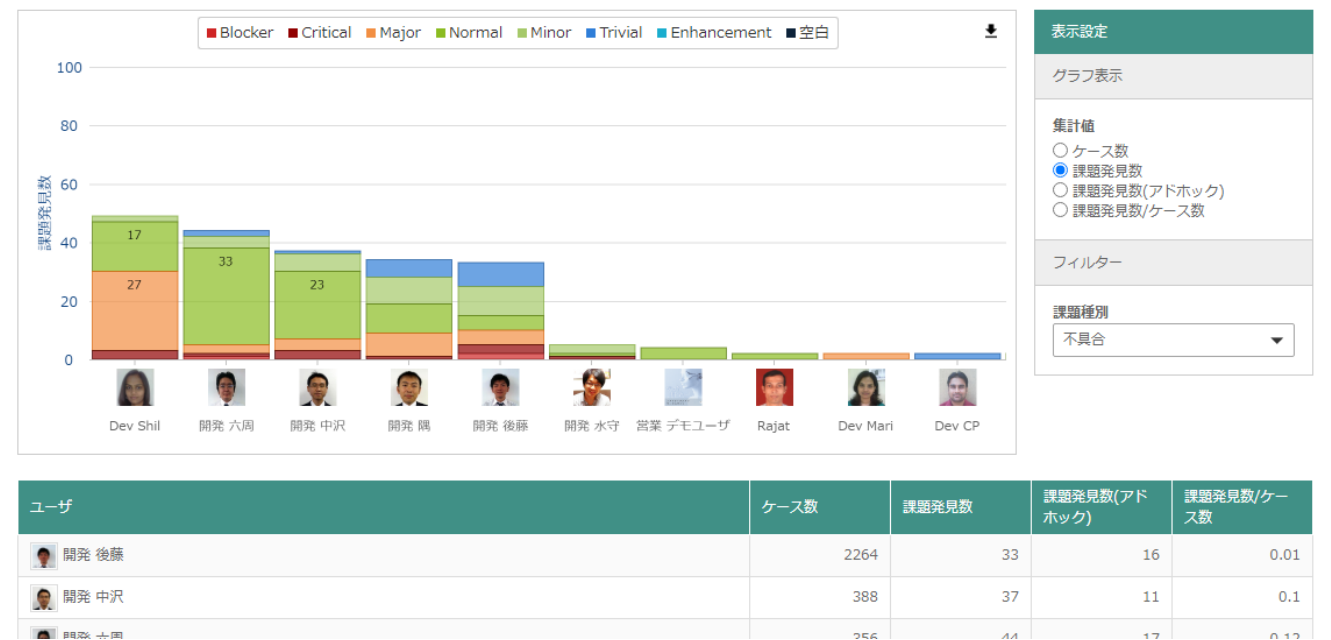


機能分析を活用するためには、あらかじめ機能や機能毎のKstep数を登録しておく必要があります。

機能は、[サービスの基本設定](#)で登録できます。Kstep数は、[プロジェクト詳細情報の設定](#)で登録できます。

12.7. テスト実行者分析

テスト実行者分析では、テスト実行者毎の消化ケース数や課題発見数を閲覧できます。



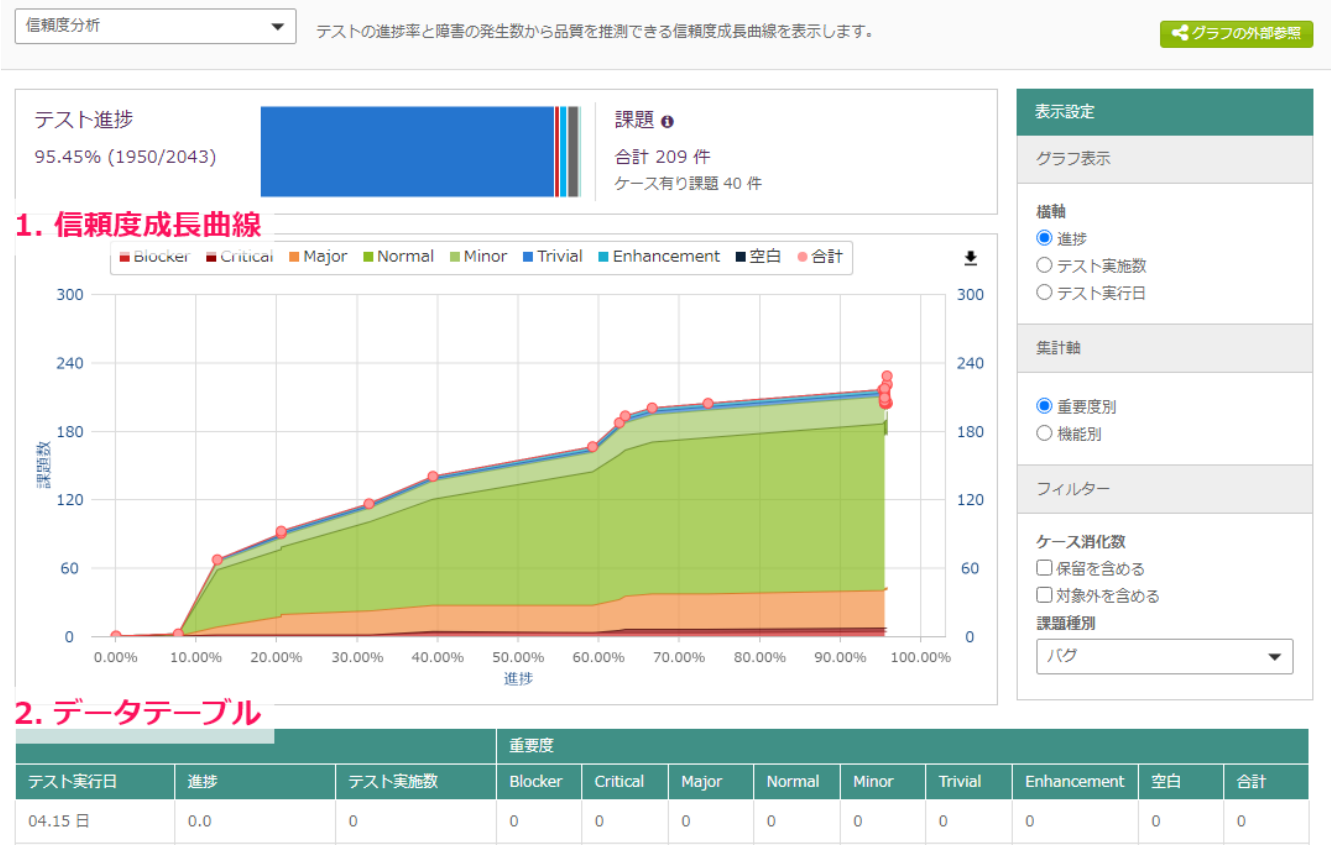
12.8. 信頼度分析(信頼度成長曲線)

信頼度分析はテストの進捗率に応じた障害の発生数から、製品の品質を推測するための指標です。

テストの進捗毎に課題の発生状況を可視化し、製品の信頼度や、テストが十分であるか分析できます。

信頼度分析を利用するには、「集計・分析 > カテゴリ選択メニュー > 信頼度分析」を選択します。

選択すると、以下のような画面が表示されます。



1. 信頼度成長曲線

テストの進捗に応じた累計課題数を面グラフで表示します。横軸にテストの進捗、縦軸に累計課題数を表示します。

横軸に表示するテストの進捗は、以下から選択できます。

横軸	説明
進捗	テストの進捗率(消化率)に応じた課題数が表示されます。
テスト実施数	テストの実施数(消化数)に応じた課題数が表示されます。
テスト実行日	テストの実行日に応じた課題数が表示されます。

縦軸の面グラフの集計軸(グルーピング項目)は、「重要度別」「機能別」から選択できます。

2. データテーブル

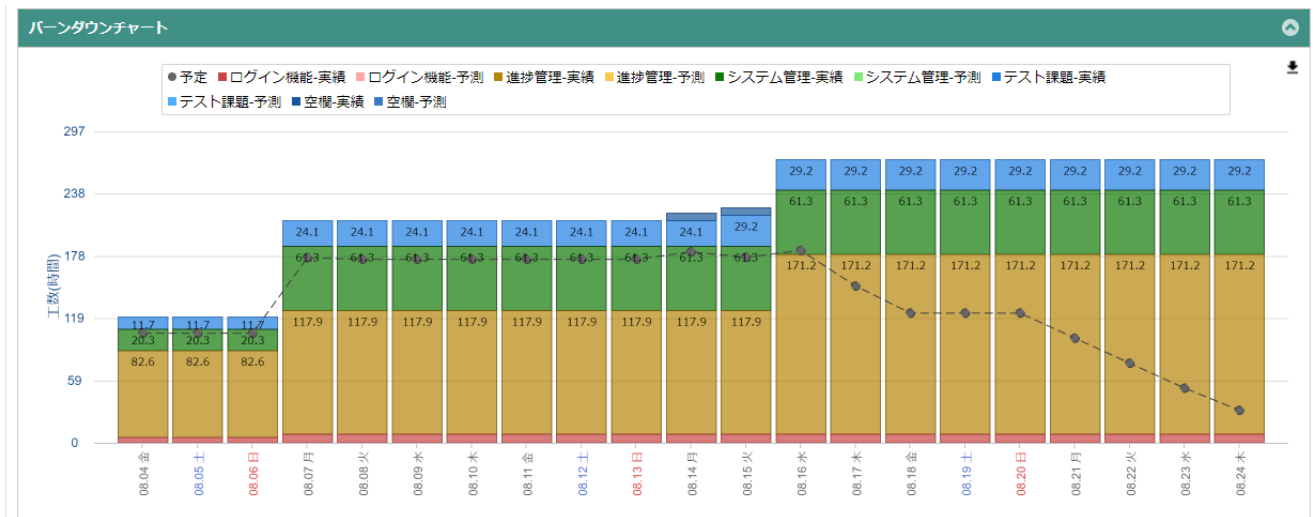
テスト実行日、進捗率、テスト実施数、課題の累積数、「集計軸」で指定した分類ごとの課題の数を表示します。

12.8.1. 表示設定

項目	説明
横軸	グラフの横軸の表示項目を指定する設定です。「進捗」「テスト実施数」「テスト実行日」から選択できます。
集計軸	課題数の集計軸(グルーピング項目)を指定する設定です。「重要度別」「機能別」から選択できます。
ケース消化数	ケース消化として扱うステータスを選択する設定です。「保留」「対象外」をケース消化数に含めるかどうかを選択できます。
課題種別	集計対象の課題種別を絞り込む設定です。 ※ 課題のサブタスクは集計対象外です。

12.9. バーンダウンチャート

バーンダウンチャートを使うと、テスト実行に必要な工数とリアルタイムでモニタリングできます。また、プロジェクトの終了までに必要な工数の推移と予定が表示されるため、1日の労働時間や非稼働日情報等の各種設定を入力することで、プロジェクトの終了日をシミュレーションできます。



12.9.1. バーンダウンチャートグラフ



バーンダウンチャートのグラフには、縦軸に必要テスト工数、横軸に期間が表示されます。

グラフの項目の説明

項目	説明
テスト-予定	テスト計画の値を利用し、テスト実行の予定必要工数を表示します。
テスト-実績	テスト実行の実際の必要工数を表示します。
テスト-限界	各担当者が指定された各担当労働時間で必要工数を消化した場合、残り必要残工数がどのように推移するか表示します。

限界線の活用方法

限界線はテスト実行の担当者情報を利用し、指定された条件において、アサインされたタスクがいつ終わるか表示することができます。通常、限界線の終了日は工程の終了日より前倒しに表示されます。この限界線の終了日が工程の終了日に近づけば近づくほど、納期に関するリスクが高まっていることを表します。

担当者や1日の労働時間等の各種条件を変更し、プロジェクトが正しく完了できるようにシミュレーションを行ってください。

※「進捗管理」→「詳細進捗」→「非稼働日入力」で休日設定を行った場合、その日を稼働日として計算せずに限界線を表示します。

12.9.2. ユーザ別テスト詳細

「ユーザ別テスト詳細」では、テスト実行に必要な工数をユーザ毎に確認できます。

ユーザ別テスト詳細						
フィルタのクリア リセット						
ユーザ	総見積工数	残見積工数	実作業工数	差異工数 ↓	残実行日	課題紐付ケース数
⚠ [未設定]	53.3	15.3	-	↓15.3	-	0
👤 開発 六周	15.1	9.1	5.4	↓9.1	0	39
👤 開発 中沢	9.0	1.0	6.4	↓1.0	0	6
👤 開発 隅	0.6	0.5	0.3	↓0.5	0	0
👤 Shift Admin	0.0	0.0	0.1	0.0	0	0
👤 営業 デモユーザ	0.7	0.0	3.2	0.0	0	20
👤 牛木 かな	0.0	0.0	0.1	0.0	0	1
👤 菅原 隼人	0.0	0.0	0.1	0.0	0	0
👤 SHIFT_USER	0.0	0.0	0.1	0.0	0	0
👤 水戸 祥	0.0	0.0	0.1	0.0	0	0
👤 開発 後藤	0.0	0.0	37.5	0.0	0	59
全体	78.5	25.7	52.9	↓25.7	0	125
⏪ ⏩ ページ 1 / 1 ⏪ ⏩ 表示件数: 50 11 件中 1 - 11 を表示						

表示項目

項目	説明
総見積工数	メンバーメンバにアサインされたテストの計画工数の総和（単位：時間）
残見積工数	メンバーメンバにアサインされたテストの未実施の計画工数の総和（単位：時間）
実作業工数	メンバーメンバが実施した計画工数の総和（単位：時間）
差異工数	当日までの予定工数に対する実績の差異工数、↓(+)が遅れ、↑(-)が前倒し（単位：時間）
残実行日	今日を含め未来にテストにアサインされている残日数
課題紐付ケース数	実施ケースに対して障害が割当たっているケース数（ケース）
進捗率	メンバーメンバにアサインされたテストの計画に対する進捗率（%）

12.9.3. 表示設定

表示設定では、バーンダウンチャート・データテーブルの表示内容・集計方法を設定できます。

表示設定

表示期間

2014/05/26 - 2014/06/13 ▼

表示単位

4週間

2週間

1週間

3日

1日

グラフタイプ

未分類 ▼

機能フィルタ

全ての機能 ▼

非稼働日

☐ グラフに非稼働日を表示する

限界線設定

1日の労働時間:

8:00 ▼

ケース消化

☐ 保留を含める

☒ 対象外を含める

テスト仕様書フィルタ

全てのテスト仕様書 ▼

項目	説明
表示期間	グラフに表示する期間を「工程終了日まで」、「本日まで」、「カスタム」から選択できます。「カスタム」での設定はカレンダーからの日付選択で行います。初期値は「工程終了日まで」です。
表示単位	4 週間毎、2 週間毎、1週間毎、3日毎、1日毎の表示切り替えます。
グラフタイプ	<p>グラフの項目「実績」および「限界」の分類軸を指定します。「未分類」「担当者」「機能」から選択できます。</p> <p>未分類</p> <p>全体の「実績」と「限界」が表示されます。</p> <p>担当者</p> <p>担当者ごとに「実績」と「限界」が表示されます。また、表示する対象の担当者をフィルターできるようになります。</p> <p>機能</p> <p>機能ごとに「実績」と「限界」が表示されます。</p>
機能フィルタ	「機能」で集計対象のテスト仕様書を絞り込むことができます。
非稼働日を表示する	<p>表示期間に非稼働日を表示するか選択します。</p> <p>※表示単位が「3日」「1日」を選択したときのみ使用可能です。</p>
限界線設定 > 1日の労働時間	<p>一日の労働時間を指定します。</p> <p>1時間～24時間まで指定することができます。</p>
ケース消化	ケース消化数に「保留」「対象外」を含めるかを選択します。
テスト仕様書フィルタ	集計対象のテスト仕様書を絞り込むことができます。

12.9.4. バーンダウンチャート機能の集計値に影響する各種設定・入力項目

バーンダウンチャート機能の集計値に影響する各種設定・入力項目を説明します。

設定画面	設定項目	バーンダウンチャートでの利用方法
プロジェクトの設定	工程情報	<p>工程に設定された期間を「表示期間」の初期値とします。</p> <p>※工程の終了日はグラフ上で緑色で表示されます。</p>
プロジェクトの設定	ワークタイム	1日の労働時間の初期値として使用されます。

設定画面	設定項目	バーンダウンチャートでの利用方法
詳細進捗 > テスト予定 *1	担当者	担当者毎の工数計算をするために使用します。 ※担当者を割り当てない場合バーンダウン上は未割当として表示および算出をします。
詳細進捗 > テスト予定 *1	テスト予定数	テスト実行のケースの割当て数の計算や、テスト実行の予定線を作成するために使用します。 ※予定の入力しない場合はテスト-予定のチャートがテストケースの総工数のまま推移します。
詳細進捗 > テスト予定 *1	必要時間	テスト実行に必要な工数を算出するために利用します。
詳細進捗 > テスト予定 *1	優先度	限界線を表示する際、優先度に沿ってテスト実行の必要工数をマイナスしていきます。
テスト実行画面 *2	担当者	担当者毎の工数計算をするために使用します。 ※担当者を割り当てない場合バーンダウン上は未割当として表示および算出をします。
テスト実行画面 *2	予定日	テスト実行の予定線を作成するために使用します。 ※予定の入力しない場合はテスト-予定のチャートがテストケースの総工数のまま推移します
テスト実行画面 *2	必要時間	テスト実行に必要な工数を算出するために利用します。
詳細進捗 > 非稼働日	非稼働日の設定	限界線の労働時間計算時や残実行日の算出の際に使用します。 一日の労働時間を計算時の各稼働日設定の参照について 休日：労働時間 × 0 半日稼働：労働時間 ÷ 2 全日稼働：労働時間 ※休日を労働時間扱いする場合に利用します。
テスト実行 > ケースのステータス	ステータス	実行されたテストケースの数と必要時間を積算し、残り必要時間を計算します。
テスト管理 > プロパティ	機能	テスト仕様書に機能を設定することで、機能毎の必要時間を表示できます。

※1 プロジェクトの基本設定で「テスト予定計画方式：計画方式」が「テストケース」の場合に利用されます。

13. 監査(再鑑)モード

CATは正確性の向上や打鍵と検証を分けて効率化を図るために、各テストケースをダブルチェックする「監査テスト機能」をサポートしています。

この機能を利用すると、通常及び監査のテスト実行を分けて進捗確認ができるようになります。

以下に設定および利用方法を記載します。

13.1. サービス設定・監査テスト設定

監査テスト機能はサービス単位で設定します。サービス内で監査テスト機能を利用するには、次の画面で設定をする必要があります。

設定画面

サービス管理 > (任意のサービス) > テストの基本設定 > 監査テスト設定

監査テスト設定で「監査モードを有効にする」にチェックすると、サービス内の各プロジェクトで利用可能になります。

※「監査テストの実行は監査対象が以下のステータスの場合に許可する」のオプション項目は監査対象列の制御対象のステータスの設定です。

監査対象列が設定したステータスに変更した場合のみ監査列を実行できるようになります。

テストの基本設定の該当箇所

テストステータス	テストステータスの設定を行います。この内容は全ての機能で利用されます。 <input checked="" type="checkbox"/> NGを実行済みステータスとして利用する <input type="checkbox"/> 対象外を無効なテストケースとして扱う
監査モード	<input checked="" type="checkbox"/> 監査モードを有効にする 監査テストの実行は監査対象が以下のステータスの場合に許可する <input checked="" type="checkbox"/> OK <input checked="" type="checkbox"/> 修正済 <input type="checkbox"/> NG <input type="checkbox"/> 保留
	<input data-bbox="470 1406 518 1438" type="button" value="+"/>

13.2. テスト仕様書・監査列の設定

サービス設定にて監査機能を有効に設定後、テスト仕様書の列設定にて「実行結果(監査)」タイプを設定できるようになります。本タイプを設定した列の結果は、全体進捗など（※）で通常の進捗と分けて表示することができます。

※テスト管理、テスト実行、全体・詳細進捗画面では表示モードの切り替えにより、「通常」、「監査」、「全て」の各ケース数、進捗を確認することができます。それ以外の画面（プロジェクト情報、分析など）では、「全て」のケース数を元に情報を表示します。

設定画面

テスト管理 > (テスト仕様書一覧にて任意のテスト仕様書を選択) > シート設定 > (任意のシートを選択) > 列設定

列のタイプを「実行結果（監査）」に設定します。

監査対象のステータスが実行されない限り監査列のステータスを変更を制限する場合は“監査対象”に対象の列を設定します。

列設定のタイプ選択箇所

<input type="checkbox"/>	6	期待される結果	編集不可能ラベル	-	-	自由入力	-- 選択 --
<input type="checkbox"/>	7	結果列	実行結果	-	-- 選択 --	-	-
<input checked="" type="checkbox"/>	8	結果列 (監査)	実行結果(監査)	結果列	-- 選択 --	-	-
<input type="checkbox"/>	9	備考	編集可能ラベル	-	-	自由入力	-- 選択 --

テスト実行画面での表示例

※監査列はヘッダーが水色で表示されます。

テスト仕様書のヘッダーに指定する文字列について

Excelのテスト仕様書を取り込む際、ヘッダーの末尾に以下の文字列を付加した列はあらかじめ監査タイプとして設定し取り込むことができます。

設定する文字	アップロード時に設定されるタイプ
{実行列名} *2	監査結果列(監査テスト利用時)
{実行列名}*2[監査対象列名]	監査結果列 (監査対象列指定) (監査テスト利用時)

Excelのテスト仕様書と取り込み後のイメージ

Excelのヘッダー名の末尾に指定の文字列を付加するとアップロード時に自動的に監査列として設定されます。

13.3. テスト管理画面・表示モード切り替え

テスト管理画面に表示される情報を通常・監査・全ての3つに切り替えて表示できます。

項目名	説明
通常モード	「通常列」の担当者・ケース数・進捗率を一覧に表示します。
監査モード	「監査列」の担当者・ケース数・進捗率を一覧に表示します。
全て	「通常列」と「監査列」を合わせた担当者・ケース数・進捗率を一覧に表示します。

テスト管理画面

監査担当者	スコープ	機能	ケース数	進捗	更新日時	添付ファイル
Ishi	KEY-1:課題情...	ポータル	4	75%	2018-09-21 19:30:04	
Ishi		ポータル	4	25%	2018-09-21 19:28:43	
		ポータル	0	0%	2018-06-11 19:49:12	

表示モードにより、担当者・進捗の数の切り替えが可能です

13.4. テスト実行画面・表示モード切り替え

テスト実行画面で表示できるテスト概要のテスト状況を通常・監査・全ての3つに切り替えて表示できます。

項目名	説明
通常モード	「通常列」のケース数・進捗率・実行結果内訳を一覧に表示します。
監査モード	「監査列」のケース数・進捗率・実行結果内訳を一覧に表示します。
全て	「通常列」と「監査列」を合わせたケース数・進捗率・実行結果内訳を一覧に表示します。

テスト実行画面のテスト状況

	実行状況	未実行	OK	修正済	NG	保留	対象外
合計	10/29 34.48%	19 65.52%	6 20.69%	0 0.0%	4 13.79%	0 0.0%	0 0.0%
ユーザ認証機能	10/22 45.45%	12 54.55%	6 27.27%	0 0.0%	4 18.18%	0 0.0%	0 0.0%
パスワードリセット機能	0/7 0.0%	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

	実行状況	未実行	OK	修正済	NG	保留	対象外
監査結果	10/22 45.45%	12 54.55%	6 27.27%	0 0.0%	4 18.18%	0 0.0%	0 0.0%

13.5. 全体・詳細進捗画面・監査用の予定入力機能

詳細進捗画面のテスト予定入力機能で、テスト仕様書単位に監査用の予定値を入力できます。テスト予定から「監査テスト予定入力」を選択して入力します。

※入力方法は従来のテスト予定入力と同様です。

詳細進捗画面でのメニュー表示例

メニュー
テスト予定入力
テスト予定CSVダウンロード (全体)
テスト予定CSVダウンロード (選択範囲)
テスト予定CSVインポート
監査テスト予定入力
監査テスト予定CSVダウンロード (全体)
監査テスト予定CSVダウンロード (選択範囲)
監査テスト予定CSVインポート

プロジェクトの基本設定で「予定値」が「概要」の場合、全体進捗画面で工程単位に監査用の予定値を入力できます。入力方法はテスト計画値入力と同様です。



13.6. 全体・詳細進捗画面・テストの進捗対象の切り替え

全体進捗および詳細進捗のテスト予定・実績について、表示モードを切り替えて表示できます。各画面の表示設定で、テスト表示対象を通常・監査・全てのいずれかに切り替えグラフ・テーブルに表示される値を設定できます。

[全体進捗・表示設定]

表示設定

表示期間: 2019/09/14 - 2019/09/27

表示単位: 4週間 2週間 1週間 日 3時間 1時間

表示時間: 開始: 09:00 終了: 18:00

ケース消化数: ☐ 保留を含める ☒ 対象外を含める

テスト表示: ☐ 通常テスト ☐ 監査テスト ☒ 全て

グラフ表示項目: ☐ 予定・ケース数・消化数のみ ☒ 全て

障害数: ☒ 障害種別のみ

実績オプション: ☐ 表示範囲の実績を表示する ☐ 登録ケース数を工程の開始日から表示する

適用

[詳細進捗・表示設定]

表示設定

表示期間: 2019/09/14 - 2019/09/27

表示単位: 4週間 2週間 1週間 日 3時間 1時間

集計対象: OK 修正済 NG 保留 対象外

表示時間: 開始: 09:00 終了: 18:00

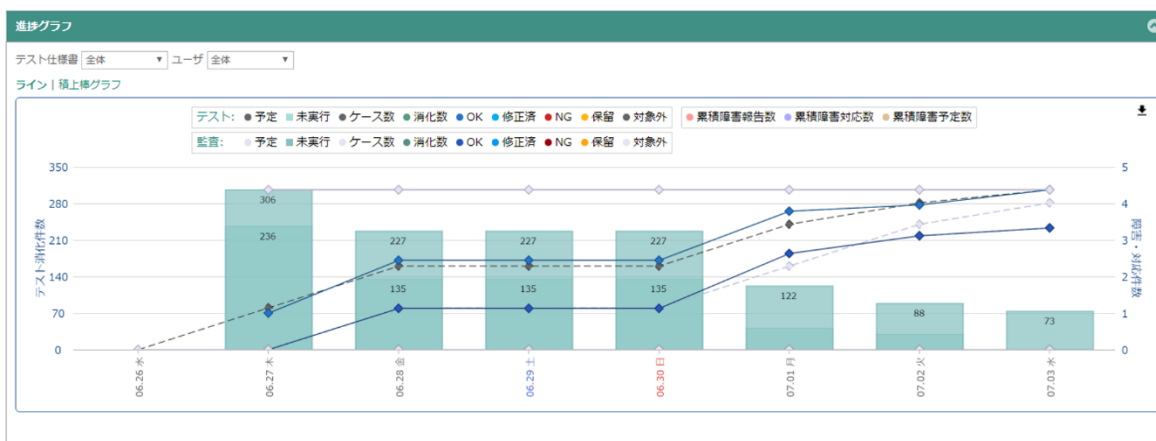
テスト表示: ☐ 通常テスト ☐ 監査テスト ☒ 全て

集計タイプ: 累計 小計

予定: ☒ 予定を表示する

適用

[全体進捗・テスト表示：全て・グラフ項目：全て の表示例]



項目名	項目名	説明
テスト表示	通常テスト	「通常列」を参照した値がグラフ・テーブルに表示されます。
	監査テスト	「監査列」を参照した値がグラフ・テーブルに表示されます。
	全て	「通常列」と「監査列」がそれぞれの値がグラフに表示され、 テーブルには合算された値が表示されます。
グラフ表示範囲 ※全体進捗のみ	予定・ケース数・消化数のみ	「ケース数」「消化数」が線グラフで表示され、「予定」が棒グラフで表示されます。
	全て	「予定」「ケース数」、実行ステータス毎の値が線グラフで表示され、「消化数」が棒グラフで表示されます。

14. 再テストモード

結合・システム・シナリオ・受入テスト工程において発生する再テストを管理する機能です。

※本マニュアルでは同じテスト工程内で既に実施済みのテストを再度実施することを「再テスト」と呼びます。

再テストを計画した際の画面イメージ

再テストの実施待ちの実行ステータスは「再」と表示されます。

ID	大機能	トリガー	確認観点	確認項目	期待値	結果1(IE)	結果2(Ch)	実行備考
1	イベント申し込み画面	画面展開時	自動採番の妥当性	伝票番号の自動で採番されるか	以下の伝票番号が採番されること YYYYMMDD000XX(最大番号+1)	再	再	
2		日付入力後、フォーカス移動時	日付入力時のバリデーション(正常時)	正常なフォーマットのときに正しく整形されるか	YYYY/MM/DDに整形されて表示される	再	再	

14.1. 再テストの設定を有効にする

再テスト機能はデフォルトで無効になっています。

「サービス設定」>「テストの基本設定」画面から有効化できます。

注) 再テスト機能は、一度有効化すると無効化できません。

集計機能(※)の挙動の変更が大きいため、既存のサービスでの有効化は非推奨です。

※進捗画面での項目変更、それに伴うCSVフォーマットの変更などがあります。

再テストの設定画面（サービス設定 > テストの基本設定）

テストの基本設定

テストに関する基本設定を行います。

テストステータス	テストステータスの設定を行います。この内容は全ての機能で利用されます。 <input checked="" type="checkbox"/> NGを実行済みステータスとして利用する <input type="checkbox"/> 対象外を無効なテストケースとして扱う
監査モード	<input type="checkbox"/> 監査モードを有効にする
再テストとテスト実行ログ	<input checked="" type="checkbox"/> 再テストとテスト実行ログを記録する機能を有効にする この設定は、一度有効にすると戻せません。
テスト区分	<input data-bbox="512 1733 557 1765" type="button" value="+"/>

※ + ボタンを押して入力を確認してください。

14.2. 再テストを計画・実施する

14.2.1. 再テストを計画・実施する

テスト実行画面上・テスト仕様書アップロードで、再テストの計画・実施ができます。再テストする実行セルを選択し、「再テスト計画」をクリックすると再テストの計画ができ、ステータス画面の右上に再テストのバッジ

が表示されます。

再テストを計画した際の実行画面のイメージ



Excelのテスト仕様書の実行結果列に「再テスト」と記載して上書きアップロードすると再テストステータスとして取り込まれます。

※上書きアップロード時に対象ケースが「未実行」の場合は取り込みができません

	F	G	H	I	J
	期待値	結果1(IE)*	実行備考 &[結果 1(IE)]	結果 2(Chrome) *	設計備考
で採番	以下の伝票番号が採番されること YYYYMMDD000XX(最大 番号+1)	再テスト		未実行	
ットの 形され	YYYY/MM/DDに整形され て表示される	再テスト		未実行	
ーマッ	・入力内容が残留し、赤色	再テスト		未実行	

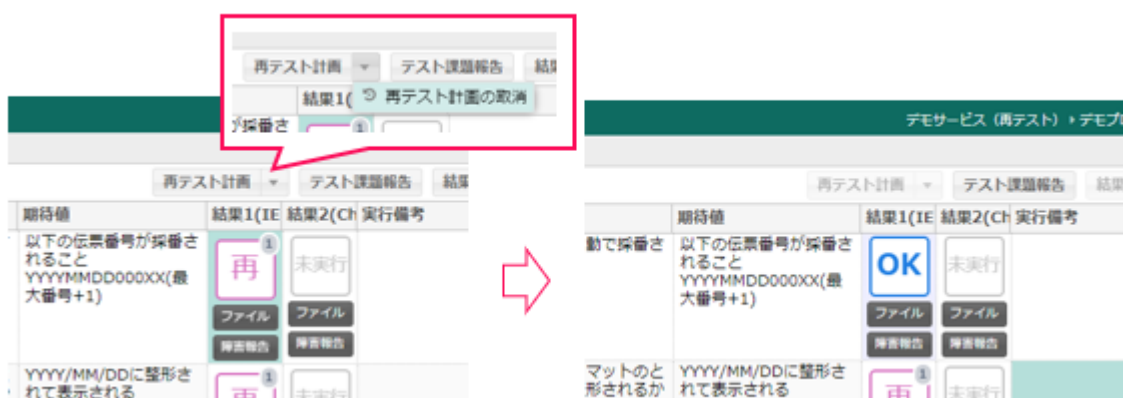
*

14.2.2. 再テストを取り消す

誤操作等で再テストステータスに変更してしまった場合はセルを選択して「再テスト計画」ボタンの▼をクリックし、「再テスト計画の取消」を選択すると再テストを取り消すことができます。

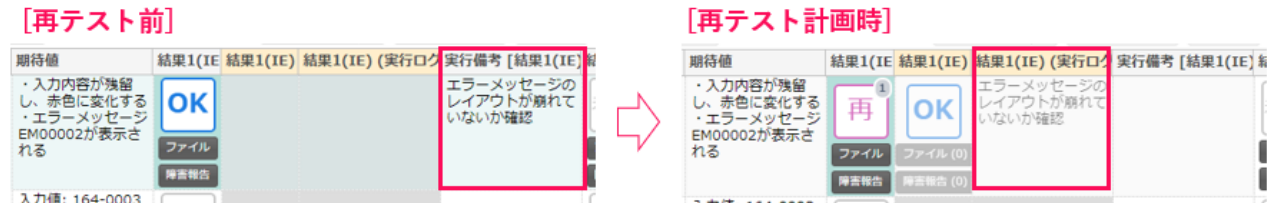
注) 再テストのステータスから別ステータスに変更すると「再テスト計画の取消」ができなくなります。

再テスト計画取消のイメージ



14.2.3. 再テスト時に編集セルを記録する

再テスト計画時に備考やメモ等で記載したセルを再テストのログとして残すことができます。



※設定方法

テスト管理画面を開き、任意のテスト仕様書を選択し> シート設定> 列設定を選択します。

実行ログとして残す編集可能ラベルの列の「対象実行結果列」に実行結果列に選択すると、

設定した実行列が再テスト計画をしたい際に、編集可能セルが実行ログとして記録されます。



14.3. 再テストの状況を確認する

テスト実行画面で再テストの過去の実行結果を把握し、プロジェクト情報画面や進捗画面で再テストを含めた実行状況を確認します。

14.3.1. 過去の再テストの実行ログを確認する

再テスト前の実行ステータスを確認する

カラム設定で「実行ログ」、「実行ログ備考」を有効化させると再テスト前の実行ステータスと再テスト時に記録したテキストが表示されます。

実行ログ・実行ログ備考のイメージ

テスト仕様書のダウンロード

テスト仕様書をダウンロードします。ファイルタイプ、フォーマットを選択し、ダウンロードボタンを押してください。

ファイルタイプ: Excel

ファイルフォーマット:

☐ ケースを再度インポートして利用する際のフォーマットで出力する

☒ 結果、実行者、日付を1つの列に出力する

☐ 結果、実行者、日付を別々の列に出力する

オプション:

☐ 日付フォーマットのデータを日付書式セルとして設定する ⓘ

☐ ファイル名の末尾に日付を付ける

☒ 実行ログを出力する

14.4. プロジェクト内の再テストの実行状況を確認する

再テスト機能を設定した場合、進捗管理やプロジェクト情報等の各画面で再テストの数を含めた値が表示されます。

CATではテストの進捗を「総テスト数」と「総ケース数」で集計しており計算方法は以下の通りです。

総テスト数

実行ログを含めた全て値を集計した数

総ケース数

実行ログを含めない現在の実行ステータス数を集計した値

総テスト数: 13

総ケース数: 10

No	結果	[ログ]結果
1	再テスト	OK
2	再テスト	NG
3	再テスト	NG
4	OK	-
5	OK	-
6	OK	-
7	保留	-
8	保留	-
9	未実行	-
10	未実行	-

No	結果	[ログ]結果
1	再テスト	OK
2	再テスト	NG
3	再テスト	NG
4	OK	-
5	OK	-
6	OK	-
7	保留	-
8	保留	-
9	未実行	-
10	未実行	-

各画面の表示内容について

項目	説明
プロジェクト情報画面	テスト数が表示され、進捗率 (件数ベース)は「消化数 ÷ テスト数」の値が表示されます。
テスト管理画面	ケース数が表示され、進捗率は「消化数 ÷ ケース数」で表示されます。
全体進捗画面	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケースベース：ケース数が表示されます。 ・ テスト実行ベース：テスト数が表示されます。 ・ 工数ベース：テスト数で計算した値が表示されます。 ・ 項目ベース：テスト項目単位で計算します。 ・ 障害発生数：障害数 / ケース数 の値が表示されます。
詳細進捗画面 テスト仕様書 実績/予定 テスト環境 実績	テスト数が表示され、進捗率等はテスト数で計算された値が表示されます。
分析 信頼度分析	テスト数が表示されます
プロジェクトレポート	テストケースステータス の部分のみケース数が表示され、他の部分についてはテスト数が表示されます。

15. アカウント設定

15.1. ユーザ画像、表示言語を設定する

CATではユーザ毎にプロフィール設定画面があり、プロフィール画像の変更や言語の変更、パスワードの変更等が管理者権限を持たないユーザでも可能です。

アカウント設定

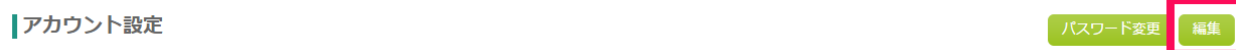
ユーザ名	<input type="text" value="Riku Shomura"/>	100文字以内
認証方式	ローカル認証	
ログインID	※ メールアドレスと同じになります。	
メールアドレス	<input type="text" value="riku.shomura@shiftinc.jp"/>	
言語	<div>日本語</div>	
プロフィール写真	<div>ファイルを選択</div> <div>添付可能なファイル形式 ⓘ</div>	
メール送信形式	<div>HTML/テキスト形式</div>	
部署	<div>--選択--</div>	
勤務地	<div>--選択--</div>	

アカウント編集方法について説明します。

1. ヘッダーのプロフィール写真にマウスオーバーしてください。マウスオーバーにより現れるドロップダウンのアカウント設定を押します。




2. 編集ボタンを押します。



3. 変更したい項目を編集し、登録するボタンを押します。

アカウント設定

ユーザ名	<input type="text" value="Riku Shomura"/>	100文字以内
認証方式	ローカル認証	
ログインID	※ メールアドレスと同じになります。	
メールアドレス	<input type="text" value="riku.shomura@shiftinc.jp"/>	
言語	<input type="text" value="日本語"/>	
プロフィール写真	<div><div>ファイルを選択</div></div> <div>添付可能なファイル形式 ⓘ</div>	
メール送信形式	<input type="text" value="HTML形式"/>	
部署	<input type="text" value="Software Dev. Dep. in Tokyo"/>	
勤務地	<input type="text" value="東京 (神谷町)"/>	

外部BTS認証設定

外部BTSにアクセスするための認証情報を設定します。認証情報は障害の紐づけ機能で利用されます。

外部BTS	認証情報	削除
+		

登録する

キャンセル

各ユーザはアカウントに関する以下の表の設定を行うことができます。

設定項目	備考
ユーザ名 ※	100文字以内でユーザ名を設定してください。
言語	CAT の表示言語を日本語/英語(English)から選択できます。
プロフィール写真	写真をアップロードします。
グループ ※	グループを選択できます。
勤務地 ※	勤務地を選択できます。
メール送信形式	受信したいメールの送信形式を選択できます。なお、メール送信形式がHTML形式以外である場合にも、レポートメールはHTML形式で送信されます。

※LDAP認証を利用しているユーザで、項目をLDAPから参照している場合変更できません。

15.2. パスワードを変更する

ログインに用いるパスワードを変更します。以下の操作を行ってください。

※LDAPユーザは、CATからパスワードを変更できません。

1. アカウント設定画面にてパスワード変更ボタンを押します。

アカウント設定

パスワード変更

編集

- パスワード変更のための入力を行い、登録するボタンを押します。

パスワード変更

現在のパスワード	<input type="password"/>
新しいパスワード	<input type="password"/> 8文字以上英数
新しいパスワード (確認用)	<input type="password"/>

登録するキャンセル

入力項目	説明
現在のパスワード	現在設定されているパスワードを入力します。
新しいパスワード	新しく設定したいパスワードを入力します。
新しいパスワード (確認用)	確認のため新しく設定したいパスワードを再度入力します。

15.3. パスワードを再設定する

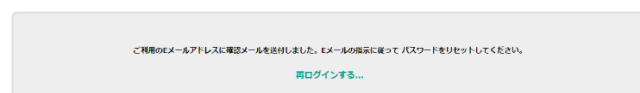
パスワードを忘れてしまった場合、およびアカウントがロックされている場合はパスワードの再設定が必要です。ここでは、パスワードを再設定する方法を説明します。

- ログイン画面より、リンク「パスワードを忘れた場合」をクリックしてください。



- パスワードを再設定するアカウントのメールアドレスを入力し、申請ボタンを押します。

申請ボタンを押すと、入力されたメールアドレスにパスワード再設定のためのURLを添付したメールが送付されます。



- 入力したメールアドレスに送信された、パスワード再設定のためのURLをクリックします。



- 新しく設定したいパスワードを、パスワード欄と再入力欄に入力し、送信するボタンを押します。
セキュリティ上の問題のため、新しいパスワードには現在のパスワードを設定できません。



アカウントロックについて

CATでは連続 5 回ログイン試行に 失敗するとアカウントはロック状態になります。ロックされるとロックを解除するまでログインができなくなります。ロック解除は上記の方法、あるいはアカウントロックを報告するメールに添付されたURLからできます。

※ダウンロード版をご利用でメール設定をしていないCATは上記機能をご利用できないため、ユーザ管理画面からパスワードを変更して、アカウントロックを解除してください。



The screenshot shows a login interface with a red error message at the top: "ロックされています。パスワードを変更してロックを解除してください。" (You are locked. Please change your password to unlock). Below the message are two input fields: "ログインID:" (Login ID) containing "test@shomura.com" and "パスワード:" (Password). A link "パスワードを忘れた場合" (Forgot password) is located below the password field. A "ログイン" (Login) button is at the bottom right of the form.

16. サービス管理

サービス管理では、サービスの作成、削除、表示順序設定、各種設定の変更ができます。

16.1. サービスを新規登録する

1. 設定アイコンにマウスオーバーし、ドロップダウンメニュー上の「サービス管理」を押してください。



2. サービス一覧画面にある「新規登録」ボタンを押してください。



3. 各種情報を入力します。入力を終わったら「登録する」ボタンを押してください。

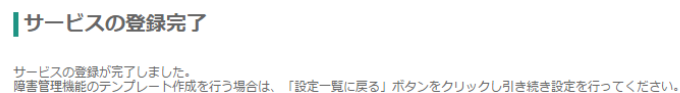
サービスの基本設定

サービス名	*	<input type="text"/>	1文字～200文字まで (例)CAT開発				
サービス識別子	*	<input type="text"/>	サービスを特定するための識別子です。半角英数 最大6文字で設定してください。(例)CATDEV				
締め時間	*	23:00	日毎のテスト・課題の進捗の集計を行う時刻を指定します。また、各集計値を表示では、この時刻に日を跨ぎます。				
メール設定		<input type="checkbox"/>	サービス課題管理でメールを利用する				
コメント		<input type="text"/>	最大200文字まで				
機能		サービスで利用する“機能”を登録してください。					
		<table><tr><th>機能</th><th>操作</th></tr><tr><td><input type="text"/></td><td><input type="button" value="追加"/></td></tr></table>	機能	操作	<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>	
機能	操作						
<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>						
		機能が登録されていません。					
エンコーディング	*	Windows-31J					

チーム設定

ユーザ名	ユーザ権限	プロジェクト	ワークフロー	メール設定	ステータス
SHIFT_USER	管理者	全プロジェクト	-	-	有効 <input type="checkbox"/>

4. 登録が完了すると下図のメッセージが表示されるので、サービス一覧に戻るボタンを押してサービス一覧に戻ってください。



16.2. サービスの表示順序を並び替える

トップ画面や選択肢に表示されるサービスの表示順序を変更できます。

変更手順

1. 画面左上の歯車メニューから「サービス管理」を選択し、サービス一覧画面に遷移します。



2. 左端の三本線アイコンをドラッグ&ドロップし、サービスを移動させます。



3. ドロップした瞬間にサービスの順序変更が確定されます。

16.3. サービスの基本設定

サービスの基本設定の各設定項目を説明します。

各項目の説明

項目	説明
サービス名	各画面の右上に表示するサービス名を入力します。 ※次の文字はサービス名に入力できません。[* : " < > ? ; , + = \$ % & }]
サービス識別子	サービス課題 ID の接頭で利用されます。
締め時間	進捗管理や分析の日次の締め時間の設定をします。 この時刻になった時点で当日分の「テストの消化数」や「障害の発生数」を確定します。
メール設定	設定するとサービス管理の課題が登録・編集されたときに自分以外の担当者・報告者及びシェアに登録してあるメンバーにメールで通知します。
コメント	サービス管理画面の一覧に表示するコメントを入力します。
機能	サービスを構成する機能を入力します。 詳細は後述の 機能を設定する で説明します。
チーム設定	サービス以下に作成するプロジェクトに参加するメンバーの設定をします。詳細は後述の チーム設定 を参照してください。

16.3.1. 機能を設定する

サービスを構成する機能を入力します。機能はテスト仕様書のプロパティに設定します。設定すると、サービス内のプロジェクトの分析画面で品質分析でき、機能毎の障害数や、テストケースに対する障害密度を表示できます。

設定手順

1. サービスの基本設定画面を開きます。
2. 項目「機能」の入力フィールドに機能名を入力し、「追加」ボタンを押します。

サービスの基本設定

※テキストフィールドに文字列を入力すると追加ボタンが活性化されます。

3. 同様に、その他のサービスの構成機能を入力・追加します。追加すると、機能リストの最後に新しい機能が追加されます。

機能		操作
<input type="text" value="進捗管理"/>		<input type="button" value="追加"/>
1	≡ スコープ管理	⋮
2	≡ テスト仕様書管理	⋮
3	≡ 課題管理	⋮

4. 削除する場合は、追加された機能の右端の三点アイコンをクリックして表示される「削除」ボタンを押してください。

3	≡ 課題管理	⋮ <input type="button" value="削除"/>
4	≡ 進捗管理	

5. 順序を変更する場合は、各機能の左端の三本線アイコンをドラッグ&ドロップして順序を入れ替えます。

1	≡ スコープ管理	⋮
2	≡ テスト仕様書管理	⋮
3	≡ 課題管理	⋮
4	≡ 進捗管理	⋮

6. 画面最下部の「登録する」ボタンを押して、登録内容を確定させます。

Copyright © 2010 SHIFT Inc. All rights reserved. Ver 4.16.002

16.4. チーム設定

CATはサービス毎にチームメンバーを管理します。この節ではチームメンバーの管理方法を説明します。

①
メンバー追加

②
プロジェクト

その他 ▼

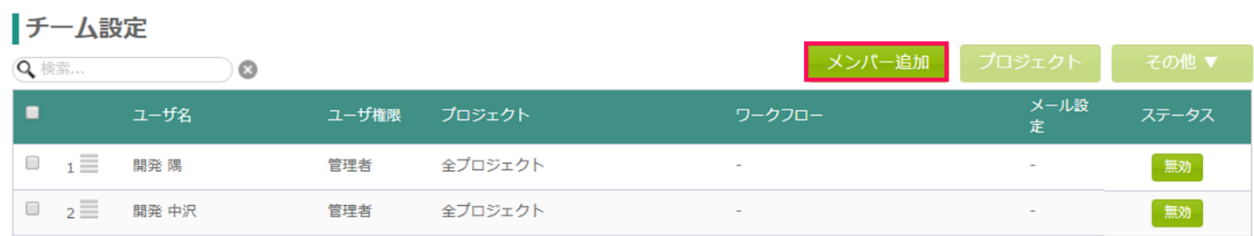
ワークフロー	メール設定	ステータス
-	-	有効 <input type="checkbox"/>
-	サービス課題	有効 <input type="checkbox"/>
-	-	有効 <input type="checkbox"/>

その他 ▼
チーム権限設定 ③
ワークフロー設定 ④
メール設定 ⑤
削除 ⑥

No	項目名	説明
1	メンバーの登録	チームにメンバーを登録します。
2	プロジェクト	メンバーが参照できるプロジェクトを設定します。
3	チーム権限設定	メンバーの権限を設定します。
4	ワークフロー設定	ワークフローで利用するメンバーのロールを設定します。
5	メール設定	サービス課題の通知設定およびプロジェクトのメール設定の初期値を設定します。 サービス サービス課題の通知設定をします、 プロジェクト（テンプレート） プロジェクトに新規に追加されたときのメール設定の初期値を設定します、
6	削除	メンバーをメンバーから削除します。
7	ステータス	メンバーの有効・無効ステータスを設定します。

16.4.1. メンバーを追加する

1. サービスの基本設定画面を開きます。
2. 「メンバー追加」ボタンをクリックします。



3. メンバー追加ダイアログが開きます。チームに入れるメンバーを選択します。

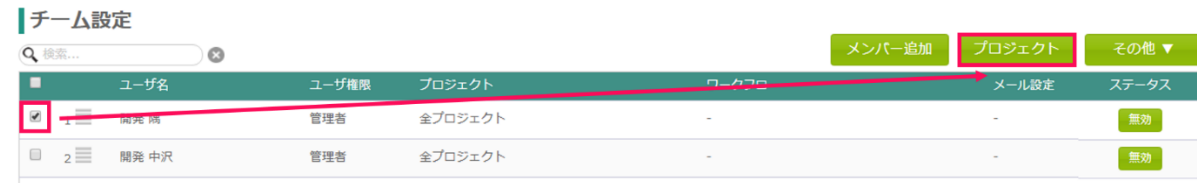


4. メンバー追加ダイアログで「登録する」ボタンを押します。
5. 画面最下部の「登録する」ボタンを押して、登録内容を確定させます。



16.4.2. メンバーが参照できるプロジェクトを制限する

1. サービスの基本設定画面を開きます。
2. メンバーにチェックを入れて「プロジェクト」ボタンをクリックします。



3. 「個別のプロジェクトを選択する」をオンにします。メンバーが参照できるプロジェクトを選択し、「OK」をクリックします。

※管理者権限のユーザーは参照プロジェクトを設定できません。



4. 画面最下部の「登録する」ボタンを押して、登録内容を確定させます。



16.4.3. メンバーの権限を設定する

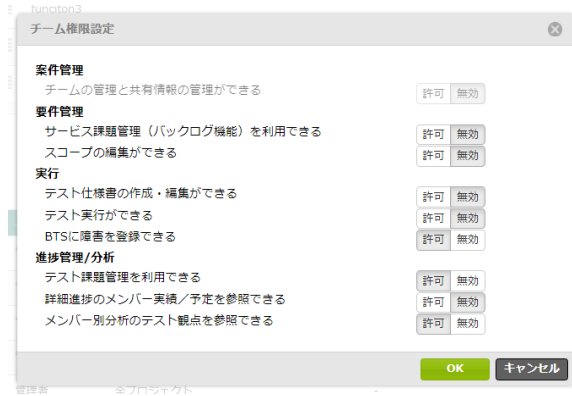
1. サービスの基本設定画面を開きます。
2. メンバーにチェックを入れ、「その他」ボタンをクリックし「チーム権限設定」を選択します。



3. 各権限を選択し、「OK」をクリックします。

※管理者権限のメンバーは権限を変更できません。

※各設定項目については以下を参照ください。また、各権限の設定可否については [ユーザー権限について](#) を参照ください。



各設定について

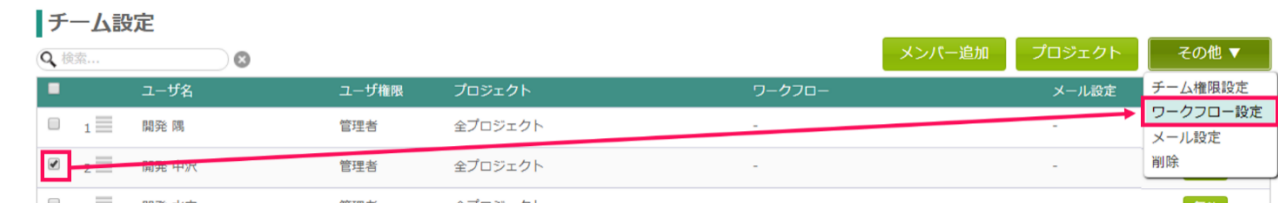
カテゴリ	項目	説明
案件管理	チームの管理と共有情報の管理ができる	チームメンバーの登録・削除ならびに参照可能プロジェクト・権限・ロールの設定が可能になります。また、メンバーのメール共有設定、他のメンバーのコメント・ファイル・作業ログの編集・削除が可能になります。
要件管理	サービス課題管理（バックログ機能）を利用できる	サービス課題管理の閲覧とサービス課題の登録・編集・削除が可能になります。またプロジェクトのスコープにサービス課題を追加・除外することが可能になります。
	スコープの編集ができる	スコープ管理にて、スコープに追加されたサービス課題の編集が可能になります。
実行	テスト仕様書の作成・編集ができる	テスト管理にて、テスト仕様書の登録・編集・削除が可能になります。
	テスト実行ができる	テスト実行画面にて、テストケースの消化が可能になります。
	BTSに障害を登録できる	プロジェクトの課題管理にて、課題を登録・編集・削除することが可能になります。
進捗管理/分析	テスト課題管理を利用できる	テスト課題管理の閲覧とテスト課題の登録・編集・削除が可能になります。また登録したテスト課題によるテスト仕様書の実行制御が可能になります。
	詳細進捗のメンバー実績／予定を参照できる	詳細進捗にて、メンバー実績／予定の閲覧が可能になります。
	メンバー別分析のテスト観点を参照できる	分析のメンバータブにて、テスト観点の分析結果の閲覧が可能になります。

4. 画面最下部の「登録する」ボタンを押して、登録内容を確定させます。

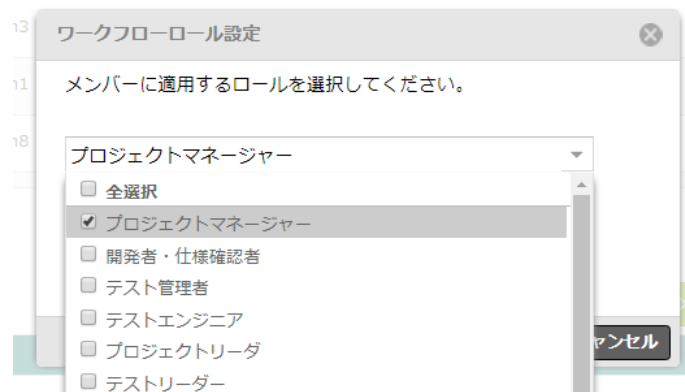


16.4.4. メンバーのワークフローのロールを設定する

1. メンバーにチェックを入れて「その他」ボタンをクリックし「ワークフロー設定」を選択します。



2. 設定するロールにチェックを入れて「OK」ボタンをクリックします。

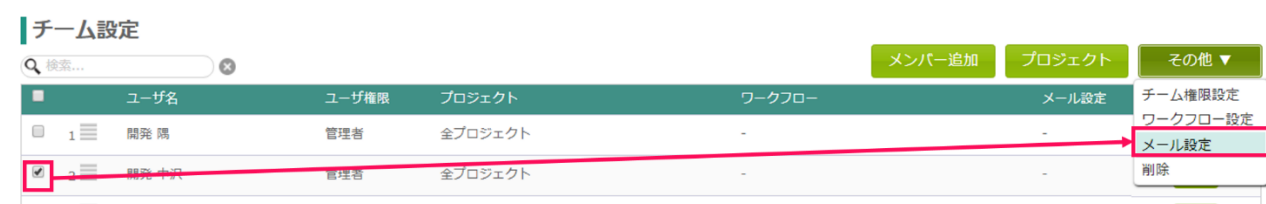


3. 画面最下部の「登録する」ボタンを押して、登録内容を確定させます。

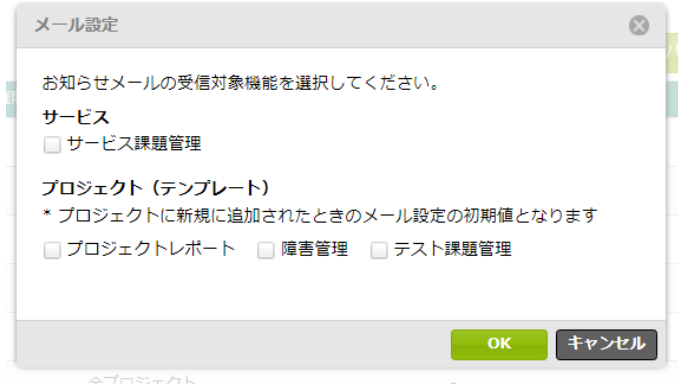


16.4.5. メンバーのメールの設定をする

1. メンバーにチェックを入れて「その他」ボタンをクリックし「メール設定」を選択します。



2. 設定完了後「OK」ボタンをクリックします。
※各設定項目については以下を確認ください。



メール設定の項目について

カテゴリ	項目	説明
サービス	サービス課題管理	オンにするとサービス課題が起票されたときに自動的にメールが通知されます。 ※別途メール設定で「サービス課題管理でメールを利用する」にチェックを入れないと送信されません。
プロジェクト (テンプレート)	プロジェクトレポート	メンバーがプロジェクトに参加した際の各受信設定の初期設定になります。 ※各メール設定については プロジェクト基本情報の設定 を確認ください。
	障害管理	
	テスト課題管理	

3. 画面最下部の「登録する」ボタンを押して、登録内容を確定させます。



16.5. テストの基本設定

テストの基本設定では、サービス内のプロジェクトでテストの進捗の内訳(NGを含めるかの可否)や、テスト仕様書を分類するためのプロパティ(テスト区分やカスタムフィールド)を設定できます。

1. サービス設定画面を開き、「テストの基本設定」を選択します。

サービス設定

リスト	説明
サービスの基本設定	サービスの基本情報、利用する機能フィールドの値、およびチームの設定を行います。
テストの基本設定	テスト仕様書のカスタムフィールド設定および各種オプションの設定を行います
サービス課題の設定	サービス課題の設定を行います。本設定はプロジェクト新規作成時の課題設定のテンプレートにもなります。
バージョンの設定	サービス内で利用するバージョンを管理します。
テスト環境の設定	テスト環境の設定を行います
ヘッダーテンプレートの設定	テストヘッダーのテンプレートの設定を行います
Slack連携設定	Slack連携の設定を行います
外部参照URLの設定	外部参照URLの管理を行います。CATのデータを外部から参照できるURLを設定します。

2. テストの基本設定画面で各項目を設定します。

テストの基本設定

テストに関する基本設定を行います。

テストステータス	テストステータスの設定を行います。この内容は全ての機能で利用されます。 <input checked="" type="checkbox"/> NGを実行済みステータスとして利用する <input type="checkbox"/> 対象外を無効なテストケースとして扱う
監査モード	<input type="checkbox"/> 監査モードを有効にする
テスト区分	<div><div>+</div><div>単体テスト</div><div>結合テスト</div><div>回帰テスト</div><div>システムテスト</div></div>

※ + ボタンを押して入力を確認してください。

カスタムフィールド設定

テスト仕様書で利用するカスタムフィールドを作成します。作成後、テストヘッダーの登録画面で作成したカスタムフィールドを選択し、テスト仕様書で値を入力してください。

項目名	選択数	タイプ	削除
テスト観点	<div><div>+</div><div>画面観点</div><div>運用観点</div><div>データ観点</div></div>	ドロップダウン	<div>✕</div>
チーム	<div><div>+</div><div>Aチーム</div><div>Bチーム</div><div>Cチーム</div></div>	ドロップダウン	<div>✕</div>

+

ケース編集フィールド設定

テストケースのカラム定義で利用可能なケース編集フィールドを定義します。

項目名	選択数	タイプ	削除
保留理由	<div><div>+</div><div>仕様漏れ</div><div>外部ネットワーク</div><div>設計もれ</div><div>手順もれ</div></div>	ドロップダウン	<div>✕</div>

+

各項目の説明

項目	説明
テストステータス設定	テストケースのカウント方法を変更します。 NGを実行済みのステータスとして利用する NGとなったケース数を、各画面のケース消化数として扱いたくない場合に有効にします。 対象外を無効なテストケースとして扱う 対象外となったケース数を、各画面のテスト仕様書のケース数や、消化数から除外したい場合に有効にします。
監査モード	監査モードの有効/無効を設定します。 監査モードについては 監査(再鑑)モード を参照してください。
テスト区分	テスト仕様書のプロパティで設定できるテスト区分を登録できます。 テスト区分は次の画面のテスト仕様書一覧で表示し、フィルターやグルーピングで、テスト仕様書を分類して表示できます。 <ul style="list-style-type: none">テスト管理> テスト仕様書一覧詳細進捗画面> テスト仕様書 実績/予定タブ> テスト仕様書一覧 ※ + ボタンを押すと入力欄が追加されます。

各項目の説明

項目

説明

カスタムフィールド

テスト区分と同様にテスト仕様書のプロパティで設定できるフィールドを定義できます。

テスト区分と同様で、次の画面のテスト仕様書一覧で表示し、フィルターやグルーピングで、テスト仕様書を分類して表示できます。

- テスト管理> テスト仕様書一覧
- 詳細進捗画面> テスト仕様書 実績/予定タブ> テスト仕様書一覧

ドロップダウンもしくは自由入力からタイプを選択できます。ドロップダウンを選択した場合は、ドロップダウン時に表示される選択肢名を入力して下さい。

※+ボタンを押すと項目名、選択肢名、タイプの入力のための行が追加されます。

カスタムフィールドはテスト仕様書の備考やレビュー状況(未レビュー・レビュー中・レビュー済)といった任意の区分を設定し、各画面で分類する際に利用できます。

テスト仕様書一覧

登録

最近のテスト

ケース編集

ダウンロード

前

<input type="checkbox"/>	No	テスト仕様書	テスト区分	レビュー状況 ↓	担当者
<input type="checkbox"/>	101	【Pattern4】 04.詳細進捗_機能系	システムテスト	レビュー済	開発 後藤
<input type="checkbox"/>	99	【Pattern4】 02.全体進捗_機能系	システムテスト	未レビュー	開発 後藤
<input type="checkbox"/>	100	【Pattern4】 03.詳細進捗_画面系	システムテスト	未レビュー	開発 後藤
<input type="checkbox"/>	102	【Pattern4】 05.予定入力_画面系	システムテスト	未レビュー	開発 後藤
<input type="checkbox"/>	2	Bigbang testing specification	動作検証テスト		企画 木
<input type="checkbox"/>	5	【Pattern1】 01. Testing specification(画面系)	結合テスト		Shift Ad
<input type="checkbox"/>	6	【Pattern1】 02. Testing specification(機能系)	結合テスト		開発 後藤

テスト区分 カスタムフィールド(レビュー状況)

ケース編集フィールド

テストケースの編集可能セルで利用するドロップダウンリストを定義できます。

定義したケース編集フィールドは各プロジェクトで設定して利用できます。

設定方法画面: 「テスト管理> (テスト仕様書選択後) > その他・シート設定> 列設定」

列設定

シート

シートの列設定を行い、更新ボタンを押して下さい。

最低 1 つの実行結果列が必要です。

<input type="checkbox"/>	No	列名	タイプ	テスト環境	ケース編集
<input type="checkbox"/>	-	ID			
<input type="checkbox"/>	1	画面名	<input checked="" type="radio"/> 編集不可能ラベル <input type="radio"/> 編集可能ラベル <input type="radio"/> 実行結果	-	自由入力
<input type="checkbox"/>	2	大項目	<input checked="" type="radio"/> 編集不可能ラベル <input type="radio"/> 編集可能ラベル <input type="radio"/> 実行結果	-	自由入力
<input type="checkbox"/>	3	中項目	<input checked="" type="radio"/> 編集不可能ラベル <input type="radio"/> 編集可能ラベル <input type="radio"/> 実行結果	-	自由入力
<input type="checkbox"/>	4	小項目	<input checked="" type="radio"/> 編集不可能ラベル <input type="radio"/> 編集可能ラベル <input type="radio"/> 実行結果	-	自由入力
<input type="checkbox"/>	5	期待される結果	<input checked="" type="radio"/> 編集不可能ラベル <input type="radio"/> 編集可能ラベル <input type="radio"/> 実行結果	-	自由入力
<input type="checkbox"/>	6	結果Windows	<input type="radio"/> 編集不可能ラベル <input type="radio"/> 編集可能ラベル <input checked="" type="radio"/> 実行結果	PC_Windows...	-
<input type="checkbox"/>	7	結果Mac	<input type="radio"/> 編集不可能ラベル <input type="radio"/> 編集可能ラベル <input checked="" type="radio"/> 実行結果	PC_Mac[Mac...	-
<input checked="" type="checkbox"/>	8	備考	<input type="radio"/> 編集不可能ラベル <input checked="" type="radio"/> 編集可能ラベル <input type="radio"/> 実行結果	-	<div>自由入力</div> <div>保留理由</div>

更新

キャンセル

16.6. サービス課題の設定

16.6.1. サービス課題管理機能の課題種別の設定をする

本節ではサービス課題管理機能の課題種別の設定方法を説明します。

この設定はサービス課題管理上で課題を登録する際に利用されます。

※新しいプロジェクトを新規作成する際、その課題種別の初期値として利用されます。

サービス課題の設定画面の表示

1. サービス一覧にて編集したいサービスを選択します。

サービス一覧

マニユアル

1件中1件～1件 100

ID	サービス名	コメント	作成者	更新日	削除
54	マニユアル作成用テストサービス		Riku Shomura	2015-07-07 15:49:37	削除

1件中1件～1件

2. 詳細設定画面においてサービス課題の設定を押します。

サービス設定

リスト	説明
サービスの基本設定	サービスの基本情報、利用する機能フィールドの値、およびチームの設定を行います。
テストの基本設定	テスト仕様のカスタムフィールド設定および各種オプションの設定を行います
サービス課題の設定	サービス課題の設定を行います。本設定はプロジェクト新規作成時の課題設定のテンプレートにもなります。
バージョンの設定	サービス内で利用するバージョンを管理します。
ヘッダーテンプレートの設定	テストヘッダーのテンプレートの設定を行います
Slack連携設定	Slack連携の設定を行います
外部連携IDの設定	外部連携IDの管理を行います。IDのデータが外部から参照できますIDを設定します。

3. サービス課題の設定画面が表示されます

サービス課題の設定

設定一覧	概要
種別と表示フィールドの設定	サービスで利用する種別と種別毎の表示項目を設定します。
ステータスの設定	サービスで利用するステータスを種別毎に設定します。
CSVインポート	課題をCSV形式で課題管理機能に追加インポートします。
その他設定	サービスで利用する書式の設定を行います。

以下の項で、種別と表示フィールドの設定、ステータスの設定、CSVインポート、その他の設定についてそれぞれ説明します。

16.6.2. 種別と表示フィールドの設定を行う

本項では種別と表示フィールドの設定方法を説明します。サービス課題管理で利用する種別とその種別で利用するフィールドおよびその表示順を設定することができます。

1. 種別と表示フィールドの設定を選択します

サービス課題の設定

設定一覧	概要
種別と表示フィールドの設定	サービスで利用する種別と種別毎の表示項目を設定します。
ステータスの設定	サービスで利用するステータスを種別毎に設定します。
その他設定	サービスで利用する書式の設定を行います。

2. 利用する種別の選択を行います。「種別の選択」ボタンを押してください。

CAT COMPUTER
AIDED TEST

プロジェクト ▾

課題登録

SHIFT_USER

📄 ⚙️

種別と表示フィールドの設定

プロジェクトで利用する種別と表示設定を行ってください。

種別の初期値 不具合 ▾

上へ移動 下へ移動 種別の選択

ID	種別	ワークフロー	概要
<input type="checkbox"/> 1	不具合	ワークフローなし ▾	製品の機能が正しく動かない問題を管理する種別です。
<input type="checkbox"/> 2	要望	ワークフローなし ▾	製品の機能改善を管理する種別です。
<input type="checkbox"/> 3	問い合わせ	ワークフローなし ▾	製品に対する問い合わせを管理する種別です。

保存 キャンセル

3. サービスで利用する種別を選択します。ID列にあるチェックボックスにチェックを入れてください。選択を終えたら画面下部にあるOKボタンを押します。OKボタンを押すと種別と表示フィールドの設定画面に戻ります。

※チェックボックスをオフにしてOKボタンを押すと、非選択にすることができます。

種別の選択

利用する種別を選択してください。

ID	種別	概要
<input checked="" type="checkbox"/> 1	不具合	製品の機能が正しく動かない問題を管理する種別です。
<input checked="" type="checkbox"/> 2	要望	製品の機能改善を管理する種別です。
<input checked="" type="checkbox"/> 3	問い合わせ	製品に対する問い合わせを管理する種別です。

4. 続いて選択した種別の表示フィールドの設定を行います。「種別と表示フィールドの設定」画面上で、編集したい種別のリンクをクリックしてください。

CAT COMPUTER
AIDED TEST

プロジェクト ▾

課題登録

SHIFT_USER

📄 ⚙️

種別と表示フィールドの設定

利用する種別を選択してください。

種別の初期値 不具合 ▾

上へ移動 下へ移動 種別の選択

ID	種別	ワークフロー	概要
<input type="checkbox"/> 1	不具合	不具合 ▾	製品の機能が正しく動かない問題を管理する種別です。
<input type="checkbox"/> 2	要望	ワークフローなし ▾	製品の機能改善を管理する種別です。
<input type="checkbox"/> 3	問い合わせ	ワークフローなし ▾	製品に対する問い合わせを管理する種別です。

5. 表示するフィールドの表示/非表示の設定を行います。「フィールド選択」ボタンを押してください。

サービスのフィールド設定

この種別で表示するカスタムフィールドを選択し、表示順の設定を行います。
設定中の種別：不具合

上へ移動 下へ移動 フィールド選択

6. 利用したいカスタムフィールドを選択し、OKボタンを押して下さい。
- ※概要、ステータスフィールド、見積工数（時間）は必須フィールドになります。非表示には設定できません。
- ※チェックボックスをオフにすることで、フィールドを非選択にすることができます。

カスタムフィールドの選択

利用するカスタムフィールドを選択してください。

ID	フィールド一覧	種別	概要
<input checked="" type="checkbox"/> 13	概要	テキストボックス(複数行)	課題の内容を記載します。その他設定より書式を定義可能です。
<input checked="" type="checkbox"/> 36	添付ファイル	添付ファイル	課題に紐づくファイルを管理します。
<input checked="" type="checkbox"/> 1	ステータス	ステータス	ステータスを記載します。
<input checked="" type="checkbox"/> 3	優先度	単一選択リスト	優先度を記載します。
<input checked="" type="checkbox"/> 4	重要度	単一選択リスト	重要度を記載します。
<input checked="" type="checkbox"/> 17	担当者	メンバー	担当者を記載します。
<input checked="" type="checkbox"/> 11	納期	日付	納期を記載します。
<input checked="" type="checkbox"/> 8	機能	機能	課題が発生した機能を記載します。
<input checked="" type="checkbox"/> 41	見積工数(時間)	タイムトラッキングコントロール	課題終了までに必要とする見積工数です。時間単位で工数を記載します。
<input checked="" type="checkbox"/> 21	報告者	メンバー	課題の報告者です。
<input checked="" type="checkbox"/> 6	開発担当者	メンバー	開発担当者を記載します。
<input type="checkbox"/> 25	発生バージョン	バージョン	課題が発生したバージョンを記載します。
<input type="checkbox"/> 26	修正バージョン	バージョン	課題を修正したバージョンを記載します。

OK

キャンセル

7. 課題を登録する際に表示される、種別の初期値と種別の表示順の設定を行います。

種別の初期値

「種別の初期値」ド롭ダウンリストより、最初に表示したい種別を選択してください。

表示順の設定

表示順を並び替えをしたい種別のチェックボックスにチェックを入れ、上へ移動/下へ移動ボタンを用いて並び替えを行ってください。

設定が終わりましたら保存ボタンを押して、設定を終了してください。

CAT COMPUTER AIDED TEST

プロジェクト ▼

課題登録

SHIFT_USER

種別と表示フィールドの設定

利用する種別を選択してください。

種別の初期値 不具合 ▼

上へ移動 下へ移動

種別の選択

ID	種別	ワークフロー	概要
<input checked="" type="checkbox"/> 1	不具合	不具合 ▼	製品の機能が正しく動かない問題を管理する種別です。
<input type="checkbox"/> 2	要望	ワークフローなし ▼	製品の機能改善を管理する種別です。
<input type="checkbox"/> 3	問い合わせ	ワークフローなし ▼	製品に対する問い合わせを管理する種別です。

保存 キャンセル

16.6.3. 種別にステータスの設定を行う

本項では種別に対するステータスの設定方法を説明します。サービス課題管理では選択した種別に対して、それぞれ利用するステータスを指定することができます。

1. ステータスの設定を選択します。

サービス課題の設定

設定一覧	概要
種別と表示フィールドの設定	サービスで利用する種別と種別毎の表示項目を設定します。
ステータスの設定	サービスで利用するステータスを種別毎に設定します。
その他設定	サービスで利用する書式の設定を行います。

2. ステータスの設定画面が表示されます。「設定する種別」の中から、ステータスの設定を行う種別を選択してください。現在設定されている種別の一覧が表示されます。ステータスの選択/非選択を行う場合は、「利用ステータス」ボタンを押してください。

ステータスの設定

このタイプで利用するステータスとその順番を選択してください。

利用中のタイプ:

不具合

上へ移動

下へ移動

初期値

利用ステータス

3. システム設定で登録された全てのステータスが表示されます。利用したいステータスのチェックボックスをオン、利用しないチェックボックスをオフにし、OKボタンを押してください。

※必ずひとつ以上の「新規」、「完了」を持つステータスを選択する必要があります。

ステータスの設定

この種別で利用するステータスとその順番を選択してください。

設定する種別: 不具合

上へ移動

下へ移動

初期値

利用ステータス

ID	ステータス	タイプ	概要
<input type="checkbox"/> 1	新規 ✓	新規	課題が起票状態です。
<input type="checkbox"/> 2	着手中	着手中	担当者が対応中です。
<input type="checkbox"/> 3	修正完了	着手中	担当者の対応が終了しました。
<input type="checkbox"/> 4	修正確認完了	着手中	確認者の修正確認が終了しました。
<input type="checkbox"/> 5	差し戻し	着手中	修正確認が出来なかったため、課題を担当者に差し戻しました。
<input type="checkbox"/> 6	再現待ち	着手中	課題の再現が出来ない状態です。
<input type="checkbox"/> 7	見送り	完了	課題の対応を見送ります。
<input type="checkbox"/> 8	保留	着手中	課題を対応保留にします。
<input type="checkbox"/> 9	終了	完了	課題を終了します。

保存

キャンセル

4. 最後に選択したステータスの表示順を設定します。並び替えをしたいステータスのチェックボックスにチェックをオンにし、上へ移動/下へ移動ボタンを用いて並び替えを変更してください。

全ての操作が完了しましたら、保存ボタンを押して、ステータスの設定内容を保存してください。

ステータスの設定

この種別で利用するステータスとその順番を選択してください。

設定する種別: 不具合

上へ移動

下へ移動

初期値

利用ステータス

ID	ステータス	タイプ	概要
<input checked="" type="checkbox"/> 1	新規 ✓	新規	課題が起票状態です。
<input type="checkbox"/> 2	着手中	着手中	担当者が対応中です。
<input type="checkbox"/> 3	修正完了	着手中	担当者の対応が終了しました。
<input type="checkbox"/> 4	修正確認完了	着手中	確認者の修正確認が終了しました。
<input type="checkbox"/> 5	差し戻し	着手中	修正確認が出来なかったため、課題を担当者に差し戻しました。
<input type="checkbox"/> 6	再現待ち	着手中	課題の再現が出来ない状態です。
<input type="checkbox"/> 7	見送り	完了	課題の対応を見送ります。
<input type="checkbox"/> 8	保留	着手中	課題を対応保留にします。
<input type="checkbox"/> 9	終了	完了	課題を終了します。

保存

キャンセル

16.6.4. サービス課題管理に課題をインポートする

サービス課題を一括でCATにインポートする方法を説明します。

1. サービス設定メニューにてサービス課題の設定を選択します。

サービス設定

リスト	説明
サービスの基本設定	サービスの基本情報、利用する機能フィールドの値、およびチームの設定を行います。
テストの基本設定	テスト仕様書のカスタムフィールド設定および各種オプションの設定を行います
サービス課題の設定	サービス課題の設定を行います。本設定はプロジェクト新規作成時の課題設定のテンプレートにもなります。
バージョンの設定	サービス内で利用するバージョンを管理します。
テスト環境の設定	テスト環境の設定を行います

2. CSVインポートを選択します。

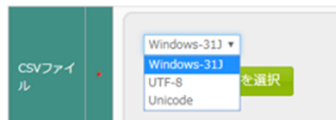
サービス課題の設定

設定一覧	概要
種別と表示フィールドの設定	サービスで利用する種別と種別毎の表示項目を設定します。
ステータスの設定	サービスで利用するステータスを種別毎に設定します。
CSVインポート	CSV形式のサービス課題をサービス課題管理機能に追加インポートします。
その他設定	サービスで利用する書式の設定を行います。

3. アップロードするCSVファイルのエンコーディングを選択します。

CSVインポート

追加アップロードするCSVファイルを選択してください。



4. CSVファイルをアップロードします。

「CSVファイルを選択」ボタンからファイル選択ポップアップを表示してインポートしたいCSVファイルを選択するか、グレーのファイルアップロードエリアにCSVファイルを直接ドラッグ&ドロップします。

CSVインポート

追加アップロードするCSVファイルを選択してください。



フィールド設定

アップロードされた各項目とフィールド情報を対応付けしてください。

対応付けされない項目はインポートされません。(種別については未設定の場合、初期値で登録します。)

※必須項目は必ず割り当てる必要があります。

※フィールドタイプの選択肢と、アップロードされた項目の選択肢は一致する必要があります。

※ユーザについては、自チームに所属しないユーザが存在した場合は、空白で取込みます。報告者・更新者については、インポート実施者になります。

※ワークフローの必須項目制はCSVインポートでは考慮されません。未設定の場合は未設定で登録されます。

No	ヘッダ名	対応フィールド
----	------	---------

インポート

キャンセル

5. アップロードされた各項目とサービス課題のフィールド情報を対応付けます。

注意点

- アップロードするCSVファイルは1行目がヘッダー行になっている必要があります
- 各項目の設定値の書式は、サービス課題一覧画面でダウンロードして得られるCSVファイルの各項目の書式と一致させてください
- CSVファイルを選択すると、ヘッダー項目がフィールド設定に一覧表示されるとともに、CAT側の対応フィールドはドロップダウンリストで選択可能になります
- 同名の項目同士は自動的に対応付けが実行されます
- CAT側の必須項目については“*”がフィールド名に付与され、空白が許容されません
- 対応付けされたCATフィールドが選択肢を持つ場合、選択肢に存在しない値をアップロードすることはできません

CSVインポート

追加アップロードするCSVファイルを選択してください。

CSVファイル

Windows-31J

CsvImportIssueSample.csv

CSVファイルを選択

ファイルを選択ボタンより選択してください。
(ここにドラッグ&ドロップすることでもファイルを登録できます)

一つのファイルサイズは100MBまでです。

フィールド設定

アップロードされた各項目とフィールド情報を対応付けしてください。
対応付けされない項目はインポートされません。(種別については未設定の場合、初期値で登録します。)
※必須項目は必ず割り当てする必要があります。
※フィールドタイプの選択肢と、アップロードされた項目の選択肢は一致する必要があります。
※ユーザについては、自チームに所属しないユーザが存在した場合は、空白で取込みます。報告者・更新者については、インポート実施者になります。
※ワークフローの必須項目制御はCSVインポートでは考慮されません。未設定の場合は未設定で登録されます。

No	ヘッダ名	対応フィールド
1	ID	-- 対象外 --
2	種別	種別
3	タイトル	* タイトル
4	概要	概要
5	コメント	コメント
6	報告時間	報告時間
7	更新者	更新者
8	更新時間	更新時間
9	残工数(時間)	残工数(時間)
10	実績(時間)	実績(時間)
11	開始予定日	開始予定日
12	関連プロジェクト	関連プロジェクト

6. インポートボタンを押してデータを登録します。

37	原因分類	-- 対象外 --
38	推奨発生工程	-- 対象外 --
39	差し戻し回数	-- 対象外 --

インポート

キャンセル

7. インポートデータに問題がある場合はファイルアップロードエリアに問題点がリストアップされるので、表示に従ってCSVファイルを修正します。

※イメージで表示されている

追加アップロードするCSVファイルを選択してください。

8. 正常にCSVインポートが完了すると次のような画面が表示されます。

16.6.5. その他の設定(書式の設定)を行う

「その他の設定」では、課題に関する各種設定ができます。

1. 課題テンプレートの設定メニューより、「その他設定」を選択します

サービス課題の設定

設定一覧	概要
種別と表示フィールドの設定	サービスで利用する種別と種別毎の表示項目を設定します。
ステータスの設定	サービスで利用するステータスを種別毎に設定します。
その他設定	サービスで利用する書式の設定を行います。

2. 現在、その他設定では書式の設定を行うことができます。書式を設定しておくことで、課題の登録時に概要フィールドの定型文として利用することができます。設定を行うには、まず設定をする種別を選択し、それぞれの種別毎に書式を入力してください。

その他設定

書式の設定

課題の種別を選択し、それぞれに書式を入力してください。書式を入力すると、課題の登録時に定型文として利用することができます。

保存

キャンセル

設定が完了したら、保存ボタンを押して内容を保存して下さい。

16.7. バージョンの設定

開発する製品やサービスのバージョンを事前に登録しておくことにより、プロジェクトの管理や課題管理をする際に活用できます。

ここで設定したバージョンはサービスに配下のプロジェクト内で課題登録する際に一覧として表示されます。また、プロジェクト設定画面にて工程にバージョンを紐付けることが可能です。紐付けることで課題の初期値として登録されます。

本節ではサービスに対してバージョンを設定する方法を説明します。

1. サービス設定画面を開き、「バージョンの設定」を選択します。

サービス設定

リスト	説明
サービスの基本設定	サービスの基本情報、利用する機能フィールドの値、およびチームの設定を行います。
テストの基本設定	テスト仕様書のカスタムフィールド設定および各種オプションの設定を行います
サービス課題の設定	サービス課題の設定を行います。本設定はプロジェクト新規作成時の課題設定のテンプレートにもなります。
バージョンの設定	サービス内で利用するバージョンを管理します。
テスト環境の設定	テスト環境の設定を行います
ヘッダーテンプレートの設定	テストヘッダーのテンプレートの設定を行います
Slack連携設定	Slack連携の設定を行います
外部参照URLの設定	外部参照URLの管理を行います。CATのデータを外部から参照できるURLを設定します。

2. バージョンを追加するには、バージョンとその説明を入力し「追加」ボタンを押します。

バージョンの設定

バージョン	説明	操作
<input type="text" value="1.1"/>	<input type="text" value="一部不具合の修正"/>	<input type="button" value="追加"/>
1 1.0	ステイブルバージョン	⋮
2 0.9	ベータバージョン	⋮

3. バージョンの表示順を変更するには、各バージョンの左端の三本線アイコンをドラッグ&ドロップします。

バージョンの設定

バージョン	説明	操作
<input type="text" value="バージョン"/>	<input type="text" value="オプション"/>	<input type="button" value="追加"/>
1 1.1	一部不具合の修正	⋮
2 1.0	ステイブルバージョン	⋮
3 0.9	ベータバージョン	⋮

4. バージョンを削除するには、右端のアイコンから「削除」ボタンを押します。
5. 全ての編集を終えたら画面下部の「登録」ボタンを押し、変更を確定させてください。

16.8. テスト環境の設定

サービス毎に使用するテスト環境を登録できます。設定したテスト環境はテスト仕様書の実行結果列と課題に紐づけ、進捗の確認や分析に利用できます。

1. サービス設定画面を開き、「テスト環境の設定」を選択します。

サービス設定

設定一覧	概要
サービスの基本設定	サービスの基本情報、利用する機能フィールドの値、およびチームの設定を行います。
テストの基本設定	テスト仕様書のカスタムフィールド設定および各種オプションの設定を行います
サービス課題の設定	サービス課題の設定を行います。本設定はプロジェクト新規作成時の課題設定のテンプレートにもなります。
バージョンの設定	サービス内で利用するバージョンを管理します。
テスト環境の設定	テスト環境の設定を行います

2. 画面下部のOS情報とブラウザ情報を登録します。

テスト環境の設定

新規追加 削除 フィルタのクリア リセット

No	テスト環境	機種分類	OS情報	ブラウザ情報	ステータス
条件に一致するレコードがありません。					

OS情報

新規追加 削除 フィルタのクリア リセット

No	OS名	OSバージョン	サービスパック
条件に一致するレコードがありません。			

ブラウザ情報

新規追加 削除 フィルタのクリア リセット

No	ブラウザ名	ブラウザバージョン
条件に一致するレコードがありません。		

3. テスト環境を登録します。登録したOS情報とブラウザ情報を利用することができます。最後に画面最下部にある登録ボタンを押します。

テスト環境の設定

新規追加 削除 フィルタのクリア リセット

No	テスト環境	機種分類	OS情報	ブラウザ情報	ステータス
13	iPad3 T01	タブレット	iOS 7.1	-	有効

テスト仕様書の実行結果列にテスト環境を設定する方法は、[テスト仕様書の列を設定する](#)を参照ください。

16.9. ヘッダーテンプレートの設定

本節ではテスト仕様書のヘッダーのテンプレートの作成方法を説明します。事前にヘッダー情報をテンプレートとして保存しておくと、CAT上でテスト仕様書の新規作成の際にヘッダーとして利用することができます。

1. サービス設定画面を開き、「ヘッダーテンプレートの設定」を選択します。

サービス設定

リスト	説明
サービスの基本設定	サービスの基本情報、利用する機能フィールドの値、およびチームの設定を行います。
テストの基本設定	テスト仕様書のカスタムフィールド設定および各種オプションの設定を行います
サービス課題の設定	サービス課題の設定を行います。本設定はプロジェクト新規作成時の課題設定のテンプレートにもなります。
バージョンの設定	サービス内で利用するバージョンを管理します。
テスト環境の設定	テスト環境の設定を行います
ヘッダーテンプレートの設定	テストヘッダーのテンプレートの設定を行います
Slack連携設定	Slack連携の設定を行います
外部参照URLの設定	外部参照URLの管理を行います。CATのデータを外部から参照できるURLを設定します。

2. ヘッダーテンプレートの一覧画面にある「新規登録」ボタンを押します。

ヘッダーテンプレートの一覧

新規登録

3. テスト仕様書のヘッダーテンプレートの設定を行います。ここで設定したヘッダーテンプレートは、サービス配下にあるプロジェクトのテスト仕様書作成時に利用できます。

設定が終わったら、「登録する」ボタンを押してヘッダーテンプレートの設定を終了してください。

ヘッダーの登録

サービス名	マニユアル作成用テストサービス
ヘッダー名	<input type="text"/>
カスタムフィールド	<input type="text"/>

表示列の設定

テスト仕様書の列設定を行います。追加ボタンを押下し、テスト仕様書の列設定を作成してください。
※実行列は必ず1つ以上必要です。

上へ移動

下へ移動

追加

削除

No	項目名	タイプ		
<input type="checkbox"/> 1	<input type="text" value="大項目"/>	<input checked="" type="radio"/> 編集不可能ラベル	<input type="radio"/> 編集可能ラベル	<input type="radio"/> 実行結果
<input type="checkbox"/> 2	<input type="text" value="中項目"/>	<input checked="" type="radio"/> 編集不可能ラベル	<input type="radio"/> 編集可能ラベル	<input type="radio"/> 実行結果
<input type="checkbox"/> 3	<input type="text" value="小項目"/>	<input checked="" type="radio"/> 編集不可能ラベル	<input type="radio"/> 編集可能ラベル	<input type="radio"/> 実行結果
<input type="checkbox"/> 4	<input type="text" value="実行結果"/>	<input type="radio"/> 編集不可能ラベル	<input type="radio"/> 編集可能ラベル	<input checked="" type="radio"/> 実行結果
<input type="checkbox"/> 5	<input type="text" value="備考"/>	<input type="radio"/> 編集不可能ラベル	<input checked="" type="radio"/> 編集可能ラベル	<input type="radio"/> 実行結果

登録する

キャンセル

項目	説明
ヘッダー名	ヘッダーテンプレートの名称を入力します。
カスタムフィールド	サービス登録時に追加したカスタムフィールドを選択できます。 テスト仕様書を分類できるようになります。
表示列の設定	テスト仕様書のヘッダーの項目名とタイプを選択できます。 タイプは以下の3種類から選択できます。 編集不可能ラベル テストケースの説明を入力します。テスト実行画面では編集できません。 編集可能ラベル テストケースの説明を入力します。テスト実行画面でも編集できます。 実行結果 テストケースの実行結果を入力します。

16.10. ビジネスチャット連携(Slack/Microsoft Teams)の設定

本節ではビジネスチャット連携(Slack/Microsoft Teams)の設定方法を説明します。

ビジネスチャット連携(Slack/Microsoft Teams)を設定すると課題やテスト課題の変更、テスト完了の通知、プロジェクトレポートをSlack/Microsoft Teamsに送信することができます。



1. サービス管理画面から「ビジネスチャット連携の設定」を押します。

サービス設定

設定一覧	
サービスの基本設定	サービスの基本情報、利用する機能フィールドの値、および...
テストの基本設定	テスト仕様書のカスタムフィールド設定および各種オプション...
サービス課題の設定	サービス課題の設定を行います。本設定はプロジェクト新規...
バージョンの設定	サービス内で利用するバージョンを管理します。
テスト環境の設定	テスト環境の設定を行います
ヘッダーテンプレートの設定	テストヘッダーのテンプレートの設定を行います
ビジネスチャット連携の設定	ビジネスチャット連携（Slack／Microsoft Teams）の設定を...
Gitリポジトリ連携設定	Gitリポジトリとの連携を行います
外部参照URLの設定	外部参照URLの管理を行います。CATのデータを外部から参照...

2. ビジネスチャット連携設定画面が表示されます。この画面からチャンネルの登録、編集、チャンネルステータスの有効化・無効化、削除をすることができます。新規登録ボタンあるいは、編集したいチャンネルを押下してください。

ビジネスチャット連携の設定

ビジネスチャット連携の設定							新規登録
ID	チャンネル名	チャットツール	概要	チャンネル利用プロジェクト	エラー	チャンネルステータス	コピー
188	4.16プロジェクト	Microsoft Teams	Microsoft Teams 連携	CAT416新機能紹介	-	有効 <input checked="" type="checkbox"/>	コピー
							削除

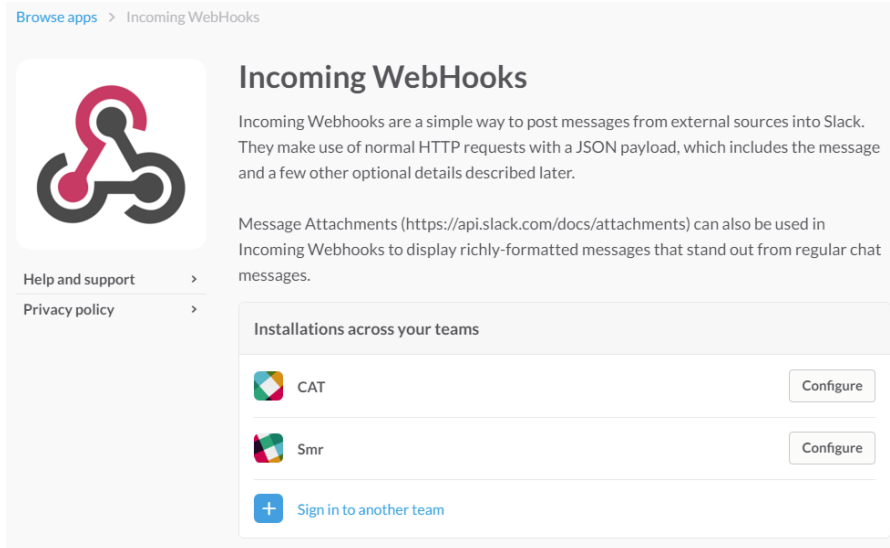
チャンネル設定

項目	説明
チャンネル名	連携するプロジェクト名や通知先チャンネル名等の任意のチャンネル名を入力してください。
WebフックURL	連携するビジネスチャットを選択し、 通知先チャンネルのWebフックを取得し入力してください。Webフックの取得方法は後述の Webフックの取得 を参照してください
言語	通知言語を選択してください。
チャンネル利用プロジェクト	連携するプロジェクトを選択してください。
通知オプション	通知したいオプションをオンにしてください。 通知オプションの詳細については後述の 通知オプション を参照してください。
レポート	設定をオンにすると指定した時刻にレポートを行います。レポート内容はプロジェクト設定のメールフォーマットに従います。このとき適用されるフォーマットはチャンネル設定で指定している言語のフォーマットです。 フォーマットは、 プロジェクト基本情報の設定 で編集できます。
課題通知フィルター	課題通知のフィルターです。後述の 課題通知フィルター を参照し入力してください。

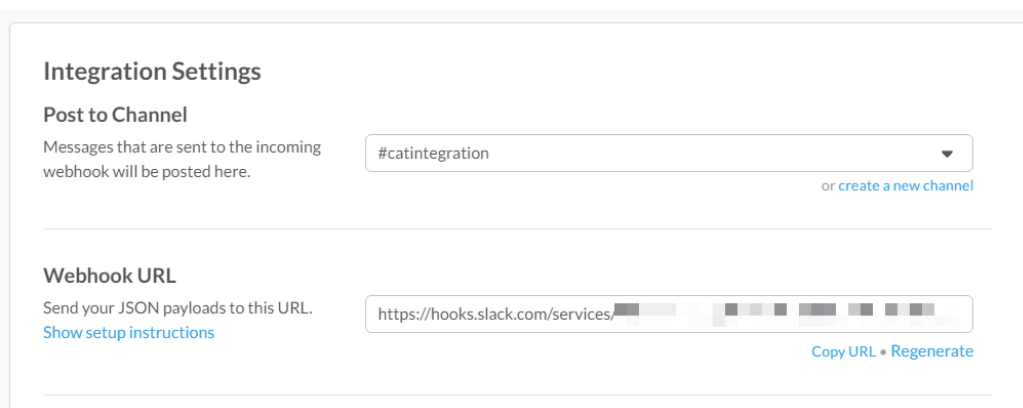
227

Slack

1. Browse appsからIncoming WebHooksを開き、CATと連携したいチャネルを持つチームのConfigureをクリックしてください。



2. チームのチャネル一覧が開かれるのでCATと連携したいチャネルを選択してください。連携したいチャネルが一覧にない場合はAdd Configurationから追加してください。
3. Webhook URLが表示されるのでコピーします。Webフック取得の説明は以上です。



Microsoft Teams

1. 連携するMicrosoft Teamsのチャネルのメニューを開き、コネクタを選択後にIncoming WebHookを構成します。



2. Incoming WebHookの名前を入力し、ポップアップ下部にある「作成」ボタンをクリックします。

3. 作成後、ポップアップ下部にIncoming WebHookのURLが作成されるので、クリップボードにコピーします。



16.10.2. 通知オプション

通知オプションについて説明します。

項目	説明
課題通知	課題通知フィルターの条件を満たす課題の作成・編集(※)・削除・コメントの作成・編集・削除を通知します。通知を行うプロジェクトが外部BTSと同期されている場合は課題通知オプションを利用することができません。 課題通知フィルターについては 課題通知フィルター を参照してください。 ※編集時は以下のタイミングで通知します。 <ul style="list-style-type: none">課題編集画面からの編集時課題参照画面からのステータス変更またはコメント登録時
テスト課題通知	テスト課題の作成・主な編集(※)・削除を通知します。 ※担当者、ステータス、実行制御の編集のみを通知します。
テスト完了通知	テスト仕様書が完了した際にその担当者と実行結果の内訳を通知します。保留、未実行が0となった時をテスト完了としています。

課題通知フィルター

課題通知をフィルタリングできます。フィルター条件には課題種別及びフィールド条件を指定できます。

利用可能なフィールドタイプ

- 単一選択リスト

- 複数選択リスト
- チェックボックス
- ラジオボックス
- メンバー
- 機能
- ステータス
- バージョン
- 発生環境

フィルター条件詳細

- 課題編集の際のフィルター条件に適用されるパラメータは、編集後のパラメータです。
- 同行の条件はAND条件です。下図のID1条件の場合、種別が不具合で、優先度がP4またはP5であり重要度がCriticalである課題の通知を行います。
- 各行間の条件はOR条件です。下図のID1、2の場合、課題がID1、2いずれかの条件を満たす場合に通知を行います。ただしID1、2の両方の条件を満たす場合も通知は一度のみされます。
- 発生環境等の複数選択リストを条件に利用できます。フィールド値の少なくとも一つを課題が持つ場合に通知を行います。下図のID3条件の場合、種別が問い合わせであり、発生環境がiPad mini, iPad mini 2, iPhone5S, iPhone4のいずれかを含む場合に通知を行います。iPad mini, iPad mini 2, iPhone5S, iPhone4以外の発生環境を含んでいても通知を行います。

同行の条件はAND条件であり、各行間の条件はOR条件です。編集後のパラメータが通知フィルターに適用されます。

ID	課題種別	条件	削除
1	種別 不具合 ▼	優先度 <input type="checkbox"/> P4 <input type="checkbox"/> P5 × 重要度 <input type="checkbox"/> Critical <input type="checkbox"/> Blocker ×	+ 削除
2	種別 不具合 ▼	ステータス <input type="checkbox"/> 差し戻し ×	+ 削除
3	種別 問い合わせ ▼	発生環境 <input type="checkbox"/> iPad mini[iOS 8.3] <input type="checkbox"/> iPad mini 2[iOS 7.0.3] <input type="checkbox"/> iPhone5S[iOS 7.0.4] <input type="checkbox"/> iPhone4[iOS 7.1] ×	+ 削除

1. テストボタンを押下すると、ダイアログが表示されるので、OKを押してテストします。
2. 接続テスト成功後、保存ボタンを押下すると、保存できます。

16.11. Gitリポジトリ連携設定

ご使用のGitリポジトリとCATを連携することで、CAT上のチケット（サービス課題管理・プロジェクト課題管理）とリポジトリ上のコミット情報を紐付け、チケットの参照画面上でコミットログおよび変更内容を確認することが可能になります。

16.11.1. Gitリポジトリ連携を設定する

新規連携設定の登録

1. サービス設定画面で「Gitリポジトリ連携設定」を選択します。

サービス設定

リスト	説明
サービスの基本設定	サービスの基本情報、利用する機能フィールドの値、およびチームの設定を行います。
テストの基本設定	テスト仕様書のカスタムフィールド設定および各種オプションの設定を行います
サービス課題の設定	サービス課題の設定を行います。本設定はプロジェクト新規作成時の課題設定のテンプレートにもなります。
バージョンの設定	サービス内で利用するバージョンを管理します。
テスト環境の設定	テスト環境の設定を行います
ヘッダーテンプレートの設定	テストヘッダーのテンプレートの設定を行います
Slack連携設定	Slack連携の設定を行います
Gitリポジトリ連携設定	Gitリポジトリとの連携を行います
外部参照URLの設定	外部参照URLの管理を行います。CATのデータを外部から参照できるURLを設定します。

2. 「新規登録」ボタンを押して新規設定の登録画面を開きます。

Gitリポジトリ設定一覧

[新規登録](#)

リポジトリ名	リポジトリパス	連携プロジェクト	ステータス	操作
一致するデータがありません。				

[サービス設定に戻る](#)

3. 登録画面の各項目に適切な設定を入力します。

CAT COMPUTER
AIDED TEST

プロジェクト ▾

課題登録

SHIFT USER

👤

⚙️

Gitリポジトリ連携

Gitリポジトリ連携	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
リポジトリ名	<input type="text"/>
リポジトリパス	<input type="text"/> <small>* 例: git:// と ssh:// の形式がサポートされています。 <input type="checkbox"/> sshを使用する</small>
連携プロジェクト	<input type="text"/>

[テスト](#) [保存](#) [キャンセル](#)

項目説明

項目	説明
Gitリポジトリ連携	登録済の設定の 無効⇔有効 を切り替える場合に使用します。 新規登録時は「ON」でないと設定が保存できません。
リポジトリ名	必須項目です。適切な名称を設定してください。
リポジトリパス	<p>連携対象のリポジトリに接続するためのURLを設定します。</p> <p>※ URLはgitプロトコルとsshプロトコルに対応しています</p> <p>※ ssh形式で接続する場合は“sshを使用する”をチェックしてください</p> <p>gitプロトコル</p> <p>URL書式</p> <pre>git://{host}[:{port}]/{path}.git</pre> <p>sshプロトコル</p> <p>URL書式</p> <pre>ssh://{user}@{host}[:{port}]/{path}.git</pre> <p>プライベートキー</p> <p>必須</p> <p>パスフレーズ</p> <p>SSL証明を使用する場合は必要</p> 
連携プロジェクト	<p>設定したリポジトリと連携したいプロジェクトを、サービス課題管理とサービス配下の全プロジェクトから選択します。</p> <p>複数のプロジェクトに同じリポジトリを連携できます。</p> <p>1つのプロジェクト、サービス課題管理は最大で5つのリポジトリと連携することができます。</p> 

4. 「テスト」ボタンを押して接続を確認します。

Gitリポジトリ連携

連携オン/オフ	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
リポジトリ名	<input type="text"/>
リポジトリパス	<input type="text"/> <small>* 例: git:// と ssh:// の形式がサポートされています。 <input type="checkbox"/> sshを使用する</small>
連携プロジェクト	<input type="text"/>

テスト 保存 キャンセル

5. 接続が成功するとポップアップ画面が表示されますので、そのまま「保存」ボタンを押して設定を確定してください。



6. 新規登録した設定は「Gitリポジトリ設定一覧」上で確認できます。

Gitリポジトリ設定一覧

新規登録

リポジトリ名	リポジトリパス	連携プロジェクト	ステータス	操作
cat-4.16.100	git://github.com/atsushi-odagaki/cat-4.16.100.git	Service Issue Management, odagaki-project	有効	削除

サービス設定に戻る

16.11.2. Gitリポジトリ連携設定を変更する

1. Gitリポジトリ一覧から変更したいリポジトリ名を選択し、設定画面を開きます。

CAT COMPUTER AIDED TEST プロジェクト ▼ 課題登録 SHIFT USER

Gitリポジトリ設定一覧

新規登録

リポジトリ名	リポジトリパス	連携プロジェクト	ステータス	操作
CAT4.16.02	ssh://git@github.com/ysakamotosh/TESTREPO.git	CAT BTS	有効	削除

サービス設定に戻る

2. 「Gitリポジトリ連携」はONを選択したまま、他の各項目を編集します。

CAT COMPUTER AIDED TEST プロジェクト ▼ 課題登録 SHIFT USER

Gitリポジトリ連携

Gitリポジトリ連携	<input checked="" type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
リポジトリ名	<input type="text" value="CAT4.16.02"/>
リポジトリパス	<input type="text" value="ssh://git@github.com/ysakamotosh/TESTREPO.git"/> <small>* 例: git:// と ssh:// の形式がサポートされています。 <input checked="" type="checkbox"/> sshを使用する</small>
連携プロジェクト	<input type="text" value="CAT BTS"/>

SSHプライベートキー **編集**

リポジトリパスが ssh:// の場合のみ指定します。

SSHパスフレーズ

リポジトリパスが ssh:// の場合で、かつ、SSL証明を使用する場合のSSHプライベートキーのパスフレーズを指定します。

3. 「テスト」ボタンを押して接続を確認し、「保存」ボタンを押して設定の変更を確定します。

Gitリポジトリ連携

連携オン/オフ	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
リポジトリ名	<input type="text"/>
リポジトリパス	<input type="text"/> <small>* 例: git:// と ssh:// の形式がサポートされています。 <input type="checkbox"/> sshを使用する</small>
連携プロジェクト	<input type="text"/>

テスト 保存 キャンセル

16.11.3. Gitレポジトリ連携を無効化する

1. Gitリポジトリ一覧から無効化したいリポジトリ名を選択し、設定画面を開きます。



2. 「Gitリポジトリ連携」についてOFFを選択します。他の項目の編集画面が無効化されると同時に「保存」ボタンが活性化されます。

Gitリポジトリ連携

連携オン/オフ	<input checked="" type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON
リポジトリ名	cat-4.16.100
リポジトリパス	git://github.com/atsushi-odagaki/cat-4.16.100.git <small>* 例 : git:// と ssh:// の形式がサポートされています。 <input type="checkbox"/> sshを使用する</small>
連携プロジェクト	サービス課題管理 odagaki-project

テスト **保存** キャンセル

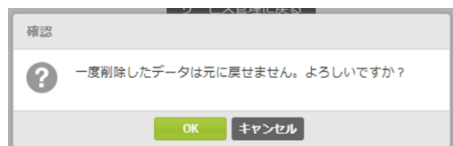
3. 「保存」ボタンを押すと、設定情報を保持したまま対象リポジトリとの連携が解除されます。

16.11.4. Gitリポジトリ連携を削除する

1. Gitリポジトリ一覧上で、削除したいリポジトリ名の右端の「削除」ボタンを押します。

リポジトリ名	リポジトリパス	連携プロジェクト	ステータス	操作
cat-4.16.100	git://github.com/atsushi-odagaki/cat-4.16.100.git	Service Issue Management, odagaki-project	有効	削除

2. 確認ポップアップが表示されるので「OK」を押します。



3. 設定情報が削除されると同時に、連携も解除されます。

16.11.5. コミット情報を紐付けて参照する

チケットとコミット情報の紐付

コミットの際、コミットログの中に紐付けたいCAT上のチケットのID（識別子+"-"+番号）を記載してください。IDはログの中のどの位置にでも記載可能です。記載されたIDでコミットログを検索した結果が、該当IDのチケットの参照画面上に表示されます。

例：

```
$git commit -m "[チケットのID]"
```

複数のIDを記載していた場合は、記載された各チケットで同一のコミット情報を参照することができます。

```
$git commit -m "[チケットAのID] [チケットBのID]"
```

コミット情報を参照する

サービス課題管理／プロジェクトBTS

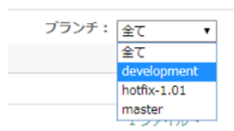
1. コミット情報と紐付けた課題（サービス課題・プロジェクトBTS課題）の参照画面を開き、画面下部の“活動”エリアで“Gitコミット”タブをクリックします。



2. タブをクリックすると連携している全てのGitリポジトリのコミット情報が表示中のチケットに、連携したリポジトリごとに「コミット」「変更者」「日付」「コメント」「（変更）ファイル数」が一覧表示されます。

▼ 活動					
コメント 履歴 作業ログ Gitコミット					
Git Integration Project					
コミット					変更
コミット	変更者	日付	コメント		
c70735d..	atsushi-odagaki	2018/07/20 10:19	GKT-1 テストコードを追加	1 ファイル	▶
a3bc272..	atsushi-odagaki	2018/07/20 09:58	GKT-1 : 新規ソースファイル追加 新規ソースファイルを追加	1 ファイル	▶
e3c9d77..	atsushi-odagaki	2018/07/20 09:55	GKT-1 : Git連携のマニュアル作成 Git連携のマニュアル作成のためのコミット	2 ファイル	▶
e76919b..	atsushi-odagaki	2018/07/20 09:39	GKT-1 メモを追加	2 ファイル	▶
a0deaa3..	atsushi-odagaki	2018/07/20 09:34	GKT-1 新規作成	14 ファイル	▶
関連書類					
コミット					変更
コミット	変更者	日付	コメント		
f89488b..	atsushi-odagaki	2018/07/20 10:22	GKT-1 README.txtを整備	1 ファイル	▶
87cedd0..	atsushi-odagaki	2018/07/20 09:44	GKT-1 新規ドキュメント追加	1 ファイル	▶

※リポジトリ名の右端のドロップダウンリストでブランチを絞り込むことで、ブランチ別にコミットリストを表示できます。



3. 各コミット右端の変更ファイル数をクリックし、該当コミットにおける変更ファイルごとの「（変更）種別」「ファイル名」「パス」を一覧表示します。

5047685..	atsushi-odagaki	2018/07/20 10:45	GKT-1 各種処理を追加	4 ファイル ▼
種別	ファイル名	パス		
更新	README	README		
更新	catgigintegration.py	fbprophet		
新規	gittest.py	fbprophet		
更新	models.py	fbprophet		
c70735d..	atsushi-odagaki	2018/07/20 10:19	GKT-1 テストコードを追加	1 ファイル ▶
a3bc272..	atsushi-odagaki	2018/07/20 09:58	GKT-1 : 新規ソースファイル追加 新規ソースファイルを追加	1 ファイル ▶
e3c9d77..	atsushi-odagaki	2018/07/20 09:55	GKT-1 : Git連携のマニュアル作成 Git連携のマニュアル作成のためのコミット	2 ファイル ▶

4. 変更ファイル情報の各行をクリックすると、該当ファイルの前後比較結果画面がポップアップ表示されます。

種別	ファイル名	パス
更新	catgigintegration.py	fbprophet
削除	gittest.py	fbprophet

ファイル比較 fbprophet/catgigintegration.py

```

6  # of patent rights can be found in the PATENTS file in the same director
7
8  from __future__ import absolute_import
9  from __future__ import division
10 from __future__ import print_function
11 from __future__ import unicode_literals
12
13 import pickle
14
15 # fb-block 1 start
16 import pkg_resources
17 # fb-block 1 end
18 # fb-block 2
19
20
21 def get_prophet_stan_model(model):
22     """Load compiled Stan model"""
23     # fb-block 3
24     # fb-block 4 start
25     model_file = pkg_resources.resource_filename(
26         'fbprophet',
27         'stan models/{}.growth.pkl'.format(model),
28     )
29
30
31 def test():
32     test = 100
33     return test
34
35 def test(val):
36     test = val + 100
37     return test
38
39 def get_prophet_stan_model(model):
40     """Load compiled Stan model"""
41     # fb-block 3
42     # fb-block 4 start
43     model_file = pkg_resources.resource_filename(
44         'fbprophet',
45         'stan models/{}.growth.pkl'.format(model),
46     )
47
48
49 
```

※ 左側が変更前、右側が変更後になります。 ※ ポップアップ画面右端の変更箇所表示バーで、グレーで表示された変更箇所をクリックすると、自分でスクロールすることなく該当の変更箇所まで移動することができます。

スコープ管理

1. スコープ管理画面でコミット情報と紐付けたスコープを選択し、プロパティビューを表示します。

ID	スコープ	ステータス	開始日	期間	担当者	機能
INT416-3	テスト管理機能を強化を検討	新規	2018/05/15	2 日	sh_坂本	
INT416-2	CATからAPI経由で進捗データ...	着手中	2018/05/15	1.2 日	sh_坂本	
INT416-1	スコープの計画がわかるカン...	新規	2018/05/15	3.1 日	sh_坂本	

プロパティ

ID : INT416-3

タイトル : テスト管理機能を強化を検討

ステータス : 新規

開始予定日 : 2018/05/15

期間 : 2 日

Gitコミット

2. 「Gitコミット」タブをクリックし、連携対象のGitリポジトリのコミット情報がタブ上に表示されます。



3. コミット情報の表示内容および参照方法は、[サービス課題管理／プロジェクトBTS]の(4)～(6)を参照ください。

紐付けたコミット情報からソースコードの変更量を管理する

機能毎にコードの更新行数を取得・保持します。コードの更新量に対する障害量の割合や、メンバー毎のコードの更新数を把握するときに有用です。

設定方法

プロジェクト設定＞詳細情報の設定でデータ取得元を「Git」に変更して「登録する」をクリックすることでリポジトリの変更数を取得するようになります。

※「設定の登録と同時にステップ数データを最新化する」にチェックを入れると登録時に最新の総ステップ数に変更します。（チェックを入れない場合も1時間起きに総ステップ数を取得します。）



確認方法

ソースコードの変更ステップ数は以下画面で確認することができます。

プロジェクト設定＞詳細情報の設定

プロジェクト全体・機能毎の更新行数を確認できます。

※「削除行数を総ステップに含めない」にチェックすると削除行数を総ステップから除外します。

機能別ステップ数

データ取得元：

Git

☐ 削除行数を総ステップ数に含めない

☐ 設定の登録と同時にステップ数データを最新化する（チェックなしでもデータは1時間おきに自動的に最新化されます）

機能	総ステップ数	追加	変更	削除
テスト管理機能	153	132	0	21
障害管理機能	544	544	0	0
テスト分析機能	302	283	19	0
未定義	0	0	0	0

分析＞機能分析

機能毎の更新ステップ数に対する課題数やケース数の割合を確認できます。

関連分析					
	ケース数	課題数 / ケース数	ステップ数 (Kstep)	ケース数 / Kstep	課題数 / Kstep
1 %	188	0.01	0.15	1228.76	6.54
1 %	222	0	0.54	408.09	1.84
1 %	188	0.01	0.30	622.52	3.31
1 %	0	-	-	-	-
40 %	598	0.01	1.00	598.6	4.0

16.12. 外部参照URLの設定

外部参照URLの設定では、「グラフの外部参照」機能で共有されているURLを管理できます。不要なURLの削除やアクセスログの確認ができます。

CAT

COMPUTER AIDED TEST

プロジェクト▼

課題登録

sh_坂本

外部参照URLの設定

外部参照URLの管理を行います。CATのデータを外部から参照できるURLを設定します。
プロジェクトが終了となった場合および削除された場合、そのプロジェクトの外部参照URLは削除されます。

外部参照URL一覧

検索...

2件中 1 件 ~ 2 件

100▼

ID ▲▼	プロジェクト ▲▼	工程 ▲▼	グラフタイプ ▲▼	更新日 ▲▼	作成者 ▲▼	メモ ▲▼	URLコピー	削除
844	CAT416新機能紹介	IT	分析	2018/06/01	sh_坂本		<div>コピー</div>	<div>削除</div>

サービス設定に戻る

新規

ログ

Copyright © 2010 SHIFT Inc. All rights reserved.

Ver 4.16.410

各項目

ボタン	機能
新規	新規に各種グラフのURLを発行、共有できます。
ログ	各URLのアクセスログを確認できます。
検索	各URLの概要を検索できます。
各行	共有されているURLの説明です。クリックすると編集画面が開きます。
コピー	各URLをクリップボードにコピーできます。
削除	共有されたURLを削除します。削除したURLは外部から参照できなくなります。

16.12.1. グラフの外部参照を登録できるユーザーを設定する

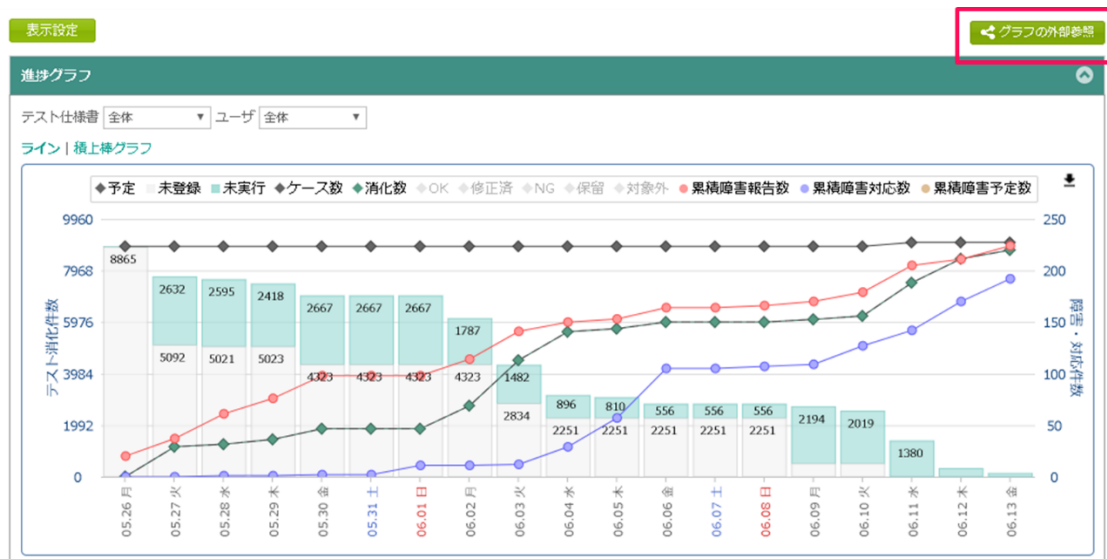
グラフの外部参照を登録できるユーザーは、デフォルトでは管理者ユーザーのみです。

「社員」権限のユーザーもグラフの外部参照を登録できるようにするには、「サービス設定> サービスの基本設定> チーム設定> チーム権限設定」にて「チームの管理と共有情報の管理ができる」権限を有効にする必要があります。

詳しくは[メンバーの権限を設定する](#)を参照ください。

16.12.2. グラフを別システムに共有して使う

1. グラフ右肩にある「グラフの外部参照」ボタンをクリックします。



2. グラフにより必要な設定を行い、「登録」を押します。

The screenshot shows a dialog box titled 'グラフの外部参照' (Graph External Reference). It contains several settings for a graph. The '概要' (Overview) section has a text box that says '直近1ヶ月のグラフを表示します。' (Display the graph for the last 1 month). Below this are dropdown menus for 'プロジェクト' (Project) set to 'サイト_移命', '工程' (Process) set to 'システムテスト工程', '言語' (Language) set to '日本語', 'グラフタイプ' (Graph Type) set to '全体選択', '表示期間' (Display Period) set to '直近1ヶ月間', and '表示単位' (Display Unit) set to '日'. There are also time selection fields for '表示時刻' (Display Time) with '開始時刻' (Start Time) at 00:00 and '終了時刻' (End Time) at 18:00. At the bottom, there are checkboxes for 'ケース消化数' (Case Completion Count) with options '保留を含む' (Include Pending) and '対象外を含む' (Include Excluded), '廃棄数' (Disposal Count) with '不具合のみ表示' (Display only issues) checked, and '異議オプション' (Dispute Option) with '表示範囲の異議を表示' (Display disputes within the display range) unchecked. '登録' (Register) and 'キャンセル' (Cancel) buttons are at the bottom right.

3. 確認メッセージが表示されるので、共有したURLをコピーする場合はコピーボタンを押します。



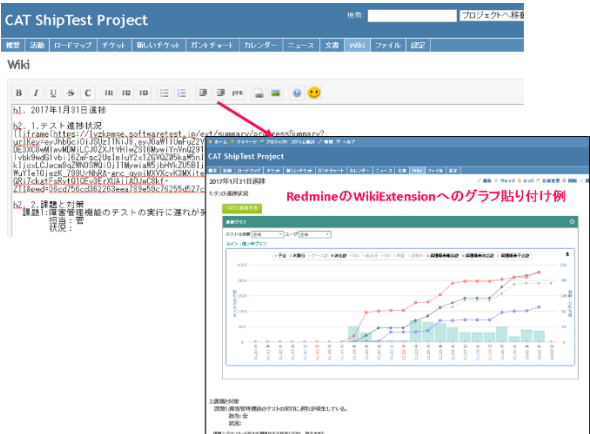
4. URLがクリップボードにコピーされます。



例(Atlassian Confluence)：次の様にURLを含んだiframeタグを、Atlassian ConfluenceのHTMLマクロとして貼り付けると、表示モードにて共有したグラフが表示されます。

[illegible]

```
{ {iframe(_(共有したグラフのURL)_, 100%, 600, no)}
```



17. プロジェクト管理

プロジェクトの作成手順について説明します。社員権限、管理者権限を持つユーザーでログインし、操作を行ってください。

プロジェクト作成時の設定は、サービス設定を引き継いだ設定となります。サービス設定の編集は既存のプロジェクトに影響しません。

17.1. プロジェクトを作成する

プロジェクトの作成手順を説明します。

プロジェクトを新規に作成する場合は[プロジェクトを新しく作成する](#)を参照してください。

既存プロジェクトの設定をコピーしてプロジェクトを作成する場合は[プロジェクトをコピーする](#)を参照してください。

17.1.1. プロジェクトを新しく作成する

1. ヘッダーのツールボタンのドロップダウンからプロジェクト管理を選択します。



2. プロジェクトを作成したいサービスを選択します。



3. 新規登録ボタンを押します。

プロジェクト一覧



4. 画面上部のプロジェクト基本情報を入力します。

CAT COMPUTER AIDED TEST

プロジェクト▼

詳細登録

SHIFT_USER

プロジェクト基本情報設定

サービス名

プロジェクト名

識別子

プロジェクト期間

ワークタイム

プロジェクト状況

開発モード

テスト予定計画方式

工程

添付ファイル

エンコーディング

予定の設定

テスト環境設定

課題一覧

メール設定

レポート送信情報

デモサービス (再テスト)

1~200文字 (例) テスト支援ツール開発

プロジェクトの識別子を入力してください

開始日

終了日

09:00

開始時刻

18:00

終了時刻

停働中・順調

プロジェクトモード

複数の工程で共通したスコープを管理します。

工程モード

工程毎にスコープを管理します。

計画単位: --選択--

本項目はプロジェクト登録後は変更できません。どの方式が適しているか登録前に確認し設定してください。

現在の工程: --選択--

登録

オプション項目ををクリックすると
ファイル添付やメール設定が可能です。

ファイルを選択

ファイルを添付する場合は、ファイルを選択ボタンより選択してください。
(ここにドラッグ&ドロップすることでもファイルを登録できます)

一つのファイルサイズは10MBまでです。
ファイルの個数は10個までです。
添付可能なファイル形式

Windows-31J

予定値: 詳細

グラフ表示: 予定

テストケース毎にテスト環境を設定する

このオプションを利用する場合、実行列にはテスト環境を設定できません

複数行フィールドを一覧に表示する

* オプションを有効化することで課題一覧のパフォーマンスに影響があります。

障害メールを利用する

テスト課題メールを利用する

現在の工程に加えて、選択した工程の情報をレポートメールに含めます。

送信タイミング: 手動で送信する

自動で送信する

返信先:

カンマ区切りで複数指定可能です

言語: 日本語

表示する実行日数: 10

1~365の半角数字

内予定日数: 0

*レポートメールは全てHTML形式で送信されます。

メールフォーマット

編集

確認

各項目の説明はプロジェクト基本情報の設定を参照してください。

プロジェクト基本情報設定画面

プロジェクト基本情報設定

サービス名

プロジェクト名

識別子

プロジェクト期間

ワークタイム

プロジェクト状況

開発モード

工程

オプション項目

添付ファイル

エンコーディング

予定の設定

障害定義

課題一覧

メール設定

サンプルプロジェクトA

サンプルコンポーネント改修プロジェクトb

1~200文字 (例) テスト支援ツール開発

SAPKB

プロジェクトの識別子を入力してください

2018/08/13

開始日

2018/09/28

終了日

09:00

開始時刻

18:00

終了時刻

停働中・順調

プロジェクトモード

複数の工程で共通したスコープを管理します。

工程モード

工程毎にスコープを管理します。

現在の工程: UT

編集

オプション項目ををクリックすると
添付ファイルやレポート送信メール等の項目が開きます。

ファイルを選択

ファイルを添付する場合は、ファイルを選択ボタンより選択してください。
(ここにドラッグ&ドロップすることでもファイルを登録できます)

Windows-31J

予定値: 詳細

グラフ表示: 予定

テストケース毎にテスト環境を設定する

このオプションを利用する場合、実行列にはテスト環境を設定できません

複数行フィールドを一覧に表示する

* オプションを有効化することで課題一覧のパフォーマンスに影響があります。

障害メールを利用する

テスト課題メールを利用する

現在の工程に加えて、選択した工程の情報をレポートメールに含めます。

送信タイミング: 手動で送信する

自動で送信する

返信先:

カンマ区切りで複数指定可能です

5. 各メンバーのメール設定を行います。送信したいメールのチェックボックスにチェックを入れてください。

プロジェクトメール設定

検索...

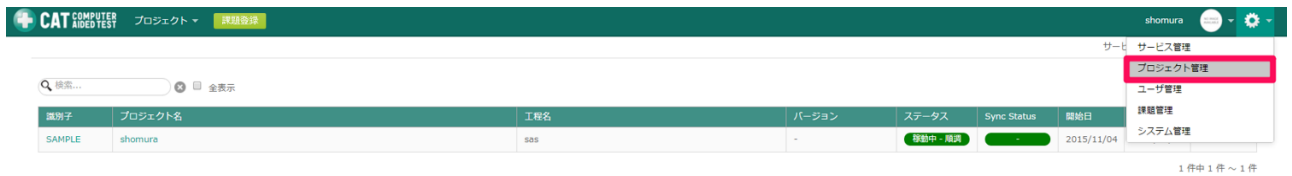
ユーザ名	プロジェクトレポート	課題	テスト課題管理
営業 デモユーザ	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
開発 隅	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
開発 中沢	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
開発 永守	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

17.1.2. プロジェクトをコピーする

サービス内で既存のプロジェクトから課題情報やチーム設定を引き継いでプロジェクトを作成したい場合、プロジェクトコピー機能を利用します。

※サービスを跨いだコピーはできません。

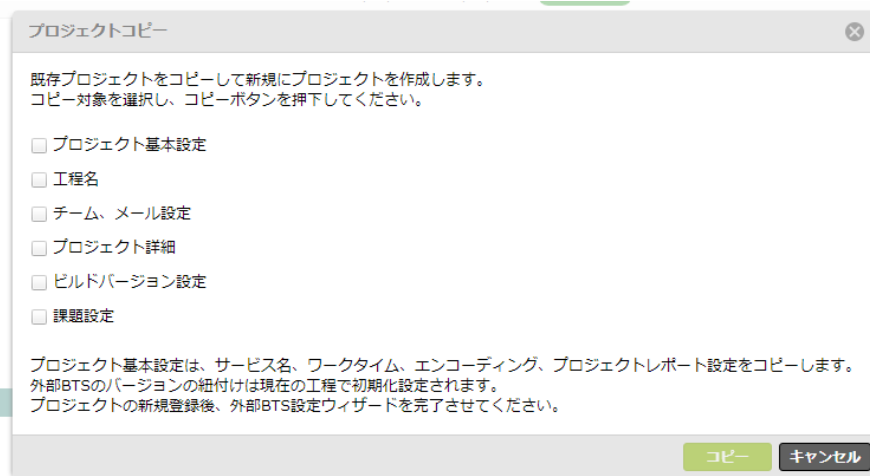
1. ヘッダーのツールボタンのドロップダウンからプロジェクト管理を選択します。



2. 設定をコピーしたいプロジェクトの「コピー」ボタンを押します。

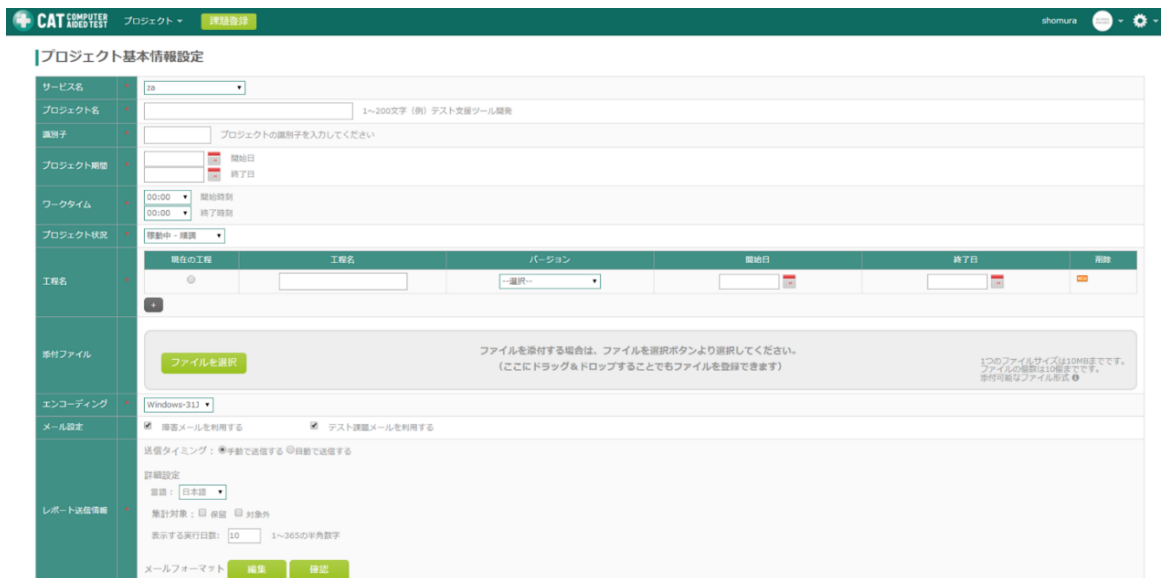


3. コピーしたい設定を選択して「コピー」ボタンを押します。



項目	説明
プロジェクト基本設定	サービス名、ワークタイム、エンコーディング、予定の設定、障害定義、メール設定、プロジェクトレポート設定をコピーします。
工程名	プロジェクトの各工程名をコピーします。
チーム、メール設定	プロジェクト参照設定およびメール設定をコピーします。
プロジェクト詳細	プロジェクトの詳細情報の設定をコピーします。
ビルドバージョン設定	プロジェクト内で使用するビルドバージョン情報をコピーします。
課題設定	プロジェクトの課題設定をコピーします。

4. 「コピー」ボタンを押すと選択した設定がコピーされた状態で新規プロジェクト登録画面が開かれます。必要な情報を入力し、登録を完了してください。外部BTS設定のコピーを選択した場合は登録後外部BTS設定ウィザードが開かれます。[外部BTSの設定](#)を参照し、外部BTSを設定してください。



プロジェクト管理画面の「終了」ボタンについて

プロジェクト管理画面の「終了」ボタンをクリックするプロジェクトのステータスが終了になります。

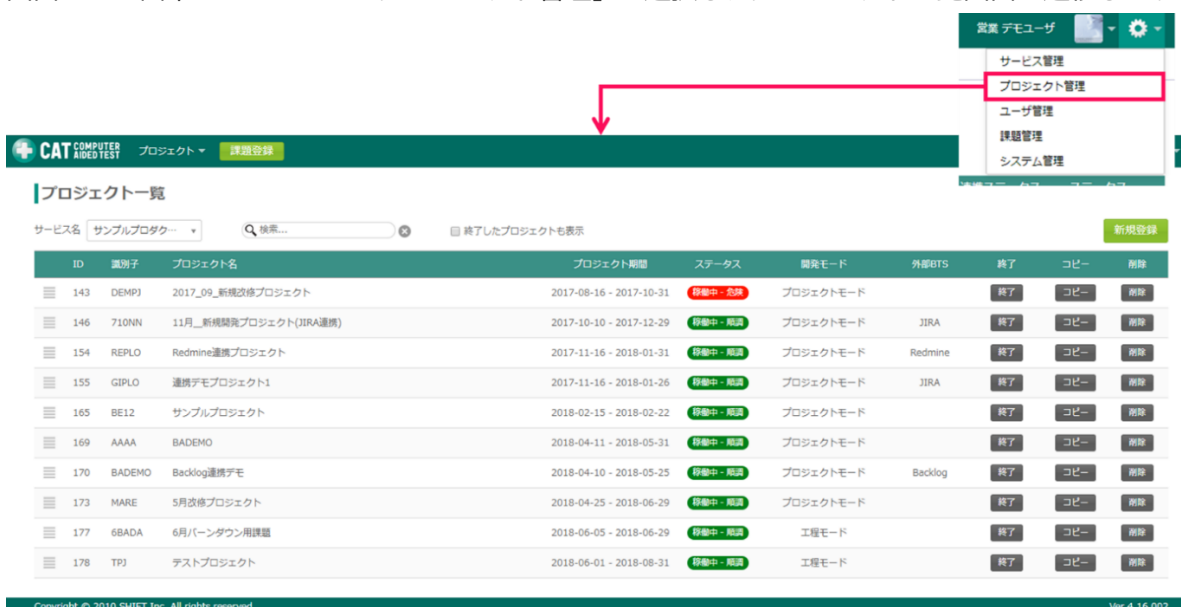
ステータスを終了にすることで該当のプロジェクトをアーカイブとして保存できます。



17.1.3. プロジェクトの表示順序を並び替える

トップ画面や選択肢に表示されるプロジェクトの表示順序を変更する方法を説明します。

- 画面左上の歯車メニューから「プロジェクト管理」を選択し、プロジェクト一覧画面に遷移します。



2. 左端の三本線アイコンをドラッグ&ドロップし、プロジェクトを移動させます。



≡	154	REPLO	Redmine連携プロジェクト	2017-11-16 - 2018-01-31	稼働中 - 順調
≡	169	AAAA	BADEMO	2018-04-11 - 2018-05-31	稼働中 - 順調
≡	155	GIPLO	連携デモプロジェクト1	2017-11-16 - 2018-01-26	稼働中 - 順調
≡	165	BE12	サンプルプロジェクト	2018-02-15 - 2018-02-22	稼働中 - 順調
≡	170	BADEMO	Backlog連携デモ	2018-04-10 - 2018-05-25	稼働中 - 順調

3. ドロップした瞬間にプロジェクトの順序変更が確定され、適用箇所に反映されます。

17.2. プロジェクト基本情報の設定

プロジェクト基本情報の各設定項目を説明します。

項目	説明
プロジェクト名	プロジェクト名を入力します。
識別子	プロジェクトの識別子を入力します。課題IDの接頭等で利用されます。
プロジェクト期間	プロジェクトの開始日、終了日を入力します。
ワークタイム	ワークタイムの開始時刻と終了時刻を入力します。
プロジェクト状況	<p>プロジェクトの状況を以下の4つから選択可能です。</p> <ul style="list-style-type: none">稼働中 - 順調稼働中 - 観察稼働中 - 危険終了 <p>※プロジェクトが終了した場合は終了ステータスにしてください。「終了」ステータスにすると、そのプロジェクトの変更ができなくなります。</p> <p>※一度、終了したプロジェクトを再度、編集したい場合はプロジェクトステータスを終了以外にすると編集が可能になります。</p>
開発モード	<p>プロジェクトモード</p> <p>スコープ管理、スケジュール管理をプロジェクト単位で管理します。</p> <p>工程モード</p> <p>スコープ管理、スケジュール管理を工程単位で管理します。</p>

項目	説明																									
テスト予定計画方式	<div>■計画単位</div> <div>テストケース</div> <div>テストケースごとに担当者・予定日・必要時間を割り当てます。</div> <div>テスト仕様書</div> <div>どの担当者が、どの日に何ケース実行するか予定を立てます。</div>																									
	<div>■テスト担当</div> <div>プロジェクトメンバー</div> <div>各テストケースを1人の担当者に割り当てます。 進捗管理画面でメンバー毎の進捗が表示されます。</div> <div>グループ</div> <div>各テストケースを担当にグループを割り当てします。</div> <div>進捗管理の以下の項目をグループ単位で進捗を表示します。</div> <div><div><div>「全体進捗 > 進捗グラフ」：特定のグループを指定した表示が可能です。</div><div>「詳細進捗 > グループ 実績／予定」：グループ毎の進捗が表示されます。</div></div></div>																									
工程名	<div>プロジェクトに工程を追加し、現在の工程を選択してください。</div> <div>最低1つの工程が必要です。</div> <div>工程の表示順序はドラッグアンドドロップで並べ替えることが可能です。</div> <div><table><thead><tr><th>工程名</th><th>バージョン</th><th>開始日</th><th>終了日</th><th>操作</th></tr></thead><tbody><tr><td><input type="text" value="工程名"/></td><td>--選択--</td><td><input type="text" value="YYYY/MM/DD"/></td><td><input type="text" value="YYYY/MM/DD"/></td><td><input type="button" value="追加"/></td></tr><tr><td>1  IT</td><td>--選択--</td><td>2018/06/01</td><td>2018/06/16</td><td></td></tr><tr><td>2  ST</td><td>--選択--</td><td>2018/06/17</td><td>2018/06/30</td><td></td></tr><tr><td>3  UAT</td><td>--選択--</td><td>2018/07/01</td><td>2018/07/14</td><td></td></tr></tbody></table></div> <div>※バージョンはサービス設定で登録します。バージョンの設定を参照してください。</div>	工程名	バージョン	開始日	終了日	操作	<input type="text" value="工程名"/>	--選択--	<input type="text" value="YYYY/MM/DD"/>	<input type="text" value="YYYY/MM/DD"/>	<input type="button" value="追加"/>	1  IT	--選択--	2018/06/01	2018/06/16		2  ST	--選択--	2018/06/17	2018/06/30		3  UAT	--選択--	2018/07/01	2018/07/14	
工程名	バージョン	開始日	終了日	操作																						
<input type="text" value="工程名"/>	--選択--	<input type="text" value="YYYY/MM/DD"/>	<input type="text" value="YYYY/MM/DD"/>	<input type="button" value="追加"/>																						
1  IT	--選択--	2018/06/01	2018/06/16																							
2  ST	--選択--	2018/06/17	2018/06/30																							
3  UAT	--選択--	2018/07/01	2018/07/14																							
添付ファイル	<div>プロジェクトで共有するドキュメントを添付できます。</div> <div>※最大10MB×10個まで登録できます。</div>																									
エンコーディング	仕様書に用いる文字エンコーディングをWindows-31J, UTF-8, Unicodeから選択します。																									

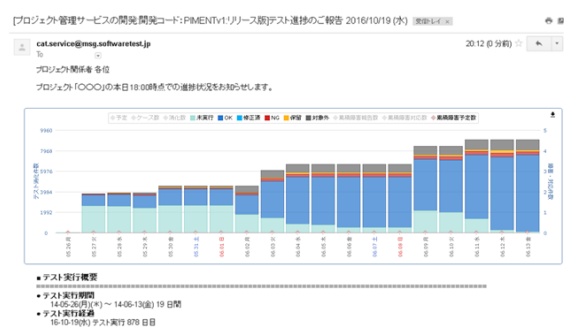
項目	説明												
予定の設定	<p><u>予定値</u></p> <p>プロジェクトで予定として利用する値の設定です。ここで登録した予定値を元にプロジェクトステータスや進捗グラフ等を表示します。</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th><th>内容</th></tr> <tr> <td>概要</td><td>全体進捗で入力した予定がプロジェクトトップの予定数や進捗グラフの予定数として反映されます。概要予定の場合、仕様書の登録の有無に関わらず予定を入力可能です。この場合、全体進捗には仕様書を登録していない予定ケースの件数「未登録数」が表示されます。</td></tr> <tr> <td>詳細</td><td>詳細進捗、またはテスト仕様書上で入力した予定がプロジェクトトップの予定数や進捗グラフの予定数として反映されます。</td></tr> </table> <p><u>グラフ表示</u></p> <p>全体進捗に表示する予定値の種類を設定します。</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th><th>内容</th></tr> <tr> <td>予定</td><td>累積予定数を表示します。</td></tr> <tr> <td>残予定</td><td>残予定数(予定総ケース数-累積予定数)を表示します。</td></tr> </table>	項目	内容	概要	全体進捗で入力した予定がプロジェクトトップの予定数や進捗グラフの予定数として反映されます。概要予定の場合、仕様書の登録の有無に関わらず予定を入力可能です。この場合、全体進捗には仕様書を登録していない予定ケースの件数「未登録数」が表示されます。	詳細	詳細進捗、またはテスト仕様書上で入力した予定がプロジェクトトップの予定数や進捗グラフの予定数として反映されます。	項目	内容	予定	累積予定数を表示します。	残予定	残予定数(予定総ケース数-累積予定数)を表示します。
項目	内容												
概要	全体進捗で入力した予定がプロジェクトトップの予定数や進捗グラフの予定数として反映されます。概要予定の場合、仕様書の登録の有無に関わらず予定を入力可能です。この場合、全体進捗には仕様書を登録していない予定ケースの件数「未登録数」が表示されます。												
詳細	詳細進捗、またはテスト仕様書上で入力した予定がプロジェクトトップの予定数や進捗グラフの予定数として反映されます。												
項目	内容												
予定	累積予定数を表示します。												
残予定	残予定数(予定総ケース数-累積予定数)を表示します。												
課題一覧	<p>課題一覧画面でテキストボックス（複数行）のカスタムフィールドの表示・非表示の設定をします。</p> <p>※非表示で設定する場合、課題一覧で「概要」やその他テキストボックス（複数行）が表示不可になる代わりに課題一覧画面の表示速度が向上します。</p>												
障害定義	<p>次の各機能内で障害として計上する課題種別を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトステータス > サマリー > 登録障害数 プロジェクトメール・ビジネスチャット連携 全体進捗 > 不具合のみ表示 分析画面 > 各タブ > 表示設定 > 課題種別の初期値 <p>ここでチェックボックスをONにした種別のみ、各機能において障害率・発生障害数に計上されます。</p> <p>※サブタスクは障害として計上できません。</p>												

項目	説明												
メール設定	<p>障害メールを利用する</p> <p>設定すると課題管理の課題が登録・編集されたときに自分以外の担当者・報告者及びシェアに登録してあるメンバーにメールで通知します。</p> <p>テスト課題メールを利用する</p> <p>設定するとテスト課題管理の課題が登録・編集されたときに自分以外の担当者・報告者に内容をメールで通知します。</p> <p>レポートに含める工程</p> <p>レポートメールを送信する工程を設定します。</p>												
レポート送信情報	<p>定時もしくは手動で送信するレポートメールの設定です。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>送信タイミング</td><td> <p>手動での送信(プロジェクトステータス)もしくは、定時での自動送信が選択できます。</p> <p>自動の場合、送信時刻と言語を設定します。</p> </td></tr> <tr> <td>返信先</td><td>CATから送信されるメールの返信先(Reply-to)を設定します。</td></tr> <tr> <td>集計対象</td><td>メール内の「テスト進捗タグ」で表示される消化数に保留・対象外をカウントするか否かを設定します。</td></tr> <tr> <td>表示する実行日数、予定日数</td><td>グラフを表示する日数と、うち未来日の表示日数を設定します。</td></tr> <tr> <td>メールフォーマット</td><td>フォーマットをカスタマイズ(※)できます</td></tr> </tbody> </table> <p>また、レポートを送信するユーザーはプロジェクトメール設定で設定できます。送信したいメンバーのプロジェクト状態メールボックスをチェックしてください。</p>	項目	内容	送信タイミング	<p>手動での送信(プロジェクトステータス)もしくは、定時での自動送信が選択できます。</p> <p>自動の場合、送信時刻と言語を設定します。</p>	返信先	CATから送信されるメールの返信先(Reply-to)を設定します。	集計対象	メール内の「テスト進捗タグ」で表示される消化数に保留・対象外をカウントするか否かを設定します。	表示する実行日数、予定日数	グラフを表示する日数と、うち未来日の表示日数を設定します。	メールフォーマット	フォーマットをカスタマイズ(※)できます
項目	内容												
送信タイミング	<p>手動での送信(プロジェクトステータス)もしくは、定時での自動送信が選択できます。</p> <p>自動の場合、送信時刻と言語を設定します。</p>												
返信先	CATから送信されるメールの返信先(Reply-to)を設定します。												
集計対象	メール内の「テスト進捗タグ」で表示される消化数に保留・対象外をカウントするか否かを設定します。												
表示する実行日数、予定日数	グラフを表示する日数と、うち未来日の表示日数を設定します。												
メールフォーマット	フォーマットをカスタマイズ(※)できます												

17.2.1. メールフォーマットのカスタマイズ

レポートメールの送信内容のカスタマイズ方法を説明します。

レポートメールのカスタマイズ例



1. カスタマイズするには[レポート送信情報]の[メールフォーマット]の[編集]を押します。

レポート送信情報

送信タイミング: ☒ 手動で送信する ☐ 自動で送信する

返信先: カンマ区切りで複数指定可能です

詳細設定

言語: 日本語 ▼

集計対象: ☐ 保留 ☐ 対象外

表示する実行日数: 1~365の半角数字

内予定日数:

※レポートメールは全てHTML形式で送信されます。

メールフォーマット 編集 確認

2. 送信内容を編集できます。

メール書式

-- 選択 -- </>挿入 **B** リセット

■ テスト実行概要

● テスト実行期間
%TestTerm%

● テスト実行経過
%Today% テスト実行 %ElapsedTime%

● プロジェクト状況
%ProjectLink%

■ テスト実行進捗報告

● テストケースステータス
%CaseSummary%

● 日々消化ケース数
%Progress%

■ 重要結果

保存 キャンセル

左上のリストボックスから項目を選択して、</>挿入ボタンを押すと各種表示項目のタグを挿入できます。

カスタマイズで利用できるタグ

リストの表示名(※1)	タグ	表示内容の説明
工程名	%ProcessName%	プロジェクトの工程名を表示します。
案件期間	%TestTerm%	プロジェクト内で選択されている工程の期間を表示します。
案件経過日	%ElapsedDate%	プロジェクト内で選択されている工程の経過日数を表示します。
URL	%ProjectLink%	プロジェクトステータスへのリンクを表示します。
プロジェクトサマリ	%ProjectSummary%	プロジェクトステータスに表示されているサマリーを表示します。
テストサマリ	%CaseSummary%	プロジェクトに登録されているテストケース数と、実績の内訳を表示します。
テスト進捗	%Progress%	日々の消化数を表示します。
テスト一覧	%TestList%	プロジェクトステータスに表示されているテスト状況(テスト仕様書の一覧とそれぞれの進捗)を表示します。
課題サマリー	%IssueCount%	障害管理機能で登録されている課題数(不具合・要望・問い合わせ等、種別毎)の発生状況を表示します。
課題発生率	%IssueRatio%	本日のテスト進捗に対する課題(不具合・要望・問い合わせ等)の発生率を表示します。
本日発生課題	%TodayIssues%	本日発生した課題(不具合・要望・問い合わせ等)のタイトルとステータスのリストを表示します。
進捗グラフ(積み上げ)	%ProgressGraphStacked%	進捗グラフ(積み上げ)を表示します。 ※2:クラウド版のみでの提供
進捗グラフ(線)	%ProgressGraphLine%	進捗グラフ(ライン)を表示します。 ※2:クラウド版のみでの提供

17.2.2. プロジェクトメール設定

プロジェクトメール設定では、メールをプロジェクトの各メンバーへ送信するかどうかを設定できます。

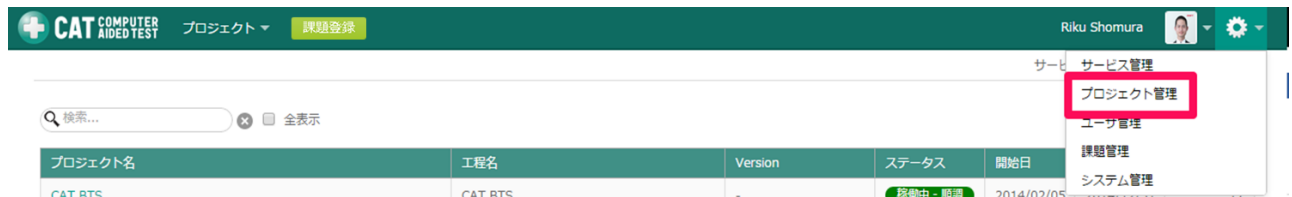
項目	内容
プロジェクトレポート	レポート送信情報で設定したレポートメールの送信先を設定します。
課題	<p>課題管理機能で課題起票時、全ての課題にシェア(※)として追加するメンバーを選択します。</p> <p>※シェアに設定すると課題の変更時にメール通知が送信されます。このチェックがOFFの場合、担当者・報告者に設定された場合のみシェアに設定されます。</p>
テスト課題管理	テスト課題管理機能で課題の登録・変更時にメールを送信するメンバーを設定します。

※課題及びテスト課題管理のメールを送信する場合、「プロジェクト基本設定 > メール設定」の各機能がオンになっているか確認してください。オフの場合は、プロジェクトメール設定に関わらずメール通知がされません。

17.3. プロジェクト詳細情報の設定

プロジェクトに工数や見積もり等の情報を付与できます。

1. ヘッダーのツールボタンのドロップダウンからプロジェクト管理を選択します。



2. プロジェクト一覧画面で詳細情報の設定を行いたいプロジェクトを選択します。

ID ▲▼	プロジェクト名 ▲▼	サービス名 ▲▼	削除
145	test_shomura	CAT Development	削除

1 件中 1 件 ~ 1 件

3. プロジェクト情報設定メニューにて詳細情報設定を選択します。

プロジェクト管理

設定一覧	概要
基本情報の設定	プロジェクトの基本情報の設定を行います
詳細情報の設定	プロジェクトの詳細情報の設定を行います
課題の設定	課題管理機能で利用する課題の設定を行います
ビルドバージョンの設定	開発時の内部バージョンを管理します。
外部BTSの設定	サードパーティ製の課題管理ツールとの連携を行います
テスト環境の設定	テスト環境の設定を行います
リポジトリ連携設定	サードパーティ製のリポジトリツールとの連携を行います

4. 詳細情報を入力し、登録ボタンを押します。

プロジェクト詳細情報設定

テスト対象	<input type="text"/>	40文字以内 (例) WEB、携帯・スマホ、会計システム						
システム種別	<input type="text"/>	40文字以内 (例) フロント、バック、帳票						
テストフェーズ	<input type="text"/>	40文字以内 (例) 単体、結合、総合、受入						
機能数	<input type="text" value="0"/>	整数9桁以内						
画面数	<input type="text" value="0"/>	整数9桁以内						
マスターケース数	<input type="text" value="0"/>	整数9桁以内 マスターとなるケース数を入力してください。						
実績設計工数	<input type="text" value="0"/>	人日 整数9桁以内						
実績実行工数	<input type="text" value="0"/>	人日 整数9桁以内						
見積金額	<input type="text" value="0"/>	円 整数9桁以内						
実績金額	<input type="text" value="0"/>	円 整数9桁以内						
機能別ステップ数	データ取得元: 手入力 ▼ <table><tr><td>個人ページ</td><td><input type="text" value="0"/></td></tr><tr><td>認証連携</td><td><input type="text" value="0"/></td></tr><tr><td>ログイン管理</td><td><input type="text" value="0"/></td></tr></table>		個人ページ	<input type="text" value="0"/>	認証連携	<input type="text" value="0"/>	ログイン管理	<input type="text" value="0"/>
個人ページ	<input type="text" value="0"/>							
認証連携	<input type="text" value="0"/>							
ログイン管理	<input type="text" value="0"/>							

登録する

キャンセル

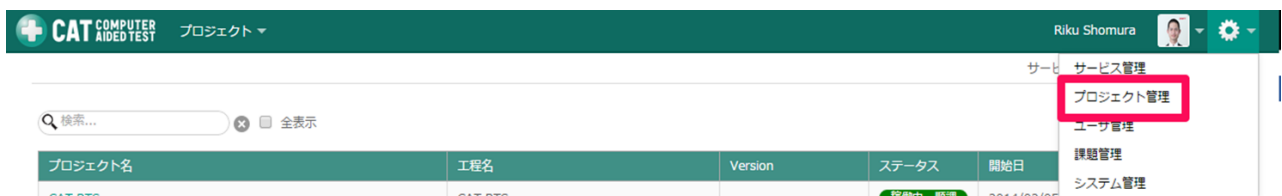
項目	説明
テスト対象	テスト対象を入力します。※ 1
システム種別	システム種別を入力します。※ 1
テストフェーズ	テストフェーズを入力します。※ 1
機能数	機能数を入力します。※ 1
画面数	画面数を入力します。※ 1
マスターケース数	マスターケース数を入力します。※ 1
実績設計工数	実績設計工数を入力します。※ 1
実績実行工数	実績実行工数を入力します。※ 1
見積金額	見積金額を入力します。※ 1
実績金額	実績金額を入力します。※ 1
機能 有効ステップ数	各機能の有効ステップ数を入力します。分析画面で密度計算(機能毎のテストケース数/Kstep、課題数/Kstep)に利用します。

※1：参考としてこの画面で確認できる情報となり、他画面で表示・活用はありません。

17.4. 課題の設定をする

プロジェクトで利用する課題の設定をします。

1. ヘッダーの設定アイコンのドロップダウンからプロジェクト管理を選択します。



2. プロジェクト一覧画面で課題の設定を行いたいプロジェクトを選択します。

ID ▲▼	識別子 ▲▼	プロジェクト名 ▲▼	サービス名 ▲▼	プロジェクト期間 ▲▼	外部BTS	終了	コピー	削除
58	PIM171	開発コード : PIMENTV1	プロジェクト管理サービスの開発	2015-03-01 - 2015-03-14		終了	コピー	削除

3. プロジェクト情報設定メニューから課題の設定を選択します。

CAT COMPUTER AIDED TEST

プロジェクト▼課題登録

Ishi

プロジェクト管理

設定一覧	概要
基本情報の設定	プロジェクトの基本情報の設定を行います
詳細情報の設定	プロジェクトの詳細情報の設定を行います
課題の設定	課題管理機能で利用する課題の設定を行います
ビルドバージョンの設定	開発時の内部バージョンを管理します。
外部BTSの設定	サードパーティ製の課題管理ツールとの連携を行います
テスト環境の設定	テスト環境の設定を行います
リポジトリ連携設定	サードパーティ製のリポジトリツールとの連携を行います

プロジェクト一覧に戻る

以降の設定内容はサービス課題管理機能の課題種別の設定をすると同様ですので、手順に従ってプロジェクトの課題の設定を行ってください。CSVインポート機能については、次節で説明します。

17.4.1. 課題をインポートする

課題をインポートする方法を説明します。

外部BTS連携でRedmine/JIRA/Backlogを利用している場合は、インポートは実施できません。

1. 課題をインポートしたいプロジェクトのプロジェクト情報設定メニューにて課題の設定を選択します。

プロジェクト管理

設定一覧	概要
基本情報の設定	プロジェクトの基本情報の設定を行います
詳細情報の設定	プロジェクトの詳細情報の設定を行います
課題の設定	課題管理機能で利用する課題の設定を行います
ビルドバージョンの設定	開発時の内部バージョンを管理します。
外部BTSの設定	サードパーティ製の課題管理ツールとの連携を行います
テスト環境の設定	テスト環境の設定を行います
リポジトリ連携設定	サードパーティ製のリポジトリツールとの連携を行います

2. CSVインポートボタンを押します。

課題の設定

設定一覧	概要
種別と表示フィールドの設定	プロジェクトで利用する種別と種別毎の表示項目を設定します。
ステータスの設定	プロジェクトで利用するステータスを種別毎に設定します。
CSVインポート	課題をCSV形式で障害管理機能に追加インポートします。
その他設定	プロジェクトで利用する書式の設定を行います。

3. 工程名を入力し、CSVファイルをアップロードします。
※アップロードするCSVファイルの形式は以下の通りとしてください。

1行目

項目名

CSVファイルの項目名と課題のフィールド名を一致させておくと、(4)で行うフィールド情報の対応付けが自動で行われます。

2行目以降

各項目の値を設定

CSVインポート

追加アップロードするCSVファイルを選択してください。

工程	<div>--選択--</div>
CSVファイル	<div><div>Windows-31J</div><div>CSVファイルを選択</div><div>ファイルを選択ボタンより選択してください。 (ここにドラッグ&ドロップすることでもファイルを登録できます) 1つのファイルサイズは10MBまでです。</div></div>

フィールド設定

アップロードされた各項目とプロジェクトのフィールド情報を対応付けしてください。
対応付けされない項目はインポートされません。(種別については未設定の場合、初期値で登録します。)
※プロジェクトで設定された必須項目を必ず割り当てる必要があります。
※フィールドタイプの選択数と、アップロードされた項目の選択数は一致する必要があります。

No	ヘッダ名	BTSフィールド
----	------	----------

インポート

キャンセル

4. アップロードされた各項目とプロジェクトのフィールド情報を対応付けしてください。
対応付けが済んだらインポートボタンを押してください。

※プロジェクトで設定された必須項目を必ず割り当てる必要があります。

※フィールドタイプの選択肢と、アップロードされた項目の選択肢は一致する必要があります。

CAT COMPUTER AIDED TEST

プロジェクト

詳細登録

shomura

CSVインポート

追加アップロードするCSVファイルを選択してください。

工程

--選択--

CSVファイル

Windows-31J

CSVImport_shoki.csv

CSVファイルを選択

ファイルを選択ボタンより選択してください。
(ここにドラッグ&ドロップすることでもファイルを登録できます)

1つのファイルサイズは10MBまでです。

フィールド設定

アップロードされた各項目とプロジェクトのフィールド情報を対応付けしてください。
対応付けされない項目はインポートされません。(種別については未設定の場合、初期値で登録します。)
※プロジェクトで設定された必須項目を必ず割り当てる必要があります。
※フィールドタイプの選択肢と、アップロードされた項目の選択肢は一致する必要があります。

No	ヘッダ名	BTSフィールド
1	タイトル	* タイトル
2	種別	種別
3	ステータス	ステータス
4	優先度	優先度
5	重要度	重要度
6	開発担当者	開発担当者
7	環境依存性	環境依存性
8	機能	機能
9	納期	納期
10	操作手順	操作手順
11	再現性の有無	再現性の有無
12	発生環境	発生環境
13	担当者	担当者
14	報告者	報告者
15	発注バージョン	--選択--
16	修整バージョン	--選択--

インポート

キャンセル

Copyright © 2010-2015 SHIFT Inc. All rights reserved.

Ver 4.11.000

正常にCSVインポートが完了すると次のような画面が表示されます。

インポートが正常に完了しました。

メニューへ戻る

BTSを表示する

17.5. ビルドバージョンの設定

検証対象の製品のビルドバージョンを管理し、テスト実行時に、テストを実行したビルドバージョン、および障害が発生したビルドバージョンを自動的に紐づけることができます。

17.5.1. ビルドバージョンを登録する

ビルドバージョンを利用するには、プロジェクト毎に利用するビルドバージョンを登録する必要があります。登録は以下の手順で行います。

256

1. 該当のプロジェクトのプロジェクト管理画面を開き、ビルドバージョン管理をクリックします。

プロジェクト管理

設定一覧	概要
基本情報の設定	プロジェクトの基本情報の設定を行います
詳細情報の設定	プロジェクトの詳細情報の設定を行います
課題の設定	障害管理機能で利用する課題の設定を行います
ビルドバージョン管理	開発時の内部バージョンを管理します。
外部BTSの設定	サードパーティ製の課題管理ツールとの連携を行います
テスト環境の設定	テスト環境の設定を行います

※本設定は、社員権限以上のユーザーで変更可能です。

2. ビルドバージョン設定画面で「ビルドバージョンを利用する」にチェックを入れ、ビルドバージョンの設定方法を選択します。

ビルドバージョンの設定

- ☒ ビルドバージョンを利用する
- ビルドバージョンの設定方法:
 - ☒ テスト実行時にビルドバージョンを設定する
 - ☐ 事前にテスト仕様書毎にビルドバージョンを設定する

ビルドバージョン	概要	操作
<input type="text" value="ビルドバージョン"/>	<input type="text" value="オプション"/>	<button>追加</button>
1 ビルド2		
2 ビルド1		

登録キャンセル

ビルドバージョンの設定方法

項目	説明
テスト実行時にビルドバージョンを設定する	テスト実行画面で、テストの実行時にビルドバージョンを設定します。 テスト実行者毎に、テスト対象のビルドバージョンが異なる場合に利用します。
事前にテスト仕様書毎にビルドバージョンを設定する	テスト仕様書管理画面で、テスト仕様書毎にビルドバージョンを設定します。 ビルドバージョンを一括で設定したい場合に利用します。

3. 設定するビルドバージョンを入力後、入力欄の右記にある追加ボタンを押下して追加します。

CAT COMPUTER AIDED TEST

プロジェクト ▾

課題登録

Ishi

ビルドバージョンの設定

☒ ビルドバージョンを利用する

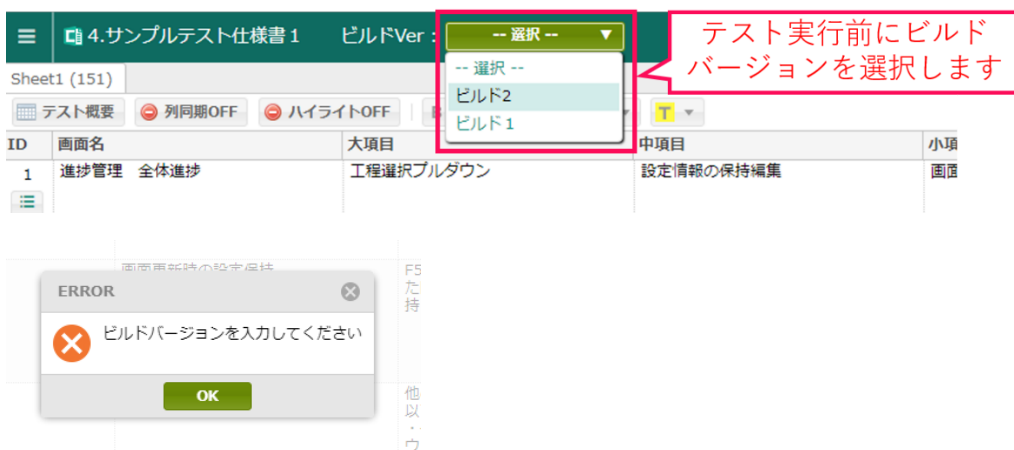
ビルドバージョン	概要	
<input type="text" value="B0103"/>	<input type="text" value="XX画面の仕様変更の反映"/>	<button>追加</button>
1 2017/03/14	仕様Ver XX Spec XXX	
2 B0102	XXXXX	
3 B0101	XXに対する修正	

登録キャンセル

4. ビルドバージョンの追加が完了したら、下部にある登録ボタンを押下します。

17.5.2. テスト実行画面でビルドバージョンを設定する

ビルドバージョンの設定方法で「テスト実行時にビルドバージョンを設定する」を選択した場合は、テスト実行画面のヘッダーにあるビルドバージョンを選択してからテストを実行します。



※ビルドバージョンを選択せずにテストを実行しようとするするとエラーメッセージが表示されます。

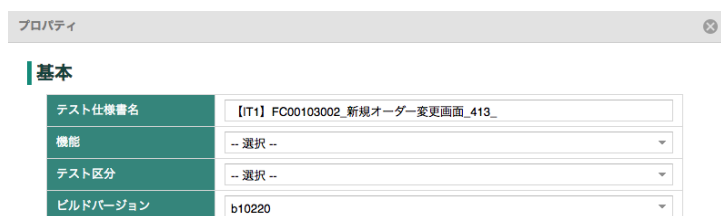
17.5.3. ビルドバージョンをテスト仕様書に設定する

ビルドバージョンの設定方法で「事前にテスト仕様書毎にビルドバージョンを設定する」を選択した場合、テスト仕様書毎にビルドバージョンを設定します。設定するには、テスト管理画面から次の手順で行ってください。

1. テスト管理画面>テスト仕様書一覧で、仕様書を選択後、その他>プロパティを開きます。

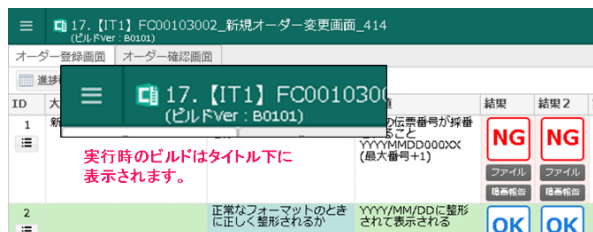


2. プロパティ画面にてビルドバージョンを選択します。



3. 更新ボタンを押して、設定を完了します。

4. 設定後、テスト実行画面を開くとタイトルの下にビルドバージョンが表示されます。



17.5.4. ビルドバージョンを活用する

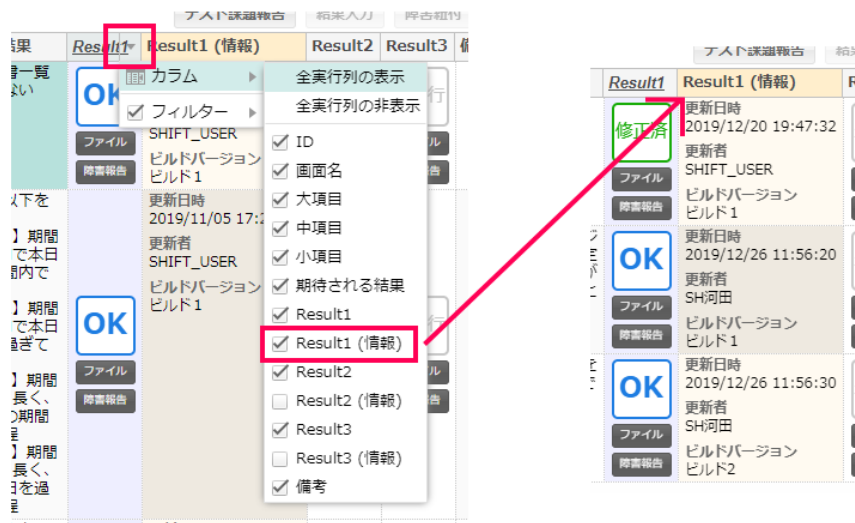
設定したビルドバージョンの活用する方法を説明します。

1. テストを実行したビルドバージョンを確認する

テスト結果の情報列・ケースの履歴で、テストを実行したビルドバージョンを確認できます。

テスト結果の情報列の表示方法

テスト実行画面 > 実行結果列のメニュー > カラム > 情報列



ケースの履歴の表示方法

テスト実行画面 > ケース毎のメニュー > 履歴表示



実施結果登録時に登録していたビルド番号が表示されます。

2. テスト管理画面からテスト結果の実施時のビルドバージョンを検索する

ビルドバージョンを利用してテスト結果を検索できます。

画面：テスト管理画面 > 検索テキストボックスの▼ > ビルドバージョン検索



検索ボタン押下後、ビルドバージョンでの検索結果



該当するビルドバージョン毎のテストケース数が表示されます。

3. テスト実行画面で、ビルドバージョンを利用してテスト結果を絞り込む
次の様に特定のビルドバージョンで登録した結果のみ、表示することができます。



4. テスト実行画面から報告した課題の発生ビルドバージョンとして登録する
課題の項目として発生ビルドバージョンを利用していた場合、課題報告時、発生ビルドバージョンとして自動的に登録されます。



17.6. 外部BTSの設定

CATは次の種類の外部BTSと連携し、外部BTSに起票されている課題情報(チケット)をCATに取り込むことでCAT上の課題情報に反映し、テストと課題を合わせた進捗状況の確認等に活用できます。

連携可能なBTSの種類

- Redmine
- JIRA
- Backlog

連携の仕組み

外部BTSと連携すると、CATが外部BTSに起票されている課題(チケット)情報を定期的に読み取り、CATの課題情報に同期します。

課題を同期する際、一部の処理を除き(※)外部BTSに対する書き込み処理は発生しません。連携した外部BTSに登録されている課題に影響なく利用できます。

※カスタムフィールドマッピングで「関連ケース数」をマッピングしている場合は、CATは日次夜間バッチで課題に紐づけられたケース数を集計し、外部BTSのチケット「関連ケース数」を更新します。

また連携設定済みのCATのプロジェクトから課題を起票する場合は、障害登録ボタンを押下後に外部BTSの起票画面に遷移するようになります。

※外部BTS連携機能を利用する場合、課題管理機能のメール通知機能は利用できません。

17.6.1. 外部BTS連携機能一覧

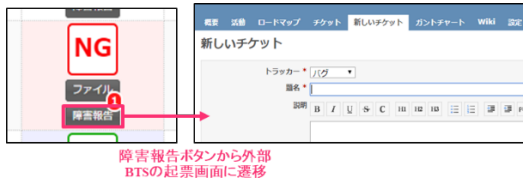
外部BTS連携を設定すると利用できる連携機能を説明します。

テスト実行画面での連携機能

障害登録ボタンから起票画面への遷移

障害登録ボタンを押下すると、起票画面に遷移します。

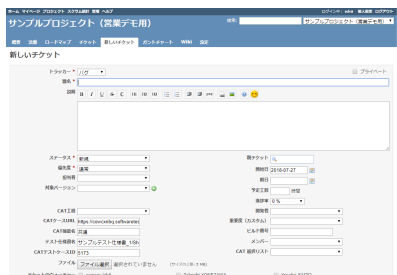
Redmineの起票画面に遷移(Redmineとの連携例)



起票時、CATの項目の自動入力

起票時、外部BTSのカスタムフィールドに発生機能・工程・テストケースURL等の情報を自動記入します。(Redmine・JIRAのみ)

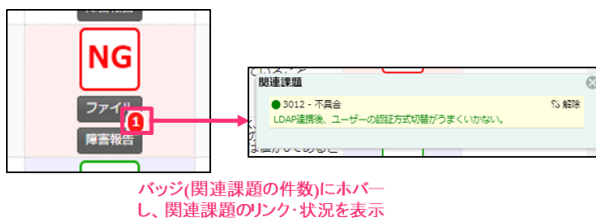
カスタムフィールドへの自動記入(Redmineとの連携例)



テストと課題の紐付け

障害紐付ボタンで外部BTS上の課題とテストケースの紐づけを実施。テストケースから関連課題数・関連課題のリンクを表示できます。

テストケースと課題の紐づけ機能



課題一覧画面での連携機能

課題一覧への表示

外部BTS上の情報(タイトル・種別・ステータス・カスタムフィールド等)を表示し、フィルタリング・グルーピングなどに活用できます。

外部BTSの課題情報の表示

タイトル	担当者	ステータス	重要度
キャンセルボタン押下時、ウィンドウが閉じない		新規	Normal
LDAP連携後、ユーザーの認証方式切替がうまくいか...		新規	Normal
進捗管理で各カラムに「(ハイフン)」が表示されてい...	ldap_sahil	新規	Normal
文字が多いと画面が崩れる。	菅 正和	新規	Major
CATから登録された顧客です。	菅 正和	対応中	Critical

外部BTSに起票されているチケットのタイトル・担当者・ステータス・カスタムフィールド等を表示

課題の関連テストケース数とリンクの表示

課題情報と紐付いたテストケースの情報とリンクを表示できます。

課題に関連するテストケースの表示

タイトル	ステータス	リンク
キャンセル	新規	リンク
LDAP連携	新規	リンク
進捗管理	新規	リンク
文字が多い	新規	リンク
CATから	対応中	リンク

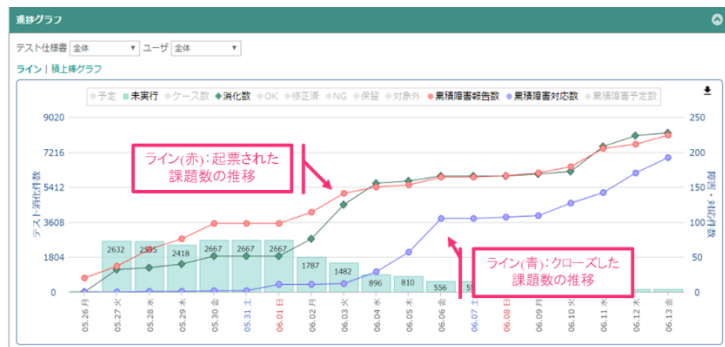
課題の関連ケース数とケースの場所・ステータスを表示

進捗画面での連携機能

進捗画面の課題数への反映

起票された課題・クローズした課題の数を進捗画面に反映します。

進捗情報へ課題数を反映

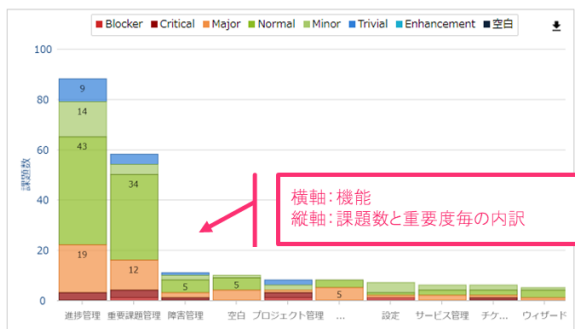


集計・分析画面での連携機能

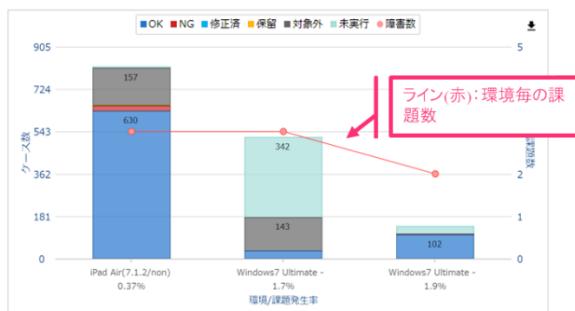
分析画面への課題数の反映

各種分析画面(機能・環境・信頼度・メンバー)の課題数に反映します。

機能分析へ課題数の反映



テスト集計・テスト環境別へ課題数の反映



17.6.2. 外部BTS連携を利用するための準備と設定

外部BTS連携を利用するための準備

外部BTS連携を利用するために以下の準備を行ってください。

CAT側の準備

種別を準備する

RedmineのトラッカーやJIRAの課題タイプを、CATの種別にマッピングして取り込みます。デフォルト(不具合・問合せ・要望)以外の種別にマッピングする必要がある場合、次の手順で種別を作成してください。

種別の設定手順

CATに種別を作成し、利用するプロジェクトに設定してください。

1. 課題設定でシステム全体の種別を設定(作成・名前の設定)します。
画面：課題管理 > 種別の管理
2. プロジェクトの課題設定で利用する種別を設定します。
画面：プロジェクト管理 > (各プロジェクト) > 課題の設定 > 種別と表示フィールドの設定

ステータスを合わせる

外部BTSの課題のステータスをCATのステータスにマッピングして取り込み、課題一覧の表示や進捗に反映します。外部BTSの課題のステータスに対応したCATのステータスを整備してください。

ステータスの設定手順

次の手順でステータスを作成、プロジェクトに設定してください。

1. システム全体のステータスを設定します。(作成・名前の設定)
画面：課題管理> ステータス管理
2. 各プロジェクトで利用するステータスを設定します。
画面：プロジェクト管理 > (各プロジェクト) > 課題の設定> ステータスの設定

プロジェクトに課題が無いことを確認する

外部BTS と連携するプロジェクトの課題管理に登録されている課題は、連携設定時に削除されます。残す必要がある課題が登録されている場合、CSVエクスポート・課題の移動等で退避してください。

また、種別・ステータス以外の項目を連携することで課題情報への表示や工程の振分なども可能になります。この他に連携可能な項目は[種別・ステータス以外に連携可能な項目](#)を参照してください。

外部BTS側の準備

CATから外部BTSへの接続経路を確認する

CATサーバから外部BTSに接続するための経路があるかを確認します。CATサーバと外部BTSのサーバが違うネットワークに存在する場合、CATからアクセスできるようにルーティング・ファイアーウォール等の設定が必要です。

CATから外部BTSへのアクセスを許可する

外部BTSのアクセス元をIPアドレスで制限している場合、CATのIPアドレスからのアクセスを許可する必要があります。クラウド版CATをご利用の場合IPアドレスはサポートまでお問い合わせください。

外部BTSの認証情報を作成する

CATが外部BTSから情報を取得する際に利用するユーザーを外部BTSに作成します。

上記の準備が完了したらプロジェクトの設定から外部BTS連携ウィザードで設定します。

外部BTSの連携設定手順

1. プロジェクト情報設定メニューから外部BTS設定を選択します。

プロジェクト管理

設定一覧	概要
基本情報の設定	プロジェクトの基本情報の設定を行います
詳細情報の設定	プロジェクトの詳細情報の設定を行います
課題の設定	課題管理機能で利用する課題の設定を行います
ビルドバージョンの設定	開発時の内部バージョンを管理します。
外部BTSの設定	サードパーティ製の課題管理ツールとの連携を行います
テスト環境の設定	テスト環境の設定を行います

プロジェクトトップに戻る

2. 外部BTS設定の参照画面で、編集ボタンを押します。

外部BTS設定

基本設定

外部BTS連携


OFF

編集

3. 外部BTS連携をONにすると接続情報の入力欄が表示されます。

外部BTS設定ウィザード(1/6)

1. 基本設定 > 2. 種別設定 > 3. 共通設定 > 4. 個別設定 > 5. 詳細設定 > 6. 確認



ここで、各種外部BTSの接続情報と種別(トラッカー)やステータスの連携設定を行います。連携手順の続きは、BTS毎に[Redmineと連携する](#)、[JIRAと連携する](#)、[Backlogと連携する](#)を参照してください

種別・ステータス以外に連携可能な項目

外部BTS連携時、外部BTSの各項目(ステータスやカスタムフィールド)をCATに設定されている各項目にマッピングすると、運用している外部BTSの内容をCATに表示したり、起票内容に応じて登録する工程に振り分けたりできます。

マッピングできる項目とマッピングするために事前に行う設定を次に記載します。

工程マッピングの事前設定

外部BTSの項目「対象バージョン」やその他のカスタムフィールドと工程を紐付けて、各チケット情報を取り込みます。工程の設定は以下の画面で実施してください。

工程の設定画面：プロジェクト管理 > (各プロジェクト) > 基本情報の設定 > 工程

優先度・重要度マッピングの事前設定

外部BTSのチケット情報を取り込んだ際、起票された優先度・重要度を課題一覧に表示したり、分析画面で利用したりできます。CATの優先度・重要度の設定は以下の画面で行って下さい。

優先度・重要度の設定画面：課題管理 > 共通フィールドの管理

開発者マッピング

Redmine・JIRAのフィールドとマッピングすると分析画面で開発者毎の障害数分析ができます。利用するためには、以下の設定を事前に行って下さい。

事前に必要となるCATの設定

利用する種別にフィールド「開発担当者」を紐付けてください。

1. 題設定で開発担当者を種別に紐付けます。

画面：課題管理> 種別の管理 にて、種別に開発担当者を紐付けます。

2. プロジェクト毎に開発担当者を種別に紐付けます。

画面：プロジェクト管理 > (各プロジェクト) > 課題の設定 > 種別と表示フィールドの設定 > 種別名をクリック

カスタムフィールド

設定すると、次の機能が利用できます。

- 仕様書名(Redmine)・ケースURL等の特殊なフィールドをマッピング時は実行画面からの起票時、外部BTSのカスタムフィールドに自動で追記します。
- 外部BTSのチケット情報を取り込んだ際、外部BTSのカスタムフィールドの値をCATの課題一覧に表示できます。

利用するには以下の設定を事前に行って下さい。

事前に必要となるCATでの設定

次の手順でカスタムフィールドを作成、利用する種別に紐付けてください。

1. 次の画面の課題設定でカスタムフィールドを作成し、種別に紐付けます。
画面：課題管理> カスタムフィールドの管理 にて、カスタムフィールドを作成します。
画面：課題管理> 種別の管理 にて、種別とカスタムフィールドを紐付けます。
2. 次の画面でプロジェクト毎に利用する種別にカスタムフィールドの紐付けます。
画面：プロジェクト管理 > (各プロジェクト) > 課題の設定 > 種別と表示フィールドの 設定 > 種別名をクリック

17.7. Redmineと連携する

外部BTS設定ウィザードの最初の画面からRedmineの連携方法を次の順番で説明します。

- Redmineの連携設定
- 課題登録
- 連携の更新

17.7.1. Redmineの連携設定

外部BTS設定ウィザード(1/6) - 接続情報の入力

はじめにRedmineへの接続情報を入力します。

 **CAT** COMPUTER AIDED TEST プロジェクト ▾ 課題登録 Suguru Ishii  

外部BTS設定ウィザード(1/6)
1. **基本設定** > 2. 種別設定 > 3. 共通設定 > 4. 個別設定 > 5. 詳細設定 > 6. 確認

外部BTS連携	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
外部BTS	<input checked="" type="radio"/> Redmine <input type="radio"/> JIRA <input type="radio"/> Backlog
URL	https:// :8091 <input type="checkbox"/> ベーシック認証 ユーザ名 <input type="text"/> パスワード <input type="text"/>
APIアクセスキー	<input type="text"/>
プロジェクト識別子	cat4-11-300-project-for-testing-sa
サブプロジェクト連携	<input checked="" type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON

ヘルプ 戻る 次へ キャンセル

項目名	説明
外部BTS連携	外部BTS連携を行うか決めます。
種別	Redmineを選択します。
URL	<p>連携するRedmineホームのURLを入力します。</p> <p>Redmineにベーシック認証がかかっている場合、認証情報を入力してください。</p>
ベーシック認証	Redmineにベーシック認証がかかっている場合、チェックボックスをチェックして、ユーザー名・パスワードを入力してください。
APIアクセスキー	<p>RedmineのAPIアクセスキーを入力します。Redmineの個人設定画面で確認することができます。</p> <p>※管理者ユーザー以外のAPIキーを入力する場合、自動でユーザマッピングされないため、後述の別途ユーザー紐付け機能をご利用ください。</p> <p>参考：RedmineとCATのユーザーを紐付ける</p>
プロジェクト識別子	連携するRedmineのプロジェクト識別子を入力します。Redmineのプロジェクトの設定画面で確認することができます。
サブプロジェクト連携	<p>サブプロジェクトのチケットも取り込む場合、ONに設定します。</p> <p>その際、Redmineの次の点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> Redmineのプロジェクトにサブプロジェクトがあること Redmineの設定で「サブプロジェクトのチケットをメインプロジェクトに表示する」の設定をONになっていること(※) <p>※また「サブプロジェクトのチケットをメインプロジェクトに表示する」の設定をONにしているプロジェクトは必ずサブプロジェクト連携をONにしてください。カスタムフィールドのマッピングができない場合があります。</p>

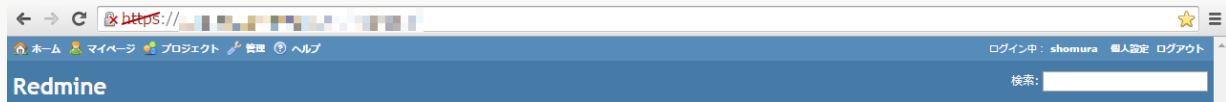
Redmineの接続情報を入力してエラーになる場合、次の項目を確認してください。

- 各種入力情報が誤っていないか。
- CAT(インターネットもしくはサーバー)からRedmineへの接続経路があるか。
→IPアクセス制限やF/W等を確認してください。
- ログイン情報を設定しているユーザーに、プロジェクトの参照権限があるか

(参考)Redmineの各種情報の確認方法

APIアクセスキーやプロジェクト識別子等の確認箇所を順番に説明します。

1. URLはRedmineにログインし、ホームへ移動したときに表示されるURLを入力してください。



2. APIアクセスキーを確認するには、個人設定をクリックします。

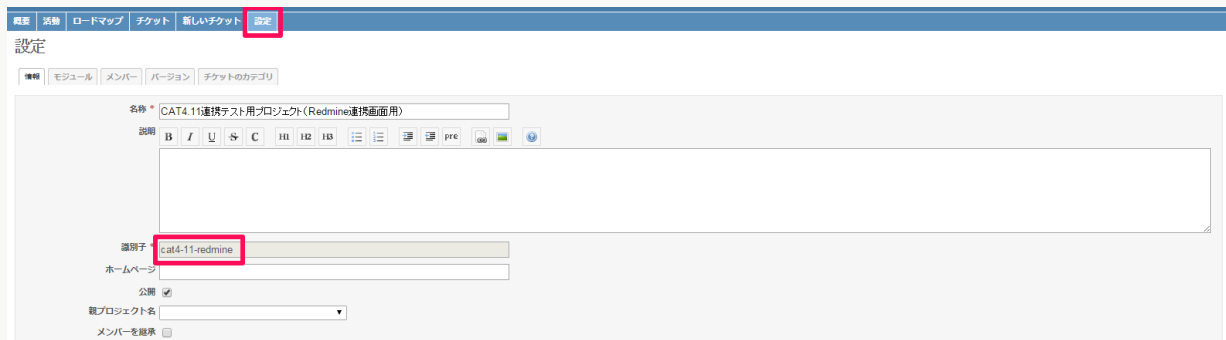


3. 画面右にAPIアクセスキー項目が表示されるので、「表示」のリンクをクリックすると、キーを確認できます。



- ここで設定するキーはCATがRedmineから課題情報を取得する際に利用するアカウント情報となります。テスト実施時、Redmineに起票するためのアカウントは、ユーザー毎に作成する必要があります。
- APIアクセスキーが表示されていない場合は、Redmineのメインメニューから、管理>設定>認証タブに表示されている「RESTによるWebサービスを有効にする」をONにしてください。
- チケットの閲覧権限を持つユーザーのAPIアクセスキーが必要です。システム管理者のAPIキーであれば、メールアドレスをキーとして自動でのユーザー情報の連携も可能となります。

4. プロジェクト識別子を確認するには、連携するRedmineのプロジェクトの設定を表示します。設定画面に表示される識別子を入力してください。



外部BTS設定ウィザード(2/6) - 種別設定と取り込むチケットの範囲の指定

種別設定と取り込むチケットの範囲の指定を行う。

種別マッピングは、Redmineのトラッカーに対応するCATの分類をプルダウンから選択して設定します。連携しないを選択すると、そのトラッカーのチケットは同期しません。

カスタムクエリは、CATに同期するチケットを絞り込む設定です。ここで指定したカスタムクエリの対象外のチケットは同期しません。API連携キーを発行したユーザーが作成したカスタムクエリを利用できます。

課題種別とトラッカーのマッピング手順

1. 選択 トラッカー(Redmine)をクリックして利用するトラッカーを選択します。

外部BTS設定ウィザード(2/6)

1. 基本設定 > 2. 種別設定 > 3. 共通設定 > 4. 個別設定 > 5. 詳細設定 > 6. 確認

定義外 連携しない

トラッカー (Redmine)	種別 (CAT)
バグ	不具合
選択 トラッカー (Redmine)	
バグ	
サポート	

2. トラッカー(Redmine)・種別(CAT)にトラッカー表示されるので、行の種別欄をクリックしてマッピングする種別を選択します。

定義外 連携しない

トラッカー (Redmine)	種別 (CAT)
バグ	不具合
サポート	連携しない
選択 トラッカー (Redmine)	
バグ	連携しない
サポート	不具合
	警告
	問い合わせ

3. RedmineのトラッカーとCATの種別のマッピングがされます。

定義外 連携しない

トラッカー (Redmine)	種別 (CAT)
バグ	不具合
サポート	問い合わせ

※種別マッピングは最低一つを連携する必要があります。

画面項目の説明

項目名	説明
定義外	<p>チケットの取込時、マッピングしていないトラッカーのチケットを取り込んだ場合の通知の有無を選択します。</p> <p>連携しない</p> <p>未マッピングのチケットを警告なく取込除外します。</p> <p>警告する(連携しない)</p> <p>警告して取込除外します。</p>
トラッカー (Redmine)・ 種別(CAT)	RedmineのトラッカーとCATのどの種別として取り込むかのマッピングをします。
カスタムクエリ	Redmineで定義したカスタムクエリに基づいてCATに取り込むチケットをフィルタリングします。

外部BTS設定ウィザード(3/6) - 共通設定

共通設定項目では、次の項目を設定します。

- 工程
- ステータス
- 優先度
- 重要度
- 機能
- 開発者
- 納期

それぞれRedmine側の値に対応するCATの値を設定します。 尚、再設定時等、次ページ以降の設定をそのまま引き継ぎ省略する場合、画面右上の「以降の設定をスキップする」ボタンを押してください。確認画面にジャンプします。

以下で各種マッピングの設定方法を説明します。

工程マッピング

工程マッピングではCATの工程に紐付けるフィールド及びマッピングする値の設定を行います。 まず、連携するフィールドをRedmineの対象バージョンもしくはカスタムフィールドから選択します。

Redmineの「対象バージョン」を選択した場合のみ、次の様なマッピング画面が表示されます。選択 対象バージョン(Redmine)からRedmineのバージョンを選択しリストに表示した後、マッピングする工程を設定します。

連携フィールドに「対象バージョン」を選択した場合のマッピング画面

The screenshot displays the '工程マッピング' (Engineering Mapping) configuration interface. It includes dropdown menus for 'デフォルト工程' (Default Engineering) set to 'バージョン1', '連携するフィールド' (Field to link) set to '対象バージョン' (Target Version), and '定義外' (Undefined). A table below lists mappings for '対象バージョン' (Target Version) and '工程 (CAT)' (Engineering (CAT)). For V1, the CAT engineering is 'バージョン1'. For V2, it is 'バージョン2'. A search dropdown is open, showing a list of Redmine versions (V1, V2, V3, V4) with V3 selected.

対象バージョン	工程 (CAT)
V1	バージョン1
V2	バージョン2

選択 対象バージョン (Redmine)

選択 対象バージョン (Redmine)

V3

V4

画面項目の説明

項目名	説明
デフォルト工程	連携するフィールドでマッピングのない値が入っていた際のチケットの取込先工程を選択します。
連携するフィールド	<p>RedmineのチケットをCATの各工程に取込む場合、キーとなるRedmineのフィールドを設定します。</p> <p>対象バージョンもしくは任意のカスタムフィールドを選択します。</p> <p>連携するフィールドに設定した項目と、取込の挙動</p> <p>対象バージョン</p> <p>下記のマッピング表の設定に基づいて工程に取込みます。</p> <p>任意のカスタムフィールド</p> <p>カスタムフィールドの値が工程名と一致する工程に取込みます。</p> <p>一致しない場合、デフォルト工程に取り込みます。</p> <p>連携しない</p> <p>全てのチケットをデフォルト工程に取込みます。</p>
定義外	<p>対象バージョン選択時のみ表示されます。下記のマッピング表で選択の無い対象バージョンの取込先と警告の有無を設定します。</p> <p>デフォルト値</p> <p>デフォルト工程に取込みます。</p> <p>連携しない</p> <p>取込みません。</p> <p>警告する(連携しない)</p> <p>取り込まず、警告のみ表示します。</p>
対象バージョン (Redmine)と工程 (CAT)のマッピング表	対象バージョン選択時のみ表示されます。対象バージョンから、マッピングしたい項目を選択して、CATの工程とマッピングします。

ステータスマッピング

ステータスマッピングでは取込対象とするRedmineのステータス及び、対応するCATのステータスを設定します。

選択 ステータス(Redmine)からステータスを選択後、ステータスのマッピング表で紐付けるCATのステータスを選択してください。

ステータスマッピング

デフォルトステータス	新規	
定義外	連携しない	
ステータス (Redmine)	ステータス (CAT)	
新規	新規	✕
進行中	着手中	✕
解決	修正完了	✕
フィードバック	差し戻し	✕
却下	差し戻し	✕
終了	終了	✕
選択 ステータス (Redmine)		

画面項目の説明

項目名	説明
デフォルトステータス	定義外もしくはマッピング表のステータス(CAT)でデフォルト値を選択した場合にマッピングするステータスです。
定義外	<p>マッピング表で設定のないRedmineのステータスの対応を設定します。</p> <p>デフォルト値</p> <p>デフォルトステータスとして取込みます。</p> <p>連携しない</p> <p>取込みません。</p> <p>警告する(連携しない)</p> <p>取り込まず、警告のみ表示します。</p>

優先度マッピング

優先度マッピングではCATの優先度に連携したいフィールド(Redmineの優先度もしくはカスタムフィールド)、及び対応する値の設定をします。 連携するフィールドにRedmineの優先度を設定した場合、連携フィールド選択後、マッピング表が表示されます。対応する優先度を設定してください。設定のない優先度についてはデフォルト優先度が割り当てられます。 連携するフィールドにRedmineのカスタムフィールドを設定した場合、マッピングしたフィールドの値とCATの優先度が一致すれば優先度が表示されます。(一致しない場合は空白)場合、CATのプロジェクト内で優先度を使用しない場合(連携するフィールドに優先度以外を設定した場合)、マッピング表は非表示となります。

優先度マッピング

デフォルト優先度	P3 (中)	
連携するフィールド	優先度	
優先度	優先度 (CAT)	
急いで	P5 (高)	✕
今すぐ	P4 (中高)	✕
通常	P3 (中)	✕
低い	P1 (低)	✕
選択 優先度 (Redmine)		

重要度マッピング

重要度マッピングではCATの重要度に連携したいフィールド(Redmineの優先度もしくはカスタムフィールド)、及び対応する値の設定をします。

操作は①と同様です。連携するフィールドにRedmineの優先度を設定した場合、連携フィールド選択後、マッピング表が表示されます。対応する重要度を設定してください。設定のない重要度についてはデフォルト重要度が割り当てられます。

連携するフィールドにRedmineのカスタムフィールドを設定した場合、マッピングしたフィールドの値とCATの重要度が一致すれば重要度が表示されます。(一致しない場合は空白) + する場合、CATのプロジェクト内で重要度を使用しない場合(連携するフィールドに優先度以外を設定した場合)、マッピング表は非表示となります。

重要度マッピング

デフォルト重要度Normal

連携するフィールド優先度

優先度	重要度 (CAT)	
高め	Blocker	✕
通常	Normal	✕
低い	Minor	✕

選択 優先度 (Redmine)

機能マッピング

機能マッピングでは、CATの機能に紐付けたいカスタムフィールドを設定します。連携するカスタムフィールドをドロップダウンから選択してください。連携すると次の機能が利用できます。

- 起票時にCATの機能名が登録されます。
- 分析画面においてチケットに登録された機能を元に機能毎分析が利用できるようになります。

機能マッピング

連携するフィールドCAT機能名

開発者マッピング

開発者マッピングでは、CATの開発担当者に紐付けたいカスタムフィールドを設定します。レ連携するフィールドにRedmineの担当者かユーザータイプのカスタムフィールドをマッピング選択してください。分析画面でチケットに登録された開発者を元に開発者分析ができるようになります。

納期マッピング

納期マッピングでは、CATの納期と期日フィールドの紐づけを設定します。

各項目の設定が完了したら次へボタンを押して、次の画面に進んで下さい。

外部BTS設定ウィザード(4/6) - 個別設定

個別設定を行います。トラッカー毎に連携キー及びカスタムフィールドを設定します。

CAT COMPUTER AIDED TESTプロジェクト 評価登録 Suguru Ishii

外部BTS設定ウィザード(4/6)
1. 基本設定 > 2. 種別設定 > 3. 共通設定 > 4. 個別設定 > 5. 詳細設定 > 6. 確認
以前の設定をスキップする

カスタムフィールドマッピング

トラッカーバグ

連携キーCAT連携キー

カスタムフィールド (Redmine)フィールド (CAT)

関連テストケース数関連ケース数

フィールドの選択

ヘルプ戻る次へキャンセル

テストケースとの紐付には連携キーの設定が必須です。

273

画面項目の説明

項目名	説明
トラッカー	連携キーとカスタムフィールドのマッピングをするトラッカーを選択します。
連携キー	トラッカー毎に、連携キーとして利用するRedmineのカスタムフィールド(テキストフィールドタイプ)を設定すると、実行画面からの起票時にケースと障害の紐付けができます。
カスタムフィールド (Redmine)・ フィールド (CAT) マッピング表	<p>トラッカー毎に、CATのカスタムフィールドとRedmineのカスタムフィールドを紐付け(マッピング)設定します。マッピングすると次の機能が利用できます</p> <ul style="list-style-type: none"> CATの課題一覧に表示しフィルタリング等に利用できます。 次の特殊なフィールドをマッピングするとチケット起票時等にCATの情報を追加でき、規模の把握や分析などに利用できます。 <p>特殊なフィールドと利用できる機能</p> <p>関連ケース数</p> <p>連携したフィールドに紐付きケース数を書き込みます。 ケース数が変わった場合、日次でRedmineを更新します。</p> <p>テストケースURL</p> <p>テスト実行画面から起票した際のテスト仕様書・ケースのURLが登録されます。</p> <p>テスト仕様書名</p> <p>テスト仕様書のシート名が登録されます。</p>

課題とケースの紐付けの例



※上記のマッピング表にRedmineのカスタムフィールドを追加したとき、紐付先のCAT側フィールドとして選択肢に表示されるのは、RedmineのカスタムフィールドタイプにCATのフィールドタイプが対応している場合のみです。フィールドの対応関係については[Redmineフィールド対応関係](#)を参照してください。

※カスタムフィールドを選択するには、連携対象のトラッカーごとに、連携したRedmineに1つ以上の起票が必要です。起票がない場合、カスタムフィールドが表示されないため、ダミー等のチケットを登録してください。

各項目の設定が完了したら次へボタンを押して、次の画面に進んで下さい。

外部BTS設定ウィザード(5/6) - 詳細設定

詳細設定では連携時の警告について設定します。詳細設定では以下の2つの設定ができます。

外部BTS設定ウィザード(5/6)

1. 基本設定 > 2. 種別設定 > 3. 共通設定 > 4. 個別設定 > 5. 詳細設定 > 6. 確認

ユーザー連携の警告	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
エラー通知先	開発 中沢 ▾

[ヘルプ](#) [戻る](#) [次へ](#) [キャンセル](#)

画面項目

項目名	説明
ユーザー連携の警告	管理者権限をもったRedmineのAPIキーを連携に利用した際、CATとRedmineで紐付けできない(※)ユーザーが存在した場合の警告の有無を設定します。 ※RedmineのユーザーとCATのユーザ(担当者・開発担当者等)はメールアドレスをキーとして紐付け連携します。 ※管理者権限の無いユーザーで連携した場合、警告は発生しません。
エラー通知先	連携エラーが発生した場合に、メールで通知するメンバーを設定します。

ユーザー連携の警告は外部BTS連携詳細情報画面で確認できます。この画面は、課題一覧の上にある警告(詳細)リンクから開くことができます。CATに登録されていないメールアドレスのユーザーがチケットの担当者や作成者である場合に、そのメールアドレス、ユーザー名、チケット番号、プロジェクト名が表示されます。

課題管理画面、連携警告発生時の例

課題管理画面、連携警告発生時の例

外部BTS連携詳細情報

更新日時: 2015-08-12 16:21

No.	種別	内容
1	警告	プロジェクト:CAT4.11連携テスト用プロジェクト (Redmine連携画面用) ,チケット:1237 担当者(test-user@shiftinc.jp)がCATに登録されていません。
2	警告	プロジェクト:CAT4.11連携テスト用プロジェクト (Redmine連携画面用) ,チケット:1237 作成者(riku.shomura@shiftinc.jp)がCATのプロジェクトメンバーになっていません。
3	警告	プロジェクト:CAT4.11連携テスト用プロジェクト (Redmine連携画面用) ,チケット:1236 担当者(riku.shomura@shiftinc.jp)がCATのプロジェクトメンバーになっていません。
4	警告	プロジェクト:CAT4.11連携テスト用プロジェクト (Redmine連携画面用) ,チケット:1236 作成者(riku.shomura@shiftinc.jp)がCATのプロジェクトメンバーになっていません。
5	警告	プロジェクト:CAT4.11連携テスト用プロジェクト (Redmine連携画面用) ,チケット:1235 担当者(riku.shomura@shiftinc.jp)がCATのプロジェクトメンバーになっていません。

各項目の設定が完了したら次へボタンを押して、次の画面に進んで下さい。


外部BTS設定ウィザード(6/6) - 設定内容確認

設定を確認し、設定が正しければ登録ボタンを押してください。

外部BTS設定ウィザード(6/6)

1. 基本設定 > 2. 種別設定 > 3. 共通設定 > 4. 個別設定 > 5. 詳細設定 > 6. 確認

基本設定

モード : 同期モード
外部BTS : Redmine
URL : 
プロシユ
サブプロジェクト連携 : ON

種別設定

バグ : 不具合
機能 : 連携しない
サポート : 連携しない
課題 : 連携しない
CatIssue : 連携しない
Status_1 : 連携しない

外部BTSの設定を正常に登録完了すると下図のような画面が現れます。一覧に戻るボタン、または詳細に戻るボタンを押して外部BTSの設定を終了してください。

外部BTS設定完了

設定が保存されました。
連携が完了するまでしばらくお待ちください。

一覧に戻る

詳細に戻る

※外部BTS連携更新を行うとそのプロジェクトで登録していたCAT上の課題は削除されます。必要な課題は連携前にダウンロード等を行って下さい。

連携ステータス

連携設定完了後、設定した連携のステータスはプロジェクトトップ等で確認することができます。警告またはエラーの場合はステータスボタンをクリックし外部BTS連携詳細情報を確認してください。

プロジェクトステータス

プロジェクト設定

▼プロジェクト

プロジェクト状況

登録中・配属

識別子SAMPLE

現在の工程Sample Process

バージョン-

開始日2016/01/03

終了予定日2016/01/25

経過日数15

レポート

メール送信

連携ステータス

警告

添付ファイル

▼サマリー

テスト件数	306	前日までの完了予定数	0 (0)	登録課題数	65	発生テスト課題数	0
実施件数	306	予定進捗率(件数)	0 %	対応済み課題数	0	対応済み課題数	0
未実施件数	0	予定進捗率(工数)	0 %	残課題数	65	残課題数	0
全体進捗率	100 %	今日の進捗	306 (0)				

▼テスト状況

テスト仕様書一覧	担当者	合計	実施済み	未実施	予定差異
493. 1. ST_CAT作成～プロジェクト作成	-	94	94	0	94
497. 6. ST-分析	-	30	30	0	30
495. 3. ST-実行管理	-	88	88	0	88
494. 2. ST-ケース管理	-	94	94	0	94

17.7.2. 課題登録

1. 連携設定後にCAT上で課題報告ボタンを押すと、下図のようなポップアップが表示されます。
2. 課題報告を行うRedmineのプロジェクトとトラッカーを選択してください。
※サブプロジェクトを連携していない場合はトラッカーだけの選択となります。

障害報告

プロジェクトを選択してください

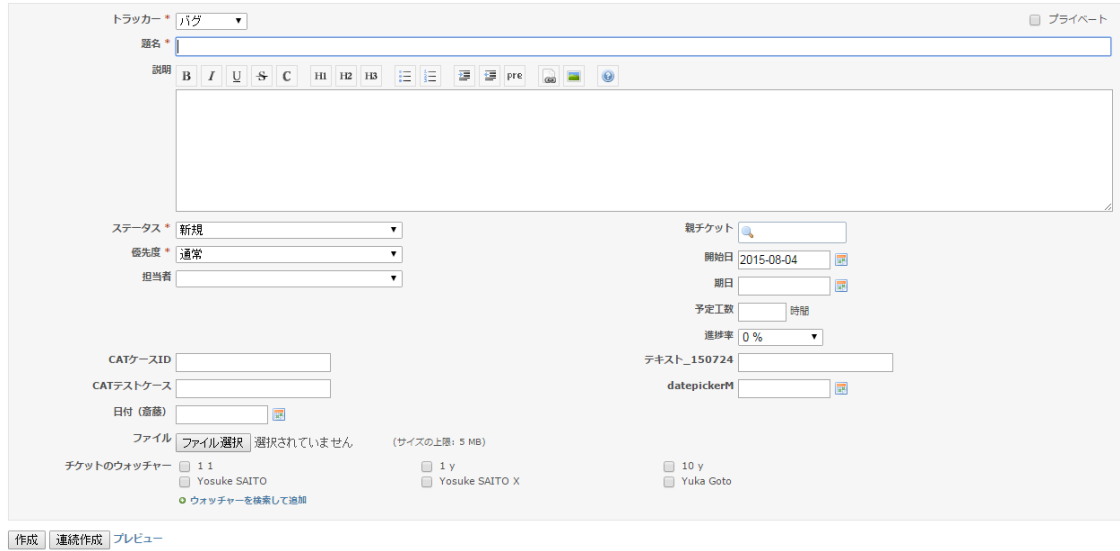
トラッカーを選択してください

登録

キャンセル

3. 連携するRedmineの課題作成画面が開きます。項目を入力し課題の作成を行ってください。

新しいチケット



The image shows the 'New Ticket' form in Redmine. It includes fields for 'Tracker' (set to 'バグ'), 'Subject', 'Description' (with a rich text editor), 'Status' (set to '新規'), 'Priority' (set to '通常'), 'Assignee', 'Parent Ticket', 'Start Date' (2015-08-04), 'Due Date', 'Estimated Time', 'Progress' (0%), 'Text' (with a text area), and 'Datepicker'. There are also checkboxes for 'CAT Case ID', 'CAT Test Case', and 'File'. At the bottom, there are buttons for 'Create', 'Create & Continue', and 'Preview'.

4. 入力を終えたら作成ボタンを押して下さい。



The image shows the 'Ticket #1210' view in Redmine. It displays the ticket details for 'ShomuraTest' created by 'Riku Shomura'. The status is '新規' (New), priority is '通常' (Normal), and the start date is '2015/08/04'. The progress is 0%. There are sections for 'Sub Tickets' and 'Related Tickets', both with a '追加' (Add) button.

課題起票後、CATに取り込みされるのは通常1時間毎の同期時となります。即時で同期した場合、次の連携の更新を行って下さい。

17.7.3. 連携の更新

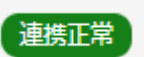


課題管理画面・テスト実行画面から外部BTS連携更新ボタンを押すと、即時でRedmineの情報を取込みます。



The image shows the '課題一覧' (Ticket List) in the CAT system. It includes a header with 'CAT COMPUTER AIDED TEST' and a navigation bar with 'プロジェクト管理', 'スコープ管理', 'スケジュール管理', 'テスト管理', '課題管理', '進捗管理', and '分析'. The main table lists tickets with columns for 'フィルター', 'サマリー', 'ID', 'ケースID', '種別', 'タイトル', '担当者', 'ステータス', '重要度', and '更新時間'. The first ticket is 'NAKANOEAST-22' with status '確認完了' and priority 'Normal'.

連携時、確認事項の有無に応じて(定義の無い種別のチケットを取り込んだ等)次の様にステータスが表示されます。警告・エラーの場合、ステータスをクリックし内容を確認後、対応してください。

連携ステータスの状態

表示例	説明
	警告・エラーなく正常に連携している状態です。
	定義のないチケットを取り込んだ際、マッピングできないユーザーがいた場合等に表示されます。このボタンをクリックして警告内容を確認し、必要に応じて対応してください。
	外部BTSへの接続が失敗した場合等に表示されます。このボタンをクリックしてエラー内容を確認し、対応してください。エラー発生時は対応後、再度外部BTS連携ウィザードを完了する必要があります。

RedmineとCATのユーザーを紐付ける

利用しているRedmineのAPIキーが管理者でない場合やRedmineのメールアドレスとCATのメールアドレスが一致しない場合は手動でマッピングができます。

※CATはEメールアドレスを参照してユーザ情報をマッピングしているため、RedmineのEメールアドレスを取得できない場合や、CATに登録されていないEメールアドレスがRedmineにあるとユーザのマッピングができません。

手動での紐付け方法

1. 紐付けができなかったユーザがいた場合、課題管理画面のユーザ紐付が赤文字で表示されます。このボタンをクリックします。



2. 表示されたポップアップで、マッピングされていないユーザに対してCATのユーザ名を紐付けて下さい。

外部BTSユーザ名 (ID)	CATユーザ名
1 Allen Chen (100)	Allen Chen
2 naoaki mizuguchi (5)	Naoaki Mizuguchi
3 suguru ishii (90)	Suguru Ishii
4 ugaji ugaji (7)	--選択--
5 Ugaji(30)	--選択-- --選択-- ugaji

画面項目の説明

項目名		説明
一括操作	既存紐付利用	同一URLの外部BTSを利用した別プロジェクトから紐付け情報を参照して設定します。
	クリーンアップ	現在、CATに取り込まれていない課題に設定されていた外部BTSのユーザー名を一括削除します。
フィルターのクリア		グリッドのフィルターを解除します。
ヘルプアイコン(i)		紐付け機能のヘルプを表示します。

3. 設定後、登録ボタンを押すと完了します。

Redmineフィールド対応関係

以下は外部BTSとCATのフィールド対応関係です。カスタムフィールドの連携マッピングを行う時等に参照してください。なお、外部BTS上に課題が存在しない場合カスタムフィールドの取り込みを行うことはできません。

カスタムフィールドマッピングで連携できるCATのフィールドと対応するタイプ

CATの項目・カスタムフィールド	CATのフィールドタイプ	Redmineのカスタムフィールドタイプ
連携キー	-	テキスト
テスト仕様書名	-	テキスト
テストケースURL	-	テキスト・リンクタイプ
関連ケース数	-	テキスト
カスタムフィールド	テキスト(1行)	テキスト
カスタムフィールド	テキスト(複数行)	長いテキスト、テキスト
カスタムフィールド	ラジオボタン	リストから選択、テキスト
カスタムフィールド	チェックボックス	真偽値
カスタムフィールド	単体選択	リストから選択、テキスト
カスタムフィールド	複数選択	リストから選択(複数選択可)、テキスト
カスタムフィールド	URL	テキスト
カスタムフィールド	ラベル	-
カスタムフィールド	日付	日付
カスタムフィールド	日付+時間	-

17.8. JIRAと連携する

外部BTS設定ウィザードの最初の画面からJIRAの連携方法を次の順番で説明します。

- JIRAの連携設定
- 課題登録
- フィールド連携
- 連携の更新

17.8.1. JIRAの連携設定

外部BTS設定ウィザード(1/6) - 接続情報の入力

はじめに接続情報を入力します。

外部BTS設定ウィザード(1/6)

1. 基本設定 > 2. 種別設定 > 3. 共通設定 > 4. 個別設定 > 5. 詳細設定 > 6. 確認

外部BTS連携	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
外部BTS	<input type="radio"/> Redmine <input checked="" type="radio"/> JIRA <input type="radio"/> Backlog
URL	<input type="text"/>
ユーザー情報	ユーザ名 <input type="text"/> パスワード <input type="password"/>
プロジェクトキー	<input type="text"/>

期票事項:

サブタスクに起票する場合、実行管理画面から障害登録をするときテストケースや機能の情報は初期入力されません。
手動入力いただくか、テストケースと障害の紐づけについては、障害登録後に障害紐づけ機能を利用して行ってください。

ヘルプ

戻る

次へ

キャンセル

項目名	説明
外部BTS連携	外部BTS連携を行うか決めます。
種別	JIRAを選択します。
URL	連携するJIRAのトップページのURLを入力します。
ユーザー情報	JIRA連携に用いるユーザー名とパスワードを入力してください。連携に用いるユーザーは連携するプロジェクトの閲覧権限が必要になります。
プロジェクトキー	連携するJIRAのプロジェクトのキーを入力します。プロジェクトキーはJIRAのプロジェクトの編集画面で確認できます。

(参考)JIRAの各種情報の確認方法

APIアクセスキーやプロジェクト識別子等の確認箇所を順番に説明します。

- URLはJIRAにログイン後、トップページで表示されるURLを入力してください。
下図の場合のURLはhttp://example/です。



- ユーザー名・パスワードはJIRAに設定しているものを入力してください。JIRA連携に用いるユーザーは連携するプロジェクトの閲覧権限が必要になります。
- プロジェクトキーはJIRAのプロジェクトを表示し確認してください。



入力を終わったら次へボタンを押します。

外部BTS設定ウィザード(1/6)

1. 基本設定 > 2. 種別設定 > 3. 共通設定 > 4. 個別設定 > 5. 詳細設定 > 6. 確認

外部BTS連携	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
外部BTS	<input type="radio"/> Redmine <input checked="" type="radio"/> JIRA <input type="radio"/> Backlog
URL	http:// <input type="text"/> /jira
ユーザー情報	ユーザ名 <input type="text" value="suguru.ishii"/> パスワード <input type="password" value="*****"/>
プロジェクトキー	<input type="text" value="NAKANOEAST"/>

期票事項:

サブタスクに起票する場合、実行管理画面から障害登録をするときテストケースや機能の情報は初期入力されません。
手動入力いただくか、テストケースと障害の紐づけについては、障害登録後に障害紐づけ機能を利用して行ってください。

ヘルプ

戻る

次へ

キャンセル

+ .JIRAの接続情報を入力してエラーになる場合、次の項目を確認してください。

- 各種入力情報が誤っていないか。
- CAT(インターネットもしくはサーバー)からJIRAへの接続経路があるか。
→IPアクセス制限やF/W等を確認してください。
- JIRAの認証形式がBASIC認証となっているか。
→SSO（シングルサインオン）やOAuth等の認証方式は利用できません。
- ログイン情報を設定しているユーザーに、プロジェクトの設定権限があるか
- ログイン情報を設定しているユーザーでログインして、CAPTCHAが要求されていないか
→JIRAで一定回数パスワードを間違えると、JIRAのログイン時、CAPTCHAが要求されます
この状態の時は連携に失敗するため、一度直接JIRAにログインしてください。

各項目の設定が完了したら次へボタンを押して、次の画面に進んで下さい。

外部BTS設定ウィザード(2/6) - 種別設定と取り込むチケットの範囲の指定

種別設定と取り込むチケットの範囲の指定を行います。

種別マッピングは、JIRAの課題タイプに対応するCATの種別をプルダウンから選択して設定します。連携しないを選択すると、その種別タイプのチケットは同期しません。

JQLは、CATに同期するチケットを絞り込む設定です。ここで指定したJQLの対象外のチケットは同期しません。

例えばstatus = open and priority = urgent and assignee = jsmithなどの条件を指定できます。

JQLの詳細については次のURLサイトを参照してください。

Advanced Searching(JIRAドキュメント(英語)): <https://confluence.atlassian.com/jira/advanced-searching-179442050.html>

課題種別と課題タイプのマッピング手順

1. 選択 課題タイプ(JIRA)をクリックして利用する課題タイプを選択します。

2. 課題タイプ(JIRA)・種別(CAT)に課題タイプが表示されるので、行の種別欄をクリックしてマッピングする種別を選択します。

3. JIRAの課題タイプとCATの種別のマッピングがされます。

※種別マッピングは最低一つを連携する必要があります。

画面項目の説明

項目名	説明
定義外	<p>チケットの取込時、マッピングしていない課題タイプのチケットを取り込んだ場合の通知の有無を選択します。</p> <p>連携しない</p> <p>未マッピングのチケットを警告なく取込除外します。</p> <p>警告する(連携しない)</p> <p>警告して取込除外します。</p>
課題タイプ (JIRA)・ 種別(CAT)	JIRAの課題タイプとCATのどの種別として取り込むかのマッピングをします。
JQL(任意)	入力したJQLに基づいてCATに取り込むチケットをフィルタリングします。

各項目の設定が完了したら次へボタンを押して、次の画面に進んで下さい。

外部BTS設定ウィザード(3/6) - 共通設定

共通設定項目では、次の各項目についてJIRA側の値に対応するCATの値を設定します。

- 工程
- ステータス
- 優先度
- 重要度
- 機能
- 開発者

尚、再設定時等、次ページ以降の設定をそのまま引き継ぎ省略する場合、画面右上の「以降の設定をスキップする」ボタンを押してください。確認画面にジャンプします。

以下で各種マッピングの設定方法を説明します。

工程マッピング

工程マッピングではCATの工程に紐付けるフィールド及びマッピングする値の設定を行います。 まず、連携するフィールドをJIRAの影響バージョンまたは修正バージョン、もしくはカスタムフィールド（ラジオボタン・単一選択リスト）から選択します。 連携するフィールドを選択すると、次の様なマッピング画面が表示されます。 JIRAのフィールドと、CATの工程の値のマッピングを設定します。

連携フィールドに「影響バージョン」を選択した場合のマッピング画面

工程マッピング

デフォルト工程: process

連携するフィールド: 影響バージョン

定義外: デフォルト値

影響バージョン(JIRA)	工程 (CAT)
ver1	process
ver2	連携しない

選択: 影響バージョン

選択: 影響バージョン (JIRA)

ver3

画面項目の説明

項目名	説明
デフォルト工程	連携するフィールドでマッピングのない値が入っていた際のチケットの取込先工程を選択します。
連携するフィールド	<p>JIRAのチケットをCATの各工程に取込む場合、キーとなるJIRAのフィールドを設定します。</p> <p>影響バージョン、修正バージョン、もしくはカスタムフィールド（ラジオボタン・単一選択リスト）を選択します。</p> <p><連携するフィールドに設定した項目と、取込の挙動></p> <p>影響バージョン・修正バージョン・任意のカスタムフィールド</p> <p>下記のマッピング表の設定に基づいて工程に取込みます。</p> <p>連携しない</p> <p>全てのチケットをデフォルト工程に取込みます。</p>
定義外	<p>影響バージョンか修正バージョン選択時のみ表示されます。</p> <p>下記のマッピング表で選択の無い影響バージョンの取込先と警告の有無を設定します。</p> <p>デフォルト値</p> <p>デフォルト工程に取込みます。</p> <p>連携しない</p> <p>取込みません。</p> <p>警告する(連携しない)</p> <p>取り込まず、警告のみ表示します。</p>
影響バージョン (JIRA) 修正バージョン (JIRA) カスタムフィールド (JIRA)	JIRAのフィールドのマッピングしたい値を選択して、CATの工程とマッピングします。

ステータスマッピング

ステータスマッピングでは取込対象とするJIRAのステータス及び、対応するCATのステータスを設定します。
選択 ステータス(JIRA)からステータスを選択後、ステータスのマッピング表で紐付けるCATのステータスを選択してください。

ステータスマッピング

デフォルトステータス

新規

定義外

連携しない

ステータス(JIRA)	ステータス(CAT)	
New	新規	⊗
In Progress	着手中	⊗
To Do	待手中	⊗
Closed	終了	⊗

選択 ステータス (JIRA)

画面項目の説明

項目名	説明
デフォルトステータス	定義外もしくはマッピング表のステータス(CAT)でデフォルト値を選択した場合にマッピングするステータスです。
定義外	<p>マッピング表で設定のないJIRAのステータスの対応を設定します。</p> <p>デフォルト値</p> <p>デフォルトステータスとして取込みます。</p> <p>連携しない</p> <p>取込みません。</p> <p>警告する(連携しない)</p> <p>取り込まず、警告のみ表示します。</p>

優先度マッピング

優先度マッピングではCATの優先度に連携したいフィールド(JIRAの優先度もしくはカスタムフィールド)、及び対応する値の設定をします。連携するフィールドにJIRAの優先度を設定した場合、マッピング表が表示され対応する優先度毎に設定できます。

連携するフィールドにJIRAのカスタムフィールドを設定した場合、マッピングしたフィールドの値とCATの優先度が一致すれば優先度が表示されます。(一致しない場合は空白)

CATのプロジェクト内で優先度を使用しない場合(連携するフィールドに優先度以外を設定した場合)、マッピング

グ表は非表示となります。

優先度マッピング

デフォルト優先度

P5 (高)

連携するフィールド

優先度

優先度(JIRA)	優先度 (CAT)	
Highest	P5 (高)	⊗
High	P4 (中高)	⊗
Medium	P3 (中)	⊗
Low	P1 (低)	⊗

選択 優先度 (JIRA)

重要度マッピング

重要度マッピングではCATの重要度に連携したいフィールド(JIRAの優先度もしくはカスタムフィールド)、及び対応する値の設定をします。操作は①と同様です。連携するフィールドにJIRAの優先度を設定した場合、マッピング表が表示され対応する優先度毎に設定できます。CATのプロジェクト内で重要度を使用しない場合(連携するフィールドに優先度以外を設定した場合)、マッピング表は非表示となります。

重要度マッピング

デフォルト重要度

Blocker

連携するフィールド

優先度

優先度(JIRA)	重要度 (CAT)	
Highest	Blocker	⊗
High	Critical	⊗
Medium	Normal	⊗

選択 優先度 (JIRA)

機能マッピング

機能マッピングでは、CATの機能と、JIRAのコンポーネントまたはカスタムフィールドを設定します。連携すると次の機能が利用できます。* 起票時にCATの機能名が登録されます。* 分析画面においてチケットに登録された機能を元に機能毎分析が利用できるようになります。

機能マッピング

連携するフィールド

CAT機能名

開発者マッピング

開発者マッピングでは、CATの開発担当者に紐付けたいカスタムフィールドを設定します。連携するフィールドにJIRAの担当者かユーザータイプのカスタムフィールドをマッピング選択してください。分析画面でチケットに登録された開発者を元に開発者分析ができるようになります。

開発者マッピング

連携するフィールド

担当者

フィールドの対応関係については[JIRAフィールド対応関係](#)を参照してください。

各項目の設定が完了したら次へボタンを押して、次の画面に進んで下さい。

外部BTS設定ウィザード(4/6) - 個別設定

個別設定を行います。種別タイプ毎に連携キー及びカスタムフィールドを設定します。

CAT COMPUTER AIDED TEST

プロジェクト

課題登録

Suguru Ishii

外部BTS設定ウィザード(4/6)

1. 基本設定 > 2. 種別設定 > 3. 共通設定 > 4. 個別設定 > 5. 詳細設定 > 6. 確認

以前の設定をスキップする

カスタムフィールドマッピング

課題タイプ

バグ

連携キー

CAT連携キー

テストケースとの紐付には連携キーの設定が必須です。

カスタムフィールド(JIRA)	フィールド (CAT)
関連テストケース数	関連ケース数

フィールドの選択

ヘルプ

戻る

次へ

キャンセル

画面項目の説明

項目名	説明
課題タイプ	連携キーとカスタムフィールドのマッピングをする課題タイプを選択します。
連携キー	課題タイプ毎に、連携キーとして利用するJIRAのカスタムフィールド(テキストフィールドタイプ)を設定すると、実行画面からの起票時にケースと障害の紐付けができます。
カスタムフィールド(JIRA)・ フィールド(CAT) マッピング表	<p>課題タイプ毎に、CATのカスタムフィールドとJIRAのカスタムフィールドを紐付け(マッピング)設定します。マッピングすると次の機能が利用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> CATの課題一覧に表示しフィルタリング等に利用できます。 次の特殊なフィールドをマッピングするとチケット起票時等にCATの情報を追加でき、規模の把握や分析などに利用できます。 <p>特殊なフィールドと利用できる機能</p> <p>関連ケース数</p> <p>連携したフィールドに紐付きケース数を書き込みます。 ケース数が変わった場合、日次でJIRAを更新します。</p> <p>テストケースURL</p> <p>テスト実行画面から起票した際のテスト仕様書・ケースのURLが登録されます。</p>

課題とケースの紐付けの例

実行管理画面 障害件数表示
課題管理画面 ケース件数・紐付きケースの表示



※上記のマッピング表にJIRAのカスタムフィールドを追加したとき、紐付先のCAT側フィールドとして選択肢に表示されるのは、JIRAのカスタムフィールドタイプにCATのフィールドタイプが対応している場合のみです。フィールドの対応関係については「JIRAフィールド対応関係」を参照してください。

※カスタムフィールドを選択するには、連携対象の課題タイプごとに、連携したJIRAに1つ以上の起票が必要です。起票がない場合、カスタムフィールドが表示されないため、ダミー等のチケットを登録してください。

外部BTS設定ウィザード(5/6) - 詳細設定

詳細設定では、エラー発生時の通知先と、JIRA固有の設定ができます。

外部BTS設定ウィザード(5/6)

1. 基本設定 > 2. 種別設定 > 3. 共通設定 > 4. 個別設定 > 5. 詳細設定 > 6. 確認

エラー通知先

設定なし

ベースURL (任意)

CATから課題登録する際に、基になるURLを入力します。

URLは以下の形式で、パラメータはURLエンコードして入力してください。

[JIRA BASE URL]/secure/CreateIssueDetails!init.jspp?[ARGUMENTS]

ヘルプ

戻る

次へ

キャンセル

+ .画面項目

項目名	説明
エラー通知先	連携エラーが発生した場合に、メールで通知するメンバーを設定します。
ベースURL(任意)	<p>JIRAの課題起票時、課題の任意のフィールドフィールドに初期値を設定しテンプレート等として利用できます。</p> <p>次のフォーマットで入力してください。</p> <p>[JIRA BASE URL]/secure/CreateIssueDetails!init.jspp?[ARGUMENTS]</p> <p>パラメータについて</p> <p>JIRA BASE URL</p> <p>連携しているJIRAの基本URLです。</p> <p>ARGUMENTS</p> <p>初期値入力を行うフィールドと値を入力します。複数のフィールドに入力する場合は&でつないでください。</p> <p>例：pid=10420&issuetype=4</p> <p>※IE環境のみ、GETパラメータが2000文字を超えた場合、超過したパラメータを取得できない制限があります。</p>

下表で簡単な説明をします。詳細は下記URLを参照してください。

Creating Issues via direct HTML links:

<https://confluence.atlassian.com/display/JIRA051/Creating+Issues+via+direct+HTML+links>

設定が完了したら次へボタンを押して次画面に進んで下さい。

外部BTS設定ウィザード(6/6) - 設定内容確認

確認画面で設定を確認し、設定が正しければ画面最下部の登録ボタンを押してください。

ユーザーピッカー (単一ユーザー)_150724 : 連携しない
ラジオボタン_150724 : 連携しない
日時ピッカー_150724 : 連携しない
日付ピッカー_150724 : 連携しない
選択リスト (単一選択)_150724 : 連携しない
選択リスト (複数選択)_150724 : 連携しない

バグ

< 戻る

登録する

キャンセル

外部BTSの設定を正常に登録完了すると下図のような画面が現れます。一覧に戻るボタン、または詳細に戻るボタンを押して外部BTSの設定を終了してください。

外部BTS設定完了

設定が保存されました。
連携が完了するまでしばらくお待ちください。

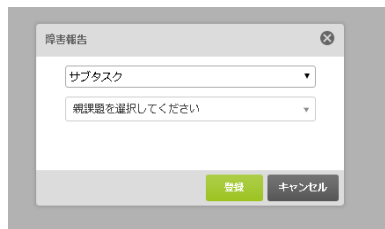
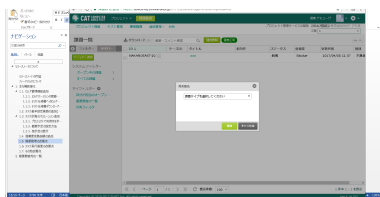
一覧に戻る

詳細に戻る

※外部BTS連携更新を行うとそのプロジェクトで登録していたCAT上の課題は削除されます。必要な課題は連携前にダウンロード等を行って下さい。

17.8.2. 課題登録

1. JIRA連携完了後に実行画面等で、課題報告を行うと、下図のようなポップアップが現れます。報告したい課題タイプをドロップダウンから選び、登録ボタンを押して下さい。
選択した種別がサブタスクの場合、右の様に親課題を選択して登録します。



※サブタスクの場合JIRAの仕様により起票時ケースIDや機能等の連携項目のデフォルト設定ができません。起票後に手動で設定してください。ケースに紐付けについては、起票後、課題紐付け機能を利用し、紐付けしてください。

※CATのサブタスクと連携しているJIRAの課題タイプはテストケースと課題の紐付けを利用できません。

2. JIRAの課題作成画面が開きます。項目を入力し作成ボタンを押して登録を完了します。

課題の作成

① summary: 課題の要約を指定してください。

プロジェクト 4.11確認用プロジェクト

課題タイプ ① 4.11確認用課題タイプ1

要約*

課題の要約を指定してください。

優先度 ②

影響バージョン

入力して一致する可能性のある一覧を取得するか [down] を押下して選択してください。

CATテストケース2

斎藤がテストで使用中

custommember

課題起票後、CATに取り込みされるのは通常1時間毎の同期時となります。即時で同期したいした場合、次の連携の更新を行って下さい。

※外部BTS設定ウィザードの「詳細設定」でベースURLを設定すると、各フィールドの初期値を設定できます。

17.8.3. フィールド連携

テスト実行画面から課題を起票する際にセルの値を連携するJIRAのカスタムフィールドに自動入力します。

フィールド連携時のイメージ図



設定手順は以下の通りです。

設定手順

1. 任意のテスト仕様書を選択後、「その他」ボタンをクリックし「シート設定」選択、ポップアップで任意のシートを選択し「列設定」をクリックします。
2. テスト仕様書の設定するカラムの「フィールド連携」で連携するJIRAのカスタムフィールドを選択します。
※外部BTS設定時に取得したカスタムフィールドを表示しています。



3. 設定の完了後、「列設定」と「シート編集」のポップアップで「更新」ボタンをクリックしてください。
※設定完了後、テスト実行画面から課題起票時に起票先の課題タイプに設定したカスタムフィールドがある場合、セルの値をJIRAのカスタムフィールドに自動で入力します。



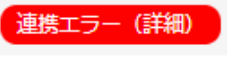
17.8.4. 連携の更新

課題管理画面・テスト実行画面から外部BTS連携更新ボタンを押すと、即時でJIRAの情報を取込みます。



連携時、確認事項の有無に応じて(定義の無い種別のチケットを取り込んだ等)次の様にステータスが表示されます。警告・エラーの場合、ステータスをクリックし内容を確認後、対応してください。

連携ステータスの状態

表示例	説明
	警告・エラーなく正常に連携している状態です。
	定義のないチケットを取り込んだ際、マッピングできないユーザーがいた場合等に表示されます。このボタンをクリックして警告内容を確認し、必要に応じて対応してください。
	外部BTSへの接続が失敗した場合等に表示されます。このボタンをクリックしてエラー内容を確認し、対応してください。エラー発生時は対応後、再度外部BTS連携ウィザードを完了する必要があります。

JIRAフィールド対応関係

以下は外部BTSとCATのフィールド対応関係です。カスタムフィールドの連携マッピングを行う時等に参照してください。なお、外部BTS上に課題が存在しない場合カスタムフィールドの取り込みを行うことはできません。

CATの項目・カスタムフィールド	タイプ	JIRAのフィールドタイプ
連携キー	-	テキストフィールド(1行)、テキストフィールド(複数行)
関連ケース数	-	テキストフィールド(1行)、テキストフィールド(複数行)
テストケースURL	-	テキストフィールド(1行)、テキストフィールド(複数行)
カスタムフィールド	テキスト(1行)	テキストフィールド(1行)、ラジオボタン、選択リスト(単一選択)
カスタムフィールド	テキスト(複数行)	テキストフィールド(複数行)、テキストフィールド(1行)
カスタムフィールド	ラジオボタン	ラジオボタン、選択リスト(単一選択)、テキストフィールド(1行)
カスタムフィールド	チェックボックス	-
カスタムフィールド	単体選択	選択リスト(単一選択)
カスタムフィールド	複数選択	選択リスト(複数選択)
カスタムフィールド	URL	URLフィールド
カスタムフィールド	ラベル	ラベル
カスタムフィールド	日付	日付ピッカー
カスタムフィールド	日付+時間	日時ピッカー
カスタムフィールド	メンバー	ユーザピッカー

17.9. Backlogと連携する

外部BTS設定ウィザードの最初の画面からBacklogの連携方法を次の順番で説明します。

- Backlogの連携設定
- 課題登録
- 連携の更新

17.9.1. Backlogの連携設定

外部BTS設定ウィザード(1/6) - 接続情報の入力

はじめに接続情報を入力します。

外部BTS設定ウィザード(1/6)

1. 基本設定 > 2. 種別設定 > 3. 共通設定 > 4. 個別設定 > 5. 詳細設定 > 6. 確認

外部BTS連携	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
外部BTS	<input checked="" type="radio"/> Redmine <input type="radio"/> JIRA <input checked="" type="radio"/> Backlog
URL	<input type="text" value="https://.jp/"/>
APIキー	<input type="text"/>
プロジェクトキー	<input type="text" value="WEB"/>

注意事項:

Backlog連携では実行管理画面から障害登録をするときテストケースや機能の情報は初回入力されません。
テストケースと障害の紐づけは、障害登録後に障害紐づけ機能を利用して行ってください。

[ヘルプ](#) [戻る](#) [次へ](#) [キャンセル](#)

項目名	説明
外部BTS連携	外部BTS連携を行うか決めます。
種別	Backlogを選択します。
URL	連携するBacklogのトップページのURLを入力します。
APIキー	Backlog連携に用いるユーザー名とパスワードを入力してください。連携に用いるユーザーは連携するプロジェクトの閲覧権限が必要になります。
プロジェクトキー	連携するBacklogのプロジェクトキーを入力します。プロジェクトキーはBacklogのプロジェクトの編集画面で確認できます。

(参考)Backlogの各種情報の確認方法

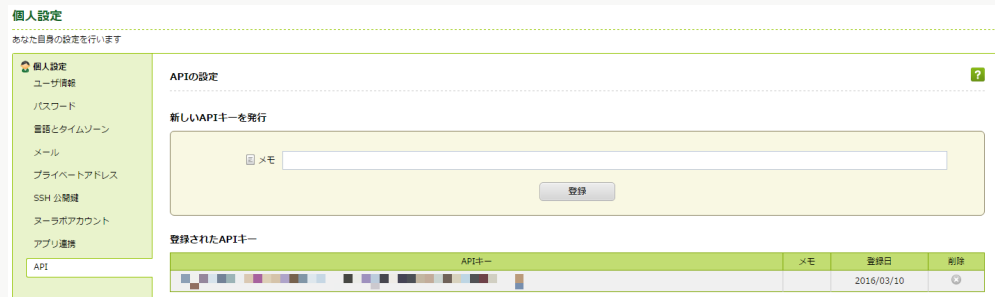
APIアクセスキーやプロジェクト識別子等の確認箇所を順番に説明します。

1. URLはBacklogのURLを入力してください。

下図の場合のURLはhttps://example.backlog.jpです。



2. BacklogのAPIキーには連携に利用するユーザーのAPIキーを入力します。個人設定のAPIでAPIキーの登録・確認が可能です。確認にはBacklog連携に用いるユーザーは連携するプロジェクトの閲覧権限が必要になります。



3. プロジェクトキーはBacklogのプロジェクト識別子を入力してください。プロジェクトページのプロジェクト名括弧内がBacklogのプロジェクト識別子です。



各項目の設定が完了したら次へボタンを押して、次の画面に進んで下さい。

Backlogの接続情報を入力してエラーになる場合、次の項目を確認してください。

- 各種入力情報が誤っていないか。
- CAT(インターネットもしくはサーバー)からJIRAへの接続経路があるか。
→IPアクセス制限やF/W等を確認してください。
- ログイン情報を設定しているユーザーに、プロジェクトの設定権限があるか

外部BTS設定ウィザード(2/6) - 種別設定と取り込むチケットの範囲の指定

種別設定と取り込むチケットの範囲の指定を行います。

種別マッピングは、Backlogの課題タイプに対応するCATの種別をプルダウンから選択して設定します。連携しないを選択すると、その課題タイプのチケットは同期しません。

種別と課題タイプ(Backlog)のマッピング手順

1. 選択 課題タイプ(Backlog)をクリックして利用するトラッカーを選択します。

外部BTS設定ウィザード(2/6)

1. 基本設定 > 2. 種別設定 > 3. 共通設定 > 4. 個別設定 > 5. 詳細設定 > 6. 確認

定義外: 警告する (連携しない)

課題タイプ (Backlog)	種別 (CAT)	
Task	不具合	✕
Request	要望	✕
Other	問い合わせ	✕

選択 課題タイプ (Backlog)

選択 課題タイプ (Backlog)

Bug

次へ キャンセル

2. 課題タイプ(Backlog)・種別(CAT)にトラッカー表示されるので、行の種別欄をクリックしてマッピングする種別を選択します。

種別マッピング

課題タイプ (Backlog)	種別 (CAT)	
Task	不具合	✕
Request	要望	✕
Other	問い合わせ	✕
Bug	連携しない	✕

選択 課題タイプ (Backlog)

選択 種別 (CAT)

連携しない

不具合

要望

問い合わせ

ヘルプ 戻る

3. Backlogの課題タイプとCATの種別のマッピングがされます。+

種別マッピング

Request	要望	✕
Other	問い合わせ	✕
Bug	不具合	✕

選択 課題タイプ (Backlog)

※最低一つを連携する必要があります。

画面項目の説明

項目名	説明
定義外	<p>課題の取込時、マッピングしていない課題タイプの課題を取り込んだ場合の通知の有無を選択します。</p> <p>連携しない</p> <p>未マッピングの課題を警告なく取込除外します。</p> <p>警告する(連携しない)</p> <p>警告して取込除外します。</p>
課題タイプ (Backlog) 種別(CAT)	Backlogの課題タイプとCATのどの種別として取り込むかのマッピングをします。

各項目の設定が完了したら次へボタンを押して、次の画面に進んで下さい。

外部BTS設定ウィザード(3/6) - 共通設定

共通設定項目では、次の各項目についてBacklog側の値に対応するCATの値を設定します。

- 工程
- ステータス
- 優先度
- 重要度
- 機能
- 開発者

尚、再設定時等、次ページ以降の設定をそのまま引き継ぎ省略する場合、画面右上の「以降の設定をスキップする」ボタンを押してください。確認画面にジャンプします。

以下で各種マッピングの設定方法を説明します。

工程マッピング

工程マッピングではCATの工程に紐付けるフィールド及びマッピングする値の設定を行います。

連携フィールドに「発生バージョン」を選択した場合のマッピング画面

工程マッピング

デフォルト工程

process 1

連携するフィールド

発生バージョン

定義外

デフォルト値

発生バージョン (Backlog)	工程 (CAT)	
version 1	デフォルト値	✕
選択 発生バージョン (Backlog)		

画面項目の説明

項目名	説明
デフォルト工程	連携するフィールドでマッピングのない値が入っていた際のチケットの取込先工程を選択します。
連携するフィールド	<p>BacklogのチケットをCATの各工程に取込む場合、キーとなるBacklogのフィールドを設定します。発生バージョン、マイルストーン、カスタム属性のいずれかと連携します。</p> <p>連携するフィールドに設定した項目と、取込の挙動</p> <p>発生バージョン・マイルストーン</p> <p>下記のマッピング表の設定に基づいて工程に取込みます。</p> <p>連携しない</p> <p>全てのチケットをデフォルト工程に取込みます。</p>
定義外	<p>発生バージョンがマイルストーン選択時のみ表示されます。</p> <p>下記のマッピング表で選択の無い値の取込先と警告の有無を設定します。</p> <p>デフォルト値</p> <p>デフォルト工程に取込みます。</p> <p>連携しない</p> <p>取込みません。</p> <p>警告する(連携しない)</p> <p>取り込まず、警告のみ表示します。</p>
発生バージョン もしくはマイルストーン (Backlog)・ 工程(CAT) マッピング表	<p>発生バージョンがマイルストーン選択時のみ表示されます。</p> <p>選択した値に対してマッピングしたい項目を選択して、CATの工程とマッピングします。</p>

マイルストーンフィルター

特定のマイルストーンの課題のみ取り込む場合はマイルストーンフィルターを設定します。

マイルストーンフィルター	マイルストーン	ver1.1
--------------	---------	--------

ステータスマッピング

ステータスマッピングでは取込対象とするBacklogのステータス及び、対応するCATのステータスを設定します。 選択 ステータス(Backlog)からステータスを選択後、ステータスのマッピング表で紐付けるCATのステータスを選択します。

タスを選択してください。

ステータスマッピング	デフォルトステータス	新規	
	定義外	警告する (連携しない)	
	ステータス (Backlog)	ステータス (CAT)	
	Open	新規	✖
	In Progress	悪手中	✖
	選択 ステータス (Backlog)		

画面項目の説明

項目名	説明
デフォルトステータス	定義外もしくはマッピング表のステータス(CAT)でデフォルト値を選択した場合にマッピングするステータスです。
定義外	マッピング表で設定のないBacklogのステータスの対応を設定します。 デフォルト値 デフォルトステータスとして取込みます。 連携しない 取込みません。 警告する(連携しない) 取り込まず、警告のみ表示します。

優先度マッピング

優先度マッピングではCATの優先度にBacklogの優先度を紐付ける設定と、各値に対応するCATの値の設定をします。

連携するフィールドにBacklogの優先度を設定する場合、連携フィールド選択後、マッピング表が表示されます。対応する優先度を設定してください。

連携するフィールドにBacklogのカスタムフィールドを設定する場合、連携フィールド選択のみとなります。

CATのプロジェクト内で優先度を使用しない場合(連携するフィールドに優先度以外を設定した場合)、マッピング表は非表示となります。

優先度マッピング	デフォルト優先度	P5 (高)	
	連携するフィールド	優先度	
	優先度 (Backlog)	優先度 (CAT)	
	High	P5 (高)	✖
	Normal	P3 (中)	✖
	選択 優先度 (Backlog)		

重要度マッピング

重要度マッピングではCATの優先度にBacklogのカスタムフィールド(単一選択)の紐付け設定をします。操作は①と同様です。

開発者マッピング

開発者マッピングでは、CATの開発担当者に紐付けたいフィールドを設定します。連携するフィールドにBacklogの担当者・更新者・報告者をマッピングしてください。分析画面でチケットに登録された開発者を元に開発者分析ができるようになります。

各項目の設定が完了したら次へボタンを押して、次の画面に進んで下さい。

外部BTS設定ウィザード(4/6) - 個別設定

個別設定を行います。種別タイプ毎に連携キー及びカスタムフィールドを設定します。

外部BTS設定ウィザード(4/6)

1. 基本設定 > 2. 種別設定 > 3. 共通設定 > 4. 個別設定 > 5. 詳細設定 > 6. 確認

以前の設定をスキップする

カスタムフィールドマッピング

課題タイプ

バグ

カスタムフィールド (Backlog)

フィールド (CAT)

CAT関連ケース数

関連ケース数

フィールドの選択

ヘルプ

戻る

次へ

キャンセル

画面項目の説明

項目名	説明
課題タイプ	カスタムフィールドのマッピングをする課題タイプを選択します。
カスタムフィールド(Backlog)・ フィールド(CAT)	トラッカー毎に、CATのカスタムフィールドとBacklogのカスタムフィールドを紐付け(マッピング)設定します。マッピングすると次の機能利用できます。
マッピング表	CATの課題一覧に表示しフィルタリング等に利用できます。
	特殊なフィールドと利用できる機能
	関連ケース数
	連携したフィールドに紐付きケース数を書き込みます。
	ケース数が変わった場合、日次でBacklogを更新します。

なお、ここで対応付けできるのは、BacklogのカスタムフィールドタイプにCATのフィールドタイプが対応している場合のみです。

課題とケースの紐付けの例

実行管理画面
障害件数表示

課題管理画面
ケース件数・紐付きケースの表示



外部BTS設定ウィザード(5/6) - 詳細設定

詳細設定を行います。エラー通知先を選択してください。連携エラーが生じた際に通知先のメールアドレスにエラー通知メールが送信されます。

外部BTS設定ウィザード(5/6)

1. 基本設定 > 2. 種別設定 > 3. 共通設定 > 4. 個別設定 > **5. 詳細設定** > 6. 確認

エラー通知先

設定なし ▼

ヘルプ

戻る

次へ

キャンセル

外部BTS設定ウィザード(6/6) - 設定内容確認

設定を確認し、設定が正しければ画面最下部の登録ボタンを押してください。

低 : P3
機能マッピング
連携するフィールド : 連携しない

個別設定

バグ
テスト属性 : テストケース
要望
テスト属性 :

詳細設定

エラー通知先 : 設定なし

戻る

登録する

キャンセル

外部BTSの設定を正常に登録完了すると下図のような画面が現れます。一覧に戻るボタン、または詳細に戻るボタンを押して外部BTSの設定を終了してください。

外部BTS設定完了

設定が保存されました。
連携が完了するまでしばらくお待ちください。

一覧に戻る

詳細に戻る

※外部BTS連携更新を行うとそのプロジェク

トで登録していたCAT上の課題は削除されます。必要な課題は連携前にダウンロード等を行って下さい。

※Backlog連携では以下の項目の連携ができません。課題起票時に手動で設定する必要があります。

- 種別
- テストケースURLなどの初期設定綱目

17.9.2. 課題登録

Backlog連携完了後に実行画面等で、課題報告を行うとBacklogの課題作成画面が開きます。項目を入力し追加ボタンを押して起票してください。

ホーム課題の検索課題の追加Wikiファイルガントチャート課題を検索

課題の追加

プレビュー追加

* 件名

詳細

課題の属性

* 種別	タスク	* 優先度	中
カテゴリ	課題選択	状態	新規作成
発生バージョン	課題選択	完了理由	-
マイルストーン	課題選択 選定を選択	担当者	私が担当
予定時間	時間(hours) この課題にかかる予定作業時間です。 例: 1, 0.25, 36	実績時間	時間(hours) この課題にかかった実作業時間です。 例: 1, 0.25, 36

17.9.3. 連携の更新

課題管理画面・テスト実行画面から外部BTS連携更新ボタンを押すと、即時でBacklogの情報を取込みます。

CAT COMPUTER AIDED TESTプロジェクト課題登録SHIFT_USER

プロジェクト情報スコープ管理スケジュール管理テスト管理課題管理進捗管理分析

課題一覧ダウンロード概要・コメント検索連携更新連携正常

フィルター	サマリー	ID ↑	ケースID	種別	タイトル	担当者	ステータス	重要度	更新時間
フィルター保存		<input type="checkbox"/> NAKANOEST-22		問い合わせ	詳細進捗のテーブルが画面遷移でフィルタ...		確認完了	Normal	2018/11/14 17:20
		<input type="checkbox"/> NAKANOEST-24		問い合わせ	設定が削除された...		確認中	Normal	2018/11/14 17:21

連携時、確認事項の有無に応じて(定義の無い種別のチケットを取り込んだ等)次の様にステータスが表示されます。警告・エラーの場合、ステータスをクリックし内容を確認後、対応してください。

連携ステータスの状態

表示例	説明
<div>連携正常</div>	警告・エラーなく正常に連携している状態です。
<div>連携警告 (詳細)</div>	定義のないチケットを取り込んだ際、マッピングできないユーザーがいた場合等に表示されます。このボタンをクリックして警告内容を確認し、必要に応じて対応してください。
<div>連携エラー (詳細)</div>	外部BTSへの接続が失敗した場合等に表示されます。このボタンをクリックしてエラー内容を確認し、対応してください。エラー発生時は対応後、再度外部BTS連携ウィザードを完了する必要があります。

Backlogフィールド対応関係

以下は外部BTSとCATのフィールド対応関係です。カスタムフィールドの連携マッピングを行う時等に参照してください。なお、外部BTS上に課題が存在しない場合カスタムフィールドの取り込みを行うことはできません。

※Backlog連携では以下の項目の連携ができません。課題起票時に手動で設定する必要があります。

- 種別

- テストケース関連付け等の初期入力項目。

CATの項目・カスタムフィールド	タイプ	Backlogのフィールドタイプ
テストケース	-	文字列
カスタムフィールド	テキスト(1行)	文字列
カスタムフィールド	テキスト(複数行)	文章
カスタムフィールド	テキスト(1行)	数値
カスタムフィールド	日付	日付
カスタムフィールド	単体選択	選択リスト

18. 課題管理設定

CATはカスタムフィールドにより柔軟に課題管理をカスタマイズできます。種別の管理、カスタムフィールドの管理、ステータス管理、共通フィールドの管理ができます。

社員(管理者)権限を持つユーザーのみ課題管理の設定が可能です。

課題管理の設定画面への遷移方法

1. ヘッダーの設定アイコンのドロップダウンから「課題管理」を選択します。



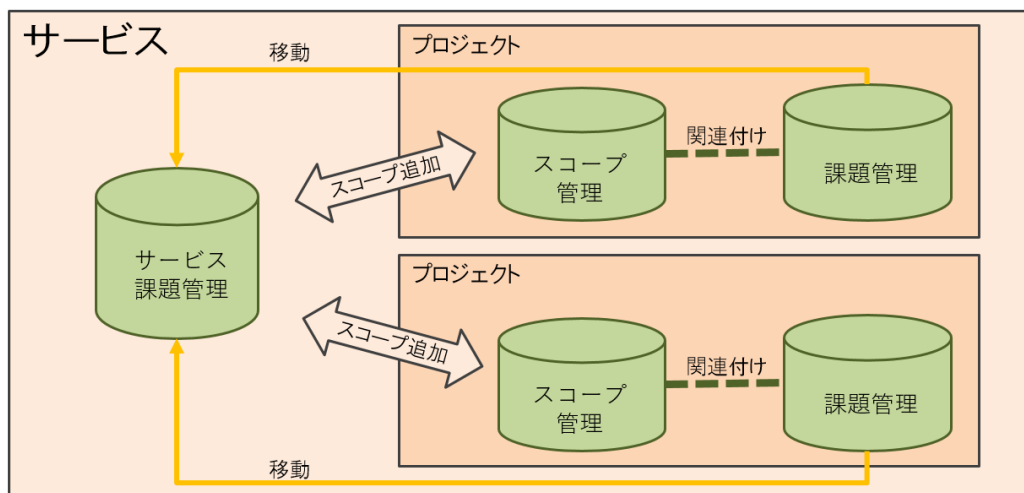
2. 課題管理画面に遷移します。



18.1. CATの課題管理の種類

CATには「サービス課題管理」「スコープ管理」「課題管理」と、課題を管理する機能が3つあります。

この節では、各課題管理機能について説明します。



課題管理

プロジェクトの開発・テスト中に発生した課題や障害、問い合わせなどを管理する機能です。

詳細は[課題管理](#)を参照してください。

サービス課題管理

開発タスクや、リリース後に発生した障害・要望を管理する機能です。

課題管理の課題は、サービス課題管理に課題できます。プロジェクトで対応できなかった課題を、サービス課題に移動することで、ソフトウェアの残課題を効率的に管理できます。

詳細は[サービス課題管理](#)を参照してください。

スコープ管理

プロジェクトの開発スコープと、そのテスト仕様書、障害、ソースコード等を紐付けて一元管理できる機能です。

サービス課題管理で今後対応が必要な課題を管理し、スコープ管理でサービス課題から対応スコープとして選択することで、プロジェクトのスコープの一覧を管理できます。

詳細は[スコープ管理](#)を参照してください。

18.2. 課題の管理

CATでは、課題を課題種別毎に管理し、課題種別毎に利用するステータスやフィールドを選択できます。

CATの課題の設定は、システム設定、サービス設定、プロジェクト設定の3つのレベルの設定があります。

本節では、課題の種別、ステータス、フィールドについて説明した後、課題の設定のレベル構造について説明します。

18.2.1. 課題の種別、ステータス、フィールド

課題の種別

課題を課題の種別毎に管理できます。課題種別毎に利用するステータスやフィールド、ワークフローを選択できます。

課題種別は自由に追加、設定できます。初期状態では、以下の3種類の課題と1種類のサブタスクが用意されています。

種別	概要
不具合	ソフトウェアの不具合を管理する際に利用します。
要望	ソフトウェアに対する要望を管理する際に利用します。
問い合わせ	ソフトウェアに関するお問い合わせを管理する際に利用します。
サブタスク	課題を実行可能な小さい単位のタスクに分割し管理する際に利用します。親課題が必要になります。

課題のステータス

課題のステータスは自由に追加、設定できます。作成したステータスは、プロジェクト設定で種別毎に割り当てて利用できます。

初期状態では、以下のステータスが用意されています。

ステータス	ステータスタイプ	説明
新規	新規	課題が新規登録された際に利用します。
着手中	着手中	担当者が対応中の際に利用します。
修正完了	着手中	対応が完了した際に利用します。
修正確認完了	着手中	対応完了が確認された際に利用します。
差し戻し	着手中	修正が正しく行われていなかった際に利用します。
再現待ち	着手中	課題の再現ができない際に利用します。
見送り	完了	課題の対応を見送る際に利用します。
保留	着手中	課題の対応を保留する際に利用します。
終了	完了	課題が終了した際に設定します。

ステータスのタイプとは

CATはステータスタイプを利用し、新規・着手中・完了の状態の課題の数を集計します。

ステータスのタイプは3種類存在します。

ステータスタイプ	説明
新規	新たに発見された、未対応の課題に利用されるタイプです。
着手中	対応中の課題に利用されるタイプです。
完了	対応が終了した課題に利用されるタイプです。

課題のフィールド

課題のフィールドを自由に追加、設定し、利用することができます。

作成したカスタムフィールドは、システム設定の中の「課題管理」→「種別の管理」より、種別毎に割り当てることができ、課題種別の利用するフィールドを詳細に設定することが出来ます。

課題のフィールドには、「システムフィールド」と「カスタムフィールド」があります。

システムフィールドは、予め用意されているフィールドです。フィールドのIDが1000番未満のものがシステムフィールドです。

カスタムフィールドは、自由に追加、設定できるフィールドです。フィールドのIDが1000番以上のものがカスタムフィールドです。

新しく課題種別を作成すると、以下のフィールドが初期フィールドとして設定されています。

初期フィールド

フィールド	説明
優先度	優先度を設定する際に利用します。
重要度	重要度を設定する際に利用します。
開発担当者	課題が発生した箇所の開発担当者を記載する際に利用します。
環境依存性	環境依存性を記載する際に利用します。
機能	機能を設定する際に利用します。
納期	納期を設定する際に利用します。
スコープ	課題に関連するスコープを設定する際に利用します。
操作手順	課題再現の手順を説明する際に利用します。
再現性の有無	課題に再現性があるかを記載する際に利用します。
発生環境	発生環境を記載する際に利用します。
担当者	課題対応の担当者を記載する際に利用します。
報告者	報告者を記載する際に利用します。
発生バージョン	課題が発生したバージョンを記載する際に利用します。
修正バージョン	修正を修整するバージョンを記載する際に利用します。
添付ファイル	課題にファイルを添付する際に利用します。
見積工数(時間)	その課題の対応にかかる工数を記載する際に利用します。 バーンダウンチャートの作業量の見積根拠となります。

18.3. 課題管理の設定の構造

CATではサービス・プロジェクト毎に、柔軟な課題管理を運用できるよう、課題管理の設定が以下のような構造となっています。

基本構造

- システムの課題管理の設定で、課題種別を管理。課題種別毎に利用するフィールドを設定する
- プロジェクト・サービスの課題の設定で、システムの課題管理で管理されている課題種別から、利用する課題種別を選択する

18.4. 各機能で障害(不具合)として扱う課題種別について

CATでは以下の機能で障害の発生数や発生率を表示します。

一部の課題種別を障害として計上・利用する機能

- プロジェクトステータス>サマリ>登録障害数

- プロジェクトメール・Slack連携
- 全体進捗>障害種別のみ表示
- 分析画面>各タブ>表示設定>課題種別の初期値

上記の画面ではプロジェクトで利用しているどの種別を障害として扱うか、次の画面で設定できます。

設定箇所

プロジェクト管理>(任意のプロジェクト)>プロジェクト基本情報設定> 障害定義

問合せ等、障害として扱わない種別を定義し、各機能で正しい障害数を表示できます。

18.5. 課題種別の管理

課題種別の管理では、課題種別（課題・サブタスク）の登録、編集および削除ができます。作成したカスタムフィールドの種別への紐付けや、必須項目の設定等、課題の種別の細かな設定ができます。

18.5.1. 新しい課題種別（課題・サブタスク）を登録する

1. 課題管理画面で「課題の管理」ボタンを押します。

課題管理	
項目名	概要
種別の管理	種別の新規登録、変更、削除等の処理を行います
カスタムフィールドの管理	カスタムフィールドの新規登録、変更、削除等の操作を行います。
ステータス管理	ステータスの新規登録、変更、削除等の操作を行います。
共通フィールドの管理	共通フィールドの新規登録、変更、削除等の処理を行います
ワークフロー管理	課題管理ステータスのワークフローを管理します。

2. 「新規」ボタンを押します。

種別の管理			
ID	種別	説明	削除
1	不具合	製品の機能が正しく動かない問題を管理する種別です。	削除
2	要望	製品の機能改善を管理する種別です。	削除
3	問い合わせ	製品に対する問い合わせを管理する種別です。	削除

課題管理に戻る

3. 課題種別の分類を選択します。※「種別の登録」の保存後に分類の変更はできません。

分類

フィールド種類	説明
課題	ソフトウェア開発中に発生した課題(障害・問合せ・要望等)を共有して解決に取り組む場面で利用します。
サブタスク	<p>課題を実行可能な小さい単位のタスクに分割し、管理する課題タイプです。</p> <p>親となる課題が必要になります。</p> <p>※ご注意</p> <p>サブタスクには以下の制約がありますのでご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none">配下にサブタスクを追加できません親課題が削除されるとサブタスクも削除されますサブタスクの移動は同一工程のみしかできません ※親課題の変更したあと、移動していただく必要があります。別プロジェクトの課題を親課題として関連付けすることはできません。親課題がプロジェクト移動する際やサービス課題に移動する際は同時に移動しますプロジェクト情報のサマリーや課題状況、進捗画面以外の分析画面では数値として計上されませんスコープ管理画面だと階層表示されますが、サービス課題管理、課題管理では同列に表示されます。

種別の登録

種別名	*	<input type="text"/>
説明		<input type="text"/>
分類	*	<input checked="" type="radio"/> 課題 <input type="radio"/> サブタスク
		<input type="checkbox"/> 選択 <input type="text"/> カスタムフィールド

4. 利用するフィールドの選択と必須フィールドの選択
- 種別名と説明入力し利用したいカスタムフィールドのチェックボックスにチェックを入れます。必須入力したいカスタムフィールドは、右端の列のチェックボックスにチェックを入れます。編集を終えたら保存ボタンを押して下さい。

種別の登録

種別名	<input type="text"/>			
説明	<input type="text"/>			
分類	<input checked="" type="radio"/> 課題 <input type="radio"/> サブタスク			
利用するカスタムフィールドの選択	<input checked="" type="checkbox"/> 3	優先度	単一選択リスト	<input type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/> 4	重要度	単一選択リスト	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 5	クローズ理由	単一選択リスト	<input type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/> 6	開発担当者	メンバー	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 7	環境依存性	ラジオボックス	<input type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/> 8	機能	機能	<input type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/> 11	納期	日付	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 14	操作手順	テキストボックス(複数行)	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 15	再現性の有無	ラジオボックス	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 16	発生環境	発生環境	<input type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/> 17	担当者	メンバー	<input type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/> 21	報告者	メンバー	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/> 25	発生バージョン	バージョン	<input type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/> 26	修正バージョン	バージョン	<input type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/> 36	添付ファイル	添付ファイル	<input type="checkbox"/>

保存 キャンセル

5. 保存に成功すると、種別の管理画面に遷移します。種別の管理画面上で、種別名のリンクを押すことで、各種別の編集を行うことができます。削除ボタンを押すと種別を削除できます。
- ※種別の削除は、既に種別を利用中の課題が存在する場合は出来ません。

種別の管理 新規

ID	種別	説明	削除
1	不具合	製品の機能が正しく動かない問題を管理する種別です。	削除
2	要望	製品の機能改善を管理する種別です。	削除
3	問い合わせ	製品に対する問い合わせを管理する種別です。	削除

18.6. カスタムフィールドの管理

カスタムフィールドの管理では、各課題種別で利用するカスタムフィールドの作成、編集と削除ができます。

18.6.1. カスタムフィールドの作成手順

1. 課題管理画面で「カスタムフィールドの管理」リンクを押します。

課題管理

項目名	概要
種別の管理	種別の新規登録、変更、削除等の処理を行います
カスタムフィールドの管理	カスタムフィールドの新規登録、変更、削除等の操作を行います。
ステータス管理	ステータスの新規登録、変更、削除等の操作を行います。
共通フィールドの管理	共通フィールドの新規登録、変更、削除等の処理を行います
ワークフロー管理	課題管理ステータスのワークフローを管理します。

2. 「新規」ボタンを押します。

カスタムフィールドの削除を行う場合はこの画面で削除したいカスタムフィールドの削除ボタンを押して下さい。

カスタムフィールドの管理

検索...

12 件中 1 件 ~ 4 件 | 100 ▼

ID ▲ ▼	フィールド名 ▲ ▼	タイプ ▲ ▼	削除
5	クローズ理由	単一選択リスト	削除
7	環境依存性	ラジオボックス	削除
14	操作手順	テキストボックス(複数行)	削除
15	再現性の有無	ラジオボックス	削除

12 件中 1 件 ~ 4 件

3. カスタムフィールド名とタイプを入力します。入力したタイプごとに初期値の編集とオプションを入力してください。入力を終わったら「保存」ボタンを押します。

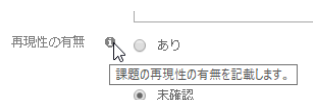
カスタムフィールドの登録

カスタムフィールド	<input type="text"/>
タイプ	--選択-- ▼
説明	<input type="text"/>

保存

キャンセル

「説明」に入力したテキストは、課題起票画面の各項目ラベル右のアイコンをホバーすると表示されます。



18.6.2. カスタムフィールドタイプ一覧

以下のカスタムフィールドタイプを選択できます。タイプにより初期値設定の有無が異なります。

タイプ	説明	初期値
単一選択リスト	オプション定義した項目から単一選択をするコンボボックス	有
複数選択リスト	オプション定義した項目から複数選択をするリストボックス	有
テキストボックス(1行)	1行のテキストボックス	有
テキストボックス(複数行)	複数行のテキストボックス	有
チェックボックス	真偽のみを保持するチェックボックス	有
ラジオボックス	オプション定義した項目から単一選択をするラジオボックス	有
セレクトボックス	プロジェクト単位で任意テキストの登録及び候補検索機能付きテキストボックス	有
URL	リンク表示となるテキストボックス	有
メンバー	チーム設定されたメンバーを単一選択するコンボボックス	無
日付	カレンダー入力支援つきテキストボックス	無
日付(時刻)	カレンダー入力支援つきテキストボックス	無

18.7. ステータスの管理

ステータス管理では、各種別で利用するステータスの作成、編集、削除ができます。

18.7.1. 新しいステータスを登録する

1. 課題管理画面で「ステータス管理」ボタンを押します。



課題管理

項目名	概要
種別の管理	種別の新規登録、変更、削除等の処理を行います
カスタムフィールドの管理	カスタムフィールドの新規登録、変更、削除等の操作を行います。
ステータス管理	ステータスの新規登録、変更、削除等の操作を行います。
共通フィールドの管理	共通フィールドの新規登録、変更、削除等の処理を行います

2. 「追加」ボタンを押します。

ステータスの管理

追加

ID	ステータス	タイプ	差戻しフラグ	説明	削除
1	新規 ✓	新規		課題起票状態です。担当者をアサインして、課題を対応してください。	削除
2	番手中	番手中		担当者にて課題対応中です	削除
3	修正完了	番手中		担当者による課題対応が終了しました。	削除
4	修正確認完了	番手中		確認者により課題対応確認が終了しました。	削除
5	差し戻し	番手中	オン	確認者により課題解決が確認できなかったため、課題を担当者に差し戻します。	削除
6	再現待ち	番手中		課題の再現が出来ない状態です。	削除
7	見送り	完了		課題の対応を見送ります。	削除
8	保留	番手中		課題を保留状態にします。	削除
9	終了	完了		課題をクローズします。	削除

3. ステータス名、タイプを入力します。差し戻しフラグ、初期値、説明も必要に応じ入力してください。入力を終えたら保存ボタンを押します。

タイプの各項目の説明

タイプ	説明
新規・着手中	各画面(課題管理画面や実行画面)等でオープン中の課題として表示します。 簡易表示例(上：新規、下：着手中)
完了	各画面で対応完了した課題として表示する他、全体進捗画面の障害対応数など対応完了した課題としてカウントします。 簡易表示例

差し戻しフラグの説明

課題が差し戻しフラグオンを持つステータスに変更されると、その課題の差し戻し回数と、その時の課題担当者（開発者フィールドがある場合は開発者）の差し戻し回数が1増加します。

ステータス作成

ステータス名	<input type="text"/>
タイプ	<input type="text" value="--選択--"/>
差し戻しフラグ	<input type="checkbox"/> 利用者がこのステータスを選択すると、差し戻し回数が増加するようになります。
初期値	<input type="checkbox"/>
説明	<input type="text"/>

保存

キャンセル

4. 「保存」ボタンを押すとステータスの管理画面に戻ります。ステータス名のリンクを押すとステータスの編集画面に遷移し、保存した内容を編集できます。「削除」ボタンでステータスが削除できます。

18.8. ワークフローの管理

1つの課題に対して立場が異なるユーザー(テスター・マネージャー・承認者等)が担当者になる場合、ワークフロー機能でステータス毎に細かく制限を設定することで業務フローに沿った課題のステータス遷移のコントロールができます。

例えば、「終了」のステータスに遷移する際は必須の項目を付ける、「確認完了」のステータスに変更できるのは特定のユーザーに制限ができます

具体的に制限できる項目は以下になります。

- ステータス毎に遷移先を制限(変更先のステータスを制限)
- ステータス毎にそのステータスに変更できるユーザーを制限
- ステータス毎に必須入力項目を設定

18.8.1. 新しい課題のワークフローを登録する

1. 課題管理画面で「ワークフロー管理」を押してください。

CAT COMPUTER AIDED TESTプロジェクト課題登録Yuta Sakamoto

課題管理

項目名	概要
種別の管理	種別の新規登録、変更、削除等の処理を行います
カスタムフィールドの管理	カスタムフィールドの新規登録、変更、削除等の操作を行います。
ステータス管理	ステータスの新規登録、変更、削除等の操作を行います。
共通フィールドの管理	共通フィールドの新規登録、変更、削除等の処理を行います
ワークフロー管理	課題管理ステータスのワークフローを管理します。

Copyright © 2010-2017 SHIFT Inc. All rights reserved.Ver 4.15.000

2. 「新規登録」ボタンを押します。

※ワークフローには予め「標準のワークフロー」が登録されています。

CAT COMPUTER AIDED TESTプロジェクト課題登録SHIFT USER

ワークフロー一覧

新規登録

検索...

68件中1件〜68件100

ID	ワークフロー	利用プロジェクト	ステータス数	更新者	更新日	コピー	削除
16	End Status Manager Only	6	9	ugaji	2017/08/09 18:03:17	コピー	削除
15	Workflow1	4	9	Vaibhav112	2017/07/19 19:44:17	コピー	削除

3. ワークフロー名を記入し、「利用ステータス」を押します。

CAT COMPUTER AIDED TESTプロジェクト課題登録Yuta Sakamoto

ワークフロー設定

ステータス毎に遷移先、利用許可するロール、必須フィールドを設定してください

ワークフロー名

上へ下へ

利用ステータス

ID	ステータス	タイプ	遷移先	許可するロール	必須
一致するデータがありません。					

保存キャンセル

4. ステータスの選択ダイアログが開かれます。利用したいステータスのチェックボックスにチェックを入れます。編集を終えたら「OK」を押してください

ワークフロー設定

ステータス毎に遷移先、利用許可するロール、必須フィールドを設定してください

ワークフロー名

上へ

ID

一致するデータがある

ステータスの選択

ID	ステータス	タイプ	概要
<input checked="" type="checkbox"/> 1	新規	新規	課題が起票状態です。
<input type="checkbox"/> 2	着手中	着手中	担当者に対応中です。
<input type="checkbox"/> 3	修正完了	完了	担当者の対応が終了しました。
<input type="checkbox"/> 4	修正確認完了	完了	確認者の修正確認が終了しました。
<input type="checkbox"/> 5	差し戻し	完了	修正確認が出来なかったため、課題を担当者に差し戻しました。
<input type="checkbox"/> 6	再現待ち	着手中	課題の再現が出来ない状態です。
<input type="checkbox"/> 7	見送り	完了	課題の対応を見送ります。
<input type="checkbox"/> 8	保留	着手中	課題を対応保留にします。
<input type="checkbox"/> 9	終了	完了	課題を終了します。

OK

キャンセル

Copyright © 2010-2017 SHIFT Inc. All rights reserved. Ver 4.15.000

5. 各ステータスに設定したい遷移先、許可するロール、必須項目を編集します。設定が完了したら「保存」を押してください

ワークフロー設定

ステータス毎に遷移先、利用許可するロール、必須フィールドを設定してください

ワークフロー名

上へ

下へ

利用ステータス

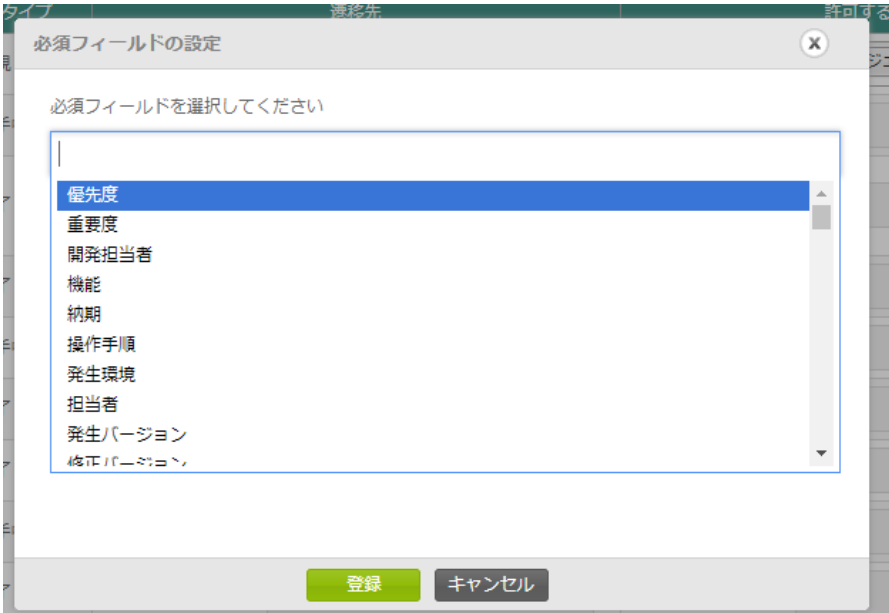
ID	ステータス	タイプ	遷移先	許可するロール	必須
<input checked="" type="checkbox"/> 1	新規	新規	<input type="radio"/> すべて <input checked="" type="radio"/> 制限 <input checked="" type="checkbox"/> 着手中 <input checked="" type="checkbox"/> 再現待ち <input checked="" type="checkbox"/> 保留	<input checked="" type="radio"/> すべて <input type="radio"/> 制限	0
<input type="checkbox"/> 2	着手中	着手中	<input type="radio"/> すべて <input checked="" type="radio"/> 制限 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 修正完了 <input checked="" type="checkbox"/> 再現待ち <input checked="" type="checkbox"/> 保留	<input type="radio"/> すべて <input type="radio"/> 制限	0
<input type="checkbox"/> 3	修正完了	完了	<input type="radio"/> すべて <input checked="" type="radio"/> 制限 <input checked="" type="checkbox"/> 差し戻し <input checked="" type="checkbox"/> 保留 <input checked="" type="checkbox"/> 着手中	<input type="radio"/> すべて <input type="radio"/> 制限	0
<input type="checkbox"/> 5	差し戻し	完了	<input type="radio"/> すべて <input checked="" type="radio"/> 制限 <input checked="" type="checkbox"/> 保留 <input checked="" type="checkbox"/> 着手中 <input checked="" type="checkbox"/> 再現待ち	<input type="radio"/> すべて <input type="radio"/> 制限	0
<input type="checkbox"/> 6	再現待ち	着手中	<input checked="" type="radio"/> すべて <input type="radio"/> 制限	<input type="radio"/> すべて <input type="radio"/> 制限	0
<input type="checkbox"/> 7	見送り	完了	<input checked="" type="radio"/> すべて <input type="radio"/> 制限	<input type="radio"/> すべて <input type="radio"/> 制限	0
<input type="checkbox"/> 8	保留	着手中	<input type="radio"/> すべて <input checked="" type="radio"/> 制限 <input checked="" type="checkbox"/> 着手中 <input checked="" type="checkbox"/> 差し戻し	<input type="radio"/> すべて <input type="radio"/> 制限	0
<input type="checkbox"/> 9	終了	完了	<input checked="" type="radio"/> すべて <input type="radio"/> 制限	<input type="radio"/> すべて <input checked="" type="radio"/> 制限 <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクトリーダー	0

保存

キャンセル

Copyright © 2010-2017 SHIFT Inc. All rights reserved. Ver 4.15.000

各項目の説明

項目	説明
遷移先	遷移先の制限の設定では、制限を許可するステータスを指定します。
許可するロール	<p>許可するロールには、そのステータスへの遷移を許可するロールを指定します。</p> <p>ステータスタイプが新規のものに許可するロールを制限すると、該当ロールのユーザーのみが課題を登録できるよう制限できます。</p> <p>ロールの定義については、ロール管理を参照ください。</p>
必須項目	<p>必須項目のセルをクリックすると以下のポップアップが表示されます。テキストボックスをクリックまたは入力し、項目を選択し、「登録」ボタンを押してください。</p> 

ワークフローのプロジェクトへの適用について

登録したワークフローは、「プロジェクト設定 > 課題の設定 > 種別とフィールドの設定」で割り当てができます。

プロジェクト

課題登録

Yuta Sakamoto

種別と表示フィールドの設定

プロジェクトで利用する種別と表示設定を行ってください。

種別の初期値: 不具合

上へ移動 下へ移動

種別の選択

ID	種別	ワークフロー	概要
1	不具合	ワークフローなし	製品の機能が正しく動かない問題を管理する種別です。
2	要望	ワークフローなし	製品の機能改善を管理する種別です。
3	問い合わせ	ワークフローなし	製品に対する問い合わせを管理する種別です。

保存

キャンセル

Copyright © 2010-2017 SHIFT Inc. All rights reserved.

Ver 4.15.000

18.9. 共通フィールドの管理

共通フィールドの管理では、「優先度」フィールドと「重要度」フィールドの選択肢を管理できます。

18.9.1. 新しい優先度・重要度を登録する

新しい優先度の設定方法を説明します。重要度の設定も同様の方法で設定できます。

1. 課題管理画面で「共通フィールドの管理」リンクを押します。

CAT COMPUTER
AIDED TEST

プロジェクト▼

課題登録

Ishi

課題管理

項目名	概要
種別の管理	種別の新規登録、変更、削除等の処理を行います
カスタムフィールドの管理	カスタムフィールドの新規登録、変更、削除等の操作を行います。
ステータス管理	ステータスの新規登録、変更、削除等の操作を行います。
共通フィールドの管理	共通フィールドの新規登録、変更、削除等の処理を行います
ワークフロー管理	課題管理ステータスのワークフローを管理します。

2. 「優先度管理」ボタンを押します。

共通フィールドの管理

設定一覧	概要
優先度管理	優先度の管理を行います。
重要度管理	重要度の管理を行います。

3. 「新規」ボタンを押します。

優先度管理

上へ 下へ

新規 削除

ID	優先度	状態
<input type="checkbox"/> 1	P5 (高)	有効
<input type="checkbox"/> 2	P4 (中高)	有効
<input type="checkbox"/> 3	P3 (中) ✓	有効
<input type="checkbox"/> 4	P2 (中低)	有効
<input type="checkbox"/> 5	P1 (低)	有効

保存 キャンセル

4. 優先度の新規名称を入力した後、各種設定を行い、「追加」ボタンを押します。

優先度の初期値

チェックをオンにすると、課題起票時にこの優先度が初期値として表示されるようになります。

※他の優先度に設定されている初期値は無効になります。

優先度の有効設定

編集時にこのチェックを外すと、この優先度を無効化できます。優先度を無効にすることで、登録済の課題を変更することなく、入力項目からこの優先度を削除できます。

優先度の登録

名称	<input type="text"/>
初期値	<input type="checkbox"/>
有効	<input checked="" type="checkbox"/>

追加 キャンセル

18.9.2. 優先度の表示順を変更する・優先度を削除する

優先度の一覧画面上で、優先度の表示順を変更できます。ID列のチェックボックスにチェックを入れると、上へ、下へボタンが有効になります。このボタンを利用して表示順序の設定します。

また「削除」ボタンを押すことで、チェックボックスで選択している優先度を削除できます。

全ての編集を終えたら「保存」ボタンを押し、変更を確定させてください。

優先度管理

上へ

下へ

新規

削除

ID	優先度	状態
<input checked="" type="checkbox"/> 1	P5 (高)	有効
<input type="checkbox"/> 2	P4 (中高)	有効
<input type="checkbox"/> 3	P3 (中) ✓	有効
<input type="checkbox"/> 4	P2 (中低)	有効
<input type="checkbox"/> 5	P1 (低)	有効

保存

キャンセル

18.10. カスタムフィールドをプロジェクトの課題管理で利用する

課題管理で作成したカスタムフィールドをプロジェクトの課題管理で利用するには、課題管理とプロジェクトの設定の両方で、課題種別にカスタムフィールドを追加する必要があります。

以下ではカスタムフィールドを作成し、プロジェクトで課題種別に追加する手順を説明します。

課題管理でカスタムフィールドを追加する

1. 課題管理を開き、「カスタムフィールドの管理」を選択します。

2. 「新規」ボタンを押下します

3. カスタムフィールド名、タイプ、説明を入力して、「保存」ボタンを押下します

課題管理で課題種別にカスタムフィールドを追加する

1. カスタムフィールドの管理画面下部の「課題管理に戻る」をクリックし、課題管理画面に戻ります。「種別の管理」を選択します



2. カスタムフィールドを追加したい課題の種別を選択します



3. 対象のカスタムフィールドにチェックボックスを入れて、「保存」を押下します。



※起票時にカスタムフィールドを必須項目としたい場合、必須列のチェックを入れます。

プロジェクト設定で課題種別にカスタムフィールドを追加する

1. プロジェクト管理に移動し、変更を反映したいプロジェクトを選択します。



2. 「課題の設定」を選択します



3. 「種別と表示フィールドの設定」を選択します



4. カスタムフィールドを追加したい課題種別を選択します



5. 「フィールド選択」ボタンを押下します



6. 追加したいフィールドのチェックボックスにチェックし、「OK」ボタンを押下します



7. 項目の表示設定に戻ります。カスタムフィールドの位置を調整するにはチェックボックスをチェックして、「上へ移動」、「下へ移動」ボタンを押します。

設定が完了したら「OK」ボタンを押します。

ID	画面名	複数選択リスト	
1005	画面名	複数選択リスト	
1007	種別名	複数選択リスト	
1009	種別OS	複数選択リスト	
1010	テスト観点	複数選択リスト	
1011	ブラウザ	複数選択リスト	
1012	機能分類	単一選択リスト	
11	納期	日付	納期を記載します。
25	発生バージョン	バージョン	課題が発生したバージョンを記載します。
26	修正バージョン	バージョン	課題を修正したバージョンを記載します。
27	発見方法	発見方法	課題の発見方法を記載します。
28	アプリ種別	アプリ種別	検証対象のアプリ種別を記載します。
29	開発種別	開発種別	検証対象の開発種別を記載します。
30	ケース分類	ケース分類	テストケースの分類を記載します。
31	障害分類	障害分類	障害の分類を記載します。
32	原因分類	原因分類	障害の原因分類を記載します。
33	推奨発見工程	推奨発見工程	障害を検知すべきだった工程を記載します。
1001	対象バージョン	単一選択リスト	

Copyright © 2010-2015 SHIFT, Inc. All rights reserved. Ver 4.11.103

8. 種別と表示フィールドの設定にて「保存」ボタンを押します。

 プロジェクト ▾ 課題登録 Yuta Sakamoto  

種別と表示フィールドの設定

プロジェクトで利用する種別と表示設定を行ってください。

種別の初期値: 不具合

種別の選択

ID	種別	ワークフロー	概要
1	不具合	ワークフローなし	製品の機能が正しく動かない問題を管理する種別です。
2	要望	ワークフローなし	製品の機能改善を管理する種別です。
3	問い合わせ	ワークフローなし	製品に対する問い合わせを管理する種別です。

19. ユーザー管理

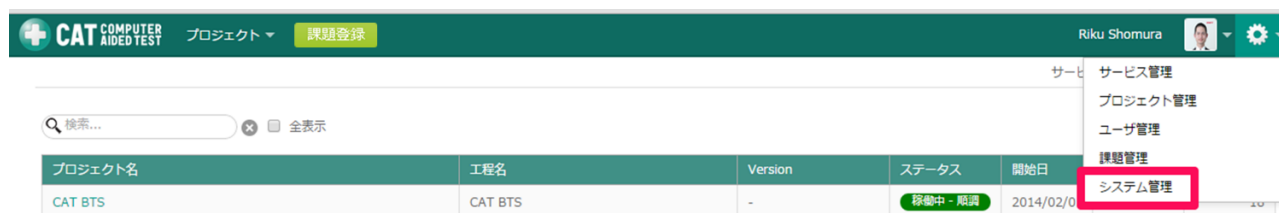
CATはユーザー情報に、権限・グループ等の情報や認証方式を設定できます。この章ではユーザーの設定について記載します。

19.1. ユーザーの属性情報を管理する

ユーザーの所属するグループ・勤務地を登録できます。ここで設定した内容は、チーム設定時の検索項目として利用可能です。

19.1.1. グループを定義する

1. 設定アイコンにマウスオーバーし、ドロップダウン上のシステム管理を押します。



2. グループ管理ボタンを押します。



3. 新規登録ボタンを押します。

グループ一覧

新規登録

4. グループ名を入力し、登録ボタンを押します。

グループの登録

グループ名	*	<input type="text"/>
-------	---	----------------------

19.1.2. ユーザーにグループ・勤務地を割り当てる

登録された内容は、ユーザー管理よりユーザーに割り当てることが可能です。また、プロフィール編集画面にて、自身のグループと勤務地は変更可能です。

19.2. ロールを各プロジェクトにて利用する

メンバーのロールは、サービスに所属するメンバー毎に設定をします。設定方法は、[メンバーのワークフローのロールを設定する](#)を参照ください。

19.3. ユーザーが所属しているプロジェクトを確認する

ユーザー管理画面から所属しているプロジェクトの編集ができます。

1. ユーザー管理画面から任意のユーザーをクリックし、ユーザーの詳細画面に遷移し、参加プロジェクトをクリックします。



2. ユーザーが参加しているサービスプロジェクトを確認できます。

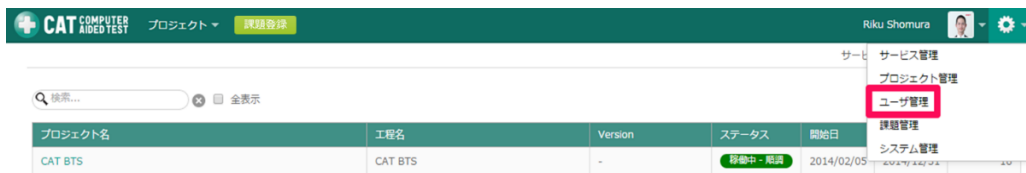


19.4. ユーザー一覧を開く

登録されているユーザーの閲覧やユーザーの新規登録を行うにはユーザー一覧画面を開きます。

手順

1. 設定アイコン>ユーザー管理を開きます。



2. ユーザー一覧が表示されます。



ID	ユーザー名	メールアドレス	パスワード	部署	認証	最終ログイン日	ステータス
1	ugaji		存在する		CAT	2017-11-09	有効
5	協力会社様 リネーム		存在する	Software ...	CAT	2016-05-23	有効
10	Naoaki Mizuguchi		存在する		CAT	2017-11-09	有効
18	Vaibhav		存在する	Software ...	CAT	2017-11-03	有効
58	to.naoaki@gmail.com(協力会社)		存在する		CAT	2016-03-08	有効
83	Sahil Patil		存在する	Software ...	CAT	2017-11-04	有効
86	testuesr		存在する		CAT	2016-01-08	有効

各画面項目

項目名	説明
新規登録	ユーザーを画面から1件ずつ、もしくはCSVで一括登録できます。
パスワード再設定	ユーザーを選択してこのボタンを押すと、パスワードの再設定メールを送付します。次の様な際に利用します。 <ul style="list-style-type: none">未ログインのユーザーにパスワードの設定メールを送り場合ロックされたユーザーにパスワードの設定とロック解除を促す場合
ステータス変更	選択したユーザーのステータスを変更します。
認証方式	LDAP等ユーザーの認証方式を一括して設定できます。
ダウンロード	ユーザーの一覧をCSV形式でダウンロードします。
削除	ユーザーを削除します。
フィルターのクリア・リセット(…アイコン)	フィルターのクリア：表で設定したフィルター条件を解除します。 リセット：表で設定したフィルタ・ソート・グルーピング等の条件を全て元にもします。
ユーザー一覧画面	ユーザーの一覧です。他のグリッド画面と同様に文字や条件でのフィルター、グルーピング(グループごとで人数を見る等)等ができます。

19.5. ユーザー一覧をCSV形式でダウンロードする

棚卸しの際等ユーザーの一覧を取得したい場合、CSVでのエクスポートができます。ユーザー一覧から「ダウンロード」ボタンを押してください。



ID	ユーザー名	メールアドレス	ログインID
15571	01 catuser		catuser01
15572	02 catuser		catuser02

メニューの説明

メニュー	説明
全件	全ユーザーをCSVファイルとしてダウンロードします。
フィルター範囲	ユーザー一覧でフィルターされたユーザーのみCSVファイルとしてダウンロードします。

19.6. ユーザを追加する

ユーザを追加する方法を説明します。ユーザーを一括登録したい場合は、[ユーザーを一括登録する](#)を参照してください。

1. ヘッダーのドロップダウンからユーザ管理を押します。



2. 「新規登録」ボタンを押し、ドロップダウンの「ユーザ登録」を押します。



3. ユーザ情報を入力し、「登録」ボタンを押します。

ユーザの登録

ユーザ名	<input type="text" value="testes"/>	100文字以内
認証方式	<input type="text" value="CAT"/>	
Eメール	<input type="text" value="testes@mail.com"/>	200文字以内 <input checked="" type="checkbox"/> ログインIDとしてメールアドレスを利用
ログインID	<input type="text" value="testes@mail.com"/>	200文字以内
権限	<input type="text" value="社員メンバー"/>	
管理者権限を付与する	<input type="checkbox"/>	
部署	<input type="text" value="選択"/>	
ランク	<input type="text" value="選択"/>	
勤務地	<input type="text" value="選択"/>	
ステータス	<input checked="" type="radio"/> 入社予定 <input type="radio"/> 在籍中 <input type="radio"/> 退職済み	
メール送信形式	<input type="text" value="HTML形式"/>	
入社日	<input type="text" value=""/>	
退職日	<input type="text" value=""/>	
プロフィール写真	<input type="button" value="ファイルを選択"/>	
CAT検定評価	正確性 <input type="text" value="1"/> スピード <input type="text" value="1"/> 記憶能力 <input type="text" value="1"/> テスト適正 <input type="text" value="1"/> タイピング <input type="text" value=""/> 総合(入力範囲(半角数字): 0から5.0まで) 設計 <input type="text" value=""/> 総合(入力範囲(半角数字): 0から5.0まで)	

画面項目

項目	説明
認証方式	「CAT」か「認証設定」で登録した外部認証を選択します。 外部認証を選択した場合、設定内容により設定可能項目が変動します。
ユーザ名	ユーザ名称を入力します。
ログインIDとしてメールアドレスを利用	CATでは、ログインIDにメールアドレスの利用を推奨します。初期表示はチェックがついており、ログインIDへの入力が不可です。ログインIDとメールアドレスを個別に設定したい場合はチェックをはずしてください。
ログインID	ログインIDを入力します。
メールアドレス	CATから登録いただいたメールアドレスにメールが送信されます。
パスワード	パスワードを設定します。設定できるパスワードの長さは8～64文字です。 ※メールアドレスを設定した場合、パスワードを空欄で登録するとメールアドレス宛にパスワード設定メールが送信されます。メールアドレス未設定の場合、初期パスワードの設定は必須です。
権限	社員、協力会社、顧客の3つの権限から選択できます。 権限による違いについては ユーザー権限について を参照してください。
管理者権限を付与する	管理者権限を付与します。管理者権限は社員権限のユーザーに対してのみ付与できます。少なくとも1人の管理者を用意する必要があります。
グループ	「システム設定 > グループ管理」で登録したグループを選択します。
勤務地	「システム設定 > その他設定」で登録した勤務地を選択します。
ステータス	ユーザのステータスを入力します。
メール送信形式	受信したいメールの送信形式を選択できます。なお、メール送信形式がHTML形式以外である場合にも、レポートメールはHTML形式で送信されます。
入社日	ユーザの入社日を入力します。
退職日	ユーザの退職日を入力します。
プロフィール写真	ユーザのプロフィール写真を登録します。 プロフィール画像はCATにて100KB程度に圧縮して登録します。

19.7. ユーザーを一括登録する

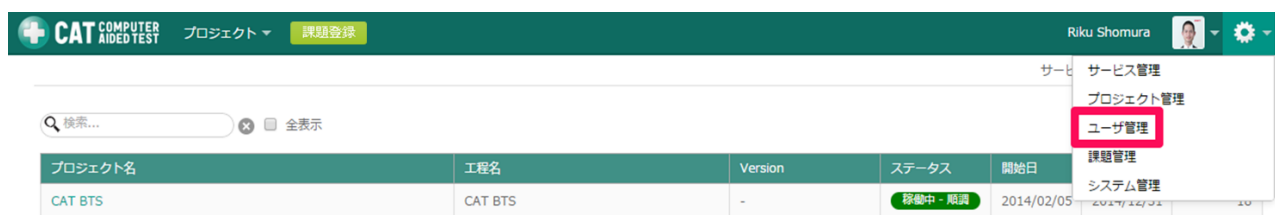
CSVファイルを利用してユーザーを一括登録する方法を説明します。

一括登録するユーザー情報をCSVファイルに保存し、それをCATにアップロードします。CSVファイルの作成にはユーザー情報登録フォーマットをご利用ください。テンプレートボタンでダウンロードすることができます。

またCSVからのユーザー登録では、ユーザー数がライセンス数を超過した場合でも無効ユーザーとして登録できます。

利用手順を説明します。

1. ヘッダーのドロップダウンから「ユーザー管理」を選択します。



2. 「新規登録」ボタンのドロップダウンにある「ユーザーの一括登録」を押します。



3. テンプレートを押し、ユーザー情報一括登録のためのフォーマットをダウンロードしてください。既にフォーマットを持っている場合やフォーマットが不要ない場合はこの操作は不要です。



4. ヘルプでユーザー情報入力フォーマットを確認してください。グループ、勤務地のフォーマットはCATの設定状態により異なるのでここで確認する必要があります。



ユーザー一括登録時のCSVフォーマット

ユーザを一括登録する際のCSVフォーマットを説明します。このフォーマットに従ってユーザー一覧を作成し、インポートしてください。

- *必ず指定する必要があります。
- LDAP認証を利用している場合、この機能は利用できません。

ID	フィールド	概要	
1	ユーザ名*	登録するユーザのユーザ名を指定してください。	
2	Eメール*	登録するユーザのEメールアドレスを指定してください。	
3	ログインID	登録するユーザのログインIDを指定してください。	
4	パスワード	登録するユーザのパスワードを指定してください。	
5	役割*	登録するユーザの役割を指定します。以下の表に従って、値を設定してください。 ※空白の場合は社員権限で登録されます。	
		役割	値
		社員(管理者)	0
		社員	1
		協力会社	2
顧客	3		
6	ステータス*	登録するユーザのステータスを指定します。以下の表に従って、値を設定してください。 ※空白の場合は入社済みで登録されます。	
		ステータス	値

カラム名	説明										
ユーザー名	必須項目です。ユーザー名を入力してください。										
Eメール	必須項目です(※)。メールアドレスを入力してください。 ※クラウド版のみ。ダウンロード版は任意項目となります。										
ログインID	ログインIDを入力します。未入力の場合、メールアドレスがログインIDとして利用されます。										
パスワード	パスワードを入力します。未入力の場合、ユーザー自身が初回ログイン時に設定することができます。										
役割	<p>必須項目です。ユーザーの権限を入力してください。権限の設定は以下の表を参考に0-3の数値を入力してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>権限</th><th>入力値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社員(管理者)</td><td>0</td></tr> <tr> <td>社員</td><td>1</td></tr> <tr> <td>協力会社</td><td>2</td></tr> <tr> <td>顧客</td><td>3</td></tr> </tbody> </table>	権限	入力値	社員(管理者)	0	社員	1	協力会社	2	顧客	3
権限	入力値										
社員(管理者)	0										
社員	1										
協力会社	2										
顧客	3										
ステータス	<p>必須項目です。ユーザーのステータスを入力してください。ステータスの設定は以下の表を参考に1-3の数値を入力してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ステータス</th><th>入力値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入社予定</td><td>1</td></tr> <tr> <td>在籍中</td><td>2</td></tr> <tr> <td>退職済み</td><td>3</td></tr> </tbody> </table>	ステータス	入力値	入社予定	1	在籍中	2	退職済み	3		
ステータス	入力値										
入社予定	1										
在籍中	2										
退職済み	3										
グループ	ユーザーのグループを入力してください。グループの対応値はCATの設定状態によって異なるため、ユーザー一括登録画面のiボタンから確認してください。										
勤務地	ユーザーの勤務地を入力してください。勤務地の対応値はCATの設定状態によって異なるため、ユーザー一括登録画面のiボタンから確認してください。										
入社日	入社日をYYYY/MM/DDフォーマットで入力してください。										

5. 登録したいユーザー情報をCSVファイルに入力してください。

ユーザー名*	Eメール*	ログインID	パスワード	役割*	ステータス*	部署名	勤務地	入社日
user 1	sample@test.mail			0	1	1	1	2016/4/1
user 2	sample2@test.mail			1	2	1	1	2015/4/1

6. ドロップダウンまたは、CSVアップロードボタンにより、作成したユーザー情報をアップロードしてください。

The screenshot shows the '一括登録' (Bulk Registration) page. It includes a 'CSVアップロード' (CSV Upload) button and a text area for uploading a CSV file. Instructions in Japanese explain that users can register multiple users at once by uploading a CSV file. A 'デフォルト' (Default) button is also visible.

19.8. パスワードを設定する

19.8.1. パスワード再設定メールを一括送信する

ユーザーにパスワード再設定メールを一括送信できます。

1. ユーザー管理画面を開きます。
2. パスワード再設定メールを送りたいユーザーを選択し「パスワード再設定」を押します。

The screenshot shows the 'ユーザー一覧' (User List) table. The 'パスワード再設定' (Reset Password) button is highlighted in the top navigation bar. The table lists users with columns for ID, Name, Email Address, Login ID, Role, Password, Department, Authentication, Last Login Date, and Status.

ID	ユーザ名	メールアドレス	ログインID	権限	パスワード	部署	認証	最終ログイン日	ステータス
1	Dev Uga			管理者	存在する	ソフトウェア...	CAT		有効
2	Dev Shil			管理者	存在する	ソフトウェア...	CAT		有効
3	開発 廣			管理者	存在する	ソフトウェア...	CAT		有効
4	開発 中沢			管理者	存在する	ソフトウェア...	CAT		有効
8	Dev Mari			管理者	存在する	ソフトウェア...	CAT		有効
10	開発 永守			管理者	存在する	ソフトウェア...	CAT		有効

3. 送信先が正しいことを確認して「送信」ボタンを押して下さい。なおこのメールは、ユーザステータスが無効、もしくはEメールを持たないユーザーに送付することはできません。

The dialog box shows a confirmation message: '選択したユーザにパスワードの再設定メールを送信します。ユーザ名を確認し、送信ボタンを押下してください' (Send password reset email to selected users. Please confirm the user name and click the send button). It also includes a warning: '※このメールは、無効、もしくはEメールを持たないユーザに送付することはできません。' (This email cannot be sent to inactive or email-less users). A table lists the selected user: ID 10111, Name kanri, Email kanri@, Password 存在する (Exists).

19.9. アカウントロックを解除する

CATでは連続5回ログイン試行に失敗するとアカウントはロックされます。

ロック状態にあるユーザーは、ユーザー一覧でロック中のアイコンが表示されます。

The screenshot shows the 'ユーザー一覧' (User List) table. The user 'SH_TESTER' (ID 10092) is highlighted with a red box, indicating they are locked. The table columns are the same as in the previous screenshot.

ID	ユーザ名	メールアドレス	ログインID	権限	パスワード	部署	認証	最終ログイン日	ステータス
10092	SH_TESTER	test@test1.shiftinc...	test@test1.shiftinc...	管理者	存在する		CAT	2018-04-06	ロック中
10131	shy_admin	test1@test.test.sh...	test1@test.test.sh...	管理者	存在する		CAT	2018-04-19	有効
10132	shy_employee	test2@test.test.sh...	test2@test.test.sh...	社員メンバー	存在する		CAT	2018-06-06	有効

アカウントロックの解除するには、パスワードの再設定が必要です。

ユーザーのメールアドレスを設定している場合、ユーザー自身がログイン画面からパスワード再設定を申請できます。

以下では、管理者がパスワードを再設定する手順を説明します。

19.9.1. 管理者がパスワードを再設定する

メールを利用したパスワードの変更

ユーザー一覧画面から管理者が「パスワード再設定」ボタンを押してパスワード再設定メールを送信できます。

※ダウンロード版をご利用でメール設定を無効化している方はご利用できません。

1. 管理者が、ユーザー一覧画面を表示し、パスワードを変更したいユーザーを選択し、「パスワード再設定」をクリックします。

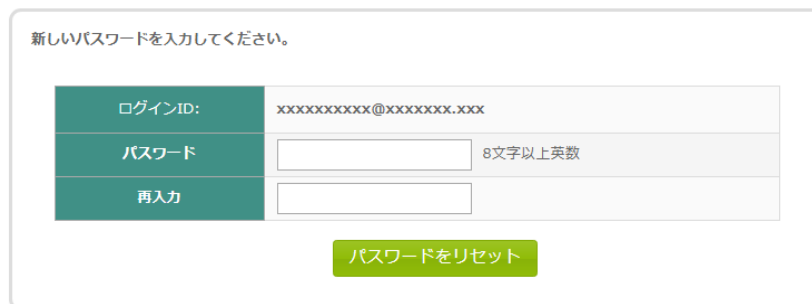


ID	ユーザー名	メールアドレス	ログインID	権限	パスワード	部署	認証	最終ログイン日	ステータス
10039	shift_test_002	shift_test_002@s...	shift_test_002@s...	社員メンバー	存在する	YSTEST	CAT		有効
10060	SHIFT 石井優	sugubon@gmail.c...	sugubon@gmail.c...	顧客	存在する		CAT	2018-05-22	有効
10084	SHIFT_USER	yuta.sakamoto@s...	yuta.sakamoto@s...	管理者	存在する		CAT	2018-06-20	有効
10092	SH_TESTER	test@test1.shiftinc...	test@test1.shiftinc...	管理者	存在する		CAT	2018-04-06	有効
10131	shy_admin	test1@test.test.sh...	test1@test.test.sh...	管理者	存在する		CAT	2018-04-19	有効
10132	shy_employee	test2@test.test.sh...	test2@test.test.sh...	社員メンバー	存在する		CAT	2018-06-06	有効
10133	shy_contract_employee	test3@test.test.sh...	test3@test.test.sh...	協力会社	存在する		CAT	2018-04-24	有効
10134	shy_customer	test4@test.test.sh...	test4@test.test.sh...	顧客	存在する		CAT	2018-05-22	有効
10135	shy_customer2	test5@test.test.sh...	test5@test.test.sh...	顧客	存在する		CAT	2018-04-24	有効

2. ユーザーは、受信したパスワード再設定メールから、パスワード再設定のためのURLをクリックします。



3. ユーザーは、パスワードを再設定します。



新しいパスワードを入力してください。

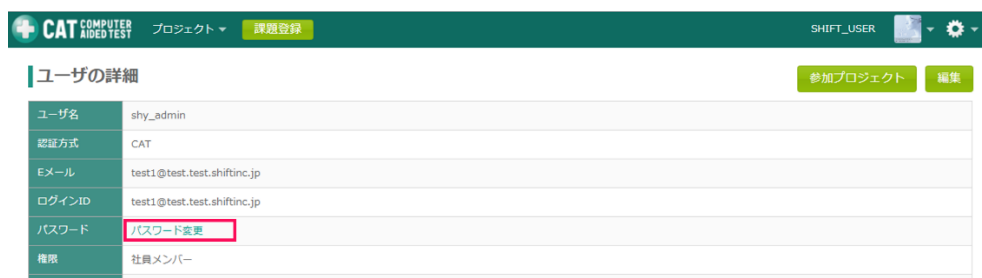
ログインID:	XXXXXXXXXX@XXXXXXXX.XXX
パスワード	<input type="password"/> 8文字以上英数
再入力	<input type="password"/>

パスワードをリセット

ユーザー詳細画面からパスワード変更

ユーザー詳細画面から「パスワード再設定」ボタンを押して、管理者がパスワードを変更できます。

1. ユーザー一覧画面から各ユーザー詳細画面を開き、「パスワード変更」をクリックします。



ID	ユーザー名	メールアドレス	ログインID	権限	パスワード	部署	認証	最終ログイン日	ステータス
10039	shift_test_002	shift_test_002@s...	shift_test_002@s...	社員メンバー	存在する	YSTEST	CAT		有効
10060	SHIFT 石井優	sugubon@gmail.c...	sugubon@gmail.c...	顧客	存在する		CAT	2018-05-22	有効
10084	SHIFT_USER	yuta.sakamoto@s...	yuta.sakamoto@s...	管理者	存在する		CAT	2018-06-20	有効
10092	SH_TESTER	test@test1.shiftinc...	test@test1.shiftinc...	管理者	存在する		CAT	2018-04-06	有効
10131	shy_admin	test1@test.test.sh...	test1@test.test.sh...	管理者	存在する		CAT	2018-04-19	有効
10132	shy_employee	test2@test.test.sh...	test2@test.test.sh...	社員メンバー	存在する		CAT	2018-06-06	有効
10133	shy_contract_employee	test3@test.test.sh...	test3@test.test.sh...	協力会社	存在する		CAT	2018-04-24	有効
10134	shy_customer	test4@test.test.sh...	test4@test.test.sh...	顧客	存在する		CAT	2018-05-22	有効
10135	shy_customer2	test5@test.test.sh...	test5@test.test.sh...	顧客	存在する		CAT	2018-04-24	有効

2. 新しいパスワードを入力し、「登録する」ボタンを押します。

パスワード変更

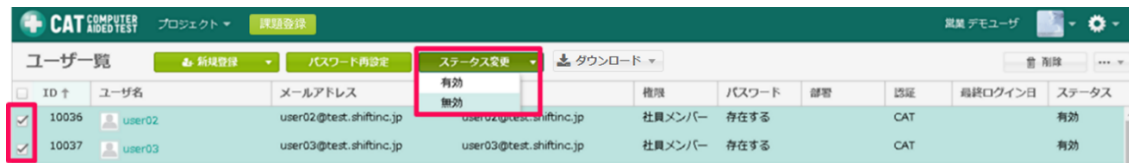
新しいパスワード	<input type="password"/>	8文字以上英数
新しいパスワード（確認用）	<input type="password"/>	

19.10. ユーザーのステータス(有効/無効)を切替える

ユーザーには有効・無効の2つの状態があります。

使わないユーザー等を無効にしておくことでユーザー毎にCATの利用を停止できます。また、無効にしたユーザーはライセンス数にはカウントされません。

1. 有効・無効を切り替えたいユーザーを選択し、ステータス変更ボタンから変更するステータス選択します。



2. 設定したステータスが反映されます。



19.11. ユーザー権限について

CATでは4種類のユーザー権限が存在します。権限により利用できる機能が異なります。

ユーザーの権限による利用できる機能は以下の通りです。

表の見方

- : 全てのサービス・プロジェクトで実行可能です。
- : メンバー登録されているサービス、もしくはそのサービス内で参照権限を持つプロジェクトに限り実行可能です。
- ※1 初期状態では実行できません。チーム設定で権限を選択できます。
- ※2 初期状態では実行可能です。チーム設定で権限を選択できます。
- ※3 社員権限でサービスを新規作成した場合は、作成したサービスの「チーム管理と共有情報の管理」権限が付与されます。

19.11.1. システムレベルの機能・設定

機能	社員(管理者)	社員	協力会社	顧客
ユーザ管理	●			
アクセス制限管理	●			
課題の設定	●			
グループ管理	●	●		
勤務地の設定	●	●		

19.11.2. サービスレベルの機能・設定

機能	社員(管理者)	社員	協力会社	顧客
サービスの作成	●	●※3		
サービスの設定	●	○		
チーム管理と共有情報の管理	●	○※1		
サービス課題の参照・登録・編集・削除	●	○※2	○※1	○※1

19.11.3. プロジェクトレベルの機能・設定

機能	社員(管理者)	社員	協力会社	顧客
プロジェクトの作成	●	○		
プロジェクトの設定	●	○		
プロジェクトの参照	●	○	○	○
スコープ管理（参照・編集）	●	○	○※2	○※1
テストケース管理（登録・編集・削除）	●	○	○※2	○※1
テストケースの参照	●	○	○	○
テスト実行	●	○	○※2	○※1
課題の登録・編集・削除	●	○	○	○※1
課題の参照	●	○	○	○
テスト課題の参照・登録・編集・削除	●	○	○	○※2
進捗管理（テスト予定入力）	●	○	○	
全体進捗・詳細進捗の参照	●	○	○	○
詳細進捗のメンバー毎の実績/予定の参照	●	○	○	○※1
分析機能の参照	●	○	○	○
メンバー分析のテスト観点の参照	●	○	○	○※1

20. システム管理

システム管理では、CATのシステム全体に影響する設定を変更できます。

20.1. ログとカラー設定

CATのロゴとテーマカラーの変更ができます。

1. システム管理に遷移し、「ログとカラー設定」を押してください。



2. ログを変更する場合、「ロゴ設定」をクリックし、「編集」を押して画像をアップロードしてください。
アップロード完了後、「登録する」を押してください。

※添付可能ファイルは「png」「jpeg」「jpg」「gif」「bmp」になります。

ロゴのサイズは140x32ピクセルです。異なるサイズの場合、自動でリサイズされます。



3. カラーを変更する場合は「カラー設定」を押してください。 変更したい部分を編集し、編集が完了したら「保存」を押してください

※「全て元に戻す」を押すとCATの初期値の色に戻ります。

Copyright © 2010-2017 SHIET, Inc. All rights reserved. Ver.4.15.000

20.2. ログイン管理

20.2.1. ログイン管理設定

セッションタイムアウト時間を設定する

ログイン管理設定を行います。社員（管理者）権限を持つユーザーのみが設定可能です。

ログイン管理設定の編集方法を説明します。

1. ログイン管理設定を押します。

ログイン管理

設定一覧	
ログイン管理設定	セッションタイムアウト時間を設定する。強制ログアウトのオプションを設定する。
ログイン一覧	強制ログアウトを実行する。
ログイン分析	ユーザのログイン状況を分析する。

2. ログイン管理設定が開かれます。セッションタイムアウト時間の設定とパスワードルール変更の設定を行ってください。

ログイン管理設定

セッションタイムアウト時間	★	960	分
パスワードルール変更	★	パスワード最小文字数	★ 8 文字
		パスワード英数混在要求	★ <input type="checkbox"/> 英数混在必須
		パスワード有効期間	★ <input type="checkbox"/> 無期限 60 日間

更新

キャンセル

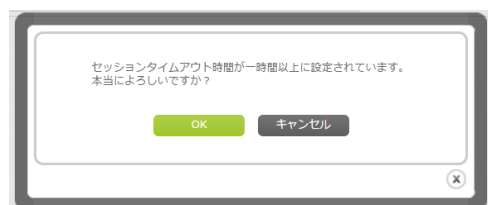
以下で各設定に関する説明をします。

セッションタイムアウト時間設定

セッションタイムアウト時間	960	分
---------------	-----	---

ここではセッションタイムアウト時間を設定することができます。セッションタイムアウト時間とは、ユーザーが最後に操作(サーバアクセスを伴う操作)してから自動でログアウトされるまでの時間です。セキュリティの観点から60分より短くすることがCATでは推奨されます。

※セッション時間は1分~9999分までの値を設定できます。



パスワードルールを変更する

パスワードの強度(文字数、有効期間、文字種)を必要に応じて設定できます。

※パスワード有効期限を「無制限」にするとパスワード再設定期間を無効化できます。

ログイン管理設定

セッションタイムアウト時間	960	分
パスワードルール変更	パスワード最小文字数	8 文字
	パスワード英数混在要求	<input type="checkbox"/> 英数混在必須
	パスワード有効期間	<input type="checkbox"/> 無期限 60 日間

更新キャンセル

20.2.2. ログイン一覧

ログイン一覧を参照する

ログイン一覧ではログイン中のユーザー情報の閲覧とユーザーの強制ログアウト実行が可能です。

1. ログイン一覧を押します。

ログイン管理

設定一覧	
ログイン管理設定	セッションタイムアウト時間を設定する。強制ログアウトのオプションを設定する。
ログイン一覧	強制ログアウトを実行する。
ログイン分析	ユーザのログイン状況を分析する。

2. ログイン一覧が開きます。ログイン中のユーザー情報の閲覧と強制ログアウト実行を必要に応じ行ってください。この一覧にはログイン中の全てのユーザーが表示されます。

ログイン一覧

ユーザID	ユーザ名	権限	部署	最終アクセス時間	強制ログアウト
565	MurenK	社員メンバー		2015-12-14 13:59:03	<button>実行</button>
285	Vrushali Gavande	社員メンバー	Software Testing	2015-12-14 13:37:40	<button>実行</button>
83	Sahil Petil	社員メンバー	asd	2015-12-14 13:55:57	<button>実行</button>

20.2.3. ログイン分析

ログイン分析ではユーザーのログイン状況の時間推移を確認することができます。主にライセンス数の追加・削減の判断を行う際に利用します。

本節では以下を順に説明します。

- ログイン分析アクセス方法
- ログイン分析操作説明
- グラフの見方
- ログイン失敗回数多発時の対応

ログイン分析アクセス方法

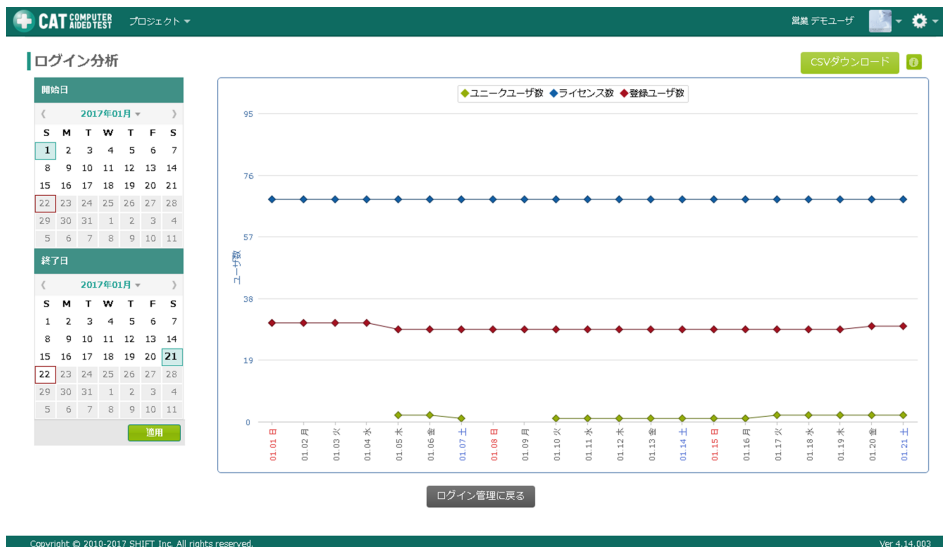
ログイン分析画面の開き方は以下の手順の通りです。

1. ログイン管理画面で「ログイン分析」を押します。

ログイン管理

設定一覧	
ログイン管理設定	セッションタイムアウト時間を設定する。強制ログアウトのオプションを設定する。
ログイン一覧	強制ログアウトを実行する。
ログイン分析	ユーザのログイン状況を分析する。

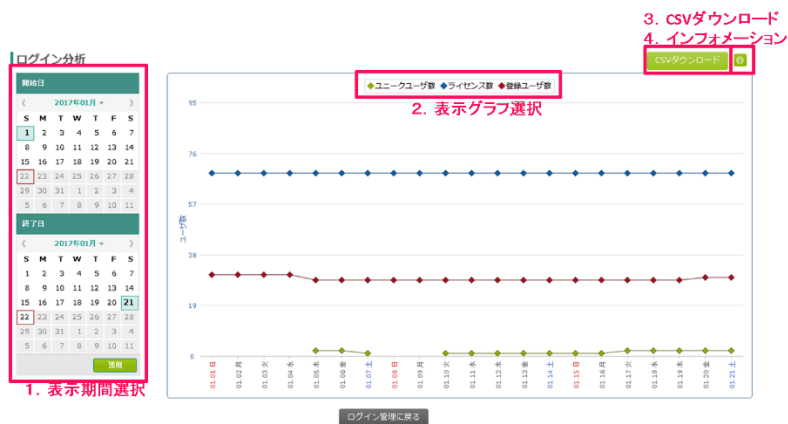
2. ログイン分析が表示されます。



ログイン分析操作説明

ログイン分析の操作方法を説明します。ログイン分析では下記の操作が可能です。

- 表示期間選択
- 表示グラフ選択
- CSVダウンロード
- インフォメーションの表示

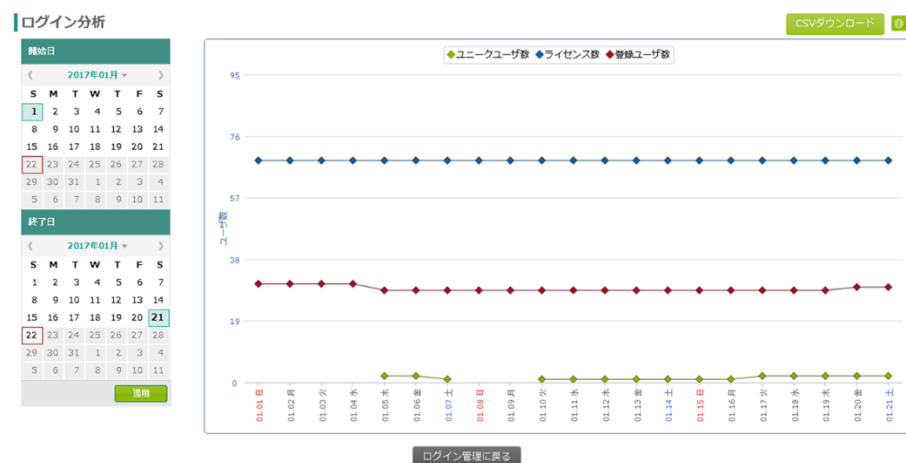


- 表示期間選択 まず表示期間選択について説明します。表示期間選択では表示したい期間を選択します。表示開始日と表示終了日を選択し適用ボタンを押して下さい。表示範囲は1~62日であり、表示単位は下表の通りです。表示範囲により自動で表示単位が選択されます。

表示範囲	表示単位
1~3日	時間単位表示
4~62日	日単位表示

- 表示グラフ選択
凡例をクリックすると各グラフの表示・非表示を切り替えることができます。
- CSVダウンロード
現在表示されている期間の全グラフデータをCSVデータとしてダウンロードできます。
- インフォメーションの表示
インフォメーションボタンを押すとヘルプインフォメーションが表示されます。各グラフについての概要を確認することができます。詳細は次のグラフの見方を参照してください。

グラフの見方



各グラフの詳細な説明を行います。

- ユニークユーザ数(緑色の線)
表示時間単位内にログインしたユーザーのユニーク数です。
- ライセンス数(青色の線)
契約しているライセンス数です。ライセンス数を超過して有効ユーザーを登録することはできません。

- ユーザー数(有効ユーザ) (赤色の線)
有効になっているユーザーの数です。

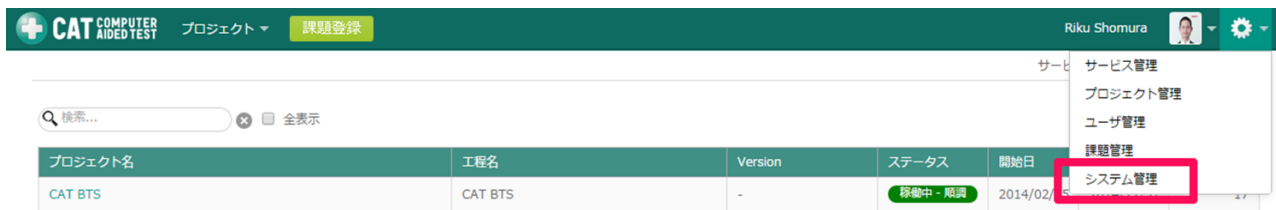
ログイン分析結果等を参考にし、適切な追加ライセンス数を決定してください。

20.3. 認証方式管理

20.3.1. 認証サーバと連携する

CATは、外部の認証基盤と連携できます。連携する場合は、以下の操作で認証設定をした後に、ユーザー設定にて各ユーザーの認証方式を変更してください。

1. ヘッダーのドロップダウンからシステム管理ボタンを押します。



2. 認証方式管理ボタンを押します。



20.3.2. 設定済み認証サーバを確認する

認証方式一覧に登録済みの認証サーバが表示されます。ユーザー数は認証しているユーザー数です。名称をクリックすることでサーバの設定内容を確認できます。テストボタンをクリックするとLDAPサーバとの連携テストができます。LDAPサーバとの連携が出来ない場合に、状況を確認できます。

CAT

COMPUTER
AIDED TEST

プロジェクト

課題登録

SHIFT USER

認証方式一覧

検索...

10件中1件 ~ 10件

ID	名称	接続先	ユーザ数	ユーザ取込先	テスト	コピー	削除
-	CAT	CAT	20	-	-	-	-
6	linux_server(ldap)	sample_ldap.sample	12		テスト	コピー	削除
15	LDAP(ValidMail)	sample_ldap_second.sample	1		テスト	コピー	削除

各種設定に戻る

10件中1件 ~ 10件

Copyright © 2010 SHIFT Inc. All rights reserved. Ver 4.15.204

20.3.3. 認証サーバを新規登録する

1. 新規登録ボタンを押します。

CAT

COMPUTER
AIDED TEST

プロジェクト

課題登録

SHIFT USER

認証方式一覧

検索...

10件中1件 ~ 10件

ID	名称	接続先	ユーザ数	ユーザ取込先	テスト	コピー	削除
-	CAT	CAT	20	-	-	-	-

2. 認証方式を入力し、テストボタンを押します。なお、入力した認証方式は、ここではまだ登録されません。

CAT

COMPUTER
AIDED TEST

プロジェクト

課題登録

Ishi

認証方式設定

名称	*	<input type="text"/>	100文字以内	<input checked="" type="checkbox"/> 新規ユーザ取込先
接続先	*	<input type="text"/>	200文字以内	
ポート	*	<input type="text"/>	数字5桁以内	<input type="checkbox"/> LDAPS
ディレクトリの種類	*	OpenLdap		
ベース識別子	*	<input type="text"/>	200文字以内	
オブジェクトフィルター		<input type="text"/>	1000文字以内	
アカウント		<input type="text"/>	200文字以内	
パスワード		<input type="password"/>	200文字以内	
ユーザ識別子	*	<input type="text"/>	200文字以内	
ユーザ名		<input type="text"/>	200文字以内	ユーザ名が空白の場合は、初期値としてユーザ識別子の値を設定します。ユーザ編集画面で変更が可能です。 +にて複数の属性を結合して登録可能です。+は半角空白に置き換えて登録します。
メールアドレス		<input type="text"/>	200文字以内	
勤務地		<input type="text"/>	200文字以内	
部署		<input type="text"/>	200文字以内	
権限		<input type="text"/>	200文字以内	
標準権限	*	社員メンバー		※権限属性の設定がない場合、または以下の値と一致しない場合は、標準権限で登録されます。
社員管理者		<input type="text"/>	200文字以内	
社員		<input type="text"/>	200文字以内	
協力会社		<input type="text"/>	200文字以内	
顧客		<input type="text"/>	200文字以内	

テスト

キャンセル

3. 任意項目に設定されている値については、未設定時の場合、CAT側で設定可能です。設定した場合は、LDAPサーバの設定に従うため変更不可となります。

項目	説明
名称	認証方式の名称を入力します。
新規ユーザー取込先	新規ユーザー取込先として用いるか設定します。 新規ユーザー取込先は、全認証設定の中から一つのみ設定が可能です。
接続先	接続するサーバ名を入力します。
ポート	接続先のポート名を入力します。
LDAPS	LDAPSを用いる場合は、チェックボックスにチェックします。
ディレクトリの種類	接続先のLDAPサーバの種別を選択します。 OpenLdap/Active Directoryに対応しております。
ベース識別子	LDAPのベース識別子を入力します。
オブジェクトフィルター	オブジェクトを検索するときに使用するフィルターを入力します。
アカウント	LDAPの認証情報の読取りに利用するアカウントを入力します。 匿名アクセスが許可されている場合は、入力不要です。
パスワード	アカウントに対するパスワードを入力します。 匿名アクセスが許可されている場合は、入力不要です。
ユーザー識別子	LDAPのユーザー識別子を入力します。
メールアドレス	LDAPのメールアドレス属性を入力します。
ユーザー名	LDAPのユーザー名属性を入力します。 +で複数の属性を入力できます。
勤務地	LDAPの勤務地属性を入力します。
グループ	LDAPのグループ属性を入力します。
権限	LDAPの権限属性を入力します。
標準権限	該当する権限が存在しない場合の、初期権限を設定します。
社員管理者	LDAPの権限属性内で社員管理者とする属性値を入力します。
社員	LDAPの権限属性内で社員とする属性値を入力します。
協力会社	LDAPの権限属性内で協力会社とする属性値を入力します。
顧客	LDAPの権限属性内で顧客の権限とする属性値を入力します。

※新規ユーザー取込について

新規ユーザー取込は、CATにユーザーが登録されていない状態でも認証サーバ側にユーザーが存在し、かつパスワードが一致した場合、LDAPサーバの設定に従い、ユーザーを自動登録する機能です。

※LDAP連携時のメールアドレスについて

CATではメールアドレスを必須としています。そのため、LDAP連携時にメールアドレス属性に値が未設定のユーザーはCATにログインが出来ません。

4. ログインIDとパスワードを入力し接続テストボタンを押します。

テスト接続で設定内容を確認した上で登録ボタンを押下し登録完了です。

テスト内容	説明
サーバ接続	LDAPサーバと接続可能か確認します。接続不可の場合はテスト失敗となります。 接続先のサーバ及びポート番号が正しいか確認ください。
ログイン確認	LDAPサーバにログイン可能か確認します。ログイン不可の場合は、テスト失敗となります。 接続先のポート番号、ベース識別子、ユーザー識別子、パスワードが正しいか確認ください。
ユーザー名の確認	ユーザー名が取得可能か確認します。取得不可の場合はテスト失敗となります。 ユーザー名の属性が正しいか確認ください。
メールアドレスの確認	メールアドレスが取得可能か確認します。取得不可の場合でも、テスト失敗となります。 メールアドレスの属性が正しいか確認ください。
グループ確認	グループが取得可能か確認します。取得不可の場合でも、登録は可能です。ただし、グループはLDAPと連携しません。
勤務地確認	勤務地が取得可能か確認します。取得不可の場合でも、登録は可能です。ただし、勤務地はLDAPと連携しません。
権限確認	権限が取得可能か確認します。取得不可の場合でも、登録は可能です。ただし、権限はLDAPと連携しません。標準権限で登録されます。

※LDAPと連携対象外となった項目はCATにて編集が可能です。

20.3.4. SAML認証

SAML認証によるシングルサインオン

CATはSAML 2.0認証によるシングルサインオンに対応しています。

CAT(Service Provider)とIdP(Identity Provider)との連携設定を行うと、IdPで管理されているアカウント・認証方法で、CATにログインできるようになります。主な機能は次の通りです。

ログイン

未ログイン状態のユーザーがCATにアクセスすると、設定されたIdPのログインページに遷移します。IdPでの認証が完了すると、CATのトップページに遷移します。

CATのパスワード認証は無効化されます。各ユーザーはSAML認証でのみCATにログインできます。ただし、管理者ユーザーは、専用のログインページ(<https://<CAT URL>/nosaml>)からCATのパスワード認証でログインできます。

REST APIのAPIトークンによる認証は、SAMLが有効な状態でも利用可能です。

ログアウト

CATからログアウトすると、SAML認証専用のログアウト画面にします。シングルサインアウトには未対応です。

その他

- IdPのユーザー情報で、CATのユーザーアカウントを自動で作成・更新・削除する機能は未対応です。

SAML認証を設定する

設定の事前準備

- IdPの構築および、CATとIdPでユーザー登録を登録してください。
- IdPメタデータファイルを用意します。取得方法は後述の[IdPメタデータの取得方法]を参照してください。

CAT側の連携設定手順

1. 管理者権限を持つユーザーでCATにログインします。
2. 右上の歯車メニューから[システム設定]を選択します。
3. [認証方式一覧]を選択します。
4. 右上の[SAML認証設定]ボタンをクリックします。



認証方式一覧

LDAP 登録 SAML 認証設定

検索...

1 件中 1 件 ~ 1 件 | 100 ▼

ID ▲▼	名称 ▲▼	接続先 ▲▼	ユーザー数 ▲▼	ユーザー取込先 ▲▼	テスト	コピー	削除
-	CAT	CAT	5	-	-	-	-

1 件中 1 件 ~ 1 件

各種設定に戻る

5. [SAML認証を有効する]にチェックを入れます。

6. [SPメタデータファイル]の[ダウンロード]ボタンをクリックし、CATのSPメタデータファイルをダウンロードしておきます。

SAML認証設定

SAML認証	<input checked="" type="checkbox"/> SAML認証を有効する
SPエンティティID	catdevtest01.catcloud.net
SPメタデータファイル	ダウンロード
IdPメタデータ	ファイルを選択

7. [IdPメタデータ]の[ファイルを選択]をクリックし、事前に準備しておいたIdPメタデータファイルを選択します。
8. [更新]をクリックします。CAT側の連携設定は以上で完了です。

IdP側の連携設定手順(Active Directory Federaton Service/AD FS)

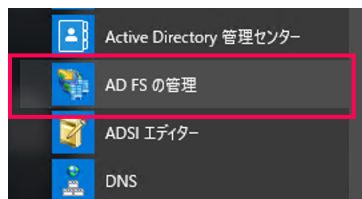
IdPメタデータの取得方法

ブラウザで <https://<AD FSのURL>/FederationMetadata/2007-06/FederationMetadata.xml> にアクセスし、ファイルをダウンロードします。

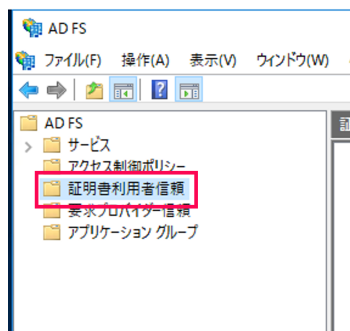
連携設定手順

以下はWindows Server 2016 AD FSでの設定手順です。

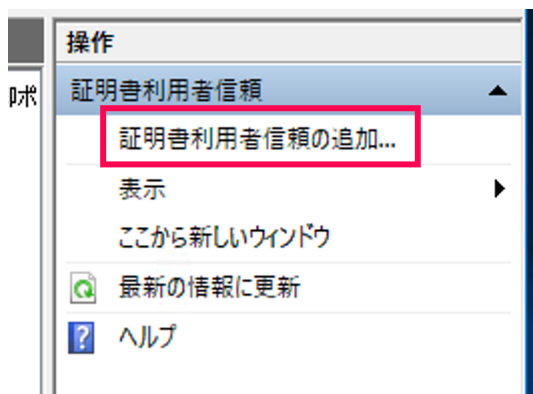
1. Windowsメニューから[AD FSの管理]を起動します。



2. [AD FSの管理]の左メニューから、[証明書利用者信頼]を選択します。



3. 右の[操作]メニューから[証明書利用者信頼の追加]を選択します。



4. [証明書利用者信頼の追加ウィザード]が開きます。[要求に対応する]にチェックが入っていることを確認し、[開始]ボタンをクリックします。

証明書利用者信頼の追加ウィザードの開始

要求に対応するアプリケーションは、セキュリティトークン内の要求を使用して認証と承認を決定します。要求に対応しないアプリケーションは Web ベースで、内部ネットワークでは Windows 統合認証を使用し、エクストラネットからのアクセス用には Web アプリケーション プロキシを通じて公開できます。[詳細\(L\)](#)

☒ 要求に対応する(Y)

☐ 要求に対応しない(N)

5. [証明書利用者についてのデータをファイルからインポートする]を選択します。CATからダウンロードした SPメタデータファイルを、[フェデレーション メタデータ ファイルの場所]に指定します。[次へ]ボタンを押します。

この証明書利用者についてのデータを取得するために使用するオプションを選択してください。

☐ オンラインまたはローカル ネットワークで公開されている証明書利用者についてのデータをインポートする(M)

このオプションを使用すると、フェデレーション メタデータをオンラインまたはローカル ネットワークで公開している証明書利用者組織から必要なデータおよび証明書をインポートできます。

フェデレーション メタデータのアドレス (ホスト名または URL)(F):

例: fs.contoso.com または https://www.contoso.com/app

☒ 証明書利用者についてのデータをファイルからインポートする(O)

このオプションを使用すると、ファイルにエクスポートされた証明書利用者組織のフェデレーション メタデータから必要なデータおよび証明書をインポートできます。このファイルが信頼された発行元からのものであることを確認してください。このウィザードでは、ファイルの発行元の検証は行いません。

フェデレーション メタデータ ファイルの場所(R):

C:\Users\Administrator\Desktop\cat.xml

☐ 証明書利用者についてのデータを手動で入力する(T)

このオプションを使用すると、この証明書利用者組織についての必要なデータを手動で入力できます。

6. [表示名]に任意の名前を入力します。[次へ]ボタンをクリックします。

この証明書利用者の表示名およびオプションの注意事項を入力してください。

表示名(D):

CAT

メモ(O):

7. CATの認証に使う、適切なアクセス制御ポリシーを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

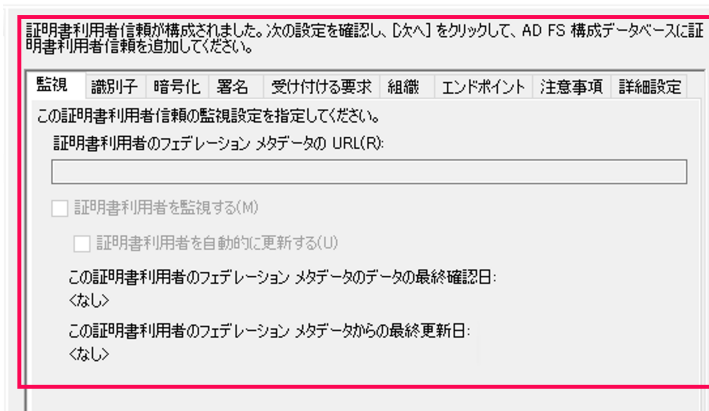
アクセス制御ポリシーを選択してください。

名前	説明
すべてのユーザーにイントラネット アクセスを許可	イントラネット ユーザーにアクセスを許可し
すべてのユーザーを許可	すべてのユーザーにアクセスを許可します。
すべてのユーザーを許可し、MFA を要求	すべてのユーザーにアクセスを許可し、すべてのユーザーにアクセスを許可し、デバイス
すべてのユーザーを許可し、MFA を要求して、デバイスの自動登...	すべてのユーザーにアクセスを許可し、デ
すべてのユーザーを許可し、エクストラネット アクセスで MFA を要求	イントラネット ユーザーにアクセスを許可し
すべてのユーザーを許可し、特定のグループに MFA を要求	すべてのユーザーにアクセスを許可し、指
すべてのユーザーを許可し、認証されていないデバイスから MFA を...	すべてのユーザーにアクセスを許可し、認
特定のグループを許可	指定した 1 つ以上のグループのユーザー

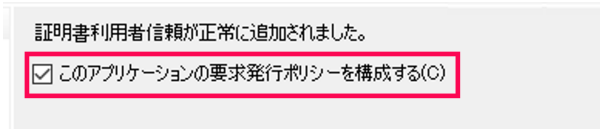
ポリシー

次の場合にすべてのユーザーを許可する

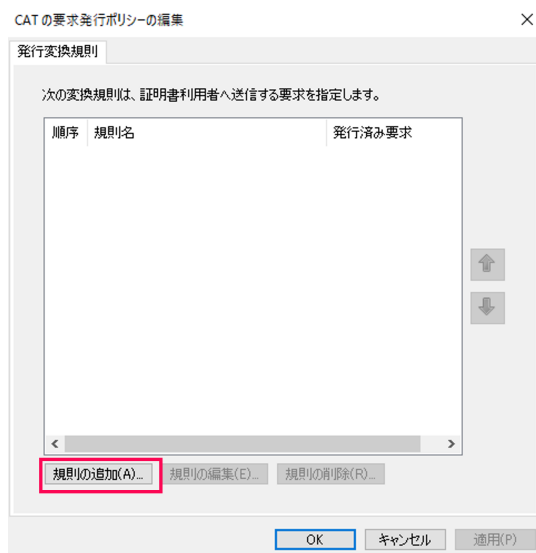
8. 確認画面が表示されます。[次へ]をクリックします。



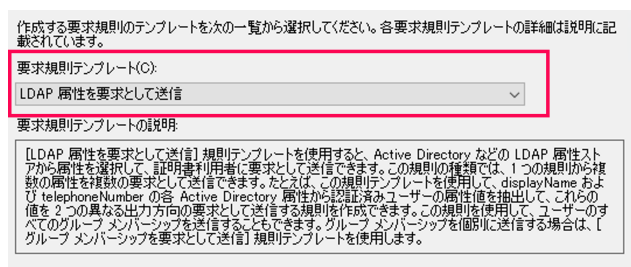
9. [このアプリケーションの要求発行ポリシーを構成する]がチェックされていることを確認し、[閉じる]をクリックします。



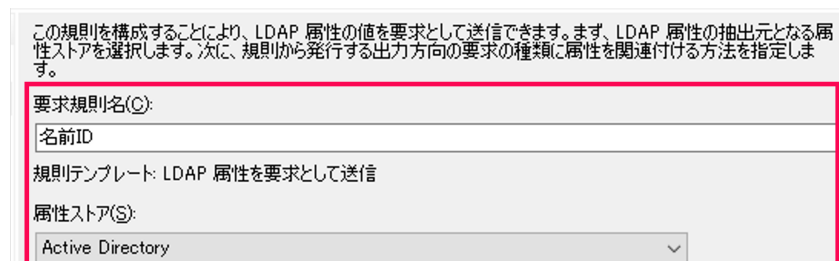
10. [要求発行ポリシーの編集]ダイアログが開きます。[規則の追加]をクリックします。



11. [要求規則テンプレート]に[LDAP 属性を要求として送信]が選択されていることを確認し、[次へ]をクリックします。



12. [要求規則名]に任意の名前を入力します。[属性ストア]で[Active Directory]を選択します。



13. [LDAP 属性の出力方向の要求の種類への関連付け]を設定します。[LDAP属性]はCATのログイン名とマッピングさせる属性を選択します。CATでEメール形式のログイン名を使っている場合は、[User-Principal-Name]または[E-Mail-Address]を選択します。その他の場合は、[SAM-Account-Name]を選択します。

LDAP 属性の出力方向の要求の種類への関連付け(M):

	LDAP 属性 (さらに追加する場合は選択または入力してください)	出力方向の要求の種類 (さらに追加する場合は選択または入力してください)
▶	User-Principal-Name	名前 ID
*		

14. [出力方向の要求の種類]は[名前 ID]を選択します。[完了]をクリックします。

LDAP 属性の出力方向の要求の種類への関連付け(M):

	LDAP 属性 (さらに追加する場合は選択または入力してください)	出力方向の要求の種類 (さらに追加する場合は選択または入力してください)
▶	User-Principal-Name	名前 ID
*		

15. 規則が追加されていることを確認し、[OK]をクリックします。以上で設定完了です。

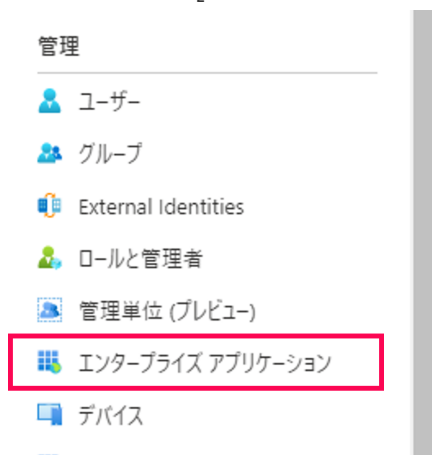
IdP側の連携設定手順(Azure AD)

IdPメタデータの取得方法

連携設定手順の手順8を参照してください。

連携設定手順

1. Azure ADのディレクトリのトップページに遷移します。
2. 左メニューから[エンタープライズアプリケーション]を選択します。



3. [新しいアプリケーション]ボタンをクリックします。



4. [ギャラリー以外のアプリケーション]を選択します。
アプリケーションの追加 ✎



5. [名前]フィールドに任意の名前を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

独自のアプリケーションの追加

名前 * ①

CAT ✓

新しいアプリケーションの名前が決定したら、下の [追加] ボタンをクリックしてください。アプリケーションを機能させるための簡単な設定手順を順番に説明していきます。

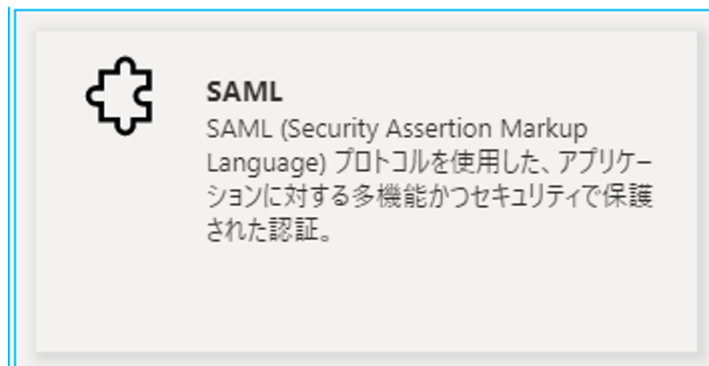
サポート: ①

- SAML ベースのシングル サインオン
[詳細情報](#)
- SCIM を使用した自動ユーザー プロビジョニング
[詳細情報](#)
- パスワードベースのシングル サインオン
[詳細情報](#)

6. [シングルサインオンの設定]を選択します。



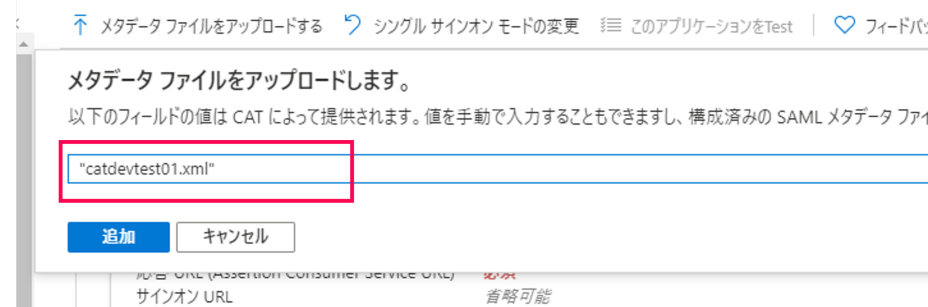
7. [SAML]を選択します。



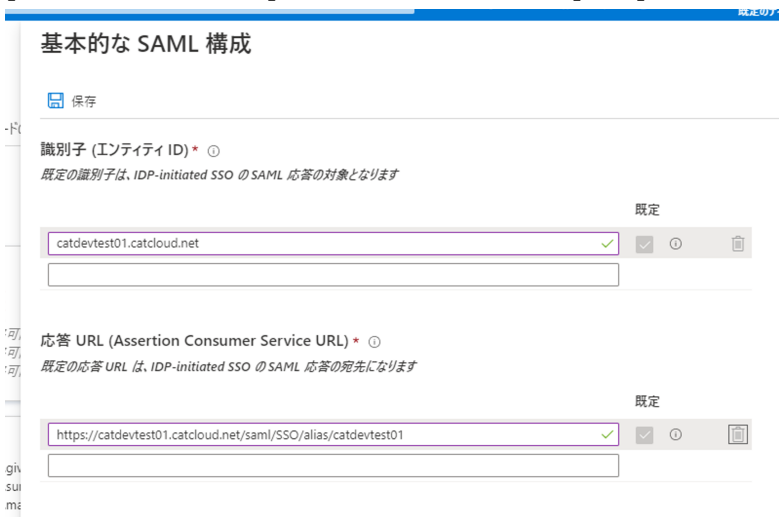
8. [SAML認証証明書]セクションの[フェデレーション メタデータ XML]の[ダウンロード]リンクをクリックし、IdPメタデータをダウンロードします。ダウンロードしたファイルはCAT側の設定に利用します。



9. [メタデータ ファイルをアップロードする]をクリックします。[ファイルの選択]をクリックし、CATからダウンロードしたSPメタデータファイルを選択します。[追加ボタン]をクリックします。

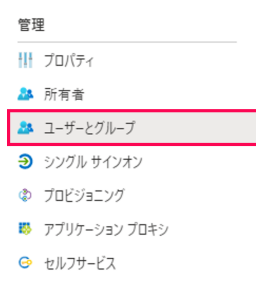


10. [基本的な SAML 構成]パネルが表示されます。[保存]をクリックします。以上で設定完了です。



利用ユーザーの割り当て

CATを利用するユーザーを設定する必要があります。[ユーザーとグループ]メニューから、CATを利用するユーザーを割り当てて下さい。



20.4. アクセス制御管理

アクセス制御管理では、IPアドレスによるアクセス制限を設定できます。

20.4.1. IPアドレスによるアクセス制限を設定する

CAT構築時には、CATはどこからでもアクセス可能な状態になっております。CATにアクセス可能なグローバルIPアドレスを制限することで、セキュリティを高めることができます。

IPアドレスによりアクセス制限を設定するには、管理者権限のユーザで以下の操作を行います。

1. 設定ボタンにマウスオーバーし、ドロップダウン上の「システム管理」を押します。



2. 「アクセス制限管理」ボタンを押します。

TCM	
項目名	説明
部署管理	部署情報を閲覧・新規作成・編集する
アクセス制限管理	CATへのアクセス制限を設定する
その他	その他情報を閲覧・新規作成・編集する
認証方式管理	CATの認証方式の閲覧・新規作成・編集する
ログイン管理	ログイン管理の設定を行う。ログイン状況を分析し管理する。

3. IP制限の無効ボタンをクリックし、アクセス制限を有効にします。

The screenshot shows the 'アクセス制限管理' (Access Restriction Management) page. At the top, there's a header with 'CAT COMPUTER AIDED TEST' and a '課題登録' (Task Registration) button. Below the header, there's a navigation bar with 'プロジェクト' (Project) and '課題登録' (Task Registration). The main content area is titled 'アクセス制限管理'. There's a sub-header 'アクセス制限が必要な場合は、アクセス制限を有効にし許可するIPアドレスを設定してください。' (If access restriction is required, enable access restriction and set permitted IP addresses). Below this, there's a form with a '有効' (Valid) button highlighted in red. The form also includes a table for 'アクセス元IP' (Access Source IP) with columns for ID, IP, 説明 (Description), 更新者 (Updater), 更新時間 (Update Time), and 削除 (Delete). The table has one row with ID 1 and IP 192.168.1.1.

4. アクセスを許可するIPアドレスを入力し、「登録」ボタンを押します。

必要に応じて説明欄に許可IPの利用者や場所等を記入ください。

許可IPリストに記載されたIPアドレス以外からのアクセスはできなくなります。解除する場合は「有効」ボタンを押すことで無効化できます。

※ご利用環境のゲートウェイのグローバルIPアドレスを設定してください。(入力するIPアドレスが不明な場合は、社内のシステム管理者等にご確認ください)

※IPv6には対応していません。IPv4はCIDR表記に対応しております。(クラスBまで指定可能)

The screenshot shows the 'アクセス制限管理' (Access Restriction Management) page. At the top, there's a header with 'CAT COMPUTER AIDED TEST' and a '課題登録' (Task Registration) button. Below the header, there's a navigation bar with 'プロジェクト' (Project) and '課題登録' (Task Registration). The main content area is titled 'アクセス制限管理'. There's a sub-header 'アクセス制限が必要な場合は、アクセス制限を有効にし許可するIPアドレスを設定してください。' (If access restriction is required, enable access restriction and set permitted IP addresses). Below this, there's a form with a '有効' (Valid) button. The form also includes a table for '許可IPリスト' (Permitted IP List) with columns for ID, IP, 説明 (Description), 更新者 (Updater), 更新時間 (Update Time), and 削除 (Delete). The table has one row with ID 1 and IP 192.168.1.1.

20.5. API管理

REST APIを経由してサービス、プロジェクト、テスト仕様書、課題、進捗などの情報を取得できます。

APIの詳しい仕様は利用方法については以下リファレンスを参照ください。

20.5.1. APIを有効化する

APIの有効化設定を行います。管理者権限を持つユーザーのみが設定可能です。

1. システム管理画面からAPI管理を選択します。



2. API管理のREST API設定を有効化します。



20.5.2. APIのアクセストークンを管理する

ユーザー毎にAPIのアクセストークンの設定・管理が可能です。

アカウント設定画面のページ下部にあるAPIトークンにて設定ください。

画面項目

項目	説明
新しいトークンを生成	新しいAPIトークンを生成します。
表示	マスクされたAPIトークンを表示します。
削除	APIトークンを削除します。

アカウント設定画面

画面：右上のアカウントアイコン＞アカウント設定

アカウント設定 パスワード変更 編集

ユーザ名	坂本 佑太
認証方式	ローカル認証
ログインID	yuta.sakamoto@shiftinc.jp
勤務地	

外部BTS認証設定
外部BTSにアクセスするための認証情報を設定します。認証情報は障害の紐づけ機能で利用されます。

外部BTS	認証情報
一致するデータがありません。	

APIトークン 新しいトークンを生成

トークン	*****	表示 削除
------	-------	---------------------------------

Copyright © 2010 SHIFT Inc. All rights reserved. Ver 4.16.100

20.5.3. REST APIを利用してCATにアクセスをする

REST APIのリクエストを認証するには、発行されたAPIトークンをパラメータ名「token」として付加します。

リクエスト例

<https://¥{CATのURL}/api/rest/xxxxxxx?token=xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx>

20.6. ロール管理

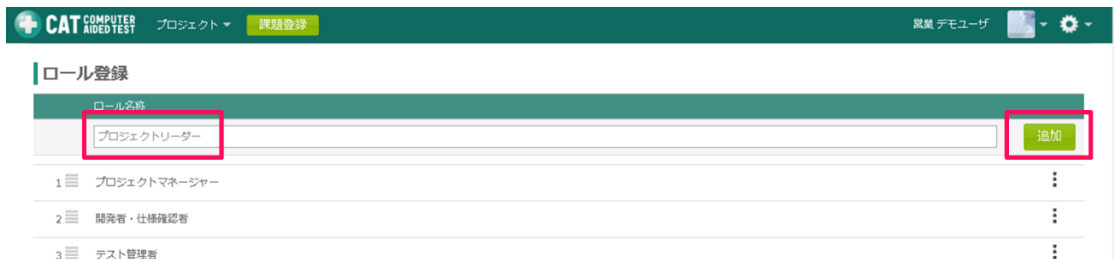
1. システム管理のロール管理を押してください

項目名	概要
ロゴとカラー設定	ロゴ画像とカラーを設定します。
ログイン管理	ログイン管理の設定、ログイン状況の分析を行います。
認証方式管理	CATの認証方式の設定を行います。
アクセス制限管理	CATへのアクセス制限の設定を行います。
API管理	REST API の設定を行います。
ロール管理	ロールの設定をします。
グループ管理	グループ情報の設定を行います。
その他	勤務地情報など、その他情報の設定を行います。

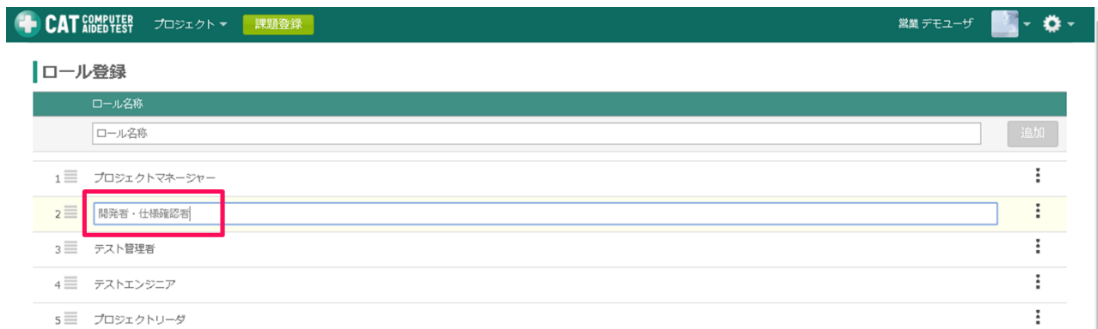
2. ロール登録画面が表示されます。

ロール名	追加
1 プロジェクトマネージャー	...
2 開発者・仕様確認者	...
3 テスト管理者	...
4 テストエンジニア	...
5 プロジェクトリーダー	...
6 テストリーダー	...
7 SE	...
8 テスター	...
9 サブリーダー	...
10 プロジェクトリーダー	...
11 メンバー	...
12 役割1	...
13 Project Leader	...
14 Sub leader	...

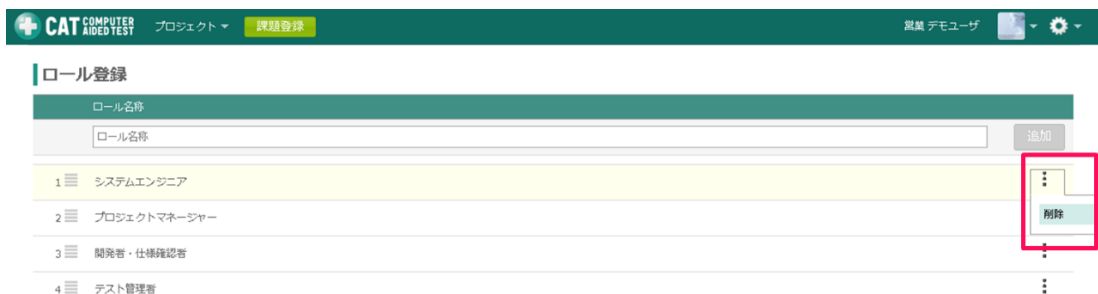
3. 追加する場合は、テキストボックスにロール名を入力後、追加ボタンを押してください。



4. 登録済みのロール名を変更する場合は各行のロール名をクリックすると編集モードになります。登録後、Enterキーを押して確定してください。



5. ロールを削除する場合、各行右側の・・・をクリックしてください。



6. 順番を移動する場合、各行の≡アイコンをドラッグして移動できます。



7. 全ての編集を完了後、ページ最下の登録するボタンを押して確定します。
※登録するボタンを押さずに遷移すると編集内容は破棄されます。

20.7. その他の設定

その他の設定では、ユーザー登録の際に利用する勤務地を登録します。以下の操作を行ってください。

1. ヘッダーバーのドロップダウンからシステム管理を選択します。



2. 「その他」 ボタンを押します。

 CAT

COMPUTER
AIDED TEST

プロジェクト ▾ 課題登録

SHIFT_USER  

システム管理

3. 「編集」 ボタンを押します

その他 詳細

編集

4. 勤務地を入力し、「登録する」 ボタンを押します。

その他 編集

ランケー一覧

+ ×

勤務地一覧

+ ×

登録する キャンセル

21. 制限事項

21.1. サポート環境

本節では、CATがサポートするクライアント環境、ブラウザ、ファイル、外部BTS、LDAPについて説明します。

クライアント環境

クライアントOS	Chrome（最新版）	Internet Explorer 11
Windows 7 Professional 32bit/64bit Service Pack 1	●	●
Windows 7 Ultimate 32bit/64bit Service Pack 1	●	●
Windows 8/8.1	●	●
Windows 8/8.1 Pro 32bit/64bit	●	●
Windows 8/8.1 Enterprise 32bit/64bit	●	●
Windows 10 Pro 32bit/64bit	●	●
Windows 10 Enterprise 32bit/64bit	●	●

画面解像度は1024 x 768 以上をサポート

外部BTS連携

連携できるサードパーティ製のBTS(Bug Tracking System)は以下の通りです。連携をすることで、指定されたBTSのプロジェクトと、CATのプロジェクトの間で課題情報を同期し、指定されたBTS上の課題をCAT上で確認することが可能です。

BTS	サポートバージョン
備考	Redmine
1.3.0 – 2.6.x, 3.2.x	JIRA
5.0 – 8.x	Backlog

LDAP連携

CATは、単一または複数のディレクトリを使用したLDAP認証に対応しています。CATがサポートするLDAPサーバはOpen LDAPとActive Directoryです。

21.2. 登録可能なファイル形式

CATがサポートするファイル形式について、テスト仕様書、プロフィール写真、添付ファイルの3つに分けて説明します。

テスト仕様書

テスト仕様書として登録できるファイル形式はExcel(xlsx)とCSVをサポートしています。最大ファイルサイズは10MBまでです。CSVの文字のエンコードは、Shift-JIS (Windows-31J)、Unicode (UTF-8, UTF-16)をサポートします。また、テストケースとして1度にアップロード可能な件数は1テスト仕様書内5000件までです。

テスト仕様書のダウンロードもExcel(xlsx)とCSVとなります。

プロフィール画像

ユーザのプロフィール写真として登録できるファイル形式は以下をサポートしています。登録時にファイルはサムネイル化されます。

ファイルの種類	拡張子
画像ファイル	png, jpeg, jpg, gif, bmp, tif

添付ファイル

添付ファイルとして登録できるファイル形式は以下をサポートしています。最大ファイルサイズは10MB/1個で、ファイルの個数は10個までです。

ファイルの種類	拡張子
テキストファイル	txt, csv, tsv, log, json, sql
Office	doc, docx, xls, xlsx, ppt, pptx, rtf, odt, ods, odp, odg
HTML/XML	html, htm, xml
画像ファイル	png, jpeg, jpg, gif, bmp, tif
圧縮ファイル	zip, lzh, lha, tar, tgz
音声ファイル	wav, mp3
PDF	pdf, xps, oxps
動画ファイル	mp4, webm, mov
その他	crash, ips

※課題管理のみ、最大100個まで添付が可能です。

※添付ファイルの上限は100MBまで拡張できます。詳しくはサポートまでお問合せください。